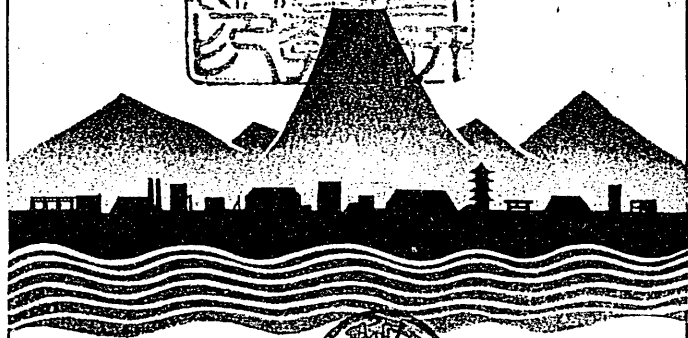


K220.28

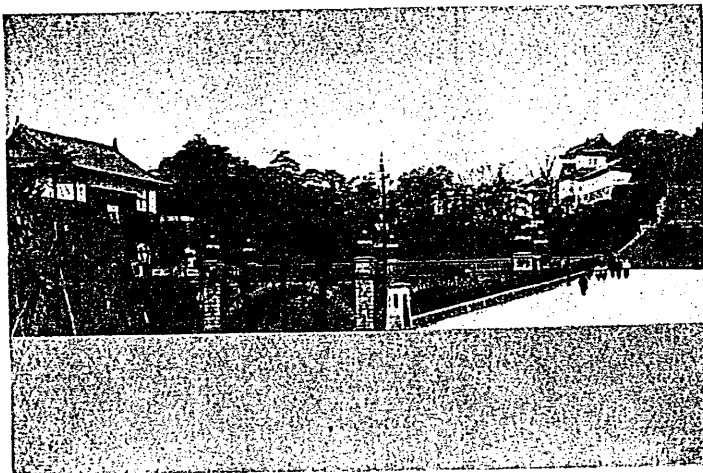
109a



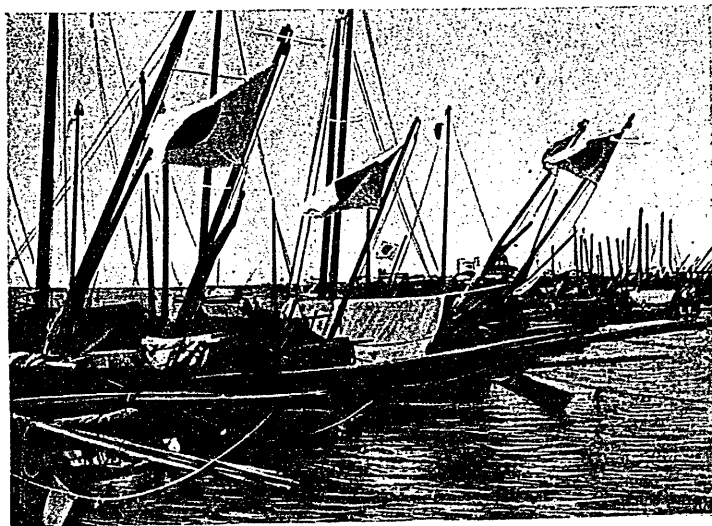
最新自然地理



北京三育大版



橋重二の城宮
るあに奥たつ渡に右を橋鐵は所御で橋石はの景近橋鐵はの景遠



人本日の外海
旗章日々壽を日祝の國祖は圖で船漁人邦の島諸ーレマ

辯言

本書は、新定の教授要目に則り、中等學校の教科書とする爲に編纂したもので、^中「最近世界地理」及び^中「最近地理概説と連絡し、相俟つて地理教授の本旨を達成せしめることに勉めた。

本書の編纂に當り、意を用ひた要點は、左の通りである。

- 一、小學教育との連絡を考慮して内容の程度を高め、日本の現状を正しく把握せしめると共に、益、將來の發展に奮起心を誘發せしめるやうにした。
- 一、教授の單元に意を加へ、通説にあつては、稍範圍を廣くして各項の知識を纏め、處誌にあつては、府縣に分けて更に適當の小單元に分け得られるやうにした。府縣を無視することには統計その他種々の方面に不便が多いからである。
- 一、産業上の知識は最も重要であるから、その記述に意を用ひ、外國と需給關係の密な生産品に對しては、特に一頁を費して各方面から觀察せしめ、日本の産業的地位を正しく知らしめるやうにした。
- 一、挿畫は本文中に多數を加へた外、更に別頁を挿入して著しくその數を豊富にし、且一々略解を附して記事の理解と興味の喚起とを助けた。
- 一、人口は昭和十年の國勢調査によつたが、その後分合の行はれたものは之を訂正し、人口二萬以上の都邑を各府縣の初頭欄外に列記し、一覽に便ならしめた。

一、地方誌にあつては市と朝鮮の府とに太字を用ひ、又地方廳所在地(●)、名勝舊蹟(○)、地方名(○)及び區域外の都邑(○)等には、特殊の記號を附して一般都邑(●)と區別し、總説にあつては、主題となる品名、名詞等に(●)を附して、一目瞭然たらしめた。

一統計は能ふ限り最近の數を採り、尺度は特殊のもの、外メートル法を原則とした。

本書に挿入の統計圖表は、中央氣象臺の調査諸官、省の統計表、諸會社の報告理科年表、國勢グラフ等の數を採つて作製したものが多く、又寫眞は弊所で蒐集した外、鐵道省、日本旅行協會、南滿鐵道會社等の撮影によるもの、及び日本地理大系から轉載したものも頗る多い。本書の修正に對し、懇篤な注意を寄せられた諸賢と共に、茲に特記して感謝の意を表する。

昭和十四年五月

編者識

中最近日本地理 改訂版 目次

序説

前篇 地方誌

第一章 關東地方	六
第二章 奥羽地方	一六
第三章 中部地方	四四
第四章 近畿地方	七一
第五章 中國地方	九三
第六章 四國地方	一〇四
第七章 九州地方	一二五
第八章 北海道	一三三
第九章 樺太(南部)附北樺太	一四〇
第十章 臺灣	一五五
第十一章 朝鮮	一七四

第十七章 關東州	一六九
第十三章 南洋群島	一七三

後篇 總說	一七五
-------	-----

第一章 地勢	一七五
第二章 海洋	一八〇
第三章 氣候	一八〇
第四章 住民	一八〇
第五章 産業	一八〇
第六章 交通	一八四
第七章 政治	一八六
結論	二〇〇

目次

最近日本地理 改訂版

序説

帝國の位置 我が大日本帝國は、アジア大陸の東邊に沿ふ日本列島と、朝鮮半島とから成る。日本列島は三つの弓形をなし、その内側は、オホーツク海、日本海、東支那海を挟んで、近くアジア大陸と對し、外側は太平洋を隔て、遙に北米、南米の兩大陸及び

大洋洲に對してゐる。

我が國は往時大八洲とも呼ばれ、永く島國であつたが、大陸との間は、海も廣くない上に、壹岐對馬等が飛石の如く列び、大陸との交通を助けて、早くその文明を

日本帝國の四極
極北 千島の阿賴渡島北端 (北緯五〇度五五分)
極南 小笠原の沖ノ島南端 (北緯二〇度二五分)
極東 千島の占守島東端 (東經一五六度三二分)
極西 澎湖諸島の花嶼西端 (東經一八九度一八分)

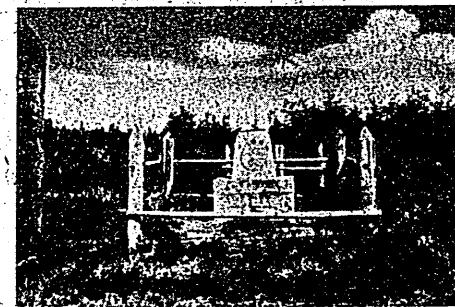




宮神大皇^{日本} 神大照天祖皇を祀奉るせ無殿比の社あ

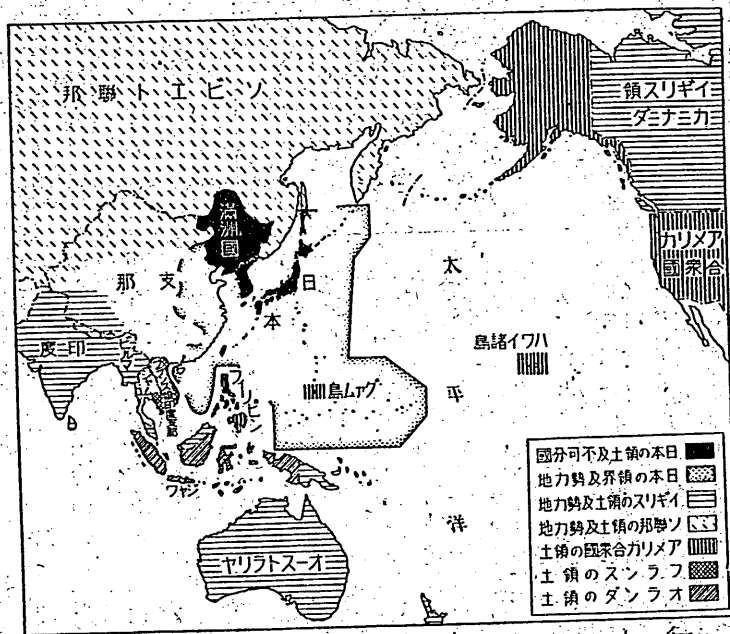
傳へると共に、又島國であつたことは、固有の文化を産み、優越せる國民性を養ひ、嘗て外國の侮を受けたことなく、光輝ある歴史を作り、世界無比の國家をなしてゐる。

萬邦無比の國家 古來の諸事によれば、我が大八洲は、天神の造り給ひしものである。我々大和民族は、天神以來、連綿たる皇統を戴いて、この國土に生育し、この國土を開發して、今日に至つたもので、舉國以來幾千年、祖先の血汗は、この土に凝がれてゐる。されば皇室と臣民とは、同祖の關係がある。と共に國土と國民とも、不離の親しみがあつた。この上下一體の大精神は、一貫して光輝ある歴史となり、萬邦無比の國家となり、無窮の發展をなしてゐる。



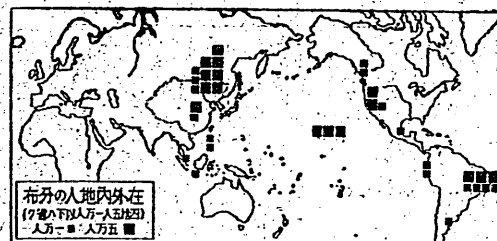
國^{日本}太神皇太極 國^{日本}神皇太極 國^{日本}神皇太極

國土の膨脹 明治以來國運の發展が特に著しく、臺灣樺太を加へ、朝鮮を併せ、關東州を租借地とし、版圖が益々廣くなつた爲、ソビエト聯邦滿洲國とは境を接し、支那は對岸の隣國となつたが、更に南洋群島の委任統治を行つて、太平洋に於ける米英佛等の領土とも、關係が益々深くなつた。

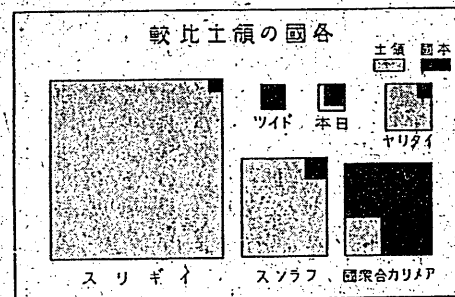


國分可不及土領の本日
地力勢及界領の本日
地力勢及土領のソビエト
土領の國家合カリメア
土領のスンラフ
土領のダンラオ

となつたが、更に南洋群島の委任統治を行つて、太平洋に於ける米英佛等の領土とも、關係が益々深くなつた。四隣との關係、ソビエト聯邦の政治國情は全く我が國と相反し、且近年抗日支那を助け、或は國境の軍備を強化して、我に對するなど大いに警戒を要する國である。滿洲國は、我が國でその獨立を助けた新興國で、兩國は攻守同盟を結び、不可分の關係となつてゐる。支那は、善隣の好みを忘れて抗日を事とし、遂に支那事變を起すに至つたが、その非を覺つた人々は、民衆の輿望によつて、親日の政府を組織した。我が國は、日本精神を以て、その誘導に當らねばならぬ。米英佛等の諸國は、強大な經濟力と政治力とを以て、東洋に干渉し、自己の利害から、抗日支那を助けてゐる。斯く列國が動もすれば、日本を不利に陥れんと企てゐる際、その重壓に抗し、永遠の平和を建設せんとする我々日本國民は、不撓不屈の覺悟を固めねばならぬ。



面積人口　我が國の面積は、約六十八萬方軒あつて、本土^{地内}はその半以上を占め、イギリスイタリヤ等のそれよりも遙に大であるが、植民地^{地外}の面積は、歐米の列強に比して著しく狭い。住民は一億に近く、内地はその中の七割餘を占めて、人口密度は世界の第四位にある。



海外の日本人 我が人口密度はベルギー・オランダ・イギリスの次に位してゐるが、我が國は山勝ちであるから平地の割合から見ると、著しく密となり然も之を收容する植民地は面積が極めて狭い。現に海外在住の内地人は百萬に近いが、國によつては我が移民の入國を禁止し又は制限を加へてゐる。我が國が東亞の諸國と提携し、共存共榮を計ることは、獨經濟上の爲のみでなく、人口上から考へても極めて大切な問題である。



スリ

日本の現勢　日本は東亞の新進國である。從來世界の富強國といへば、歐洲人の國に限るやうに思はれてゐた。歐米は物質文明の先進國ではあるが、明治以後に於ける日本の躍進は著大なもので

各種の産業に、國民生活に、總ての文化が先進國の多くを凌駕し、世界

[illegible]

の大強國として仰望されるに至つた。斯る異數の發展も畢竟幾多の波瀾を重ねて來た結果で、その間に於ける歴代天皇の御獎勵と、之を扶翼し奉りたる祖先の忠誠とを忘れてはならない。併し何れの國にあつても、その文化には、夫々の得失を免れない。吾々は祖先の大遺業を繼ぎ、日

本精神の下に、他の長を採つて我が短を補ひ、皇國無窮の發展を計る考を以て、地理を學ぶことが肝要である。

區分 本州四國・九州は、帝國の要部で、北海道と共に内地と呼び、行政上一道三府四十三縣に分けるが、往時畿内八道、八十五國に分れてゐたから、今でも舊稱を用ひることがある。本書は便宜上内地を關東・奥羽・中部・近畿・中國・四國・九州・北海道に分け、之に新領土の樺太・臺灣・朝鮮と外に租借地の關東州及び委任統治地の南洋群島とを加へて十三地方に分ける。

別	國	道	畿
北海道	西海道	南海道	山陰道
日高島 渡島 十勝	筑前 日向 大隅	紀伊 淡路 薩摩	丹波 石見 阿波
後志 釧路 根室	豐前 豐後 天鹽	讚岐 肥前 肥後	但馬 因幡 伯耆
			出雲
			安藝
			備前
			備中
			備後
			越前
			加賀
			能登
			越中
			越後
			磐城江
			近江
			上總
			下總
			常陸
			信濃
			上野
			下野
			羽前
			岩代
			飛騨
			飛騨
			長門
			美作
			佐渡
			若狹
			播磨
			周防
			山陽道
			山陰道
			東山道
			東海道
			畿内
			山城
			大和
			河内
			和泉
			攝津
			遠江
			安房
			三河
			相模
			伊豆
			伊勢
			甲斐
			伊賀
			伊豫
			土佐
			琉球
			膽振

序
說

前篇 地方誌

第一章 關東地方

通説

本州の東南部を占め、昔は關八州と呼ばれた地方で、源頼朝が幕府を鎌倉に開いてから、永く政治上の中心となつたが、徳川時代の頃から著しく發達し、今は帝都のある上に、近畿地方と共に我が國の二大開化地帯をなしてゐる。行政上一府六縣に分ける。

地勢 大體に北部及び西部の山地と關東平野に分れ、別に離れて島嶼部がある。

北部山地の東部には、阿武隈山脈の餘勢が起伏して、その末端に筑波山が聳え、西部には、帝釋三國等の山脈が連なり、那須火山帯が殆ど之と並走



面積 約三、〇〇〇方	人口 約一、五七萬
東京府 (東京市)	武蔵一部 伊豆七島 小笠原諸島
神奈川縣 (横浜市)	武蔵一部 相模
埼玉縣 (浦和市)	上野
群馬縣 (前橋市)	下野
栃木縣 (宇都宮市)	下野一部 常陸
茨城縣 (水戸市)	下野一部 常陸
千葉縣 (千葉市)	下野一部 常陸

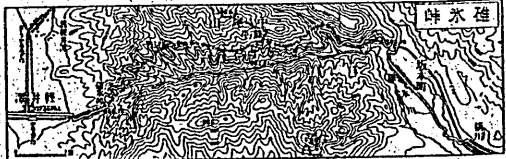
して、白根男體赤城榛名等を始め多くの火山を起してゐる。

西部山地は關東山脈に屬し、その中に秩父盆地がある。富士火山帯はこの西南部を通して、箱根の火山群を起し、餘勢は遙に豆南諸島を経て、南洋群島に延びてゐる。

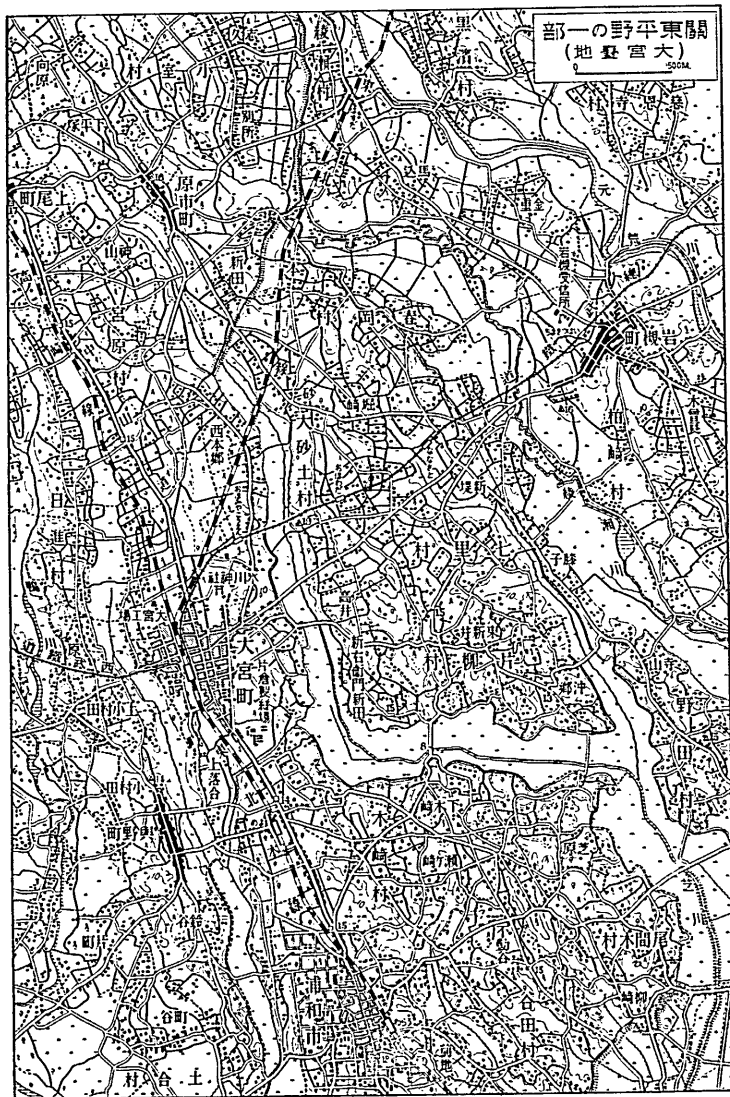
此等の山地は、殆ど二續きとなつて



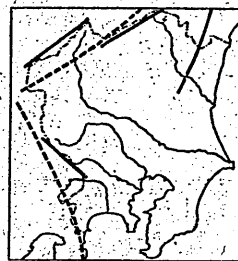
箱根の關所址 昔の石垣が傍に残つてゐる



他の地方と境し、往時は軍事上の要害となり、自然の險道や、人爲の關所を設けた處もあるが、今は鐵道が大隧道により、又は急勾配で其處を通してゐる。關東平野は、我が國最大の平野で、細長い低地と、廣い臺地とに分れ、南部は丘陵性の房總三浦の兩半島をなす。久慈川、那珂川、利根川、荒川、多摩川、相模川等の諸川が、この平野を



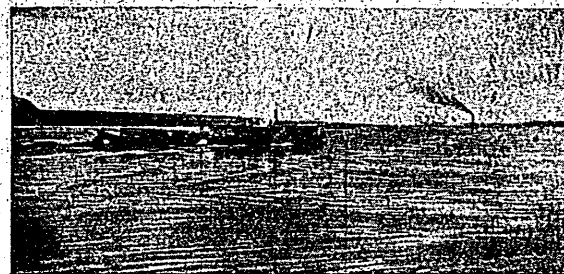
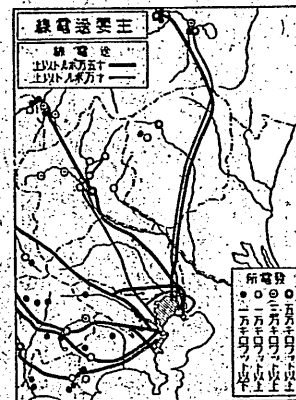
臺宮大和浦。るあで徴特がとるゐて錯交がと地低と地臺は野平東關 部一の野平東關
るす意注にこい多の森且りま集く多が等場工・落聚・路道・道鐵で外内米五十拔海は地
ゐてれ流を間の地臺てしなを地低の 狀枝樹、略が川河の等川荒元・川蘆枝・川芝はに部東
(る依に圖形地一分萬五凋陸)。るあで田水く全は者後にのるあで地如が地臺の者前。る



浦賀海峽の附近及び小笠原諸島の北部は要塞地帯である

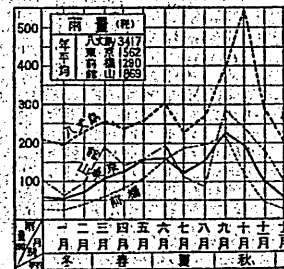
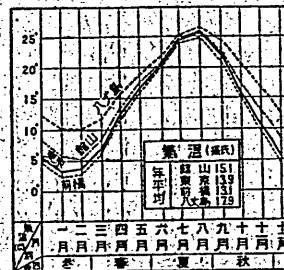
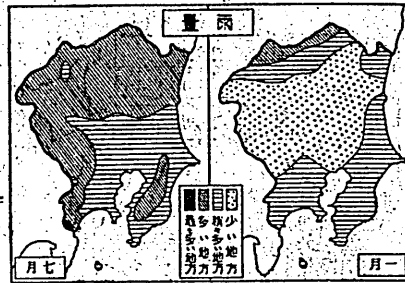
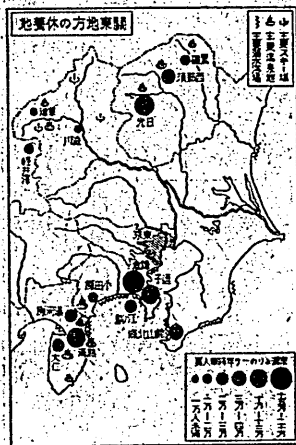
地方誌

灌漑し、上流は多く
發電に利用される。
利根川は、渡良瀬鬼
怒等の支流を集め
て、水量が多く、中流
から江戸川を分け、
運河を通じ、且霞浦、北浦、印旛沼等の湖群とも連
つて、利用の廣いことは、國內第一である。



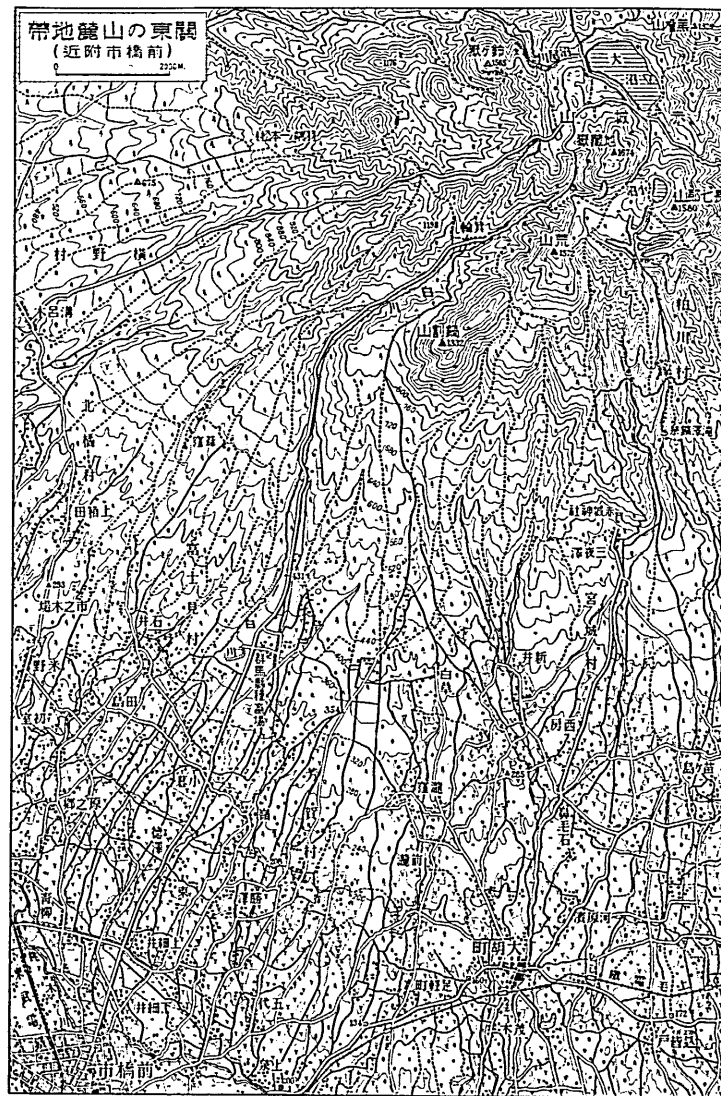
るけ助を輸運通交の岸沿てし來往ずえ絶が船汽小 流下の川根利解題

産業 地味が肥えて耕地が廣く、農
處も少くない。
の降雪があり、スキー場として名高い
から、平地は乾燥するが、山地には相當
は西北季節風が、山地を吹越して来る
颱風期には、大雨の降ることがある。冬
雨は夏に多く、殊に初夏の梅雨期には、濕潤の雨が續き、初秋の

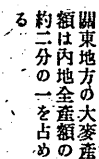


地は夏が涼しく、避暑の好適地である。

都と交通の便
もよく、著名な
静養地帯をな
し、又海水浴も
頗る盛である。日
光・箱根等の高

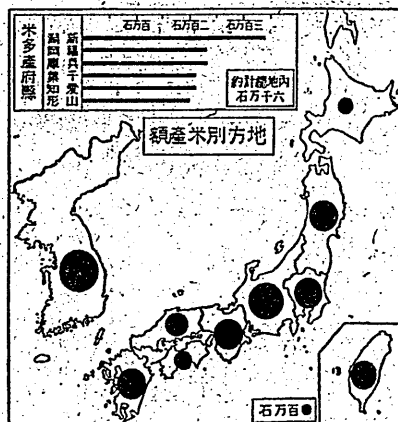


地とす接と野平しなを地斜傾緩いし美でのたし示を野裾南の山火城赤 帶地麓山の東關
とこい多に持てけかに近附町胡大らか市橋前。るあで色特の方地のこののい多の畑桑は方
帶地園桑の麓山城赤。るあで地要主の帶地業機蠶養け於に東關は方地のこ。るす意注に
(る依に圖形地一分萬五測陸)。くつに目がの變に地林森てつ從にむ進に上頂らか



業は極めて盛であるが、近年工業の發展が殊に著しい。

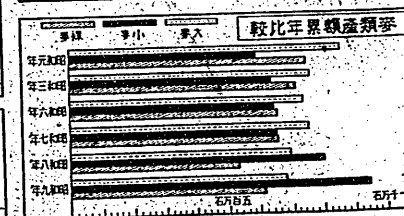
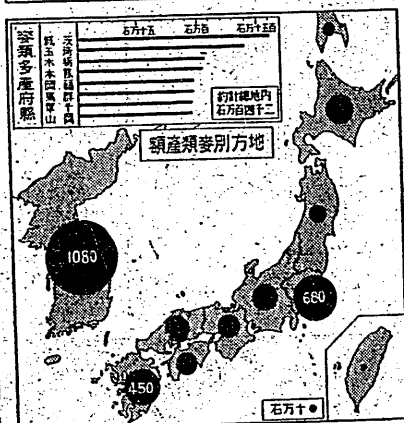
農業 温暖で夏に雨の多いことは、最、農業に適し、灌漑



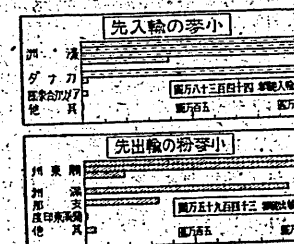
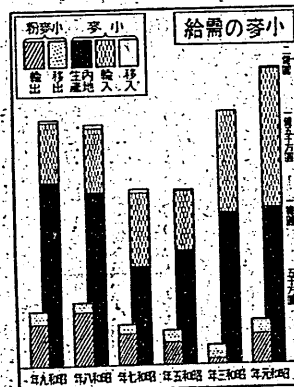
に便利な低地には、水田が廣く、米の産に富み、臺地や山麓には、麥類(大麥及小麥)、甘藷、落花生、煙草等の産が多く、殊に麥の産額は、内地の約三割を占め、葉煙草は約四割を占める。海に近い南部では、蜜柑(神奈川)、梨(神奈川)、枇杷(千葉)等の果實を出し、東京市の附近では、野菜、花卉等の園藝的農業が盛で、沿海地方では、その促成栽培が行はれる。

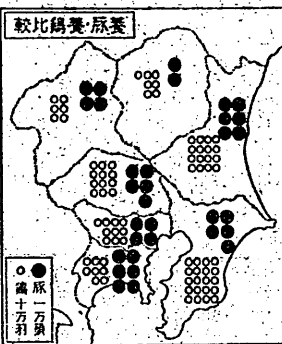
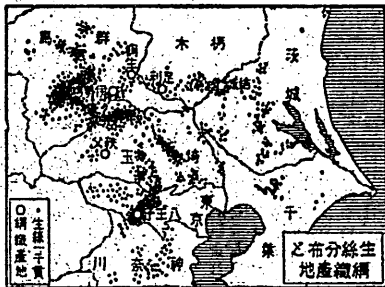
西部、西北部の山麓地方には、桑園が多く、全國樞要の

富山県	山形県
新潟県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県
茨城県	栃木県
群馬県	埼玉県
千葉県	東京都
神奈川県	静岡県
愛知県	岐阜県
富山県	石川県
福井県	山梨県
長野県	新潟県
山形県	秋田県
岩手県	青森県
宮城県	福島県



日本の麥は米に次ぐ重要な食料品で、産額も米の約四割に達し、その約三分の一は關東地方から産する。麥は小麥・大麥・ライ草・燕麥等の種類があり、大麥は食用の外ビール原料となり、小麥は醬油、味噌等の醸造にも用ひるが、欧米人の主食物で、國產商品としては最も大切である。我が國での大麥の需要は漸減するに反し、小麥は年々消費を増し、殊に近年製粉業が發達した爲、その原料としての輸入は甚だ多いが、小麥粉として輸出も増加したのを、金額上から見れば、出入の差額は大したことではない。近年小麥の産額は著しく増加し、國內の需要だけでは、大體自給の目的を達してゐる。





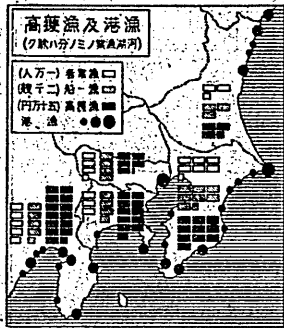
養蠶地帯で、前橋(群馬)、熊谷(埼玉)を始め、製絲地が多い。

牧畜 牧畜養鶏は、農家の副業であつたが、都市の附近では、牛乳鶏卵を目的として、之を専業とする者もあり、又神奈川縣では、

豚を多く飼つてハムを産する。

水産業 近海は各種の魚族に富み、

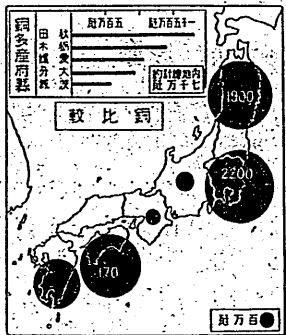
且京濱の消費地が近い爲に、漁業は盛に行はれ、鰯、秋刀魚、鯖、鰹等の漁獲が多い。半島部及びその附近には、大小の漁港が多く、利根



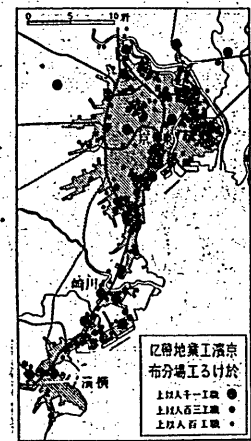
日光製紙工場



日光製紙工場



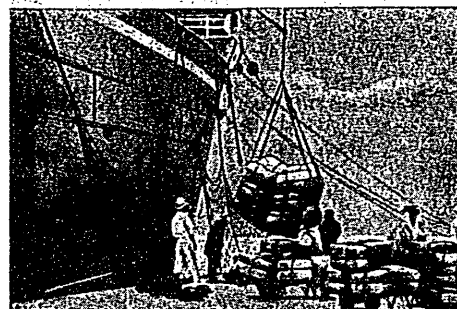
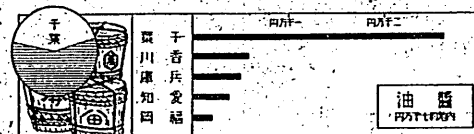
では買鑛による金銀等の製鍊も盛に行はれる。茨城縣の北部は、常磐炭田の一部で、石炭の産に富み、その他、處々から石材(阿武隈山地の花崗岩、大谷の砂利)を出す。



工業 京濱地方は、人口が稠密で、力を得易く、交通が整つて、原料製品の輸送が便利に上り、電力の供給も容易であるから、東京から川崎を経て、横濱に至る京濱地方は、大小各種の工場が

常磐炭は主として、羊毛及び長野方面の製絲地へ送られ、又京濱地方へも供給される。

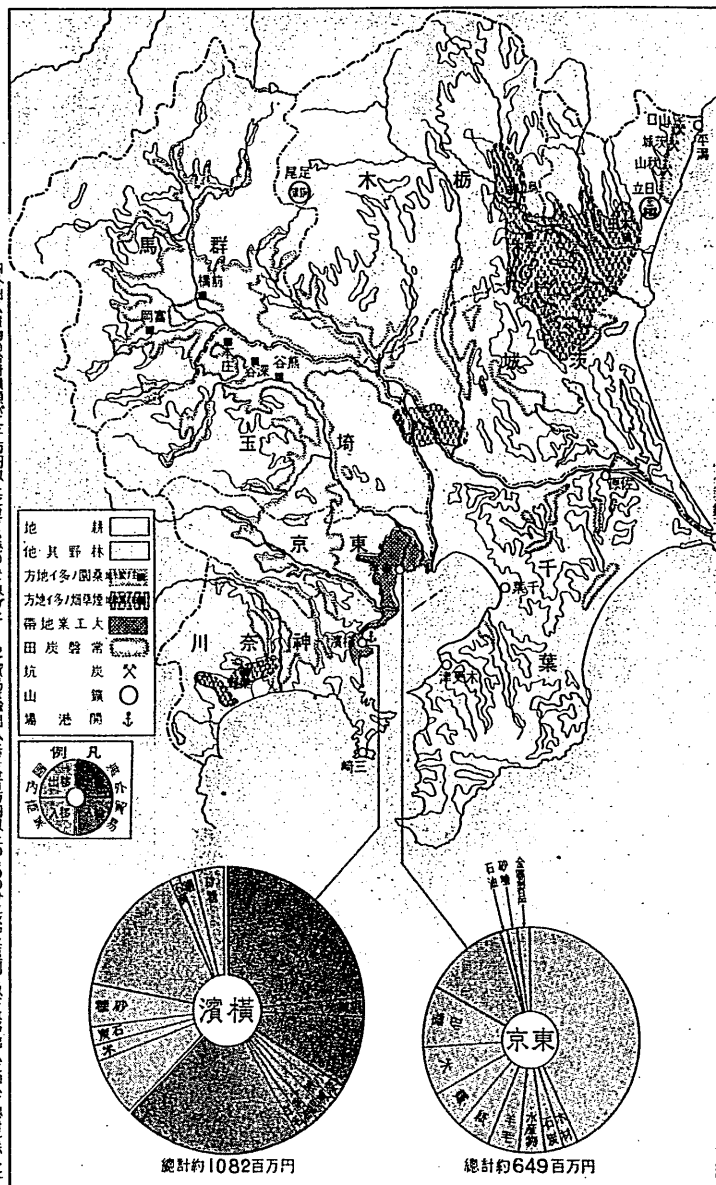
列んで、大工業地帯をなし、紡織工業（絹織、メリヤス、毛織等）、化学工業（品、紙、薬）、食品工業（砂糖、ビール等）、機械工業（各種の機、雑貨工業（石、具、靴等））等が甚だ盛である。特に印刷工業の盛大は他の地方に卓越してゐる。西部の養蠶製



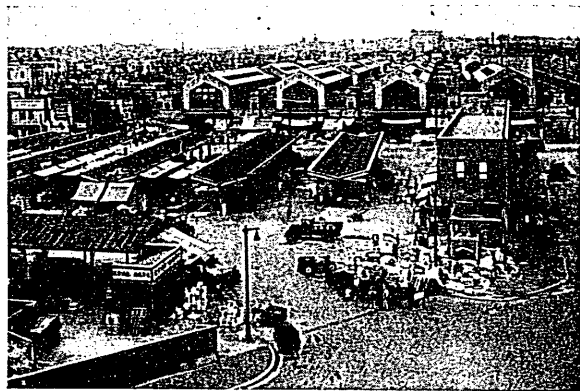
山積の絲生 出積の絲生 港濱横

絲地方では、原料の豊富に恵まれて、機業も大いに発達し、中でも桐生（馬群）、足利（木）、八王子（京）は、關東の三大絹織産地で、栃木、埼玉の兩縣には、綿織の産も多い。利根川の下流地方は、古くから醸造業が発達し、醤油、味噌等を多く出す。

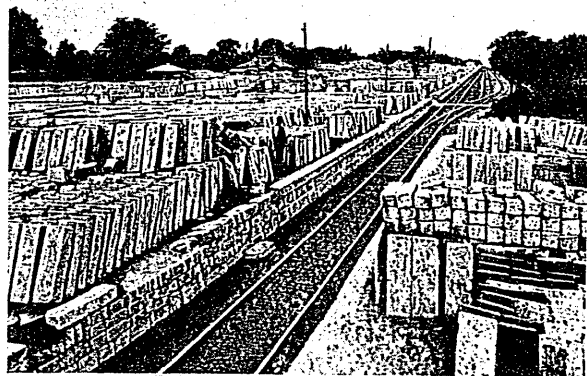
商業 工業の発達と共に、商業も活潑に行はれ、東京は内地商業の大中心として、大阪と



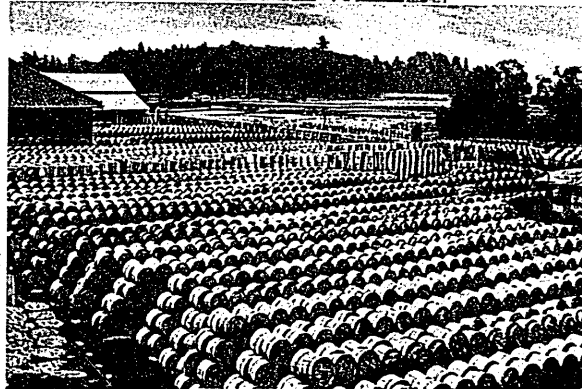
1. 内外出入貨物の合計額が三千万円以上のものを示した。2. 貿易の輸出入を三千万円以上のものを示した。以下は輸出入に及んで、統計を示した。



神田の古物市場
東京市民の日常生活と関係が深く日々書物を積来る車、之を積去る車が雑沓する

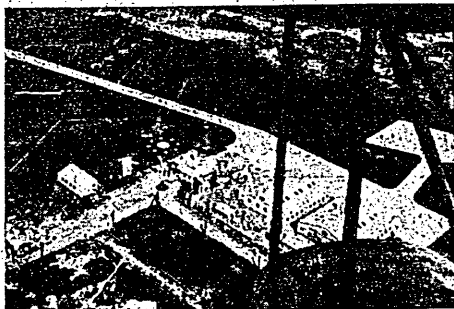


石材の堆積
栃木縣から運する大谷石堆積の光景で各地方に轉送されて用途が廣い



醬油樽材の乾燥
千葉縣の醬油は販路が甚だ廣く因はその樽材を乾燥せしめる光景

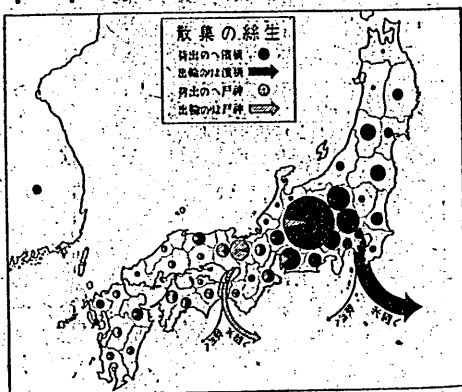
- 1 東京 神戸間
- 2 東京 名古屋間
- 3 大宮 高崎間
- 4 高崎 宮内間
- 5 高崎 新潟間
- 6 東京 青森間
- 7 東京 岩沼間
- 8 東京 銚子間
- 9 八王子 高崎間
- 10 小山 高崎間

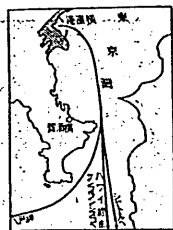


東京の京浜航空網に於ける中心大なる



對立し、横濱は神戸と共に、外國商業の二大關門で、生絲絹織等の輸出が特色である。交通、東京は江戸時代から幹線道路の集點であつたが、近年自動車の普及と共に、道路の新設改修が著しく進み、その利用が盛になつた。鐵道網の密なことは、全國第一で、東海道中央、高崎、上越、東北、信越、常磐、總武等の主要な線路があり、その多くは東京に集り、又八高、兩毛の諸線は、養蠶機業地を連ねる。東海道線は、丹那隧道の開通によつて、箱根越の急勾配





この示のし圖たを航寫路に附運圖敷をを見記てせ

の小都市や散村が多い。

人口と都會 早くから、我が政治上の中心となつてゐた上に、明治以來顯著な發達をなし、人口密度は全國第一で、人口一萬以上の都邑は八十に餘る。人口分布は略地形產業等によつて決定され、京濱地方は大商工都市が多い爲に、人口が最稠密で、養蠶機業都市の多い山麓地方が之に次ぐ。海岸や山間には靜養地遊覽地が多く、小都會が發達して相當の人口を收容し、平野の農業地方には農産中心

局が處々（送信小山、栃木、松本、長野、山梨、石川、福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿兒島、那覇）にある。近年國際無線電話（送信名崎、茨城、小室、埼玉）

も開けて、世界の諸國と通信が自由となつた。

海底電線があつて、米國の太平洋橫斷線と接續し、又壯大な無線電信

經て大陸及び臺灣を結ぶもの、奥羽を經て北海道に通ずるもの等があつて、その利用が益多くなつた。國際通信には、小笠原諸島に達する

運輸の中心となつてゐる。航空路は東京（羽）を起點とし、大阪を

航路は横濱を中心として、廣く内外の要港と通じ、東京も内地

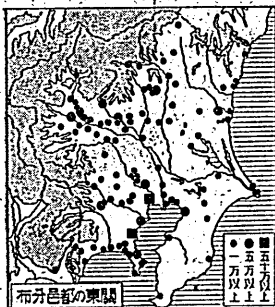
の内外には、地下鐵及び電車網の發達が著しい。

が緩やかられ、設備も運轉回数も、全國第一である。この他、東京市

のこの圖に附し、寫眞を添へて見せよう

人口密度の點

● 50万人以上
 ● 10万人以上
 ● 5万人以上



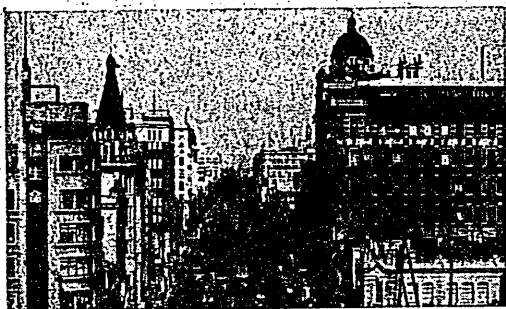
東京中央電信局
に属する

東京府 (千人)
東京市 五、八六
八王子市 五

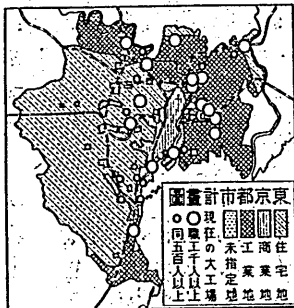
東京に大審院、控訴院・近衛及び第一師團司令部等がある。又東京帝國大學・商科大學・工業大學・文理科學大學を始め各種の學校が多い。

處誌

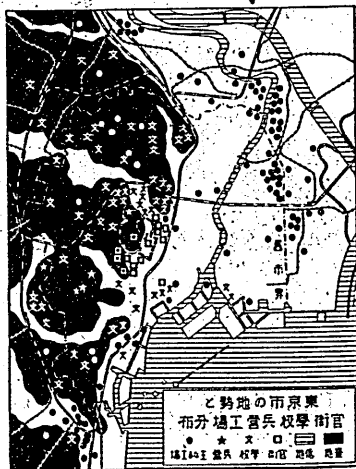
東京府 東京市及び附近の平野と
西部山地とに分れ、別に海上に離れて



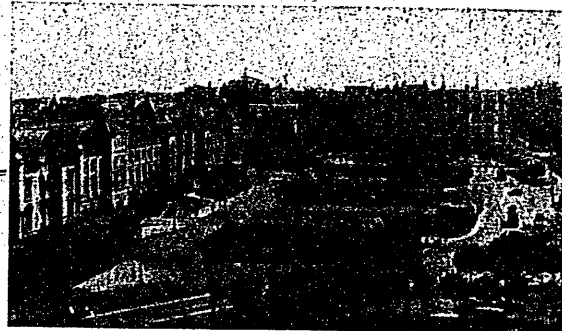
で路街るず通を樞中の市ね連を橋本日と橋京 街市の京東^都
るゐてし通が道鐵下地はに下地のこし往來に繁頻が車動自車電



島嶼部がある。**東京市**（五三區十）はもと江戸と稱へ



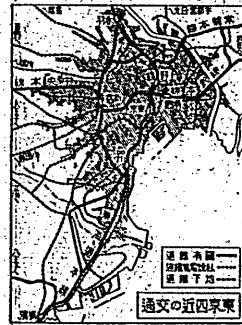
所謂武藏野原であつたが、徳川氏が幕府を開いて以來、面目が大いに改まり、明治の初年に帝都となつて、東京と改稱せられ、國勢の進展と共に、急激に



東は物建の方左で場廣の前驛京東はみ込植の面前 部一の内の丸國
るえ見も部一のルビ丸に側右・局便郵央中はるあの計時に面正・驛京

寺院には浅草寺・
泉岳寺・増上寺等
公園には日比谷・
上野芝神宮外苑
等がある

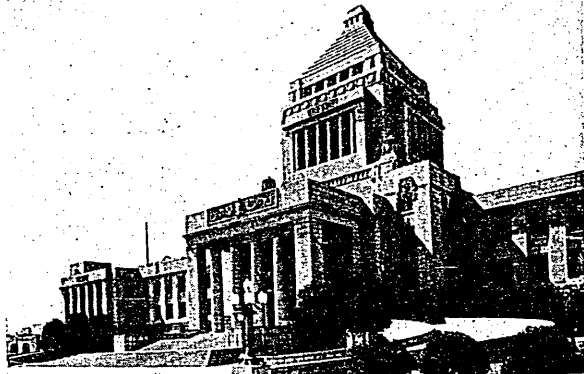
發達して、今は全國に於ける政治軍事經濟學術交通等
の大中心で、近年接續町村を編入し、世界屈指の大都會
となつた。地形上、山手(地)と下町(地)とに分れ、宮城は臺地
の縁端に當る形勝の地を占め、附近には壯大な議事堂
を始め、多くの官廳や諸外國の公館が集つてゐる。臺地
は主に住宅地で、學校兵營等も多く此處にある。隅田川
以東の低地(東江)及び沿海地方は工業地區で、其等の
中間が主要の商業地域である。丸之内を中心とする附
近には、近代式の高層建築が密集し、綠濃き宮城の靈域
と調和して、世界稀に見る美觀
を呈してゐる。明治神宮靖國神
社等は、國民崇敬の中心で、その他著名な社寺
勝地が散在し、觀光の客が常に多く、市内には
電車・バス・地下鐵道等の交通機關がよく備つ



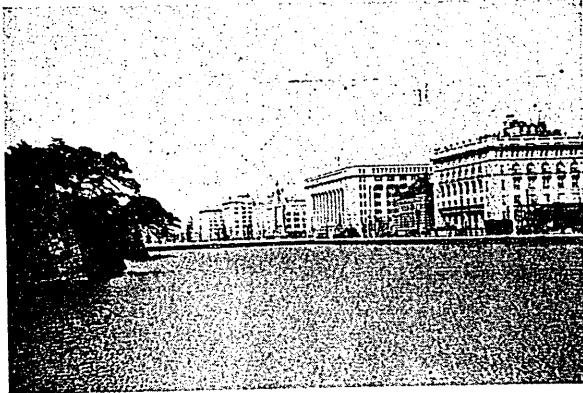
明治神宮
稀に見る幽邃な神域で國民の崇敬が極め
て厚い 圖は拜殿前の光景

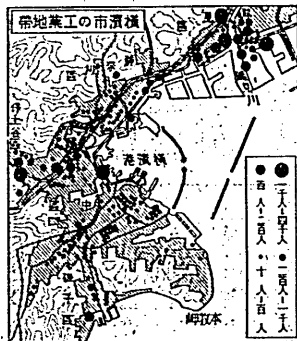


國會議事堂
白光輝く巍然たる大建築で東洋大帝國の
議政府たるに愧ぢない威容を備へてゐる



丸之内
左は内漆の石垣で昔ながらの老松が茂り
右は近代的高層建築が多く並んでゐる



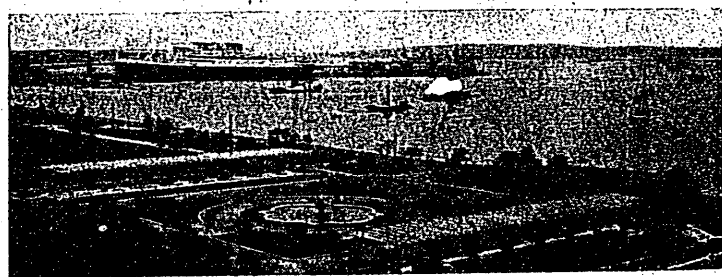
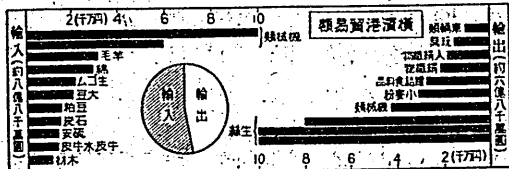


神奈川縣
川崎市 八三〇
横須賀市 一五〇
平塚市 一〇〇
藤沢市 八〇
鎌倉市 七〇
小田原市 六〇
茅ヶ崎市 五〇
浦賀町 四〇
横須賀に第一海軍
區鎮守府がある

てゐる。中央線の通ずる方面には、櫻に名高い小金井や立川飛行場がある。西部の臺地には、栽桑養蠶が盛に行はれ、八王子市は機業の中心地で、附近の淺川に多摩御陵がある。

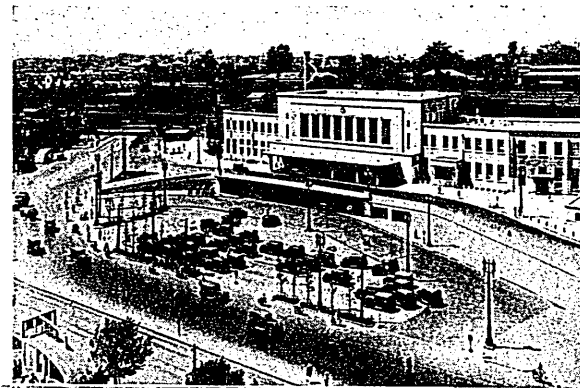
神奈川縣 東京灣岸相模灣岸及び背後の山地に分れる。東京灣岸の横濱市(七)は、數十年前まで小漁村であつたが、今は東京の門戸をなす

大開港場で、港灣の施設がよく整ひ、内外汽船の出入が多く、海岸には倉庫や船渠が並び、埋立地には工場(製粉等)が多く、隣接の川崎市(鋼材、電球等)と共に、京濱工業

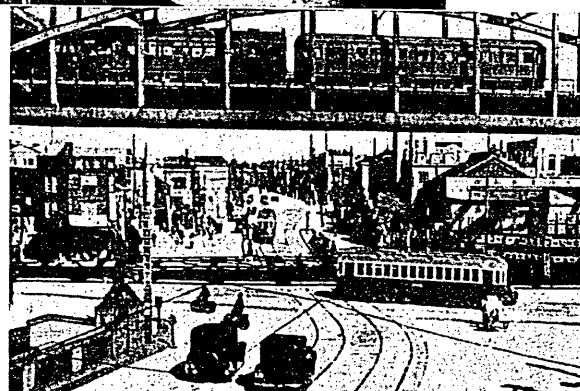


港濱横 近景の美しい庭園は山下公園の一部で、内港には大小の船が多数停泊してゐる

上野驛
東京の東北方面に對する玄関で、日々昇降の客が多く、背後の木立は上野公園である



泉岳寺
寫眞には四十七士の墓の一部が現はれてゐる。参詣者が多く、香煙が常に絶えない

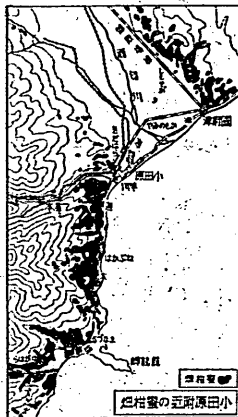


市内の一部(昌平橋附近)
上には高架電車、下には電車や自動車の往來するが、交通の頻繁が察せられる

横須賀市の一部久里濱はペルリの上陸地である

湘南地方には葉山・逗子・鎌倉・藤澤・茅ヶ崎・平塚・大磯・國府津・小田原等の都邑が並び別荘が多い

鎌倉には鶴岡八幡宮・建長寺・圓覺寺・大佛・鎌倉宮（祭神護良親王）等がある



地帯の一部をなす。横須賀市は軍港町で、鎮守府及び壮大な工廠があり、浦賀は造船が行はれ、三崎は漁業の中心である。相模灣の沿岸地方は湘南と呼ばれ、氣候がよく風景も勝れ、京濱地方に對する第一の静養地帯である。その中心の鎌倉は、歴史上の遺跡に富み、平塚市は近年工業（紡績・火）が盛となつた。大山は夏日登山者が多く、山麓の秦野盆地は、煙草の栽培が盛である。小田原は箱根山麓の宿驛として、重要な城下町であつたが、今は海産加工が行はれ、附近に蜜柑山が多い。

箱根山は代表的の複式火山で、大きな舊噴火口の中に、數箇の火口丘が聳え、火口原には、蘆湖を湛へ、早川が此處から流出して、山水の景に富み、

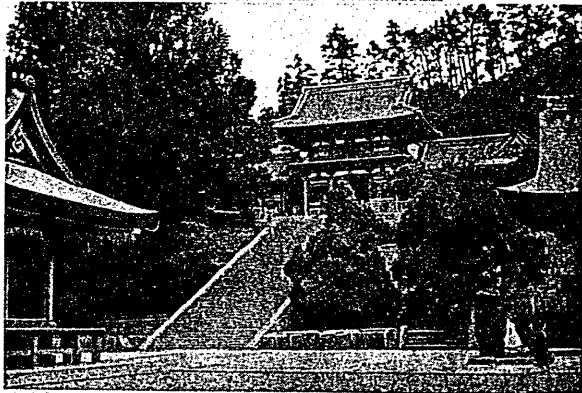


四景の山根箱 一部は山の正面 駒馬は時に方左に遙 近景は湖及箱根山

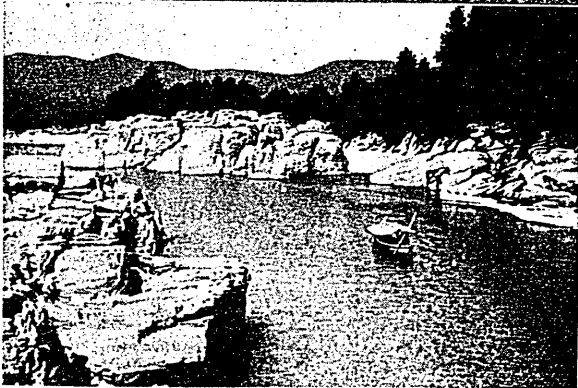
横濱の市街
市の繁榮は貿易に與る所が多く、圖はその貿易商店の並ぶ辨天通



鶴岡八幡宮
正面に樓門が峙ち、左右に廻廊を繞らして、社殿を圍み、總朱塗の華美な建築である



長海
千態萬様の結晶片岩が創立し、清流奇岩の風景は、秩父赤壁の稱に背かない

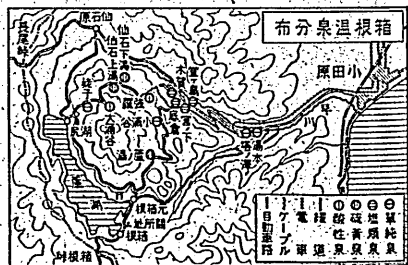




修理工場の機車車場へ光景



近から良質の甘
諸を産し、所澤は
我が航空術の發
祥地である。熊谷
市は蘭の集散地
で、又本庄、深谷等



埼玉縣
川口市
浦和市
熊谷市
秩父市
大宮市

各種の温泉は處々に湧き、箱根八里の舊道や關所の址も残り、自動車路は縦横に通じ、登山電車、ケーブル等も設けられ、理想的の静養地で、入浴遊覽の客が多く、富士山と共に國立公園である。

埼玉縣 大部は關東平野に屬し、西部山地には秩父盆地がある。川口市は鑄物の産が多く、浦和市は東京の郊外都市として著しく發達し、大宮は鐵道の分岐點に當り、その工場がある。川口市は養蠶機業の二中心で、附

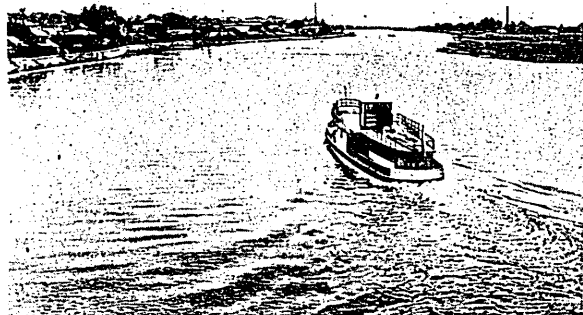
榛名富士
天神峠からの展望で正面の山は火口丘の
榛名富士、湖水は榛名湖である

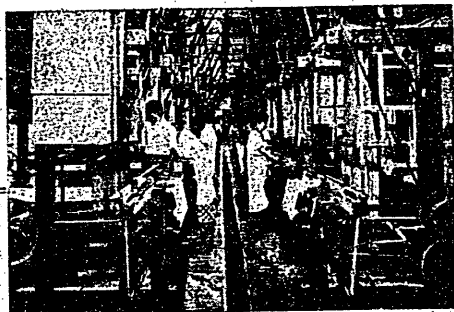


日光の陽明門
精巧な彫刻は終日觀るも厭くことなしと
て俗に日登門と呼ばれる

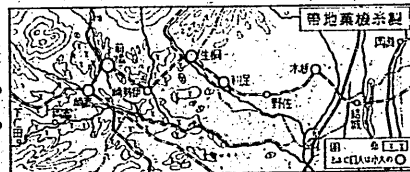


水郷地方
大小の湖群間に小運河が四通し水運が極めてよく水村が處々に點在する



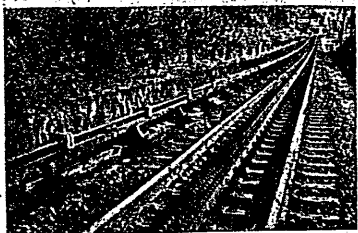


絹織物の工場 機織の向出輪を織る



と共に製絲業が盛に行はれる。秩父盆地は機業が盛で、秩父はその中心である。この地方は、我が國地質學の搖籃と稱せられ、溪谷美に名高い長瀬がある。

群馬縣南部の平野は、山麓地方と共に關東に於ける養蠶機業地帯の主部で、盛大な製絲地や機業地が多い。前橋市は生絲の大市場として活況を



碓氷峠に設けられろるアト式軌條



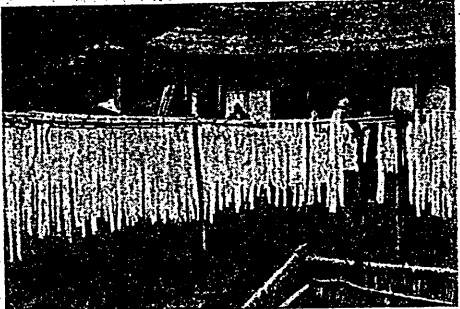
第一の機業市で、伊勢崎も銘仙の産に名高い。西南の富岡は、我が新式製絲業の發祥地で、東部の館林には製粉その他の工場がある。高崎市は鐵

群馬縣
前橋市
桐生市
高崎市
伊勢崎町
（千人）
（千人）
（千人）
（千人）
（千人）

道の要地に位する商工都市で、西走せる信越線はアト式軌條によつて碓氷峠を越え、北走せる上越線は、ループ線によつて我が國最長の清水隧道を通ずる。山地には榛名・赤城・妙義等の名山が聳え、榛名の山腹にある伊香保は、西北の草津と共に、著名な温泉場である。

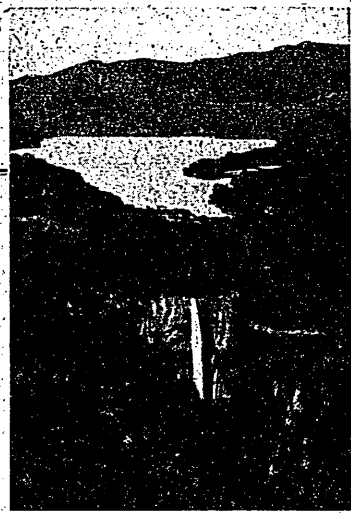
栃木縣西南部は養蠶機業地帯の續きで、足利市（相模）佐野（総持）等の機業地がある。栃木市は大麻の集散地で、附近では麻穀から懷爐灰を造り、小山は鐵道の要地である。宇都宮市は交通の要地に當る舊城下町で、附近から干瓢を出

栃木縣
宇都宮市
足利市
栃木市
足尾町
日光町
（千人）
（千人）
（千人）
（千人）
（千人）
宇都宮に第十四師團司令部がある



乾燥の干瓢 似に肉の割を乾でたのもた

し、鹿沼には製麻の工場がある。日光は美術建築を代表せる日光廟と、自然の風景とで世界に知られ、足尾は名高い鐵



壯だ甚が勢水れはいと米百下直 瀧巖華園 山連根白は景遠 湖寺神中は景中

山町である。

日光は人工美と山水美とを兼備へた處で華麗な東照宮や大猷廟のある外雄大な男體山の麓には清き中禪寺湖を湛へその水は落ちて華嚴滝となり流れて大谷川となつて風景を添へその他大小の瀑布が處々に懸り電車ケーブル自動車等の遊覽機關も備つて觀光の客が常に多い殊に外人向の觀光地として第一に數へられ附近の地と共に國立公園となつてゐる。

茨城縣 水戸市 日立市 古河市 土浦市 助川町 日立町 浦河町 土浦町

那珂川上流の那須野は灌漑水路の完成によつて開墾が著しく進み山地には那須鹽原鬼怒川等の溫泉場がある。東部は茨城縣の一部と共に名高い煙草産地で茂木烏山はその中心地である。茨城縣 北部は山丘が多くその一部は常磐炭田に屬する。日立には著名な銅山があり助川は新興の工業町で太田は葉煙草集散の中心地である。中部には筑波山が聳え此處から續く山丘の爲に東西の二部に分れる。東部の水戸市は名高い舊城下町で梅で知られた常

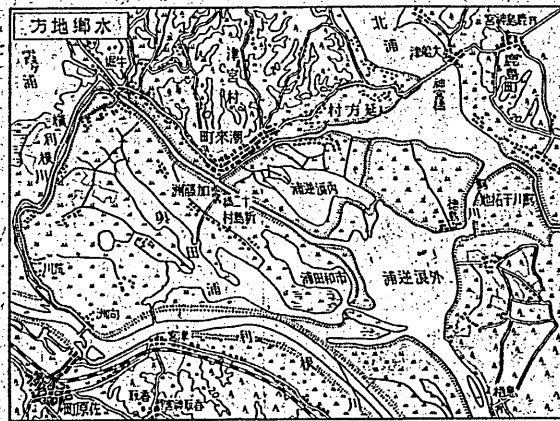


亭文好は物建階二の方右で園名のらか昔 園公磐常

磐公園があり那珂川の口に臨む湊は漁港で附近に大洗の勝地があり西部の結城は紬の名産地である。東南部は大洗の湖水が群をなし利根川の本支流と共に水路が縦横し水郷の景觀に名高く潮來はその中心地である。附近の鹿島神宮は香取神宮(豊千)と共に名高い古社である。土浦は霞浦の湖港で蘭の集散が多く湖中には公魚白魚等を産する。

土浦の附近に海軍航空隊の高層氣象臺がある。千葉縣 千葉市 市川市 船橋市 館山北條町

千葉縣 北部は水郷地方の一部でこの方面には野田(海流山)佐原(道)銚子市(鹽)等の醸造地が多い。銚子は利根川の口に臨み重要な漁港で鯉節の製造が盛に行はれる。成田は不動堂(新勝)の門前町で



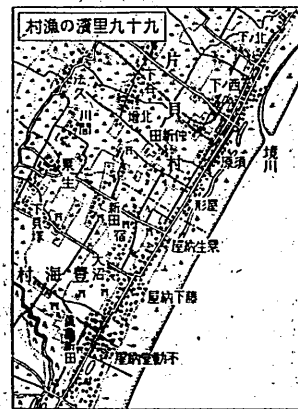


千葉に醫科大學がある

千葉に醫科大學がある

豆南諸島

ある。中部の臺地は、雑木林や原野が多く、その一部は練兵に利用され、陸軍の學校や兵營が多い。千葉市は古い城下町で、今は交通の要地となり、船橋市・市川市は、共に東京の郊外都市で、市川は毛絲の産が多い。房總半島には丘陵が多く、その斜面には野菜の促成栽培を行ひ、又枇杷の良果を産する。沿岸は良好の靜養地帯で、館山・北條・勝浦等の休養に適する。小漁港が多い。九十九里濱の沿岸には、漁業聚落が帶狀に並び、茂原には天然ガスが噴出し、之を工業に利用してゐる。



豆南諸島 豆南諸島は、伊豆七島・小笠原諸島等から成り、硫黄島・諸島・南鳥島等と共に、東京府の管轄に屬し、その多くは、富士火山帶に屬する火山島である。伊豆七島では、漁業・牧牛を主業とし、又椿油の特

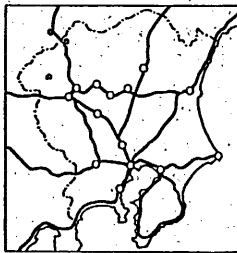


大島に樹の皮を以て牛乳を飼料に製する乳製品は悉くはる

産を出す。大島には、三原山の活火山が聳え、その裾野では牛を養つて、バターを産し、海岸には波浮の火口港がある。小笠原諸島は、遠く太平洋上にあつて、軍事上重要な位置を占める。氣候が熱帶性を帶び、植物景觀が本州とは著しく違つてゐる。甘蔗はこの地の主産物であつたが、近年冬季に野菜を

父島は要塞地帯である

作つて、盛に京濱方面に出荷し、海には海龜を産する。住民は内地人の外、歸化した外國人の子孫も住んでゐる。父島の二見は、日米兩國の海底電線接續地で、西方の沖鳥島は、我が國の最南端に當る。



此の圖に別紙に示した都

第二章 奥羽地方

通說

昔は陸奥、出羽と呼ばれた地方で、本州の北端を占め、東北地方ともいふ位置が稍北に偏し、氣候も良好でない爲、面積は關東地方の二倍に餘るが、人口はその半にも達しない。行政上六縣に分れる。

地勢 三條の高地が南北に連つて、二條の低地帶を挟み、地勢上、中部・東部・西部に分れる。

中部には奥羽山脈が連り、那須火山帯に屬する八甲田^{ハチカダ}

山岩^{イハ}手山^テ磐梯^{イワン}山等が此處に噴^フ起^テし、又猪苗代^{イヌヅメ}、田澤^{タサ}十和田^{ジュウワダ}等の火山と關係のある湖水が多く、温泉も處々にある。

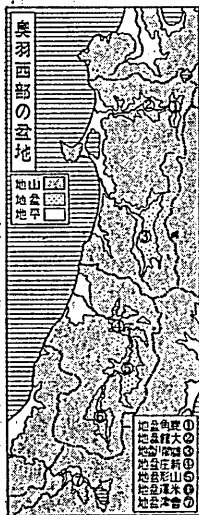


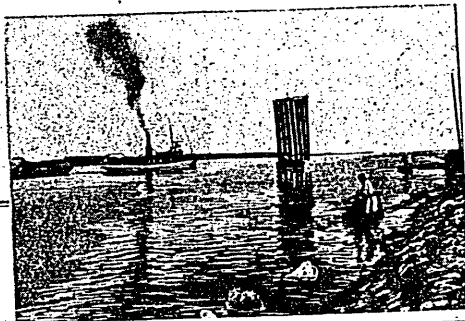
A black and white illustration of Mount Fuji. The mountain is depicted with a textured, stippled surface, showing its iconic conical shape. In the foreground, there is a body of water, possibly a lake or bay, with a small, dark, rocky island or peninsula on the left. The shoreline is lined with a dense forest of trees. The overall style is that of a woodblock print or a detailed stippled drawing.

川上北は最近で山名るれば呼もと士富部南 山手岩

川上北は最近で山名なる
武隈の三川が此處を流れて、下流に廣い仙臺平野を開き、馬淵
川は北流し、その北方に臺地狀の原野がある。阿武隈山脈の東
側には、狭い海岸平野があるが、北上山脈は、山地が海岸に迫つ
てリヤス式をなし、天然の良港が多い。南端は、牡鹿半島となつ
て仙臺灣を抱へ、海上に金華山がある。

西部の山地は、南部に越後山脈が連る外、低い出羽丘陵が斷續してゐるが、鳥海火山帶に屬する火山が、之に沿つて噴出し、月山、鳥海





川上最目 山岩木山等の

名山が聳えて
ある。西部山地
と中部山地と
の間は、多くの

盆地に分れ、阿賀最上雄物米代岩木等

の諸川が、その水を集め、横谷をなして

日本海に注ぎ、下流に稍、廣い庄内秋田

津輕等の平野がある。日本海岸は一帯に平直で、處々に斷崖

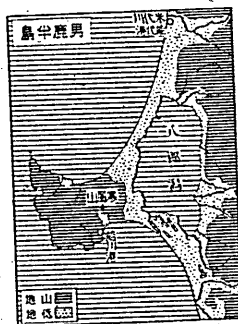
をなす處もあるが、砂丘の連る砂濱が多く、男鹿半島が單調を破つて

突出し、八郎潟を圍んである。

本州の北端は、分れて津輕下北の兩半

島となり、その間に陸奥灣を挟む。津輕海

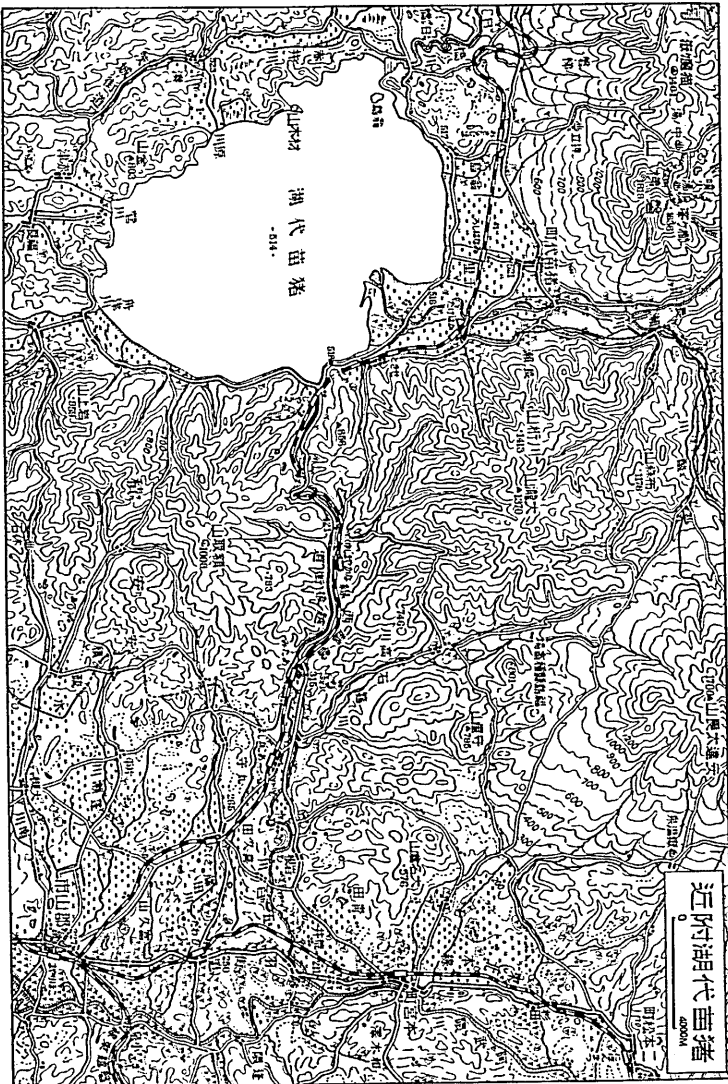
峽は國防上重要な處である。



砂がたつあで島ともは島半 岩奇の島半鹿男 男鹿半島

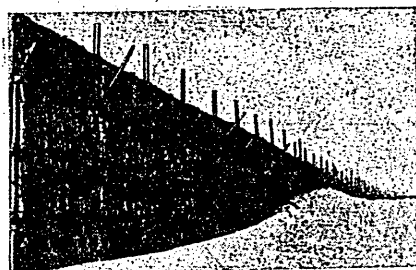
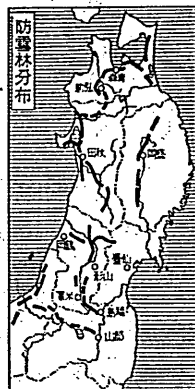


て見を圖附し寫を圖のこ 河・帶山火・脈山たし示 半るあてけ附の↓び及川 よせ入記を名の灣海・島



雄物代湖附近 磐梯山と猪苗代湖と阿武隈川流域の郡山市とに注意する。猪苗代湖に二つの排水口がある。一は日輪川で西流して阿賀川となり日本海に入る。一は土戸附近から安

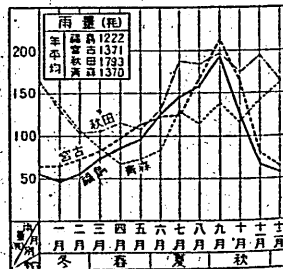
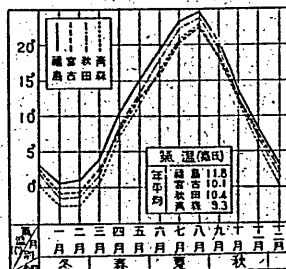
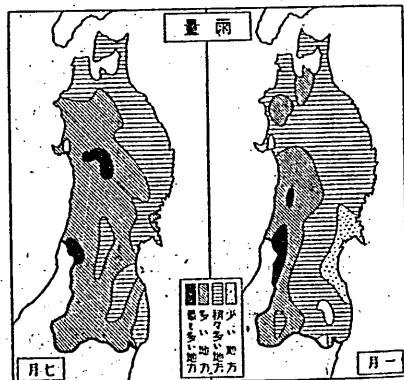
地を開拓し且發電に利用され地方開發の要因をなしている。(隨處五萬分一地形圖に依る)



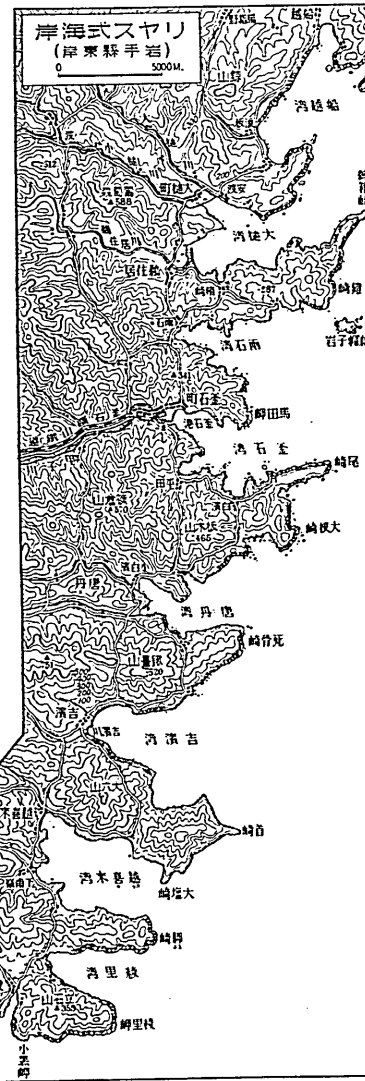
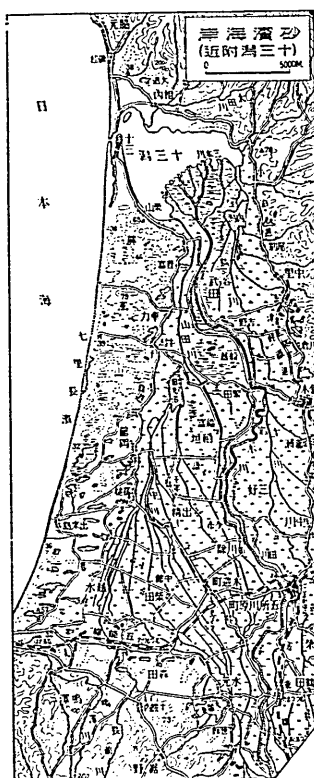
柵雪防柵 柵雪防柵に對し雪の爲に設けられた

東北部の海上では初夏の候度濃霧を起すことがある

氣候 本州中では、氣温が最も低く、内部の平野、盆地は、海岸地方よりも一層寒暑の差が著しい。太平洋方面は千島寒流が南下し、時にこの地方に冷害を起すことがある。日本海方面は、對馬暖流と季節風との關係で、冬に雨量が多く、殊に山麓や盆地は、積雪が甚だ深いので、野外の労働を妨げられ、又鐵道線路には、防雪柵や防雪林が處々に設けられてある。



温が最も低く、内部の平野、盆地は、海岸地方よりも一層寒暑の差が著しい。太平洋方面は千島寒流が南下し、時にこの地方に冷害を起すことがある。日本海方面は、對馬暖流と季節風との關係で、冬に雨量が多く、殊に山麓や盆地は、積雪が甚だ深いので、野外の労働を妨げられ、又鐵道線路には、防雪柵や防雪林が處々に設けられてある。

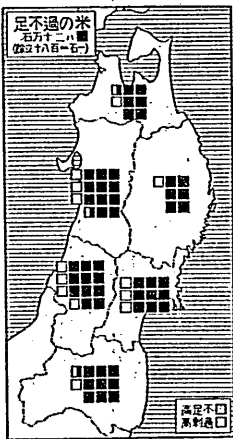


にうやの圖てし水沈が々谷たるてし遠發に麓東の地山上北(右) 海岸式スヤリあの港漁と川小はに奥の灣く少が地平てつ道に海に直が地山、しなを海岸式スヤリな事見たれま包に林松しなを濱砂るれば呼と濱長里七は岸海の野平輕津(左)。るあで徴特がのる(る依に圖形地一分萬五潤陸)。るあてれば呼と山風屏り連が丘砂の小大

産業 風土

青森縣の苹果、山形縣の櫻桃は共に産額が全國第一である。

や文化の關係から、産業の狀態が關東地方とは著しく違



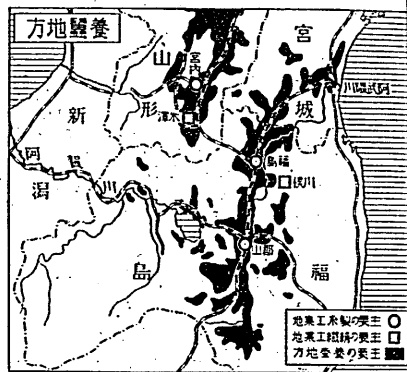
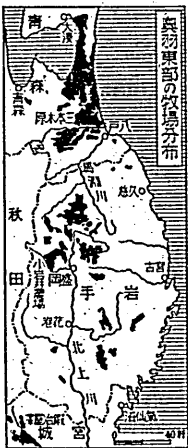
ひ、林業、牧畜、鑛業等の基礎産業は甚だ盛であるが、工業は一部の外、未だ著しく發達してゐない。

農業 農産は馬鈴薯、大豆、稗等の如き、耐寒性畑作が廣く行はれる。外、庄内、秋田、仙臺等の諸平野は、我が國有數の米産地で、他地方へも多く移出され、南部では煙草を産する。又寒冷な氣候に適する苹果、櫻桃等の果實を多く出し、遠く他の地方へも輸送する。

比較的溫暖な南部には、桑畑が多く開けて、福島、山形の盆地で

は、養蠶が盛に行はれる。郡山、宮内、山形等は製絲業の中心地である。

牧畜 東部の原野は、牧草に富むので、古來馬の牧畜が盛に行はれたが、今は我が國の重要な軍馬供給地で、馬市も各地



に開かれる。

林業 日本海斜面の米代川、雄物川の上流には杉の美林があり、下北津輕の兩半島には、羅漢柏の森林があつて、良材の産が多く、

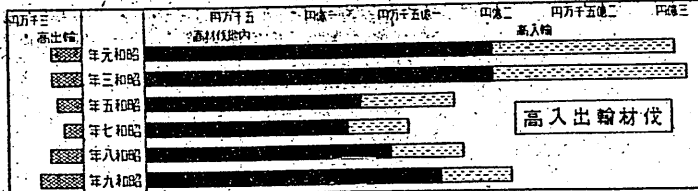
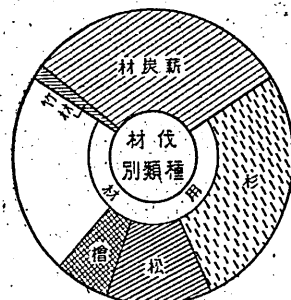
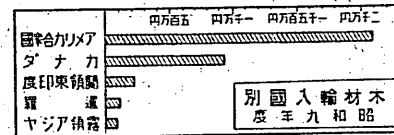
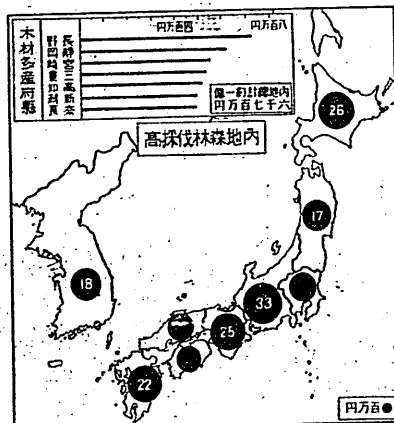


奥羽地方の森林地内から三割弱の出す木材の積堆

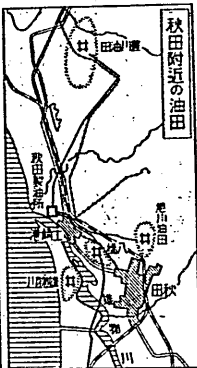
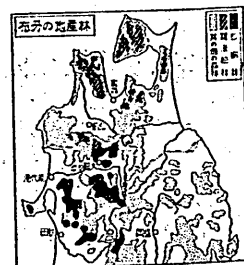


小河原沼附近に放牧する馬の群

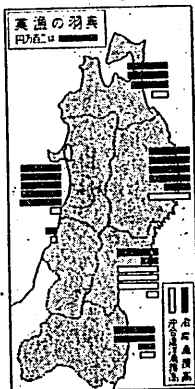
日本の木材 日本は林地の多い国で、總面積の半を超え、といはれるが、山地が多く伐採に不便なものと、伐採に便利な處は、人工植林による若木が多いので、年々多量の木材を米國・カナダ及び南洋等から輸入してゐる。朝鮮や臺灣にも原生林はあるが、伐材に不便なことは内地と同様で、獨り樺太北海道はバルブ原料の供給が少くない。内地で出材量の多いのは、奥羽の米代川流域と近隣の熊野川流域とで、木曾川・吉野川・天龍川等の流域が之に次ぎ、縣としては長野・奈良・静岡・宮崎・秋田等が重要な産地である。森林は用材の外、薪炭用となるものも相應に多く、福島・岩手及び宮崎等の産額は他の府縣に卓越し、奥羽及び南九州の諸縣には概して多い。



處々に盛大な製材所がある。岩手縣は薪炭の産額が多く、木炭は京濱地方への輸送も少くない。
水産業 漁業は寒暖二流のある太平洋方面に盛で、鮭・鰻・鰯・魚等の漁獲は殊に著名である。沿岸には處々に漁港が發達し、且金華山沖は有名な捕鯨區域となつてゐる。



鑛業 鑛産はこの地方の重要な富源で、殊に秋田縣には、小坂・尾去澤等を始め、重要鑛山が多く、盛に銅金銀等を産し、石油は新潟縣と共に、我が國の



二大産地である。岩手縣の釜石・鑛山は、内地に於ける殆ど唯一の鐵山で、細倉(宮城)の亞鉛鑛、松尾(岩手)沼尻(福島の硫黄も亦名高く、常磐炭田(福島)からは盛に石炭を出す。



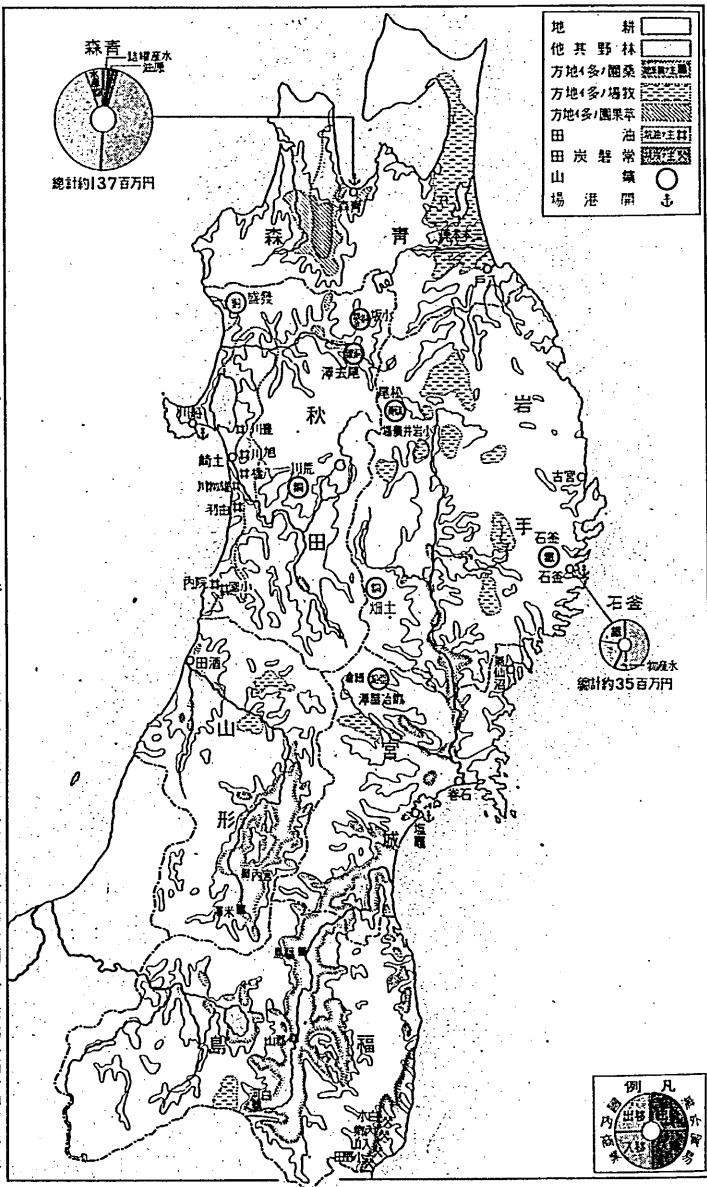
工細木曲器田秋 他のそ子椅で産特の縣田秋

石油は工業上、軍用上、交通上等に極めて重要であるが、我が國にはその産出が少い。主要の産地は秋田油田と越後油田とで、臺灣にも多少の産出があり、北樺太には採掘権を持つ油田があり、滿洲國では油母頁岩からの採油及び石炭液化等の事業が行はれてゐるが、尙需要の一割餘を産するのみで、大部分は米國、蘭領東印度等から輸入してゐる。

工業 工業の稍、大規模に行はれるのは、製絲、機業、製材等で、米澤(山形)、川俣(福島)等は絹織業、能代(秋田)、青森は共に製材業の中心である。その他は陶磁器(福島)、漆器(福島)、鐵器(山形)、木工品(宮城、秋田)等の手工品を出すに過ぎない。

商業 この地方は、主として東京の商圏(區域)に屬してゐるが、地方的の市場が處々にあり、福島はその盛な處である。青森、船川、港(秋田)、釜(釜石)、八戸(青森)等は、何れも開港場であるが、青森が位置の關係上、取引が稍多く、その他の貿易は振はない。

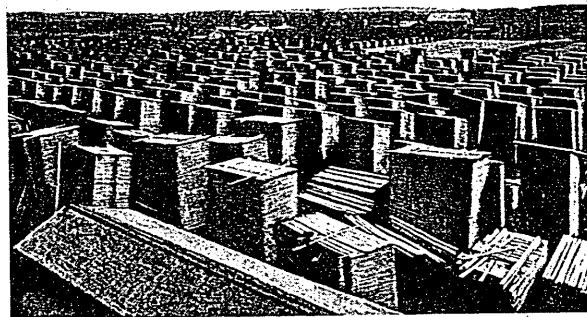
交通 主要の街道は、東岸(道)、中央(街)、西岸(道)、北國(道)を通じ、勿來、白河(以上)、念珠(山形)等には昔の關所の址が残つてゐる。鐵道は東北常磐、奥羽



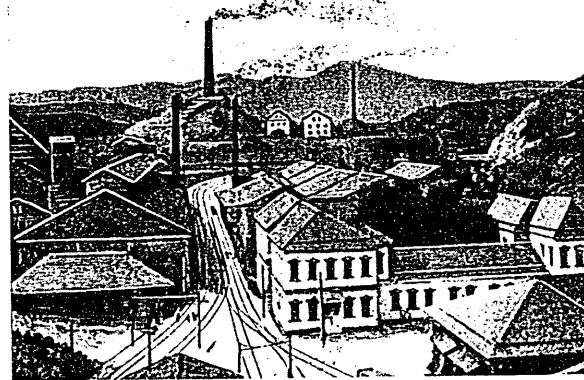
1 内外出入貨物の計算額が千万円以上を運送する港のものを示した 2 貿易の輸出入額が千円以上のものを表示し、以下は移出輸入を加へて統計示した



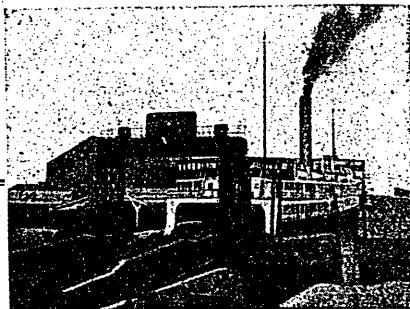
小岩井農場
岩手山の裾野を占める大農場で羊の一群
が温和な情景を描いてゐる



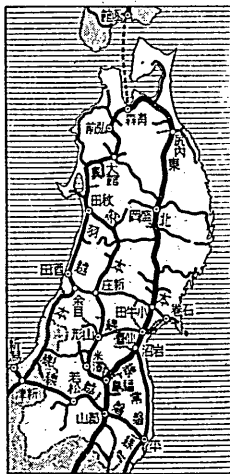
製材の堆積
秋田縣の杉は林相・材質共に名高くその
製材を堆積せる能代川口の光景



小坂鋸山
奥羽第一の大規模の製鋸所を有し自山の
産出以外に他の産鋸をも製鋸する



函館・青森間の船絡連の間に
函館・青森間の船絡連の間に
函館・青森間の船絡連の間に



地方と連る。青森は鐵道交通の要點に位し、函館との間に
鐵道連絡船（青森・函館）を通ずる。又磐城、仙山、陸羽、横黒、花輪等
の諸線は、東西の横斷線として、重要なものである。

太平洋岸には良港が少くないが、背後の地形が悪く、日本海岸は、冬
に風浪が荒いので、海運の發達を妨げ
られ、僅に近海往復の船が寄港するの
みで、國際的に重要な航路はない。航空
路は關東及び北海道に通じてゐる。

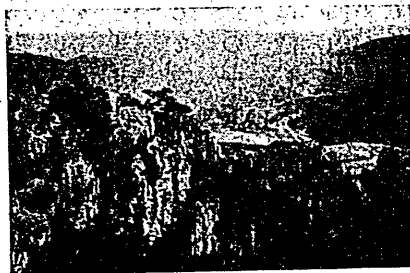
人口と都會 人口は平野盆地等に集中し、そ



の各に一二の中心都會が發達してゐるが全體としての密度は、本州中で最低、都會の大きなものは概昔の城下町か又は船着場で、新進の都市としては、鑛業町が稍多く、工業の爲に發達してゐる町は少い。

處誌

福島縣 東海岸の平市は、常磐炭田地方の中心をなし、且磐越線の起點として活況を呈し、中村は、相馬焼の名産地である。阿武隈川の流域には桑畑が多く、福島市は生絲羽二重の取引が盛に行はれ、北方に飯坂温泉がある。川俣は羽三重の産地で、東北の靈山は史上に名高い。郡山市は新進の工業地で、製絲紡績及び化學工業等の近代工業が發達し、南部の白河は、三春と共に馬市で名高い。會津盆地は、奥羽の要害として重視せられた處で、その中心の若松市は、維新の古戰場として名高く、飯盛山にある白虎隊の



岩の石奇に景名又く仙臺神社がる

福島縣
郡山市
福島市
若松市
平市
白河町
千人
五千人
三万人

墓は、當時の美談を遺してゐる。市の内外より陶器漆器等を産し、附近に東山温泉がある。

磐梯山は明治年間の大爆發によつて名高く、北麓にはその爲に多くの小湖が出来た。南麓の猪苗代湖は、風景がよく、此處から流出する日橋川は、落差を發電に利用してその電力は、遠く京濱地方に送られ、又東側の安積

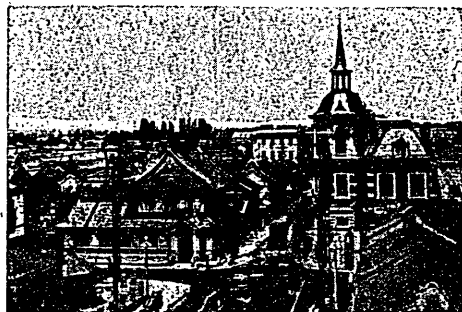
疏水(瀧水)も發電に利用されて、附近の工業を發達させてゐる。



湖川野小と山梯磐のつ一の水湖た來出つよに發爆

宮城縣
仙臺市
右巻市
鹽釜町
千人
三千人
五千人

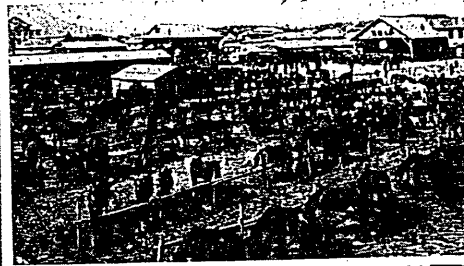
仙臺に第二師團司令部・東北帝國大學がある



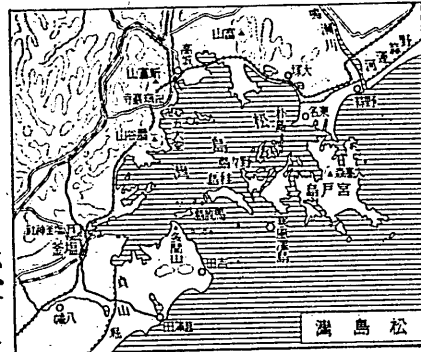
景光の街字十い高名らか昔れば呼と辻の蕉芭 市臺仙

宮城縣 仙臺平野の仙臺市は、雄藩の城下町として發達したが、今は學藝の中心をなし、東北第一の都會で、工業(綿紡績)も行はれ、埋木細工は古來の名産である。鹽釜はその外港で、魚市が立ち、又松島遊覽船の發着地である。松島灣は、侵蝕と沈水とにより出来たもので、

大小無数の島が、青松を戴いて散在し、勝景の地として名高い。石巻市は北上川口の要地を占め、重要な米の



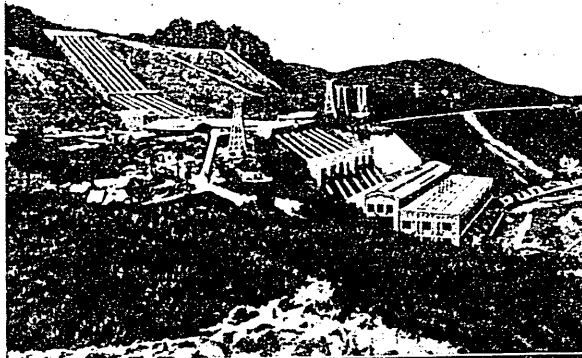
市馬の岡盛(岩手県) 遠近から集る人と馬を極める



島松(岩手県) 宮島上の空から湖内散る諸島を眺めため光景

岩手県
盛岡市
釜石市
宮古町
三美

猪苗代発電所
猪苗代湖から流出する日橋川の水を引いた猪苗代第一発電所の壯観



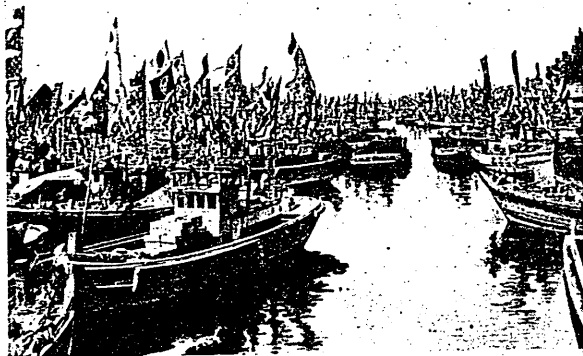
白虎隊の墓
維新の際に飯盛山で悲壯な最後を遂げた
義烈の少年勇士十七名の墓



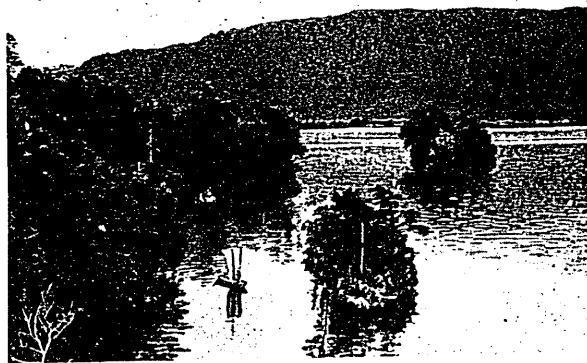
松島の五大堂
瑞巖寺前の海岸に近い小島上にある建物
で松島の風景に一段の詩情を添へる



中尊寺の金色堂
今日完全に残つてゐるのはこの金色堂と
經藏で藤原氏三代の榮華を偲ぶに足る



八戸の漁船
八戸市を流れる湊川の河口は漁船が常に
輻湊する 圖はその大漁の賑ひ



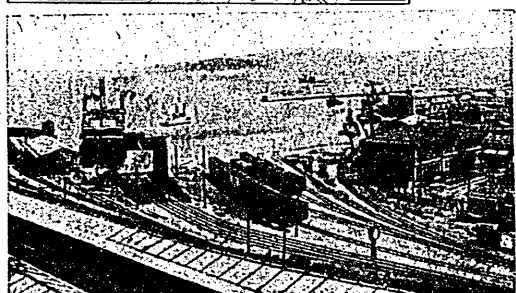
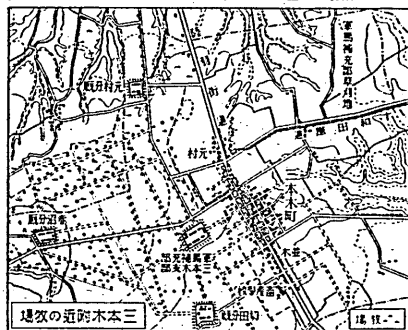
十和田湖
四邊に峰巒が起伏し密林の翠綠は湖の清
澁と相映じて風光絶佳である



青森縣 八戸市 弘前市 奥三陸

地、花巻は温泉地である。盛岡市は舊城下町で、馬市に名高く、又鐵瓶の名産を出し、西北の岩手山麓には、小岩井農場がある。東海岸には、釜石市、宮古その他の漁港が多く、小汽船が絶えず往來し、釜石には壯大な製鐵所がある。

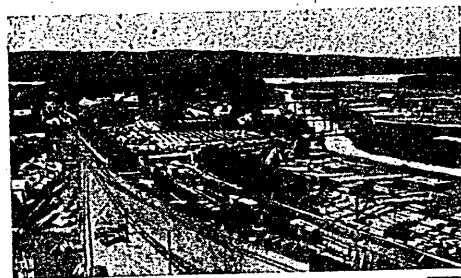
青森縣 東部には馬の牧場が多く、七戸、三本木はその中心である。八戸市は商業の中心地で、又漁業の根據地である。十和田湖は湖沼美の代表といはれ、附近の地と共に、國立公園である。青森市は水陸交通の要地を占めて、海産



一は万右で所合待や橋棧の船絡連函背は方左 頭埠の森青國
るでん並が等庫倉や庫藏冷はに岸海 るあで港入出の船船般

弘前に第八師團司令部がある

秋田縣
秋田市
能代市
横手町
三ツ木



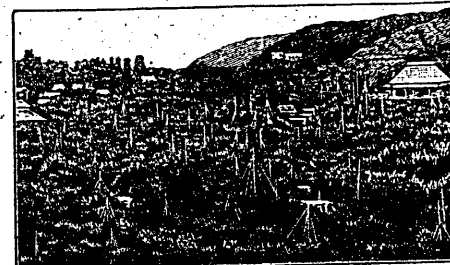
米代川河口に構内材木は埋まると

物の集散及び製材が行はれ、附近に浅・蟲・温泉がある。對岸の下北半島には、大湊の海軍要港がある。津輕平野は我が國第一の苹果産地である。



他地で、方への輸送が多く、弘前市はその集散の中心地で、又木通細工の名産を出す。

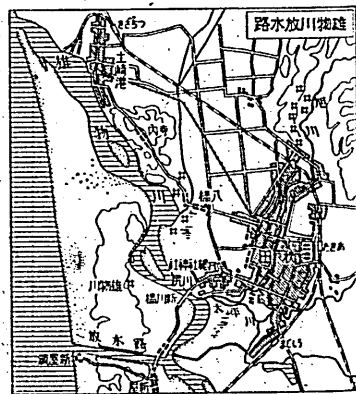
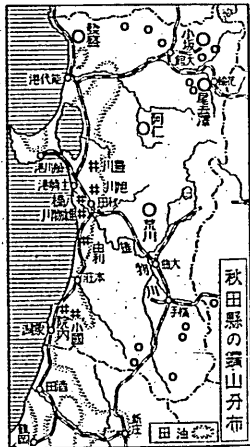
秋田縣 米代川の流域には、小坂・尾去澤を始め、大小の鑛山が多く、又杉の美林があり、大館・能代・横手は製材業の中心地である。雄物川は横手盆地と、秋田平野とを流れる。横手は盆地の中心



形物の果物は重量をへるの釣網 園果平

近年雄物川放水路の完成により秋田市附近は洪水から免かれた

地で、米の集散が多く、秋田市の附近には、採油槽



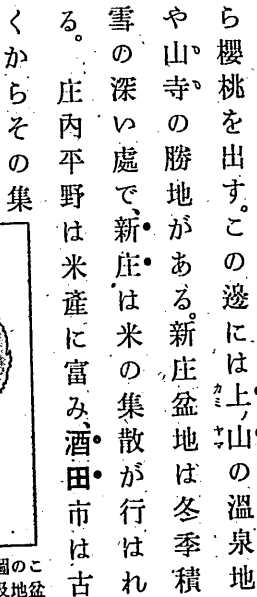
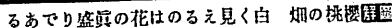
山形縣 山形市は、銅鐵器を出し、附近の中心の米澤市は絹織物を産し、又我が人絹工業(今止)の發祥地で、北方に赤湯の温泉がある。山形盆地の山形市は、銅鐵器を出し、附近の中心の米澤市は絹織物を産し、又我が人絹工業(今止)の發祥地で、北方に赤湯の温泉がある。

山形縣
山形市
米澤市
鶴岡市
酒田市
新庄市

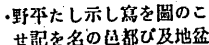


山形市の上の主要な都市の半の展望

山形縣 米澤盆地は養蠶が盛に行はれ、その中心の米澤市は絹織物を産し、又我が人絹工業(今止)の發祥地で、北方に赤湯の温泉がある。山形盆地の山形市は、銅鐵器を出し、附近の中心の米澤市は絹織物を産し、又我が人絹工業(今止)の發祥地で、北方に赤湯の温泉がある。



散地として名高く、今も壯大な米倉庫があり、鶴岡市も米の集散が行はれ、又天鵝絨の特産がある。



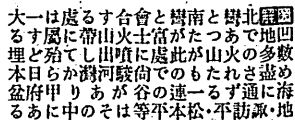
通
說

本州の中部に位し幅の最廣い部分を占める。東海、東山兩道の一部と、北陸道とに當り、昔は江戸と京都との連絡上、重要な地方であつたが、今は京濱、阪神の兩文化に接觸し、著しい發達を示してゐる。行政上九縣に分ける。

福井縣 (福井市)	石川縣 (金澤市)	新潟縣 (新潟市)	長野縣 (長野市)	岐阜縣 (岐阜市)	愛知縣 (名古屋市)	靜岡縣 (靜岡市)	人口 約二六萬
越前若狹	加賀能登	越後佐渡	信濃	甲斐	美濃飛驒	遠江	(管轄國名) 伊豆大部、駿河

南部低地^(東海地方)及び北部低地^(北陸地方)の三部に分れる。

中央高地は、北彎山系と南彎山系とに分れ、兩山系の間を、富



白山火山帶	白山三吉	白山火山帶	立岳三〇五 燒岳二四六 堂岳二〇八	御岳一七〇 乘鞍岳三〇六 栗駒岳二〇九	飛驒火山脈 槍岳三一〇 白馬岳二三	木曾火山脈 駒岳二五六 惠那山二三	赤石岳三二 赤石岳三三 白石山脈	越後山脈 三國山脈 關東山脈	山脈火山帶						
富士火山帶	富士山三七	天城山脈	妙高山三四	須賀川三〇	河津川三五	信濃川三三	木曾川二三	天龍川三五	阿蘇川三二	庄内川二五	神戶川二〇	九頭川二〇	常願寺川二〇	安曇川二〇	諏訪湖二六

ある。北彎山系には越後三國關東等の山脈が連つて、既習の兩地方と境し、淺間山(山那須火)が東境に噴煙してゐる。南彎山系には、赤石木曾飛驒の三山脈が、殆ど南北に雁行し、山勢が雄大で、日本アルプスと呼ばれる。殊に飛驒山脈(北アルプス)には、白馬岳槍ヶ岳等の高山が多く、乗鞍火山帯に屬する乗鞍岳御岳(オシノケ)燒ヶ岳(ハク)立山等の火山も噴起して、一層高峻である。飛驒山脈の西側は、緩斜して飛驒高原となり、その西部には、白山火山帯に屬する白山が聳えてゐる。

富士火山帯は、富士山を中心として、妙高山・八ヶ岳・天城山等の諸山を起し、その餘勢は、遠く南方の海中に延びてゐる。この地方には、温泉が多く、半島部には冬向、高地には夏向の保養

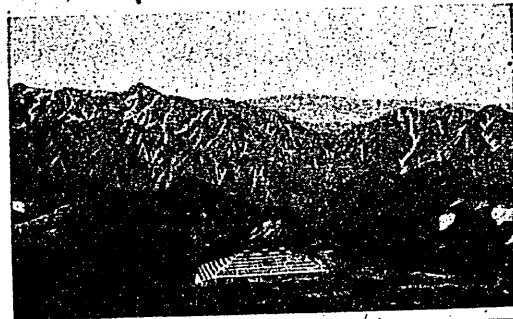
地が處々にある。

東海地方の東部には、一帯の海岸平野と臺地があり、中央高地から發する富士・安倍・大井・天龍等の諸川が、この平野を貫流し、西部には廣い濃尾平野が發達し、木曾川が流れてゐる。海岸は東部に底深い駿河灣が彎入し、西部には淺い伊勢海と渥美灣とがあり、その中間は波荒い遠州灘で、沿岸は平直な砂濱である。

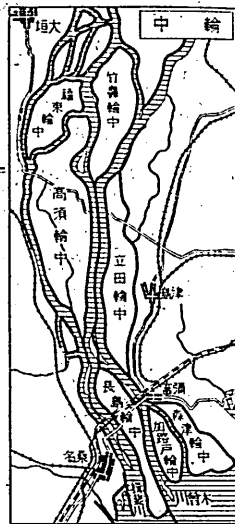
北陸地方にも、海岸に一帯の平野があり、それが山脈の餘



川士富 急流知れら富士川、下りの舟は昔は名高

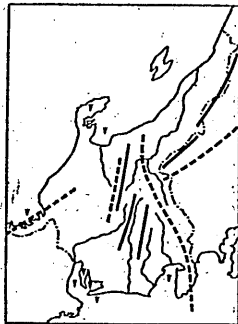


山立は連峯 中景 上頂の小屋 近景は馬岳 北麓はスプル

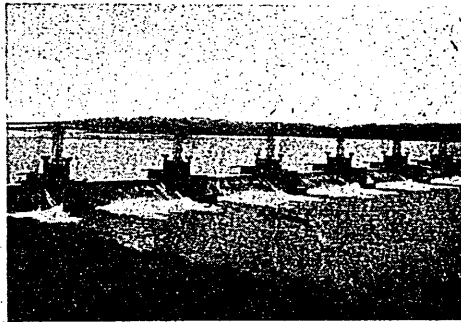


勢により、越後・富山・加賀・福井等の諸平野に分れる。越後平野は我が國有數の廣い低地で、信濃川・阿賀川が此處を流れる。その他、富山平野には、黒部川・神通川・庄川が流れ、福井平野には、九頭龍川が流れてゐる。

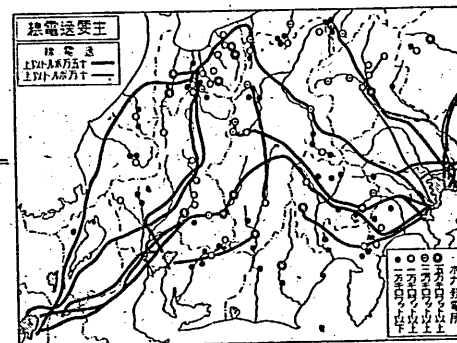
中部地方の河は、多く高地から急に低地に移るので、屢々水害を起し、木曾川の下流には、その害を防ぐ爲に、周圍に堤防を繞らす處がある。之を輪中といふ。近年、木曾川や信濃川の下流には、分水工事が完成して、水害を減じた。水運は木曾川・信濃川等の下流に、小汽船を通ずる外、一般に少いが、廣く灌漑の便を與へ、上流には、峡谷美で、名高い處も多く、又重要な水電地帯を



この圖に寫し示した山脈・火山水の帯・川河及び▽を附あてよ
島半・島海の名を記せよ



日本海に導き水量を調節する大工事の圖その自に在る 大河津から水分路をつて一の部の水



なし、その電力は遠く京濱阪神の地方にも送られる。木曾川にある發電用の堰堤は、一大貯水池(恵那峡)を造つて、夏は遊覧船を浮べ、冬はスケート場となる。

海岸は中部に能登半島が富山灣を抱き、西南にリヤス式の若狭灣がある外は、概單調な砂濱で、砂丘の發達が著しく、處々に潟を抱いてゐるが、その間には、山地の餘勢が海に迫つて、峻しい海崖をなす處もある。親不知はその著しいものである。

氣候 氣候も三區に分れる。太平洋方面は

北に山を負つて南に海

を控へ、氣候が概溫和で夏季に降雨

が多く、關東の海岸地方に似て、冬向

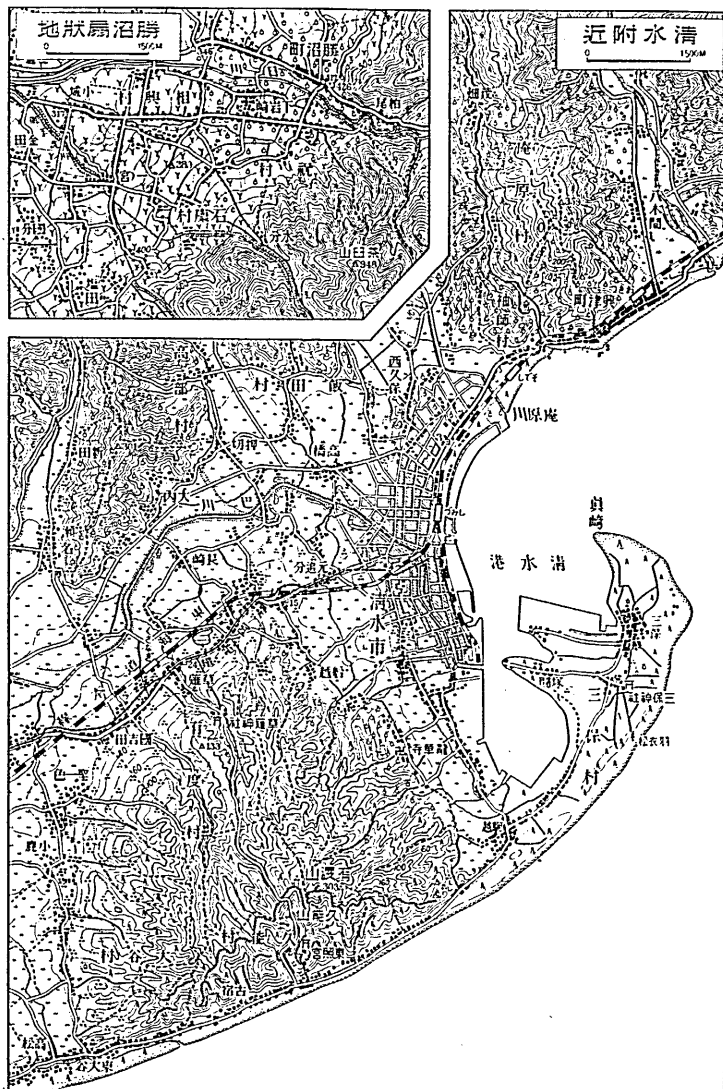
の靜養地が處々に散在し、野菜の促

成栽培も廣く行はれる。日本海岸方

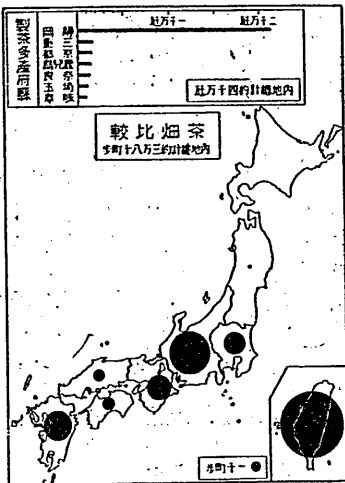
面は奥羽地方のそれに似てゐるが、



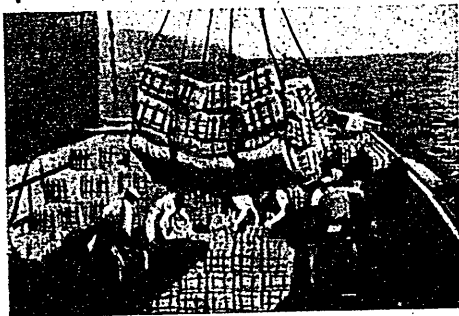
たし來往を汀のこは昔 知不親(親不知)



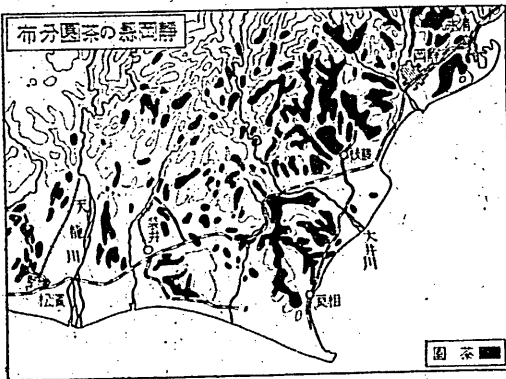
山能久。くつに目に特がと山能久と勢砂大の原松保三〔右〕 地狀扇の近附沼勝と近附水清が港水清で抱に勢砂。るかわとこい多の園樹果や畑茶し斜急に側南し斜緩に側北は葡萄は半北で畑桑は半南の地狀扇のこりあが地狀扇の川洗手御はに近附沼勝〔左〕。るあ(る依に圖形地一分萬五測陸)。るあで地心中の葡萄州甲が邊のこ。い多が畑



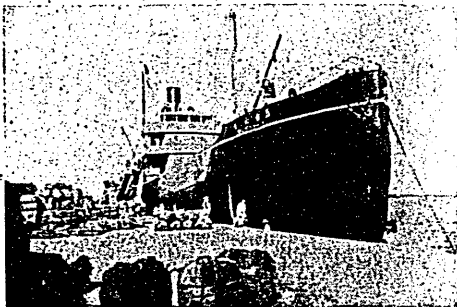
濃尾平野では野菜を耕作して、その加工品を他府縣へも送る。北陸地方の平野は、米を主産物として、他地方へ移送し、奥羽地方と共に、



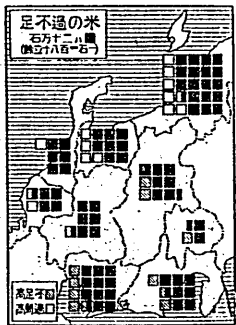
景光む込積へ船で港水清を柑蜜の詰箱 出積の柑蜜



農業 東海地方殊に濃尾平野は、米麥の産に富み、静岡縣の臺地丘陵には茶園が多く、大井川安倍川の流域はその主産地で、茶の産額は全國第一位し、盛に海外へ輸出する。駿河灣の附近では、蜜柑、梨桃等の果樹を栽培し、

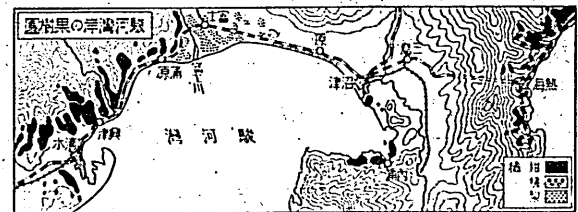
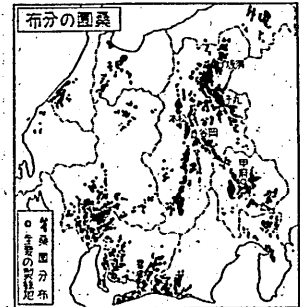


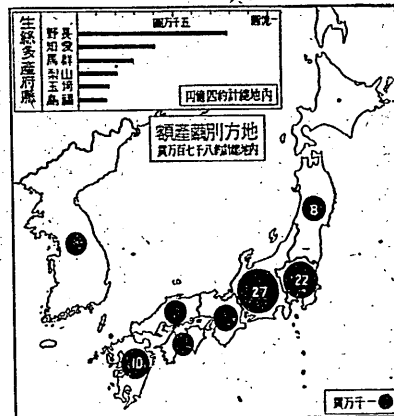
景光るす積船で港木伏を米産の野平山富 出積の米



内地の重要な米庫である。越後平野には、梨畑が多く、富山平野の西瓜も亦名高く、甲府盆地には葡萄、長野盆地には、蘋果、杏等の特産がある。

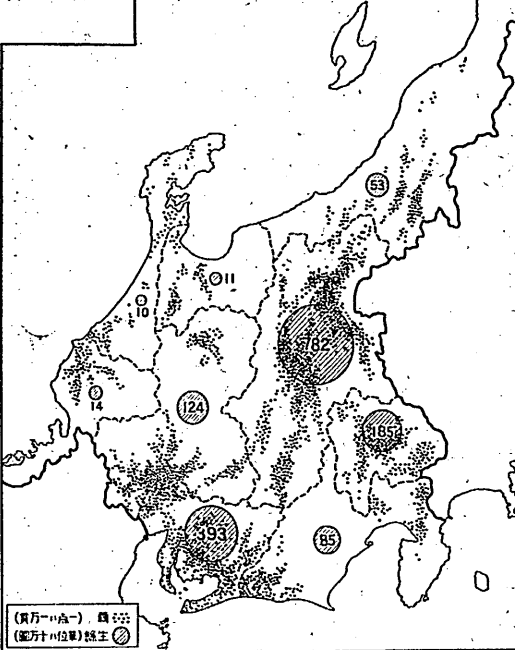
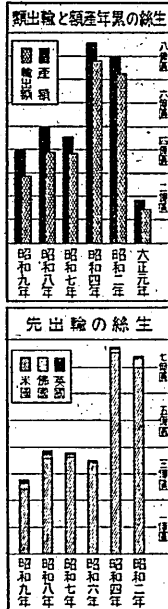
中央部の盆地を中心として、その附近の地方は、我が國第一の養蠶地帯で、到る處に桑畑が開け、長野、愛知、岐阜、山梨の諸縣には、繭の産額が甚だ多い。従つてこの地方には、處々に製絲業が發達し、中でも岡谷は、その大中心で、工場が群立する。





布分産生絲生・繭

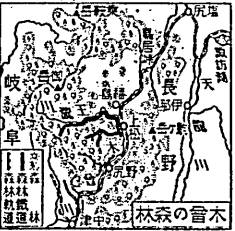
日本の生絲 我が國は世界第一の生絲國で、世界産額の約八割を出し、その貿易額は長く輸出品中の第一位を占めてゐたが、最近棉製品とその地位を代へるに至つた。米國は世界第一の生絲消費國で、需要の殆ど全部を我が國から輸入してゐるので、下圖で見るやうに、米國は我が國が生絲生絲の七八割を輸入する大華客である。従つて米國の經濟關係が、直に我が生絲貿易に影響を及ぼすのは當然である。近年同國の經濟關係がよくない上に、人絹の猛進に遭ひ、往年の第一位を行はれるが、最も盛なのは中部地方から關東及び奥羽の南部に互る山麓・盆地で、長野縣は生絲の産が殊に多い。



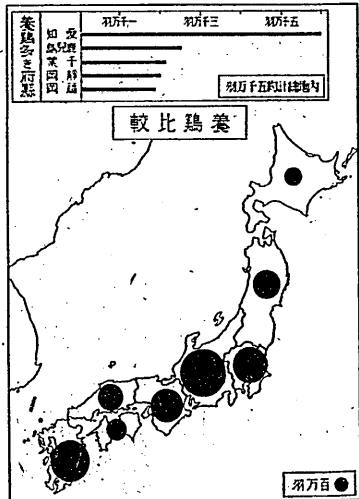
三州那の名が廣く知られるに至つた



景光の出搬りよに川谷を材木たし採伐 搬運の材木露園



すが、牧畜には殆ど見るべきものがない。
林業 森林は中央山地に多く、木曾・天龍・大井等の河谷は、重要な木材供給地で、木曾の檜林は最も名高い。その伐材は、古來筏として流下したが、今は森林鐵道が發達し、且發電用の堰堤に遮られ、陸路の輸送が多い。伊豆半島も溫濕の氣候に恵まれ、樹木がよく茂る。



水産業 太平洋面は鰯・鯉等の漁利に富み、静岡縣では遠洋漁業も發達して、鯉節の産額は全國第一に位し、焼津はその中心である。日本海面には、柔魚・鰯等の漁獲が頗る多い。その他、静岡(鰻)・新潟(鮭)・長野(鰻)等の諸縣で

新津附近は新津油
田・長岡附近を東
山油田・柏崎附近
を西山油田といふ

は、養殖漁業が行はれ、又太平
洋面の内海には、三河灣を中
心として、處々に海苔の養殖
場がある。

鑛業 鑛産の最も重要な

は石油である。新潟

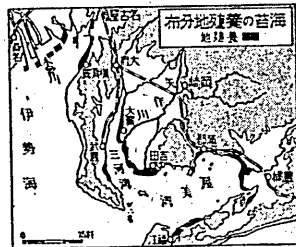
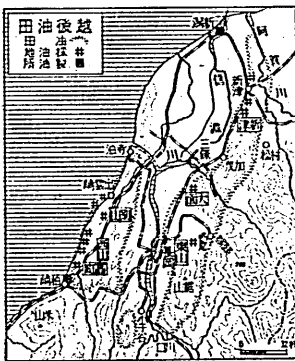
縣は秋田縣と共に、石油の大産地で、
その油田は、新津・東山・西山・高町等に

互に、柏崎・
と新潟と

にその製油所がある。小鑛山は各
地に散在するが、産額の稍、多いの
は、神岡(阜城)の鉛・亜鉛・土・肥・持・越(以・岡上)
及び佐渡の金・尾・小屋・川石の銅等で、



石理大の坂赤 出切 無たし数の大石理が集つる



景光たれさげ揚陸に岸海が鯉の數多し獲捕 岸海の津焼

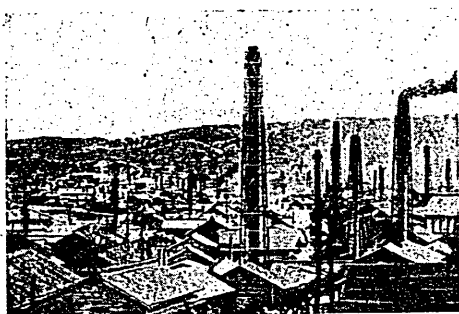
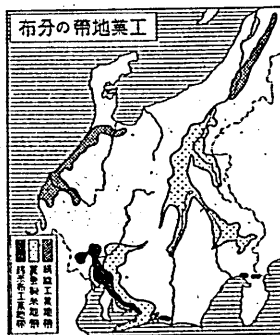
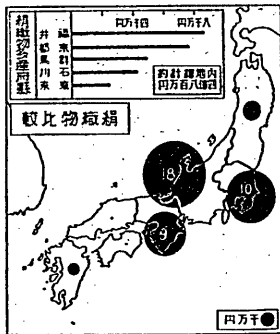
赤坂(阜城)は大理石の産
地として名高い。

工業 工業は地方

によつて特色がある。

中央盆地には製絲業

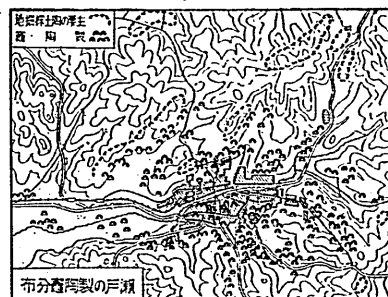
が大いに發



市戸瀬 代表的製陶市で突煙に數無に林立してゐる

達し、北陸地方では絹織を主とし、福井・石川・兩縣の羽・二・重・人
絹織・富士絹等は産額が最も多く、新潟縣の山・麓・一・帶・にも、絹織
の産地が點在してゐる。東海方面では、名・古・屋・を中心として、
一方は岐阜縣の南部に互り、一方は濱・松・方面に延長せる大
工業地帯が發達してゐる。名・古・屋・には各種の大工場が多く、
綿工業は殊に盛で、一・宮・から岐・阜・方面には、工場及び家内工
業により、毛織物の産が多い。

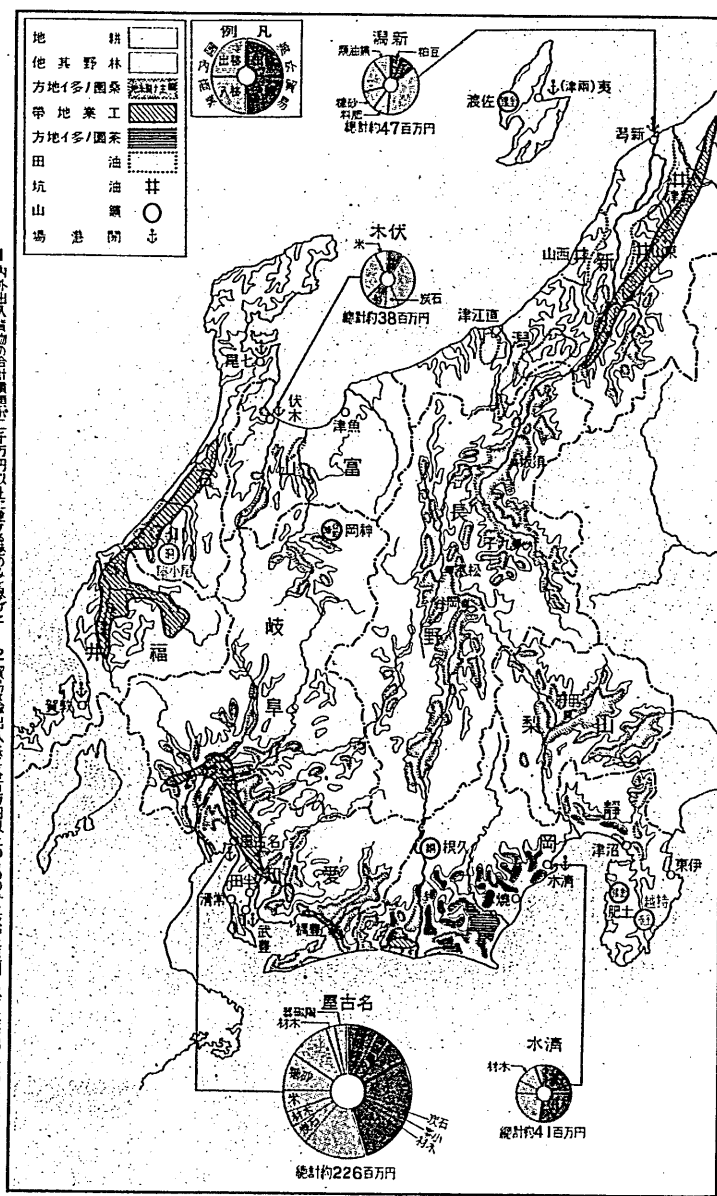
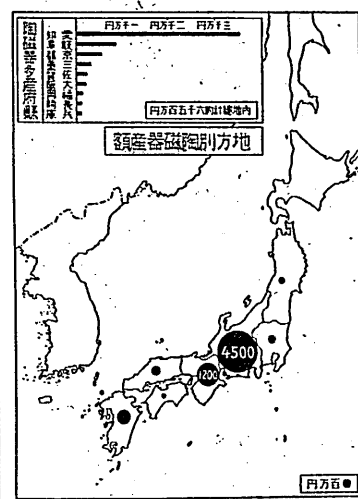
名・古・屋・附近の瀬・戸・から、東濃に互る地方は、我が國第一の



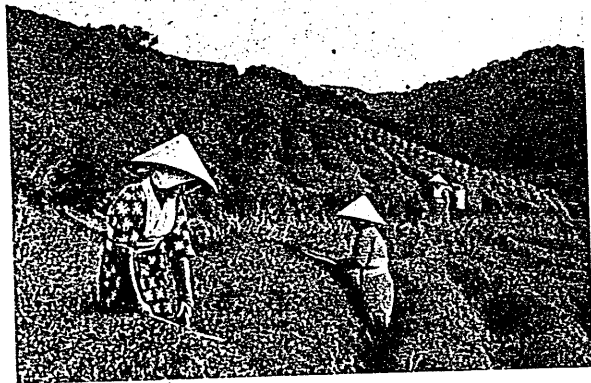
最、名高い。

製陶地帯で、北陸地方からは、九谷焼(石川)を出す。その他、工藝品として著名なのは漆器(静岡、銅器(新潟)等で、静岡、福井、岐阜の諸縣では、古くから和紙を産し、富士山麓には洋紙の工場がある。醸造は愛知縣の酒酢等が

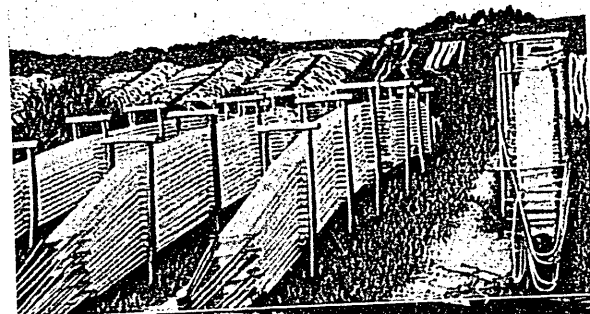
商業、近代工業の發達に伴ひ、商業も益、盛となった。元來この地方は、東京、大阪の商圏接觸地であるが、名古屋はその中間に位し、近年大いに發達して、大商業地とな



1 内外出入貨物の計價額が、千万円以上を越す港のみを挙げた
2 貿易で輸出入したる各百円以上のもののみ、表中に區別し、以下は移出入加へて總計を示した



静岡の茶園
静岡縣は、茶園が多く、牧ノ原はその中心である。圖は茶園に於ける初夏の光景



晒木綿の干場
知多半島は古來晒木綿の産が多く、圖は晒上げた木綿を綱で引張り乾燥する光景



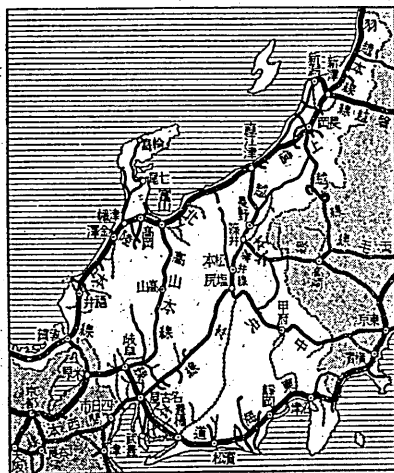
陶器會社の工場
日本陶器會社(名古屋)に於ける作業の光景で、製品は主として洋風の器具である



大井川の渡り
徳川時代には川に橋がなく、人は背に板を架けて渡り、荷物は牛馬に載せて渡った。圖は鐵道が敷かれた後の光景

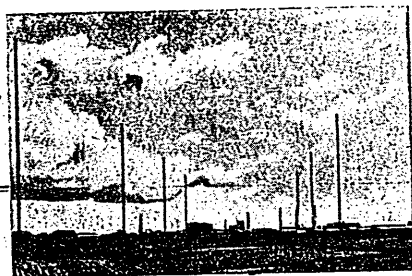
つた。その他、地方的中心が處々にある。外國貿易には清水、岡田、武田、名古屋(愛知)、敦賀(福井)、七尾(石川)、伏木、東岩瀬(富山)、新潟、上野等の開港場がある。中でも名古屋は盛大な産業地帯を控へ、その門戸として、貿易額が殊に多い。

交通 古來の街道には、東海道、中山道、甲州街道、北國街道等がある。此等が山を越え、川を過ぎ、海を渡る處には、自然の難所や關所等があつて、旅人は不便を極めたが、今は鐵道が普く敷設されてゐる。



1 米原、直江津間
2 岐阜、富山間

る。東海道線は三大商工業地を連ねて、表日本の幹線となり、中央線は中部を通じ、信越線は北陸、羽越の兩線と連つて、裏日本の幹線となり、又高山線と共に、本州の横斷線となつて



大阪中央電信局に属する

四国佐依美所信 八基の鐵塔に並んでる

ある濃尾平野には、電車の發達も著しい。海運は未だ大中心の發達を見ないが、名古屋は近年發展が著しく、清水と共に外國航路の商船が寄港し、敦賀は大陸に對する要地を占める。名古屋には空港も設けられて、定期の航空機が着陸し、又壯大な無線電信局（佐依美所信）があつて、歐洲と通信する。

人口と都邑 東海地方殊に名古屋を中心とする工業地帯には、人口が密集し、北陸地方は略内



地の平均に近いが、積雪の深い冬季には、他へ出稼する者が多く、中央高地は概して疎である。大都會の多くは、城下町から發達して來たもので、街道に沿ふ昔の宿驛には交通の變動により著しく盛衰を來したものもあり、又市街繁華の中心が移動したものもある。

處誌

静岡縣 富士山は山容の秀麗なので名高く、その麓には、水力の利

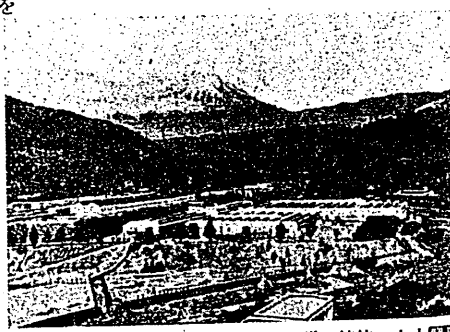
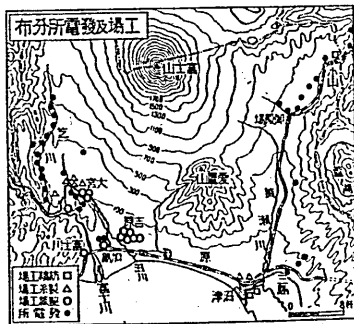
静岡市 清水市 沼津市 熱海市 大宮町 伊豆市
岡崎市 津島町 三島町 焼津町 東町

(千人)
三〇五 三〇三 三〇二 三〇一 三〇〇



温泉の白い煙が處處から立ち昇るが情あ

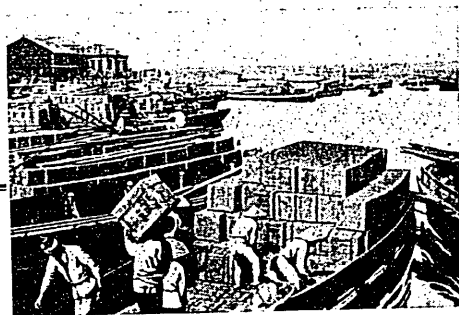
用による工場が處々に起り、小山の紡績、大宮附近の製紙等は、規模が殊に大きく、又橘三極等の栽培に適し、之を原料とする駿河半紙は古來の産物である。



小山の紡績工場 大壯な建物が多い並ぶ中山の一條

富士山は新しい火山で、未だ著しい侵蝕を受けてゐないから、殆ど完全な圓錐形をなし、唯山腹の寶永噴火口が單調を破つてゐる。北麓にある所謂富士五湖、山中河口西、精進本橋は、噴出物の爲に出來た湖水で、何れも風景がよい。近年この山の大部は箱根山と共に國立公園となつた。夏季には登山者が多く、山麓の大宮御殿場、須走（以上静岡縣）等は、その登山口に當る。

伊豆半島には、熱海市、伊豆市、東修善寺を始め、處々に温泉町が



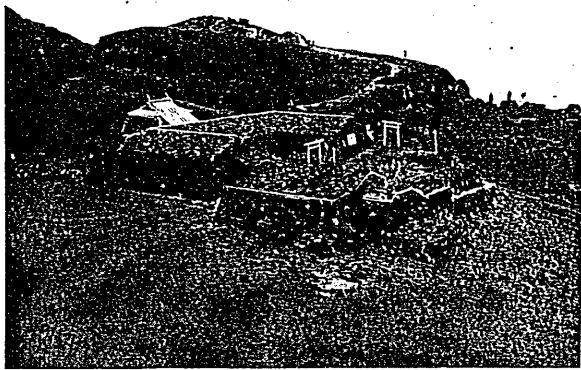
茶箱の出船 茶を清水港へ船積みする光景

あり、氣候がよく、京濱地方にも近い爲、四時浴客が多い。天城の山中では山葵を産し、南端の下田は史上に名高い港町である。東海道地方は、古くから重要な通路に當り、名高い城下町や宿場が多い。三島は丹那隧道の開通によつて活況を回復し、沼津市は興津と共によい保養地で、近年製絲人絹等の工業も興つた。清水市は近く三保の松原を控へて、遙に富士山と對し、風景のよい商港で、茶の輸出が盛である。静岡市は昔の駿府で、附近に茶園が多く、盛に茶を集散し、又漆器竹細工等を出す。東南に名高い久能山があり、南麓に葎の石垣作りが行はれる。焼津は遠洋漁業の一根拠地で、鰹節を産し、島田は對岸の金谷と共に、往時主要な渡川地であつたが、今は木材の集散



久能山の斜面に於ける石垣利用茶畑

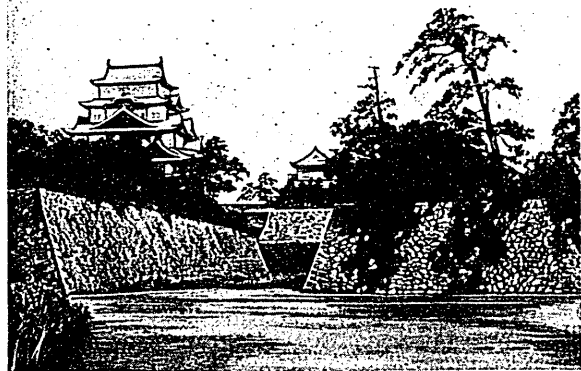
富士山の頂上
石塊を疊積したのは浅間神社の奥宮で夏季には登山者が群集する



山中湖
富士五湖の中間積・海拔共に第一で夏は避暑の客が集り冬はスケートの爲に賑ふ



名古屋城
天守閣の高さは三十七米その上に輝く名高い金の鯱は高さ約二米八



愛知縣
名古屋市中區
豊橋市
岡崎市
半田
一宮市
津島市
安城市
刈谷市
起谷町

二〇〇
二四
三三
三三
三三
三三
三三
三三
三三
三三

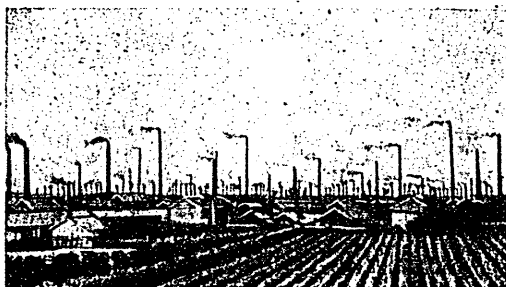
中部地方



部内場工ノアビるけに社合器樂の松濱 場工器樂

地である。西部の濱松市は新進の工業地で、綿織の外、樂器帽子、氷砂糖等の特産がある。濱名湖は鰻、鯉等の養殖に利用せられ、沿岸は風景がよい。

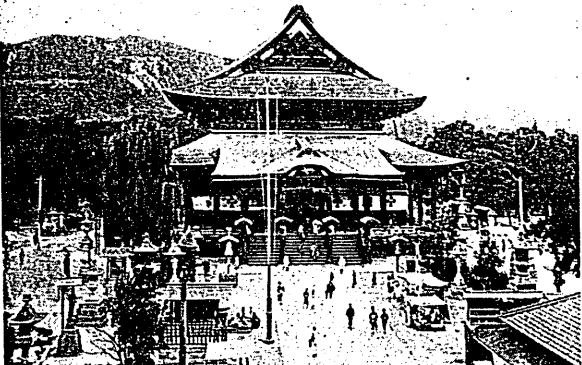
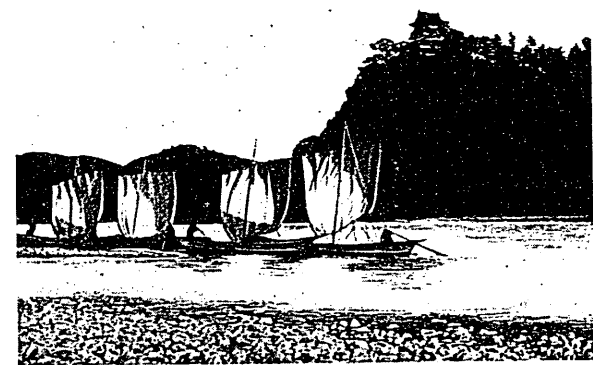
愛知縣 東部の豊橋市は、豊川の下流に沿ひ、製絲工場が多く、豊川は稻荷の祠で名高く、上流に鳳來寺山の名地がある。中部の岡崎市は、徳川氏創業の地で、人絹その他の工場がある。矢作川以西の平野は、田園がよく整つて、穀菜果實等の多角農業をなし、養蠶養鶏も盛で、日本デンマークと呼ばれ、安城はその中心である。又西南の沿海地方から三州瓦を出す。西部は濃尾平野の要部で、東境に丘陵が續いて、知多半島をなし、その東岸には、釀造地の半田市（酒蔵等）があり、西岸には土器



觀壯の実煙の區地場工た見らか近附場車停 場工絲製の橋豐

六二

日本ライン
木曾川の清流に臨んで白壁の犬山城が時
ち去來する白帆と共に一幅の畫をなす



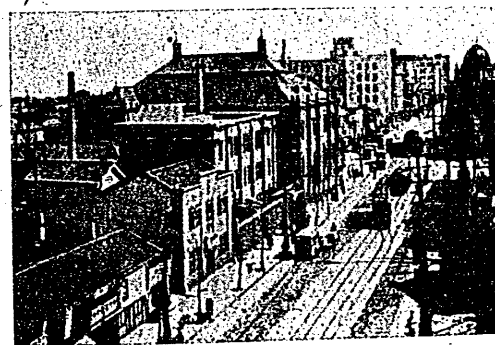
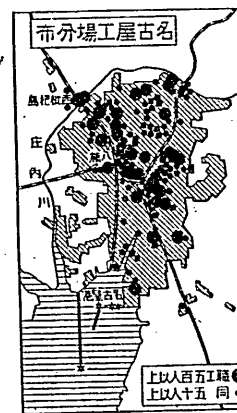
善光寺の本堂
四時共に遠近より参詣者が多く、長野市を
佛都として發達せしめてゐる

寝惚の床
木曾川の上流にあつて累々たる巨岩の奇
と之に激する水態の妙とで名高い



名古屋に第三師團司令部・帝國大學がある

を産する常滑がある。名古屋は徳川氏親藩の城下町として發達



通路小廣るめ極を華繁び並が物建の式代近 街市の屋古名



部一の前殿本は圓く廣てしと芥鬱は域神 宮神田熱

した處で、名古屋、城熱田、神宮等がある。産業、交通、學術等の大中心で、中京と呼ばれ、綿絲、綿織毛織を始め、時計、計車、輔飛行機、陶器等の大工場が多く、築港の完備と共に、商業が著しい發展を示してゐる。附近の鳴海は、絞木綿の名産地で、瀬戸市は陶磁器の大産地である。犬山は日本ラインの流に臨んで風景がよく、一宮市は毛織業の中心である。本縣は織田、豊臣、徳川の諸氏が起つた處で、桶狭間、長久手等を始

め、戰國時代の戰蹟が多い。

岐阜縣 (千石) 岐阜市 二五 大垣市 五五 高山市 五五 多治見市 五五 高山に近い位山は古來一位木の産地として名高い

岐阜縣 南部の平野は、地理上愛知縣に續く大工業地帯の一部で、岐阜、大垣の兩市がその中心である。岐阜は絹織、毛織等を産し、又提灯、團扇等の名産を出す。鶺鴒に名高い長良川が此處を流れ、その上流地方は和紙の産が多く、美濃はその集散地で、關の産物は名産地である。大垣には毛織の工場があり、附近の赤坂は大理石を出す。西境の關原は著名の古戰場で、養老、瀧は孝子の傳説で名高い。東部の多治見は製陶業の一中心で、中津には製絲業が行はれ、附近に惠那峽の勝地がある。北部の山地には、高山盆地があり、その中心の高山市は漆器、木製器具等の特産を出し、南方に下呂の溫泉場

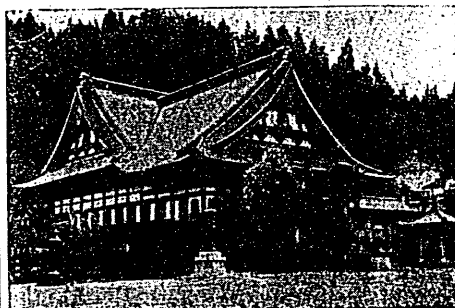


觀美の夜の夏に水河き清が火落で景光の飼鶴 川良長



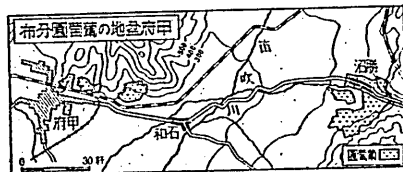
重を程工の等洗・沸・選精の料原 造製の紙濃美 小さい模範でのもるよにき遊手々々枚一は品上ね

山梨縣
甲府市



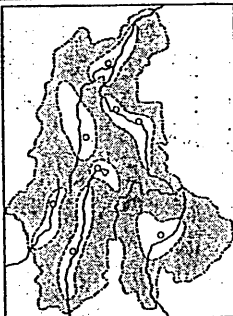
堂骨納と堂本のそは圖で山本の宗蓮日 寺遊久の延身

がある。
山梨縣 一縣殆ど一盆地とな
つてゐるが、東部の郡内地方は、
別に狭い谷を開き、その境に笹
子峠がある。郡内地方は甲斐
絹を産し、谷村はその
市場である。甲府盆
地には桑畑、葡萄園が
多く、東部の勝沼は葡萄の主産地
である。甲府市は製絲業が盛で、又
葡萄、酒、水晶細工等の特産がある。北方の御嶽(群仙)は、勝地と
して名高く、富士川右岸の身延は、日蓮宗の靈地である。
長野縣 數箇の盆地に分れ、各盆地は概、栽桑、養蠶が盛で
ある。木曾谷は檜の良材を出すので、名高く、福島は地方の



るゐてし博を歴名し出を果美し良改を種品 園葡萄の沼勝

長野縣
松本市 岡谷市 飯田市 上諏訪市 須坂市



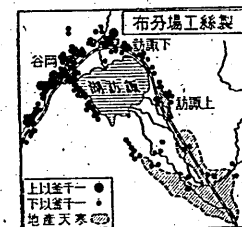
し示て見を圖附し寫を圖のこ
よせ入記を名の邑盆と地盆た

中心町で、附近に寝覚床の勝地がある。天龍
川の流れる伊那谷は、養蠶が盛に行はれ、飯田
市はその中心で、附近に天龍峽がある。諏訪盆
地の諏訪湖は、冬季スケートに適し、湖畔に上
諏訪下諏訪の温泉町が並び、東方に霧峰のス
キー場がある。湖邊の一帯は、岡谷市を中心と
して、製絲工場が多く、又湖南の一部から寒天
を出す。松本平の松本市は、養蠶業の大中心
で、繭蠶卵紙等の取引が盛に行はれ、この西方



布分園桑の平本松

に飛驒山
脈が連つ
て、壯觀を
呈する。



布分場工絲製



るあで庫蔵貯の繭は物建い高い多の窓 場絲製の谷岡



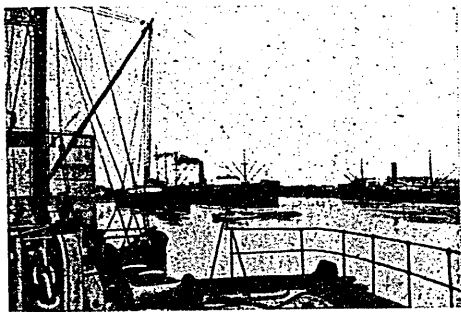
園樂の夏な豊の美川山れま園に峯連 地高上の夏園

には、高山峻峯が並び聳え、地貌が極めて雄大である。この一帯の山地は、所謂日本北アルプスで、その大部（乗鞍）は、國立公園となり、中部山岳公園と呼ぶ。近年登山の傾向が著しく盛となり、中部山岳公園は第一の目標となる處である。山地の上高地は梓川を控へて穂高連嶺と對し、高山地貌と水色美とで名高く、又白骨と共に温泉も湧いて、夏季の静養地となり、山麓の大町、島々等は、登山口として賑ふ處である。

千曲川流域の小諸は、製絲業の一中心で、附近の水田では、蠶を利用して、鯉の養殖を行ひ、東方の輕井澤は、著名な避暑地である。上田市は、養蠶製絲の重要な一中心で、繭の取引が多い。善光寺平には、苹果や杏の産があり、長野市は、名利善光寺の門前町として發達した處で、須坂、松代は、共に養蠶製絲の中心である。古戰場として名高い川中島や、傳説と眺望とで知られる姥捨山等がこの附近にある。

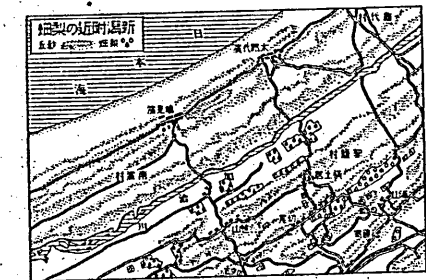
新潟縣 信濃川の口に臨む新潟市は、古く開港場となつた處で、製油その他の工場がある。近年築港の完成、上越線の開通等によつて、重

新潟縣
新潟市
三島市
三条市
高田市
柏崎町
加茂町
新發田町
新津町
新潟に醫科大學がある



たし回挽に頓が勢港るれ眠りよに成完の港築 港新潟

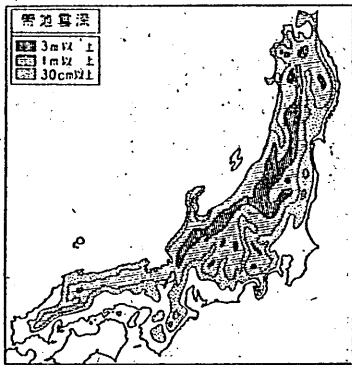
要の位置となり、且滿洲國との連絡地として、將來を望まれてゐる。この近郊には、花卉の栽植が盛となり、又東部の海岸地方は、砂丘間に梨畑が多い。三條市は信濃川の河港で、燕と共に、盛に金屬製品（食物類）を出す。新津は交通の要地で、附近に油田



るめ極を觀美で麗鮮は時花し培栽を類根球 園卉花



雪の市田高の雪



水産が多く、相川は昔から名高い鑛山町で、東部の夷は、舟泊の要地である。

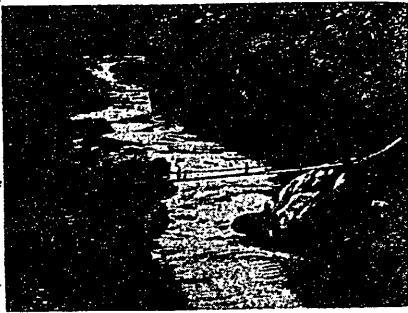
地として名高く、柏崎には製油所がある。上越の高田市は北陸深雪地帯の中心地で、この附近は我が国スキーの發祥地である。直江津は交通の要地で、西方に親不知の險道がある。佐渡は

富山縣
富山市
新高岡町
三毛

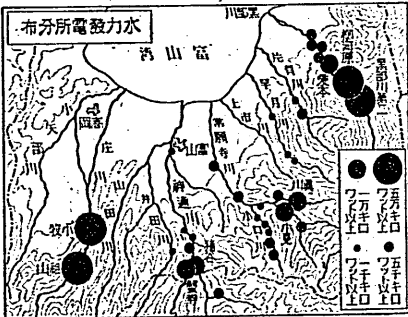
富山縣 富山平野の富山市は、近年新式工業地化して來たが、古來賣藥の製造で名高く、廣く内外にその行商人を出す。高岡市は在來の漆器銅器の外、新式工業が次



富山縣富山市



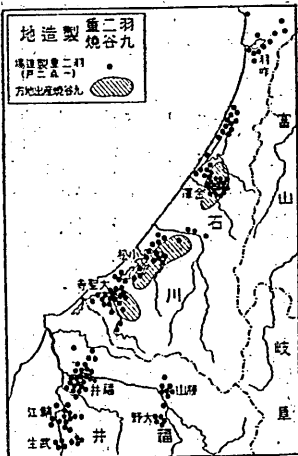
谷中谷の雄



部に發達し又米の取引が盛で、伏木はその積出が多い。東部の魚津、滑川は、西部の水見と共に漁港で、内部の城端は、羽二重製出の一中心である。山地には壯大な發電所が處々に設けられ、その電力は縣内の工業發達を促すと共に、遠く阪神京濱等へも送られる。東境に近い立山は、夏季に登山者が多く、黒

水見には縫針の名産がある
石川縣
金澤市
金澤に第九師團司令部・醫科大學がある

部川は峡谷水態の雄觀で名高く、その扇狀地は西瓜の名産地である。
石川縣 加賀平野の金澤市は、雄藩の舊城下町で、北陸第一の都會である。羽二重人絹織、九谷焼、漆器等の工業が行はれ、箔類の特産もあり、又名高い兼





福井市に藤島神社（新田義昌）がある

福井縣 (千人)
 福井市 三三
 敦賀市 三三
 武生町 三三
 福井市に藤島神社（新田義昌）がある

なし、東方に名高い永平寺がある。九頭龍川の河口附近には、三國の漁港や、蘆原の温泉場、東尋坊の勝地等があり、上

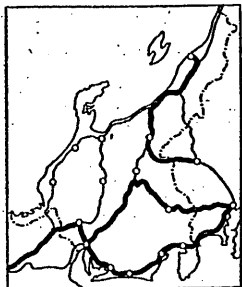
六園がある。羽二重人絹織九谷焼の産地は、西南一帯に延び、小松、大聖寺等もその一中心である。西南の山麓には、山代、山中等の温泉地があり、山代は九谷焼、山中は漆器を出す。能登半島の頸部には、東北に続く一條の邑知湯地溝帯があり、その北端にある七尾は、水産物の集散及びセメント工業が行はれる。和倉は名高い温泉場で、北岸の輪島は、良質の漆器を出す。

福井縣 福井平野は人絹織輸出羽二重の主産地で、福井市はその製



福井市に藤島神社（新田義昌）がある

流の勝山、大野は、共に機業の一中心である。武生は和紙、蚊帳等の特産を出す。若狭灣岸はリヤス式をなし、その奥に敦賀市、小濱等の良港がある。敦賀は日本海岸第一の良港で、大陸と連絡の要地に



見をと本と圖附し寫を圖のこせ記を名の市と道鉄の線太て



ぶ並が藍伽塔堂のく多に境幽たれ離を界俗 寺平永

當り、小濱は若狭塗の名産地で、水産物の集散が多い。

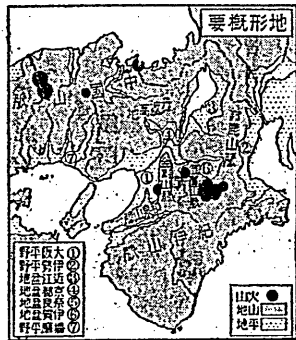
第四章 近畿地方

通説

昔の畿内とその附近の地を含み、我が建國以來、二千五百有餘年の間、永く文化の中心となつてゐた地方で、史蹟名所が甚だ多く、且阪神地

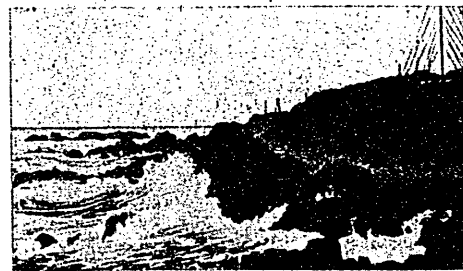
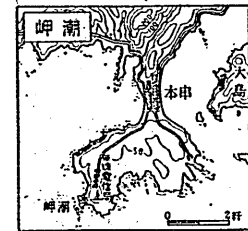
面積 約三〇〇万平方	滋賀縣 (大津市)	近江 (管轄國也)
人口 約一、三〇萬	京都府 (京都市)	山城 (丹波)
	奈良縣 (奈良市)	大和
	三重縣 (津市)	紀伊 (伊勢志摩)
	和歌山縣 (和歌山市)	河内 (和泉)
	大阪府 (大阪市)	攝津 (西半部)
	兵庫縣 (神戸市)	播磨 (但馬淡路)

山脈	河
中國山脈	湖
紀伊山脈	熊野川
大原山脈	宮田川
大原山脈	加古川
金剛山脈	淀川
笠置山脈	朝熊川
笠置山脈	朝熊川
鈴鹿山脈	米保川
鈴鹿山脈	大市川
鈴鹿山脈	琵琶湖



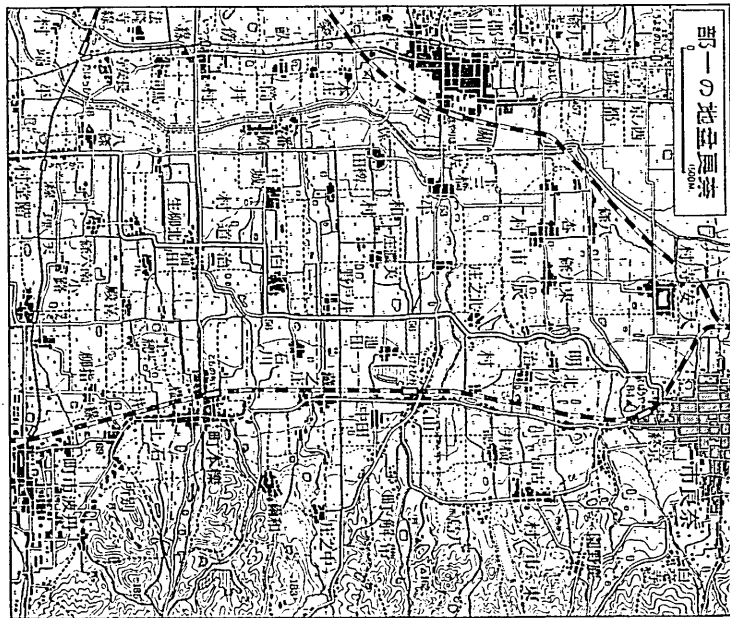
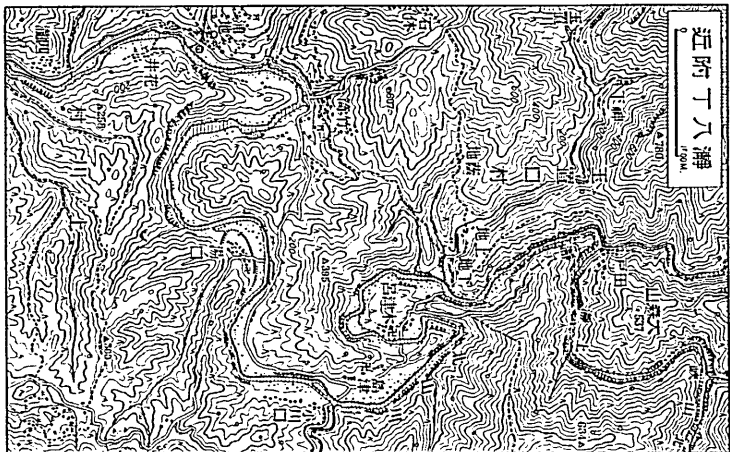
方は、商工業の大中心をなして、近代の文化に輝く故に最も古くして、最も新しい地方といへる。行政上二府五縣に分ける。

地勢 南部山地(紀伊)中央盆地(帯戸内陥没)及び北部山地の三區に分ける。

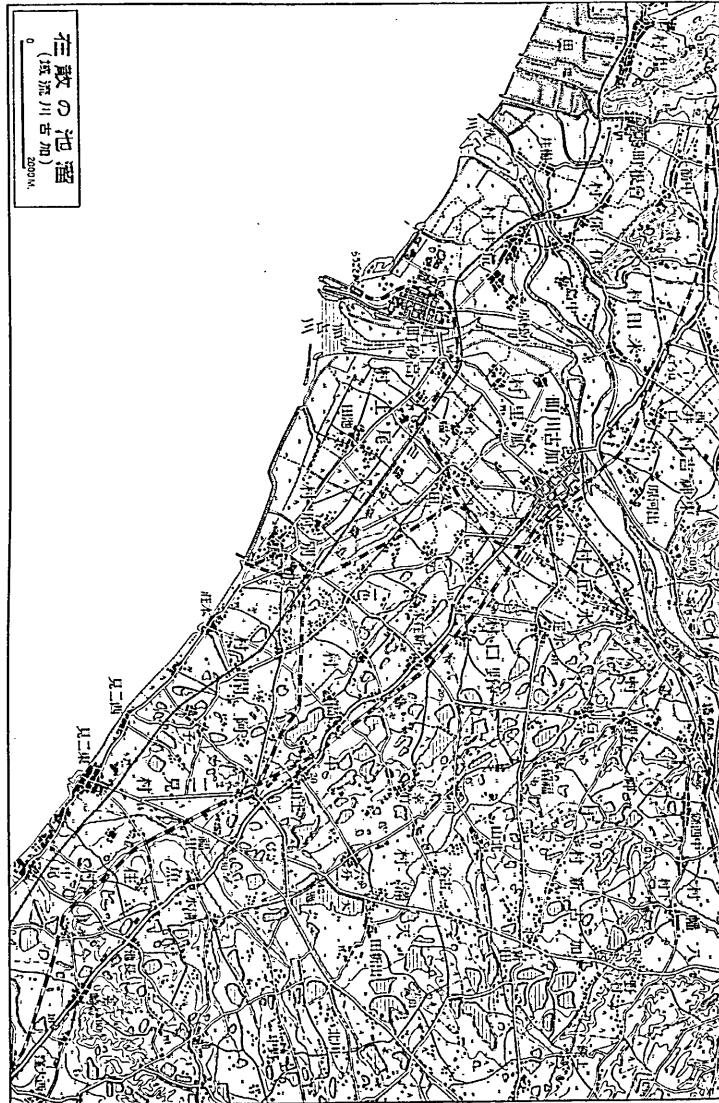


岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬

南部山地は、高峻な紀伊山脈の連る處で、赤石四國の兩山脈と、地體上の連絡がある。櫛田川、紀川は略、その北境を東西に流れるが、熊野川は山脈を横ぎつて南流する。海岸は小屈曲が多く、志摩半島は代表的のリヤス式海岸で、潮岬は本州の南端に當る陸繋島である。中央盆地帯には斷層の爲に



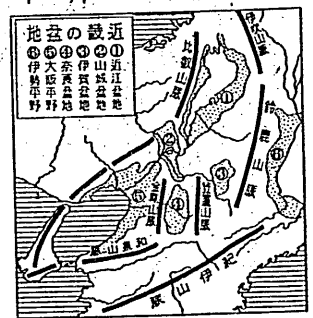
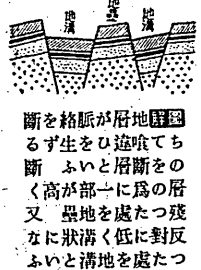
岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬 岬岬



關西の散在 兵庫縣加古川下流地方に大小の溜池が群在することに注意する。之は瀬戸内式氣候の特徵である。少雨地帯の一部であるが、何れも傾斜地の一方に土壘を造り人工的に地形を利用して造つた灌漑用の溜池である。溜池に溜田のあるものも少雨地帯の一帯である。この地方は瀬戸内式氣候地の東端に當る。(陸測五萬分一地形圖に依る)

摂津の池田
 (摂津川古加)
 2000尺

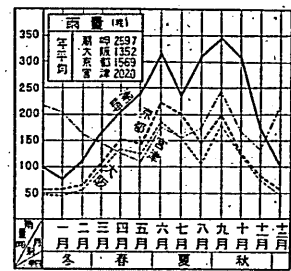
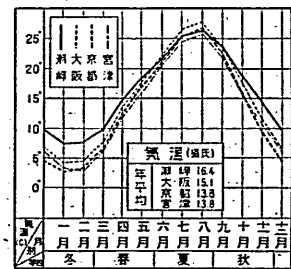
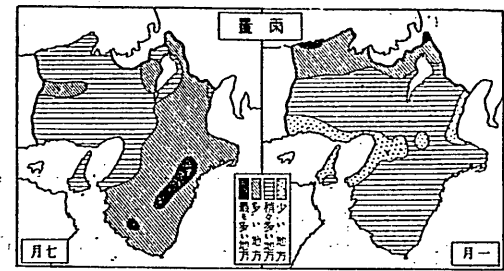
生じた地壘と、地溝地とが集つてゐる。地壘は金剛笠置鈴鹿伊吹比叡等の山脈及び淡路島をなし、地溝は近江山城伊賀奈良等の盆地となつてゐる。又東西の海岸には、盆地の一半とも見られる伊勢・大阪の兩平野がある。淀川は琵琶湖に發し、諸盆地の水を集めて大阪灣に注ぎ、伊勢平野には、並行せる短流が多い。



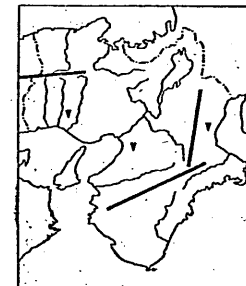
舞鶴灣及び紀淡・鳴門の二海峡附近は要塞地帯である

北部は中國山地の續きで、一體に高臺性を帶び、その中に多くの小盆地がある。由良川・朝來川(山)は、此處を流れて日本海に注ぎ、加古川・市川・揖保川等は、南流して下流に播磨平野を開く。瀬戸内海の沿岸は、單調な砂濱であるが、日本海岸には、與謝半島が突出し、その東に舞鶴・宮津の兩灣がある。

氣候 氣候は四區に分れる。南部は房總半島や伊豆半島に似て、そ



戸内海の沿岸は、冬が割合に暖く、有数の保養地であるが、降雨は概して少いので、農業上の貯水池が處々に散在し、又西部は瀬戸内製鹽地帯の一部となつてゐる。北部は冬に雨雪が多く、陰鬱な天氣が續き、北陸地方と似てゐるが、氣溫は稍高く、雨量も遙に少い。



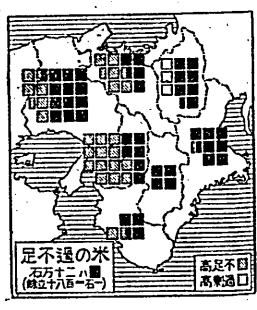
川河・脈山たし示し寫を圖のこせ記を名の野平たけ附をび及



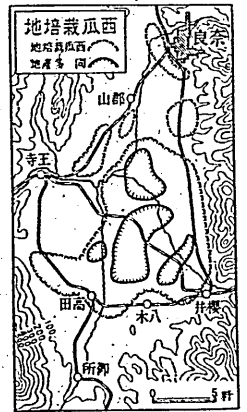
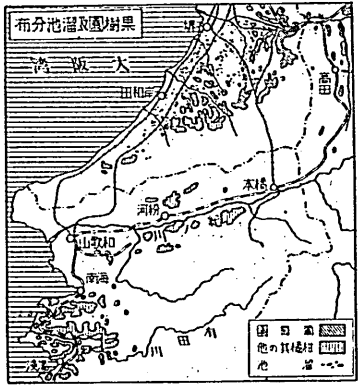
れよりも更に高温多雨である。内部の盆地は、寒暑の差が稍著しく、中部地方の諸盆地に似てゐるが、高度が劣る爲に、寒氣は大いに和ぎ、雨量も相當に多い。瀬

産業 早く開けた爲に、耕地がよく整ひ、各種の産業が発達してゐるが、工業の盛大なことがこの地方の特色である。

農業 播磨平野は良質の米を産し、兵庫縣は全國屈指の米産地である。近江盆地、伊勢平野では、水田の裏作として茶、種小麥、裸麥等の産が多い。京都府から奈良、三



重兩縣の丘陵地にかけては、茶園が多く、宇治は古くから良茶の産地として名高い。紀伊半島の西部は、氣候、地味等の關係から、蜜柑の産が多く、廣く他の地方へ移送し、大阪府の南部からも、蜜柑、葡萄等を出す。その他、奈良盆地の西瓜、紀伊半島西部の除蟲菊、梅等も、産額が少くない。養蠶は伊勢平野や北部の盆地



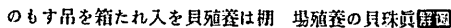
は伊勢平野や北部の盆地

に行はれる。

林業 紀伊半島は著名な木材の産地で、吉

タケノコ 筍の特産がある。

瀬戸内海は鯛を主とし、一部には製鹽が行



鑛業
鑛山は少く、生野(庫兵)の銀銅と、明延(庫兵)の錫とが

直島（香川縣）に送つて製鍊される

に秀でてゐたが、今は新式工業

ふ廣大な防衛工業地帯をたし

鹼マツチ硝子樟腦・食料品(酒ビール)

に盛

場
阪大

か
あ

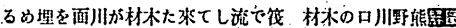
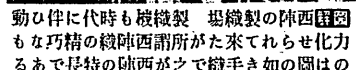


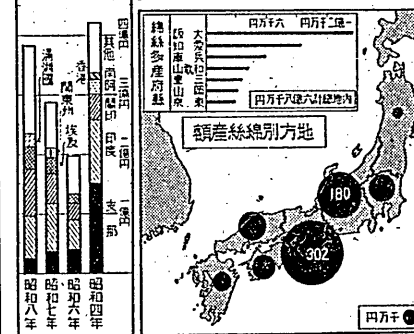
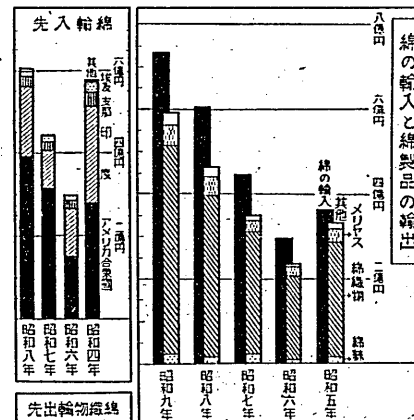
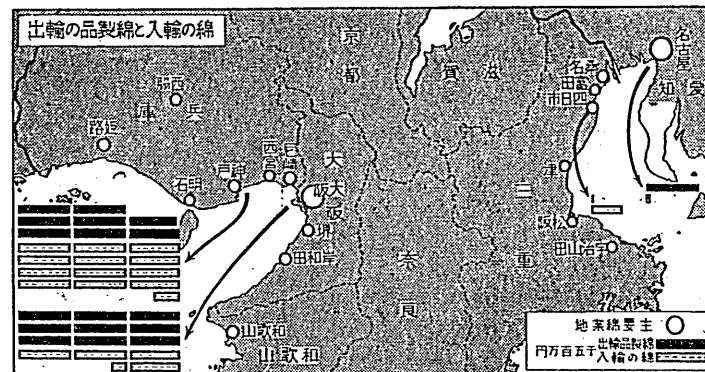
場
た
く



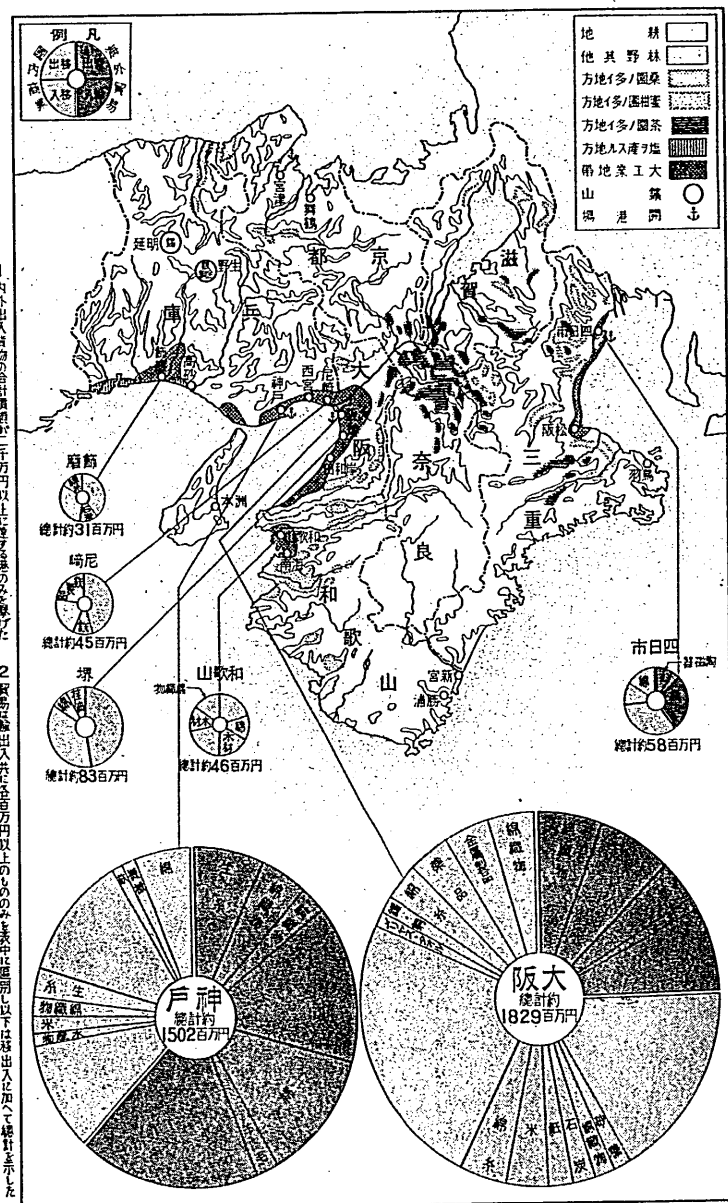
大時も
織阿
の目

に於て

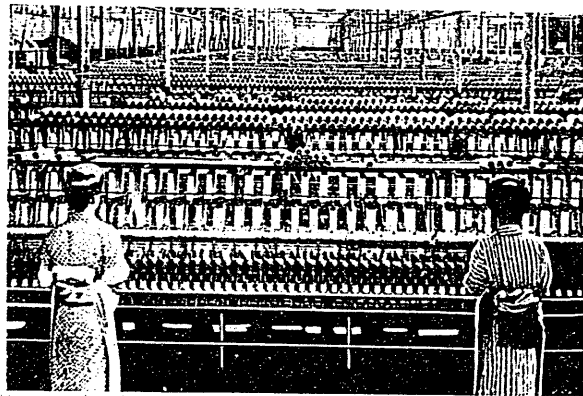




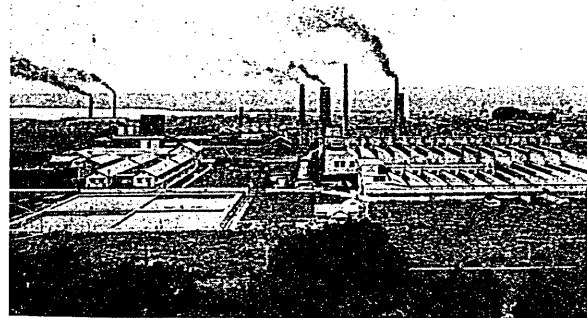
日本の綿工業 綿糸・綿織は我が國第一の工業で、綿業國としては米國に次いで第二位を占め、棉製品の出産額としては英國を凌いで第一位となつた。併し内地の綿産は殆ど絶無に近く、近年朝鮮の綿作が稍進んでは來たが、是とも未だ移出は僅少に過ぎないから、原料綿の最大部分は外國から輸入してゐる。従つて綿は輸入品の大宗である。綿工業は各地に發達してゐるが、殊に盛なのは大阪を中心とする阪神工業地帯で、原料綿の約六割は神戸から輸入し、棉製品の約五割は大阪から輸出する。



1 内外出入貨物の合計額が三千万円以上を達する港のみを挙げた
2 昭和七年の輸出入共に全千万円以上のものを表に基に選別以下は移出輸入に於て統計を示した



紡績工場の内部
我が輸出品の大宗たる綿製品の基を製作する紡績工場の内部（東洋紡績）

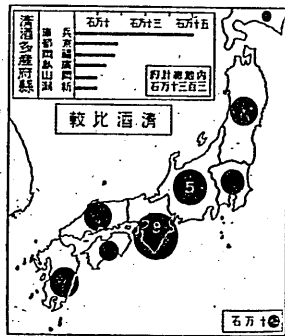


滋賀縣の人絹工場
良質で豊富な琵琶湖の水は多くの人絹工場を養育させた（左方の水面は琵琶湖）



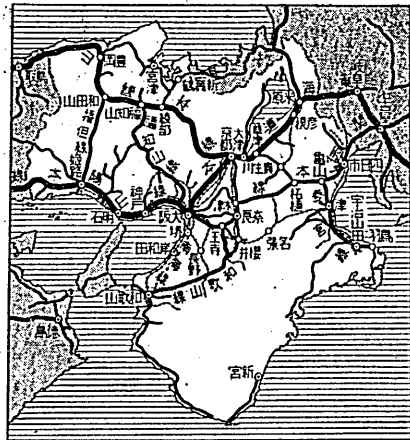
和歌山縣の蜜柑山
有田川沿岸の光景で丘陵は悉く蜜柑畑に披はれ所謂紀州蜜柑の産地である

ぐ滋賀縣は古來麻織の特産地であつたが、近年人絹工業の大中心となつた。この他、陶器（京都）漆器（京都和）等も亦名高い。



るみでん包で菰たい附の標商を樽斗四 装包の樽酒（酒）

酒造用の水は六甲山の花崗岩下から湧くもので四宮では宮水といふ



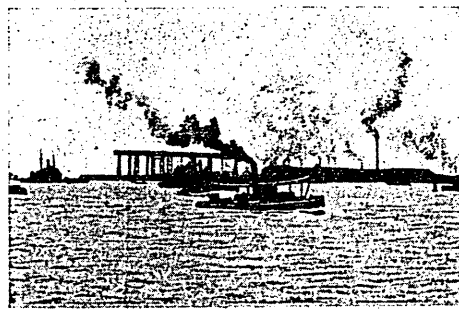
- 1 神戸・下関間
- 2 京都・備前間
- 3 大阪・名古屋間
- 4 京都・東舞鶴間
- 5 尼崎・福知山間
- 6 神戸・和田山間

輸出が多いのを特色とし、四・日・市は綿工業地を控へて、輸入が稍多く、宮・津・京も開港場であるが、商況は未だ振はない。

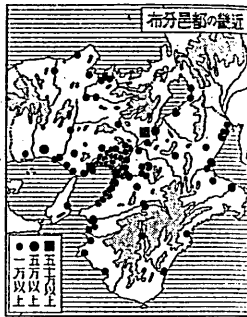
交通 京都は古來道路網の焦點で、本州の主要街道は、多く此處に集つてゐる。鐵道は京阪を中心として、本州表裏の幹線をなす東海道、山陽、北陸、山陰の諸線が集り、關西、舞鶴、福知山、播磨等

の諸線は、此等の幹線を連絡する。長距離電車は、他の地方に比類なき發達を示して、大都會と住宅地遊覽地とを連ねてゐる。

海運は神戸・大阪を中心とする。神戸は海外航路の要地で、商港旅客港として横濱と對立し、大阪は近海通船の出入が多い。近年大阪を

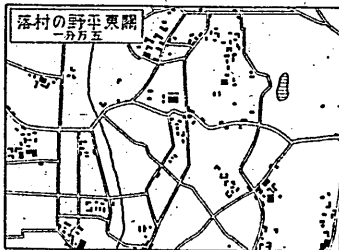
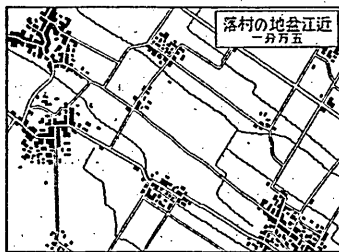


神戸神戶港の設備が内外的に絶えず出入する



中心として、國內の各地及び大陸へも航空路を通じ、又通信機關には大阪中央電信局(受信小野、兵庫、明石、大阪)があつて、對外通信に當つてゐる。

人口と都邑 文化の發達が古いので、盆地平野の人口は關東平野よりも稠密である。都會は昔の城下町・港町の外に、遊覽地や又新しく勃興した盛大な工業町が多い。奈良盆地、近江盆地等には、古代の條里制の聚落が残り、人家が條里正しく密集して集村をなし、關東平野の不規律に散在してゐる散村と、著しい對照をなしてゐる。



處誌

滋賀縣 琵琶湖を中心として、一大盆地をなし、周圍に湖岸平野が發達してゐる。湖東の一部は養蠶が盛で、その中心の長濱は縮緬を産し、又麻織の工場もある。名高い伊吹山が東方に聳え、冬季はスキー

滋賀縣
大津市
彦根市
草津市

の爲に集る者が多い。米・原は交通の要地に當り、彦根市は名高い舊城下町で、湖上汽船が發着し、今も湖東の中心町である。八幡は蚊帳の産地として知られ、又日野と共に、所謂近江商人の多く出た處である。湖南の大津市は、湖

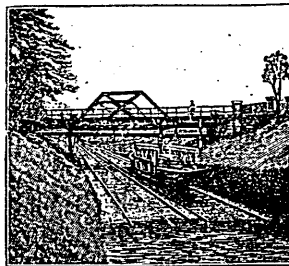
上航通の中心地で、市の内外に人絹の大工場が多い。

琵琶湖は我が國第一の大湖で、その水は

瀬田川・宇治川となつて

淀川と通じ、又疏水によつて京都と通ずる。宇治川には、湖水を調節する爲に洗堰を設け、それ以下は急流で舟運に適しないが、疏水にはインクラインの裝置があつて、小舟を通じ、又何れも發電に利用されて、京阪神地方に電力を供給する。湖中には竹生島を

進を水疏ニイラクソの水疏（宇治）れば運に上陸でルーレは船た來でん景光するすとんば浮に上水び再がれそ

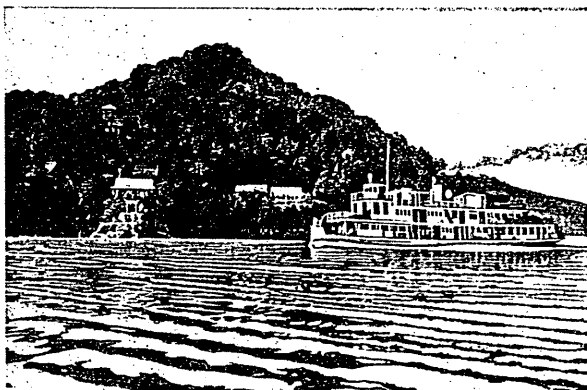


宇治川の洗堰 二十三の門水を設け水量を調節する



三井寺大津市 三井寺大津市 三井寺大津市

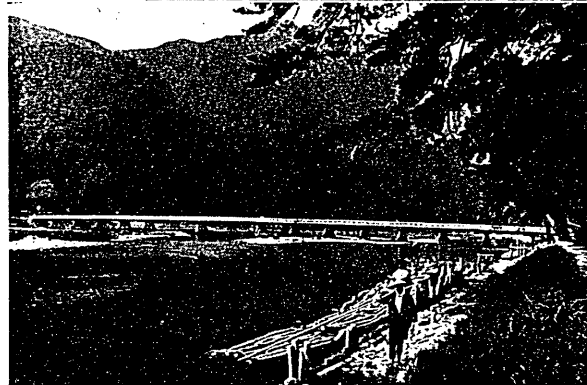
竹生島
全島緑樹に包まれて紺碧の水面に浮び島内に神社や辨天堂・観音堂等がある

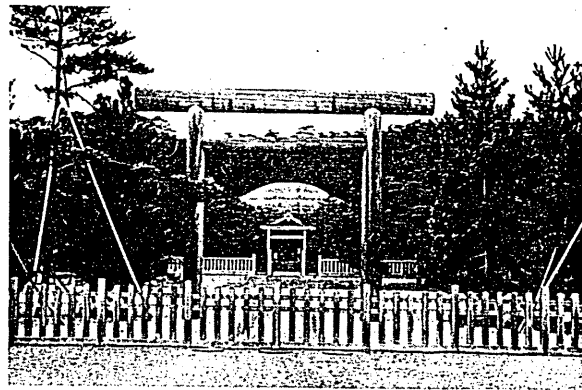


清水寺
堂宇は山崖に建てられ門前に立てば京都市街の大部が雙眸に集る

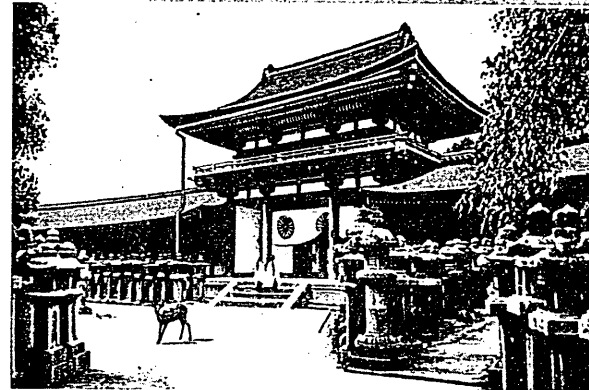


嵐山
春は櫻に秋は紅葉、麗しい山影を保津川の清波に映してゐる





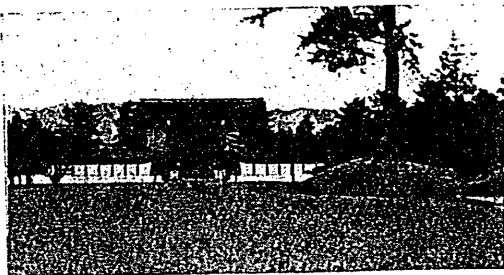
桃山御陵
明治天皇の御陵で青松繁る丘陵を繞らし森嚴を極める



春日神社
緑の森に丹書(に)の社殿、千年前の榮華の夢を現實に示してある



伊勢神宮
天壤無窮の皇基を開き給ひし宮居の址で畝傍山の南麓にある



西槇御陵
南面の建禮門から拝した静肅な氣が充ちてゐる

始め、勝地が處々に散在し、三井寺、石山寺等の所謂近江八景も、多くこの湖畔にあつて、遊覧汽船が絶えず往復する。湖中には水産も多く、湖畔住民の生業として重要であるが、この清冽で豊富な水が、湖南地方を我が人絹工業の大中心たらしめた。

京都府 山城盆地の京都市(區)は、永く帝都となつてゐた處で、古都の情趣に富み、今は關西學術の中心である。近年酒造地の伏見を始め、數多の隣接町村を市域に編入した。工業は概して小規模であるが、美術工藝を特色とし、古くから西陣織、友禪染、刺繡、陶器、漆器等の逸品を出す。鴨川、桂川等が市内を貫流して、山水の景に富み、且御所、桃山御陵、平安神宮、清水寺、金閣寺、嵐山等を始め、著名な神社

京都府
京都市 二〇八
東舞鶴市 三
福知山市 三
舞鶴市 三
京都に第十六師團司令部・京都帝國大學・府立醫科大學等がある

佛閣名所史蹟等が到る處に散在し、四圍の山丘には、比叡山その他にケーブル軌道の施設もあり、遊覽地として第一に指を屈せられ



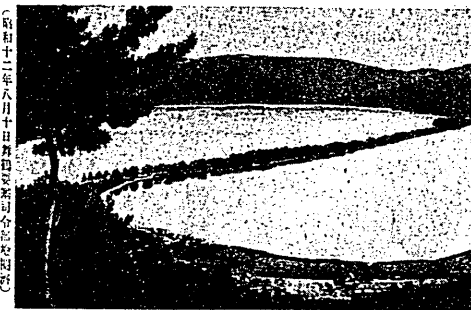
西槇川の側面ループ道



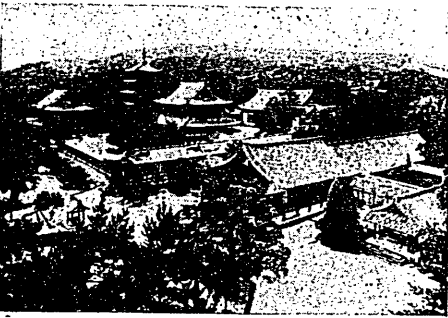
奈良縣
奈良市
丹波市町
三

觀光の客が常に多い。盆地の西南部には竹林が多く、筍を出し、東北部は茶園が廣く、宇治はその中心地で、平等院の古刹があり、又大發電所や人絹工場がある。南境の笠置山は著名の史蹟である。丹波高原には、小盆地が多く、養蠶が行はれ、福知山市はその一中心で生絲を出す。舞鶴灣内には、商港の舞鶴市や海軍要港の東舞鶴市があり、宮津灣内には、宮津の商港と、天橋立の勝地がある。峰山は縮緬の産地として名高い。

奈良縣 奈良盆地には、昔の條里正しい道路や、古風な聚落が残る。又西瓜の特産がある。奈良市は、古の平城京の東部に當り、近く三笠山を負うて、勅封の寶藏正倉院を始め、春日神社、東大寺、興福寺等の名高い社寺が多く残り、京都と並ぶ靜寂な遊覽都市で、全市が一公園の觀を呈してゐる。郡山の附近には金魚の養殖が行はれ、法隆寺は著名な古刹である。丹波市には天理教本部があり、高田は交通の要地である。畝傍山麓には、神武天皇陵や、橿原神宮があり、多武峰には談山神社がある。その他、盆地内には、到る處に史蹟名所があつて、所謂「大和巡り」は、昔から名高い觀光旅行である。高取御所の附近一帯は、賣藥の製造が盛である。吉野山は吉野朝の史蹟と、櫻花とで名高く、南部の山地より、海邊に及ぶ廣い地域と共に、國立公園である。



天橋立、安蘇海と宮津灣の分を大砂嘴で長約三軒



法隆寺の全景と塔と並ぶの高名金堂

山を負うて、勅封の寶藏正倉院を始め、春日神社、東大寺、興福寺等の名高い社寺が多く残り、京都と並ぶ靜寂な遊覽都市で、全市が一公園の觀を呈してゐる。郡山の附近には金魚の養殖が行はれ、法隆寺は著名な古刹である。丹波市には天理教本部があり、高田は交通の要地である。畝傍山麓には、神武天皇陵や、橿原神宮があり、多武峰には談山神社がある。その他、盆地内には、到る處に史蹟名所があつて、所謂「大和巡り」は、昔から名高い觀光旅行である。高取御所の附近一帯は、賣藥の製造が盛である。吉野山は吉野朝の史蹟と、櫻花とで名高く、南部の山地より、海邊に及ぶ廣い地域と共に、國立公園である。

三重縣 伊賀盆地には上野の名邑があり、



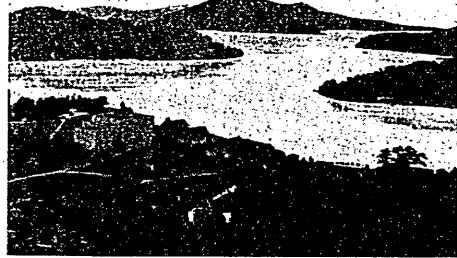
吉野山の櫻の最勝といはれる一目千本に於ける眺望

吉野に有名な如意輪寺がある

三重縣
 津市
 四日市市
 宇治山田市
 桑名市
 松阪市
 上野町

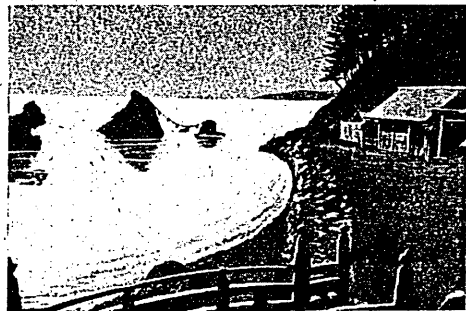
三 二 三 三 三 三 三

附近から傘・陶器等を出す。伊勢海は往時街道の連絡海路に當り、桑名・四日市・津等の諸市は、古くから港として榮えてゐたが、今は南方の松阪市と共に、綿工業が發達して、近代的の工業地となり、四日市はこの地方の門戸で、附



島羽港 山を負ひて湖に多島の群が風景がよ

近から萬古焼を出す。宇治山田市は、伊勢神宮鎮座の靈地で、その神域は、老杉・古柏鬱蒼として、茂り、五十鈴川の流れは、千古清く、參拜の人々は、自、尊崇の念に打たれる。この附近に二見・浦・朝熊山等の勝地がある。志摩半島の鳥羽は、風景のよい漁港で、英虞灣・五所灣等には、眞珠貝の養殖が盛に行はれ、尾鷲は漁業の



二見浦 夫婦岩が岸に並ぶ日びを出む所名で

和歌山縣
 和歌山市
 新宮市
 海南市
 田邊町

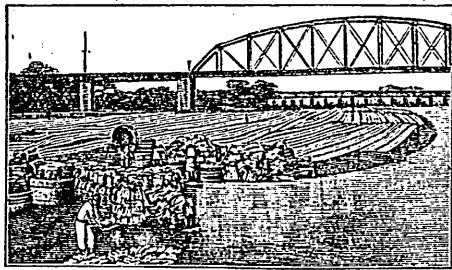
一 一 一 一 一

一中心である。

和歌山縣 海岸は平地に乏しいが、漁港を兼ねた小都邑が多く、沿岸航路が發達してゐる。熊野川の口に臨む新宮市は、木材の大集散地で、製紙業も行はれ、上流に海八丁附近に那智瀧がある。この邊は、北方の吉野(奈良)に互る地方と共に、國立公園である。



四國蜜柑産地 箱詰るみ



綿原のルネ水河に瀝ぎ原に干し光景

勝浦・串本は主要の漁港で、漁船が多く集り、田邊は地方の中心町で、附近に白濱温泉や梅林で名高い南部がある。有田川の流域は、紀州蜜柑の本場で、箕島湯淺はその集散が多く、海南市は漆器を出す。紀川の口に臨む和歌山市は、徳川氏親藩の居城地であつたが、今は重要な商工都市となり、綿ネルの産が甚だ多く、又木材の集散が行はれ、海岸に和歌浦の勝地がある。内部の山地は、木材の産

高野山は金剛峯寺を中心として發達した山中の聚落である

が多く、國名木、國の起
因となつた處で、その
中の高野山には、金剛
峯寺があり、交通不便
の靈域であつたが、今
は登山電車の開通等
で、遊覽地化せんとしてゐる。



四金剛峯寺 眞言宗の本山で塔や坊が甚だ多い

大阪府
大阪市(千人)
堺市 二五〇
布施市 一〇〇
岸和田市 五〇
豊中 三〇
吹田 二〇
池田 二〇
高槻 二〇
大津 二〇

大阪に第四師團司令部・大阪帝國大學・商科大學等がある



大阪府(十五)は淀川の三角洲に發達した、世界屈指の大都市である。狭い臺地には、大阪城、四天王寺、高津宮等があり、廣い低地は、淀川の分流や運河が四通して、舟運の便が極めてよく、水の都といはれ、工業區商業區となつてゐる。市内には公私の工場が甚

白濱温泉

鉛山の東岸に位してこの邊一帶は雪の如き白砂の濱で白濱の名を呼ぶに至つた



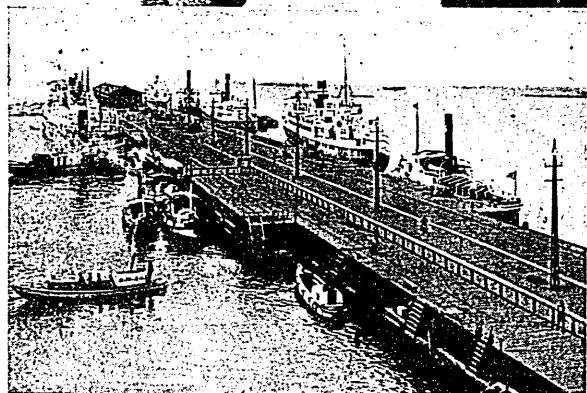
海八丁

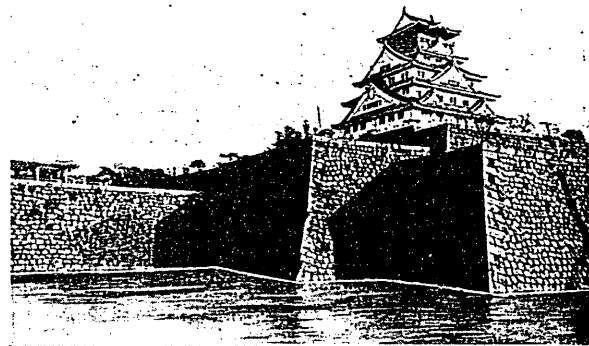
屏風のやうな絶壁、生茂る老樹の緑、紺碧の深淵がよく調和した溪谷美である



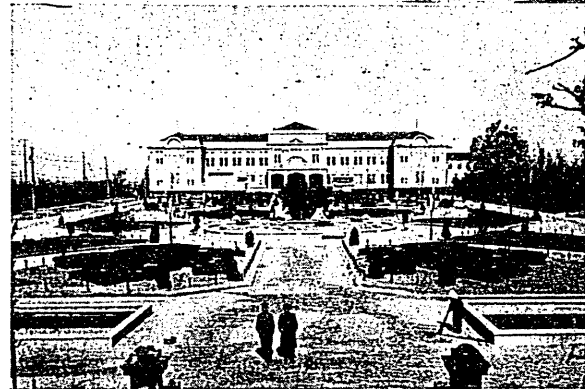
大阪港の棧橋

長さ四百五十五米に餘り大小の商船が多く繋留され南況の繁盛を示してゐる





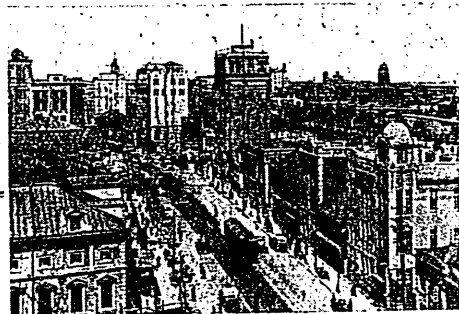
大阪城
豊大閣偉業の偉を石垣や外濠に残してゐたが最近舊形を模して天守閣を造つた



天王寺公園
大阪随一の公園で洋式の花壇、日本式の庭園・運動場等に分れてゐる



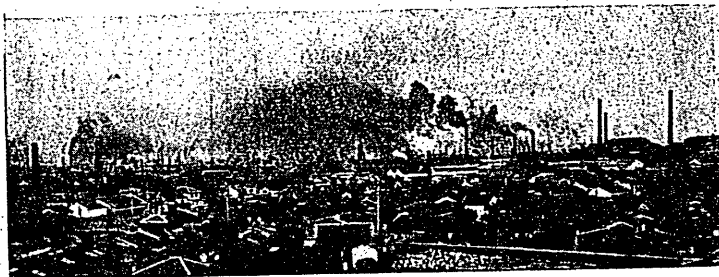
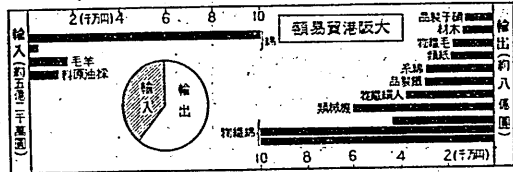
深川神社
楠木正成を主神とし正行・正季等十八人を配神した別格官幣社である



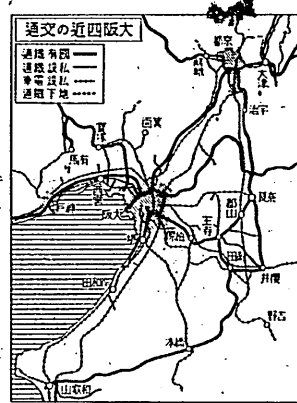
大阪大市場
通濱北の多い店商大や行銀で樞中の上済經

堺の東部に大仙陵
〔仁徳帝の御陵〕がある

だ多く、大小の煙突は、林立の壯觀を呈して、阪神工業地帯の核心をなし、實に典型的な商工都市である。近年築港の施設も完備して、船舶の出入は益々頻繁となり、航空路も多く此處に集り、西日本に於ける、經濟上交通上の大中心である。郊外の濱寺、箕面、寶塚等、は、何れも市民の遊樂地として、豐中市、布施市は、共に郊外都市として發達し、吹田、池田は、醸造地である。堺市は古い港であるが、今は、岸和田市と共に、綿工業が發達し、又セルロイド、刃物、足袋等の特産がある。



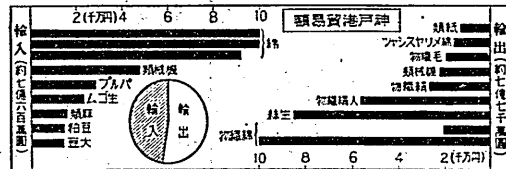
大阪大市場
るゐてれ現が實の都の煙し立林が突煙の小大で様有た見を面方い多の場工



兵庫縣
神戸市
神戶市
西宮市
明石市
洲本市
赤穂市
御影市
加古川市

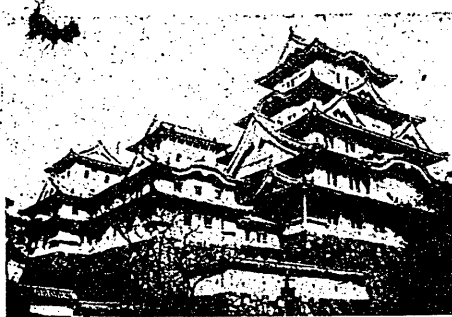
神戸に商業大學がある

ある。東部の四條畷、金剛山は共に楠氏の事蹟に名高く、生駒山、信貴山には名刹があつて、登山者が少くない。兵庫縣東部は地理上大阪平野に屬して、阪神工業地帯の一部をなし、沿岸には、繁盛な工業市が多い。尼崎市は紡績硝子等の工業が行はれ、西宮市御影は、灘地方の中心町で、伊丹市と共に清酒の産が多い。神戸市は舊湊川の三角洲によつて、神戸兵庫の二港に分れ、港灣の施設が完備し、大工業地の門戸として、原料の輸入が殊に多く、又紡績造船、精糖、精腦等の工業も行はれる。市内に淡川神社や、一谷の古戦場がある。

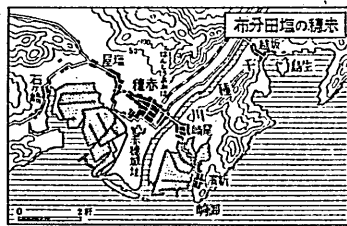


神戸市神戶市神戶市神戶市神戶市神戶市神戶市神戶市神戶市神戶市

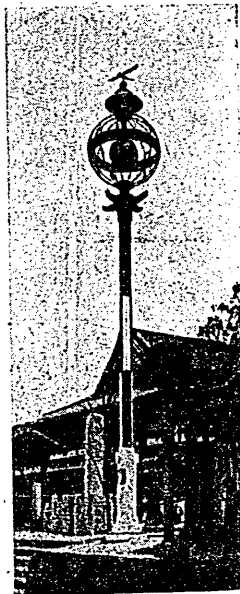
姫路に第十師團司令部がある



姫路城の大小櫓を眺める

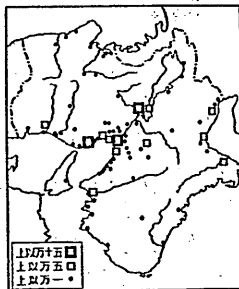


る。六甲山麓の一帯は、良好な住宅区域で、山後の有馬、寶塚等は、温泉遊樂の地として名高い。神戸市の一部をなす須磨、か



中央標準時の線が通る

播磨平野の明石市は、我が中央標準時の子午線が通過する處で、綿織を産し、三木は金物、西脇は輸出向の綿織物、加古川は毛織物を出す。この邊の海岸には、古くから聞えた松の名所が多い。姫路市は略、平野の中央にある舊城下町で、米の集散が盛に行はれ、又革細工の特産がある。赤穂は製鹽と義士



の以上五口人し寫を圖のこ
よせ入記を名のそび選を邑都

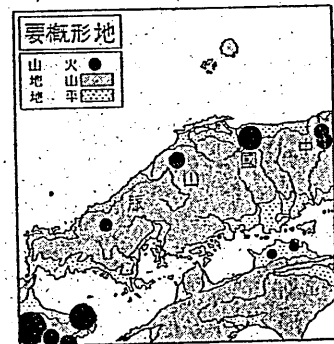
の事蹟とで名高く、龍野は醬油を出す。北部山地には小盆地が多く、生野には著名な鑛山があり、豊岡は柳行李を出す。城崎は名高い温泉町で、附近に玄武洞の奇勝がある。淡路島は丘陵性であるが、耕地がよく開けて果實を出し、又淡路焼の名産がある。洲本は島之首邑である。

第五章 中國地方

通説

面積	約三〇〇方軒
人口	約五七萬
岡山縣 (岡山市)	備前・備中・美作
廣島縣 (廣島市)	備後・安藝
山口縣 (山口市)	周防・長門
島根縣 (松江市)	出雲・石見・隱岐
鳥取縣 (鳥取市)	因幡・伯耆

本州の西端に當る半島狀の地域で、古の山陽・山陰兩道の大部を占める。山陰の一部は、我が古代文化の起つた處であるが、自然的條件の關係上、今では山陽方面に文化が進み、總てに於いて發達を示してゐる。行政上五縣に分ける。

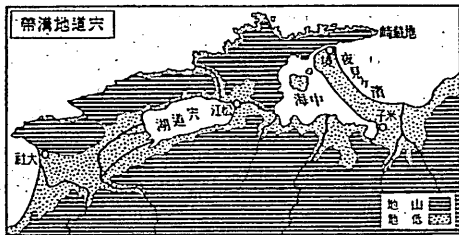


山脈・火山帶	中國山脈
白山火山帶	大山
須賀山	三瓶山
河	湖
旭川	吉野川
大井川	田井川
岩井川	伊賀川
高井川	斐川
中井川	日野川
中日川	伊賀川
穴川	海川

て、脊梁をなし、地形を山陰と山陽の兩斜面に分ける。中國山脈は、侵蝕された古い土地が、隆起して出來た高原性の山地で、その中に多くの盆地があり、谷もよく開けて、交通の妨げは割合に少い。白山火山帶が之に沿ひ、大山・三瓶山等が聳えてゐる。

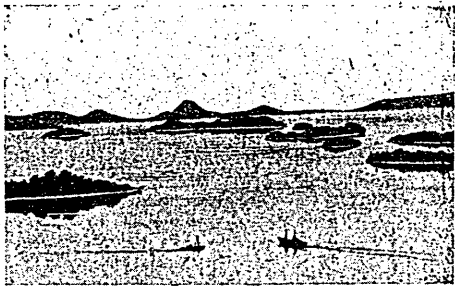


望遠の山大目 望遠の山大目



山陰の江川は、山地を横斷して流れ、中國第一の大河であるが、沿岸平野は殆どない。斐伊川・日野川等の下流は、宍道湖・中海の沿岸と共に、一帯の平野を開き、古代文化の中心となつた處で、主要な生産地である。海岸は島根半島と隱岐島との外には、著しい肢節がなく、日本海岸式に、砂丘と斷崖とが交互に續いてゐる。

島根半島は、本陸との間に宍道地溝帯を挟む。この邊はもと海峡であつたが、諸川



瀬戸内海の風景 児島半島附近から見た大の島々

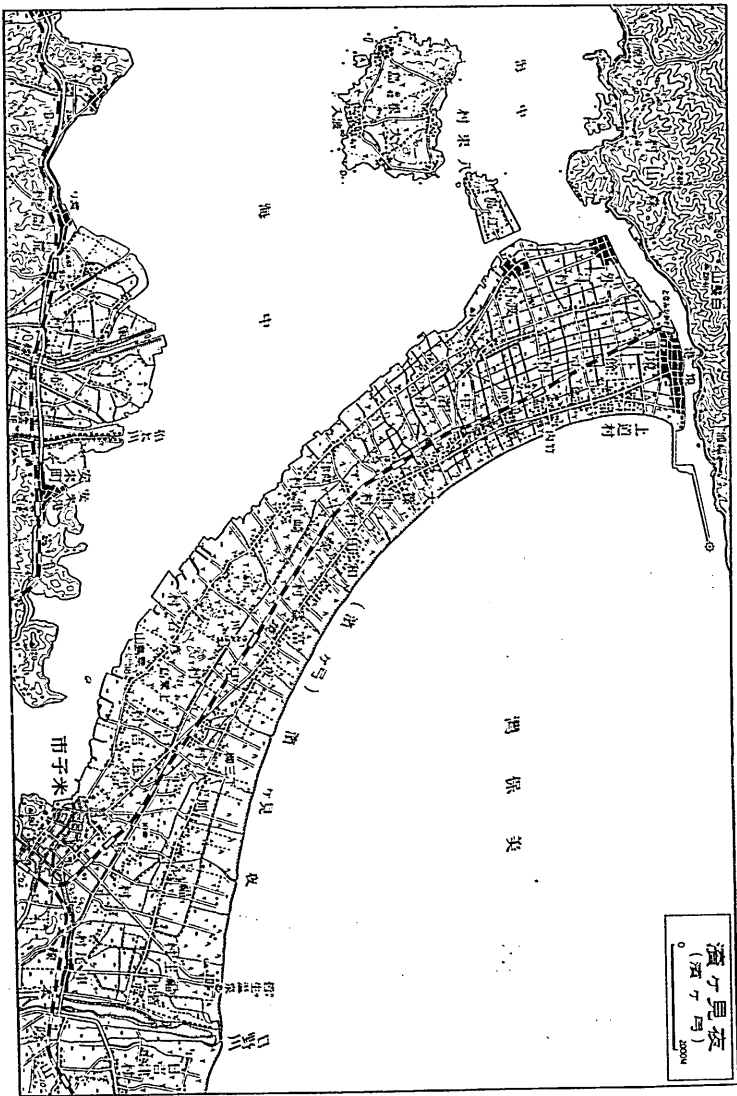
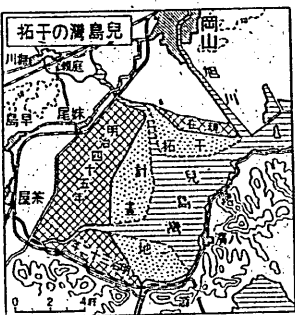
の搬出せる土砂によつて、陸繋島となつたもので、夜見濱は、別に風波によつて出来た砂洲で、大天橋の名がある。

山陽斜面は、山陰に比べると幅が稍廣く、吉井川、旭川、高梁川、大田川等が南流して、瀬戸内海に入り、下流に岡山平野、廣島平野等を開いてゐる。海岸は日本海岸と全く趣を異にし、出入が錯雜し、島嶼も極めて多い。

瀬戸内海 本州・四國・九州の間にある一大内海で、紀淡・鳴門・下關・豊後・四海峽によつて、外海と通じ、何れも軍事上交通上の要地で、廣島灣と共に要塞地帯となつてゐる。内海の沿岸には、大小の半島が錯雜し、波靜なる海上には、無數の島が浮んで、その間に多くの瀬戸(海峽)を作り、花崗岩の分解した白砂は、松の緑と映じて、風景が

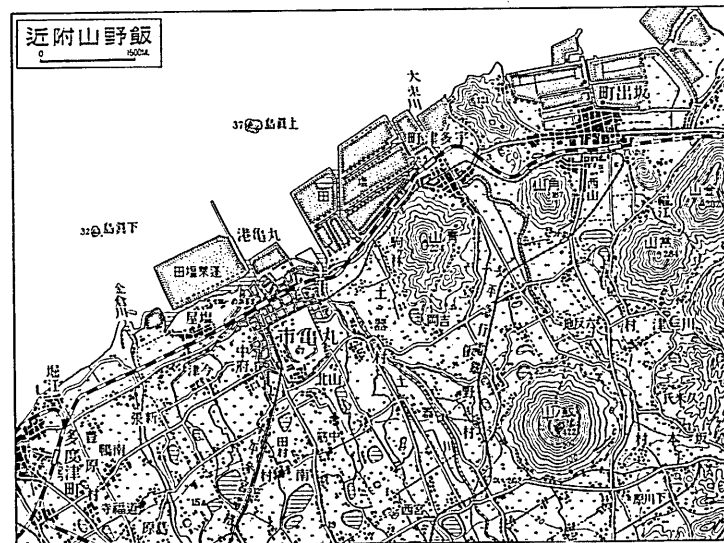
給の如く、海上の公園と謳はれてゐたが、その一部は國立公園となつた。海面は船舶の往來が繁く、又鯛・鰯等の漁利に富み、沿岸には商港や漁港が散在してゐる。沿岸の平野は廣くないが、近年人工の埋立が處々に行はれ、児島灣の干拓事業は、最大規模のものである。

氣候 山陰地方は、山陽に比べると氣溫が低く、且冬は西北季節風の影響を受け、天候が陰鬱

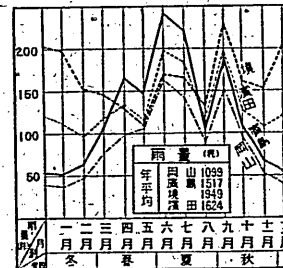
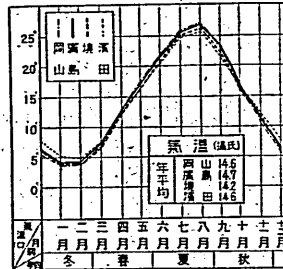
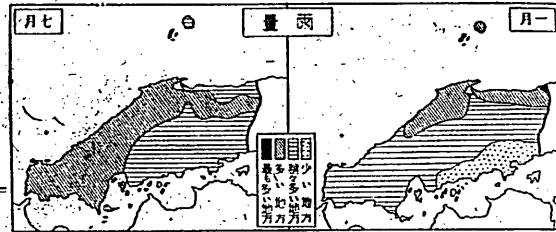


夜見濱 長さ約十九軒に達する大砂嘴である。近道船や鐵道や旅客の砂嘴の長軸に沿つて、あることに注意する。土地は、水田も多く、水田も處々にある。美保灣に臨んでゐる側は、中津に臨んでゐる側と比べて、散居の發達の著しいのが目につく。之は内側よりも外側の方が、絶

對的側が多い島であらう。(陸測五萬分一地形圖に依る)



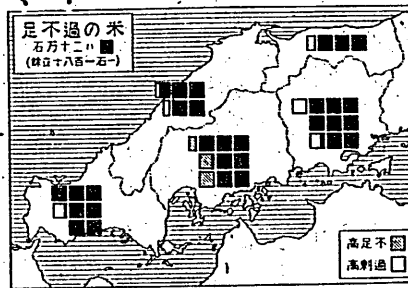
み込落はのあ山澤が印矢に圖で地岩灰石の一第邦本は豊吉秋〔上〕 近附山野飯と豊吉秋
水で部一の野平岐讀〔下〕。るす意注に川小る出れ流らか洞芳秋。るれはいとネリドで穴
立孤に中の野平が々山の等山ノ背・山野飯。るあで色特がとこるあの池溜のく多に間の田
（る依に圖形地一分萬五洲陸）。るあで色特一もとこい多の田鹽に岸海。くひを目入てし

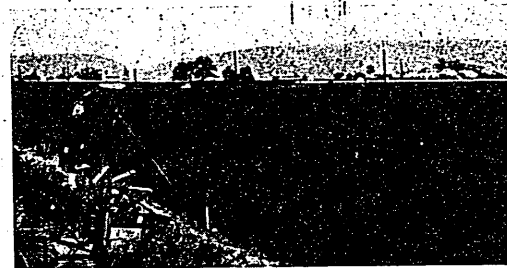


で雨雪が多く、所謂日本海式
氣候であるが、西部は雨雪も
割合に少い。内海方面は、向背
共に山脈が連つて、濕風を遮
るから、年内を通じて割合に
晴天が多く、所謂瀬戸内式氣

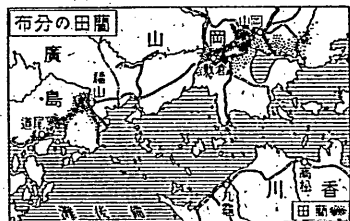
候で、空氣が乾燥する。従つて灌漑の困難はある
が、海岸には鹽田が多い。
産業 農を主業とするが、重要な牧牛地で、又
鹽田の多いことが特色である。

農業 山陽方面は開墾が普く進み、丘陵山谷
までも耕作に利用せられ、岡山平野の如き水不足
の處には、溜池を設け、又海岸の干拓も行はれて、米
麥（裸麥）等の産が多く、近年果樹の栽培も盛となり、



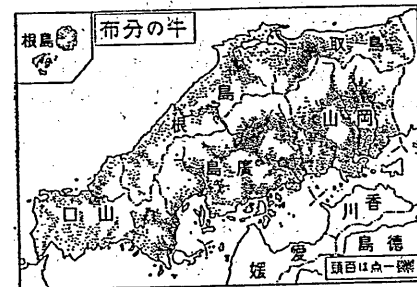
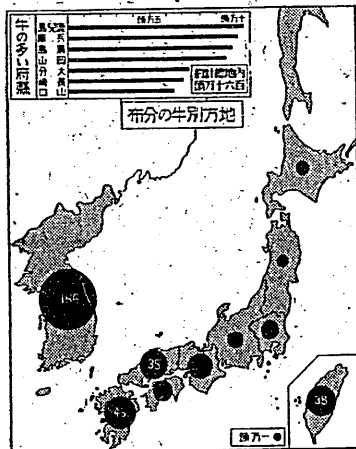


園藝繁茂せる草履のみ水車で命を懸ける田圃へ灌漑する



梨・桃・蜜柑類は、他の地方へも移送する。岡山・広島・島根の兩縣では、蘭草を植ゑて、鹽・表・花・筵の原料とし、除蟲菊・薄荷等の副業的農作も行はれる。山陰の平野は、米を主産物とし、縣外移出も少くない。養蠶も處々に行はれるが、概して山陽よりも、山陰地方に盛である。

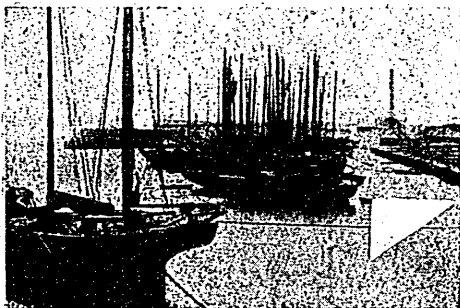
牧畜 中國山地は、主要



広島では原料を移入して野菜類の罐詰も作る

の牧牛地帯で、廣く農家の副業として畜育するが、山麓盆地では、放牧も行はれ、肉牛として盛に阪神地方に輸送

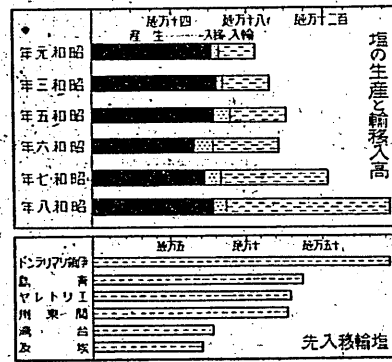
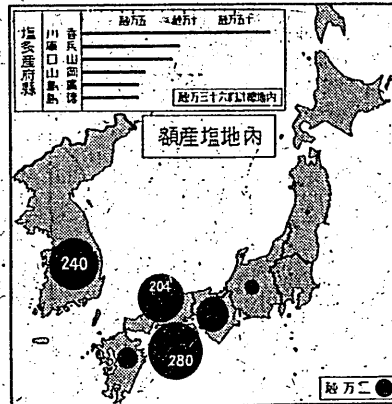
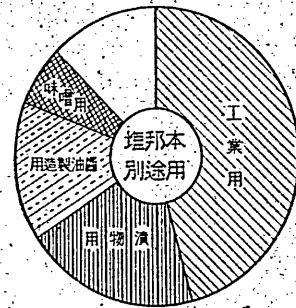
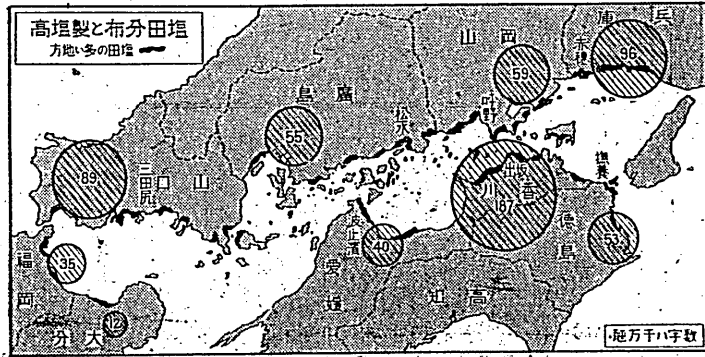
し、広島では罐詰に製して、海外輸出も少くない。水産業 瀬戸内海の鯛・鰯、日本海の柔魚等は代表的の漁獲物である。山口縣民は、朝鮮・支那の近海へも出漁して、水産額が殊に多く、広島灣には牡蠣の養殖が行はれる。



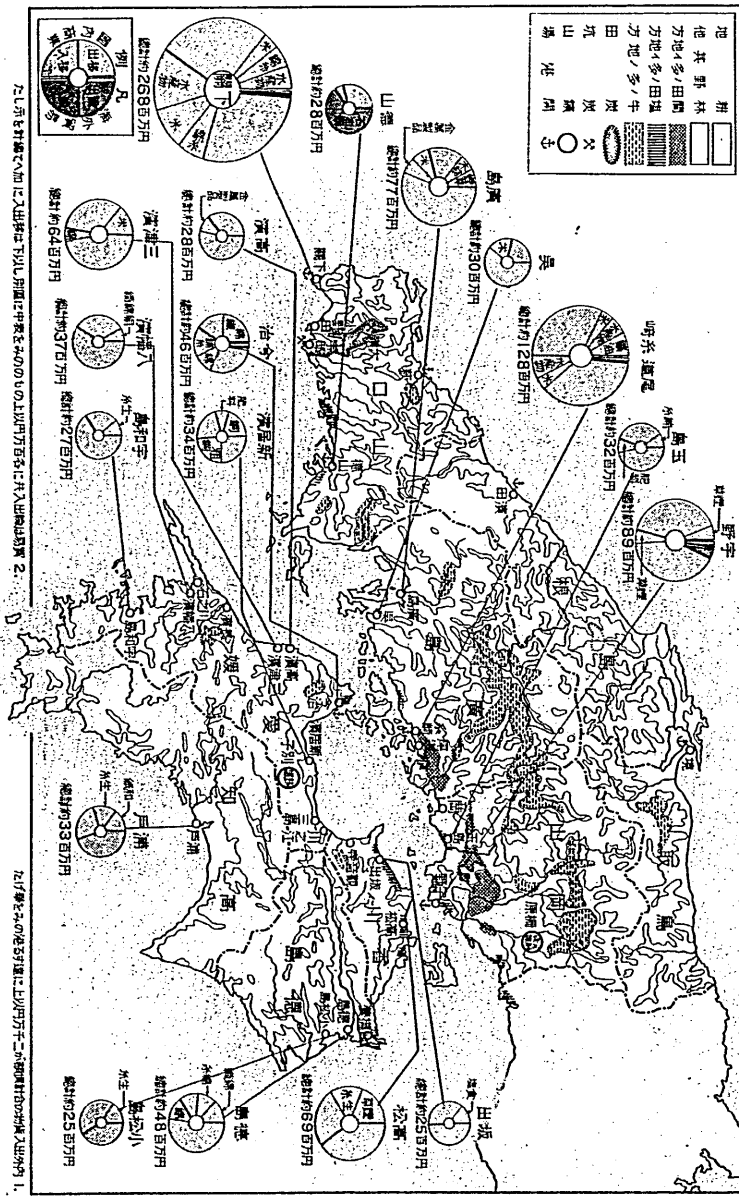
宇部炭坑の上陸は、今では底から採掘する



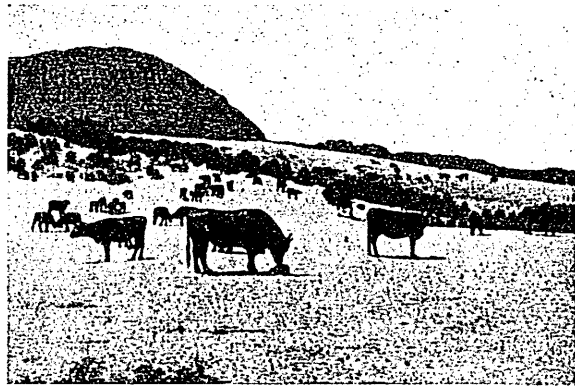
製鹽はこの地方に特有な産業で、内地製鹽の約九割(四國を)を産し、所謂十州鹽田は、内海の沿岸に開け、防府(山口)・松永(広島)・味野(岡山)等は、その中心である。鑛業 鑛産は大嶺・宇部(山口)の石炭が最も高く、大嶺炭は炭質が良好で、徳山にある



日本の鹽 鹽は食用・鹽蔵用等の外、近年曹達・石鹼等のアルカリ工業上に重要なものとなつたが、日本は元來鹽に乏しい國で、世界の諸國では多く岩鹽や井鹽を用ひてゐるのに、我が國には其等の產出がないので、古來繁雜な手数を加へて海水から製鹽してゐるが、雨量が多い上に適當な鹽田がなく、稍多量に產するものは瀬戸内海の沿岸のみである。朝鮮・臺灣等では天日製鹽をしてゐるから、大いに生産費が省ける譯であるが、其等の移入額は、需要の二十分の二に過ぎないから、現在の産額では僅に食用・鹽蔵用を自給し得る程度で、工業原料としての鹽は、總てを輸入に仰がねばならぬ状態である。



たしを付録で加へて、日本は鹽に乏しい國で、世界の諸國では多く岩鹽や井鹽を用ひてゐるのに、我が國には其等の產出がないので、古來繁雜な手数を加へて海水から製鹽してゐるが、雨量が多い上に適當な鹽田がなく、稍多量に產するものは瀬戸内海の沿岸のみである。朝鮮・臺灣等では天日製鹽をしてゐるから、大いに生産費が省ける譯であるが、其等の移入額は、需要の二十分の二に過ぎないから、現在の産額では僅に食用・鹽蔵用を自給し得る程度で、工業原料としての鹽は、總てを輸入に仰がねばならぬ状態である。



中國の牧場
牧場は概ね團體又は個人の所有で小規模ではあるが重要な牛の生産地である

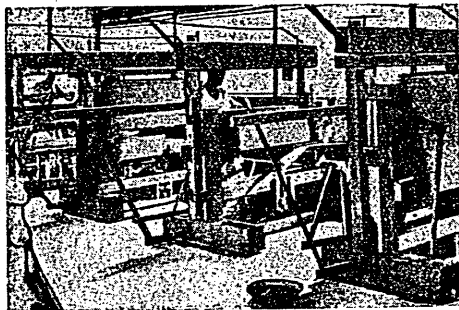


防府附近の鹽田
防府附近は所謂三田尻鹽の産地で海岸の
一帯は見渡す限り鹽田が連つてゐる



夏蜜柑の荷造
秋では町の内外到處に夏蜜柑を栽培し
その果實は竹籠に詰めて他地方に送る

花筵は岡山縣が本
邦第一の産地であ
る



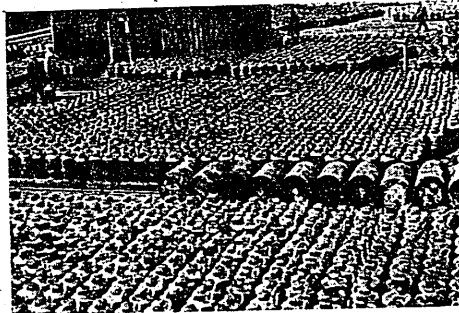
造製の表機(左) 多しと絲經を麻 織で機踏き如の図

海軍燃料廠の原料となる。その他、岡山縣には
棚原・鐵・鑛・山があり、山口縣の石灰岩、瀬戸内
海諸島の花崗岩等も亦名高い。

工業 未だ大工業地帯はないが、呉を中心
として大規模の兵器工業が行はれ、近年阪神

北九州の二大工業地帯の影響を受
けて、内海岸には纖維工業(絹・絹・絹・絹)・化
學工業(セメント・硫酸・燃料等)・造船等の新式工業
が處々に興り、又廣く綿織を出す。岡
山・廣島の兩縣では、副業的に疊・表・花筵等を産し、その他、陶器
(岡山)・清酒(廣島)等の産がある。

商業 産業交通等の關係から、商業も山陽方面に盛で、廣
島・岡山等はその中心であるが、大體は大阪の商圈に屬する。
下關は形勝の地點を占め、貿易額も稍多いが、宇野・岡山・尾道・糸

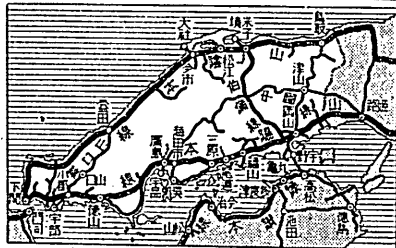


場工の社會料肥造人るあに田野小 版酸硫るせ集群國

（昭和十二年八月十七日下四國通商手続許可）



船格連門關（三） 山釜・分五十約へ司門 約八時間を要する



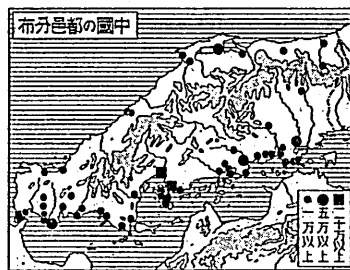
崎・（廣）・萩・宇・部・（山）・上・濱・田・（根）・境・（取）等の開港場は、
商況が振はない。

交通 主要の道路は、南北の海岸を通じ、
又處々に河谷を利用した横斷路がある。鐵
道は山陽・山陰の二幹線が海岸を走り、山口
伯備・因美等の諸線が之を連ねてゐる。西端
の下關は、兩幹線の會點に位し、門司及び釜
山へ鐵道連絡船を通じ

は四國と鐵道連絡船を通ずる。

瀬戸内海は、四周に陸地を控へて、重要な港も多
く、船舶の來往が極めて頻繁であるが、日本海は冬
季に風浪が荒く、航海を妨げることが少くない。

人口と都邑 中國山地にも聚落は少くないが、人口は内海



岡山縣

岡山市 津山市 倉敷市 玉島町 三
岡山に醫科大學が
ある



野宇（四） 交通の要地たる近年各種工場も來た

處誌

岡山縣 岡山平野の岡山市は、著名の城下町
であつたが、今は中國屈指の商工都市
で、紡績製粉等の工場があり、又疊表花
筵等を集散する。市内に名高い後樂園
がある。東方の伊部は備前焼、三石は耐
火煉瓦を出す。西南の倉敷市・玉島・笠岡
等は、紡績人絹等の工業が發達し、笠岡
は又高梁と共に、製帽眞田の集散も行
はれる。兒島灣の干拓地には米産が多
く、宇野は四國へ渡る要津である。津



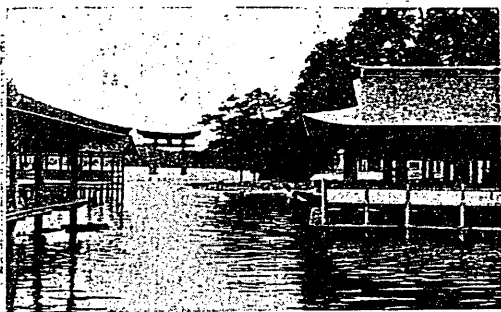
園樂後（四） 先年の風水害に荒れた今は今が美の泉林を復し外岡の城山を添へる

廣島縣
廣島市 三〇〇
呉市 三三
尾道市 三三
三原市 三三
廣島に第五師團司令部・文理科大學、呉に第二海軍區鎮守府がある

山盆地の津山市は、山陽と山陰とを結ぶ要地で、生絲を産し、院庄の舊蹟がある。
廣島縣 東部は岡山平野と共に、壘表の主産地で、福山市はその集散が行はれ、又紡績等の工場がある。鞆は近く仙醉島を控へ、風景がよく、新市は綿織の中心である。尾道市は舟泊の要地で、壘表の集散が行はれ、三原市には人絹の工場がある。大田川の三角洲に跨る廣島市は、雄藩の舊城下町であつたが、今は中國第一の大都會で、軍事學術の中心地となり、人絹罐詰等を産し、東方の西條は清酒を出す。呉市は軍港町で、東方の廣と共に、大規模の兵器工業が行はれ、又萬年筆の特産がある。海上の嚴島には、嚴島神社があり、天然の風致と、社殿の美觀とによつて、古



例好の灣港式内戸瀬へ添見を島のく多に上海 港鞆



景光だん望を居島大の上海に遙てしに背を社神 社神島嚴

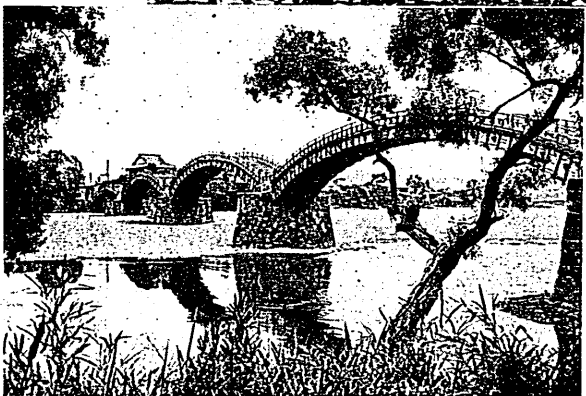
は、嚴島神社があり、天然の風致と、社殿の美觀とによつて、古

大本營址

日清の役に明治大帝が親しく征鷲を廣島に進めさせ給ひし當時の大本營の址



尾道の展望
千光寺公園の丘陵を負ひて近く向島と對し風光が絶佳である

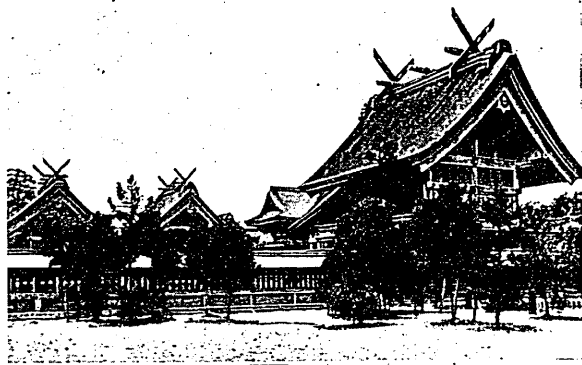


錦帯橋
五箇の反橋から成り古來奇橋の一として名高く橋の長さ二七米

長門峡
阿武川上流の峡谷で水中に巨岩の多いこ
とは本邦随一といはれる



出雲大社
大國主命を祀る古社でその構造は大社造
と呼ばれる特色を具へてゐる



松山村塾
僅に二室の小さい陋屋であるが明治維新
の人傑には此處で教育を受けた人が多い



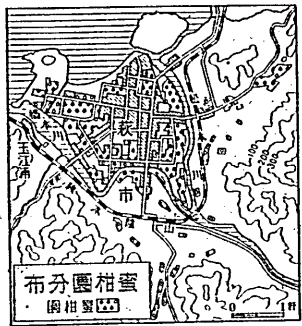
山口市
市の後丘上から廣く街市を望みし景光



江田島に海軍兵學
校がある

山口縣
下關市 宇部市 防府市 山口市 萩市 徳山市 小野田町
一五七 一五七 一五七 一五七 一五七 一五七 一五七

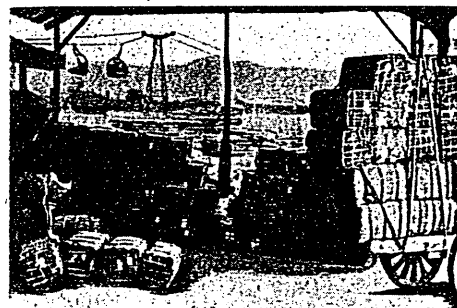
カルストは地表に
鍾乳形の穴が無數
に散在し地下には
大小の鍾乳洞が多
く秋芳洞が最も名
高い



くから著名である。北部山地の三次は、牧牛
地帯の中心地で、又大麻の集散が行はれる。
山口縣 東部の岩國は、錦帯橋で名高く、附
近に人絹の工場があり、柳井は醤油綿織等を
出す。中部の海岸には、下松(車輪)徳山市(石炭)防
府市(製糖)宇部市(紡績)小野田(セメント)等の工
業地が勃興し、徳山は海軍要港で、海軍燃料廠
がある。山口市は戦國時代に繁華を極めた
が今は清楚な教育都市

である。秋吉臺はカルストと呼ばれる地形をな
し、長門峡は風景のよいので名高く、萩市は舊城
下町で、市内の夏蜜柑園は特色ある景觀を呈す
る。下關市は商業交通の要地で、附近に壇浦の
史蹟があり、彦島は市の工業地である。最近此處

島根縣
松江市 壱人



運ばれた炭木が積る山せの陰線の一驛

から九州に通ずる鐵道及び國道の試掘隧道が開通した。
島根縣、西部の海岸平野では、和紙赤瓦木炭等を産し、濱田はその集散の中心で、又重要な漁港である。出雲平野は古代に文化の開けた處で、名高い出雲大社があり、大社はその門前町である。松江市は宍道湖に臨み、水郷の趣が豊で、遙に大山を望み、風光明媚なので、名高く、附近から出雲焼、瑠璃細工等を出す。隱岐は島前と島後とに分れ、史蹟に富む處で、錫を産し、西郷の良鎗地がある。



松江市の大觀 千鳥城及び市街と湖道に眺ため山美に抱てれる

鳥取縣
鳥取市 八千人
米子市 興

鳥取縣 西部の夜見濱は、長さ二十軒に及ぶ大砂嘴で、灌漑用水を通じて桑畑が多い。米子市はその頸部に位し、北端の境と共に、主要な港である。大山は山容が美しく、近年國立公園となり、船上山は史上の名地である。中部の倉吉は、附近から生絲を産し、東南に三朝溫泉がある。鳥取市は東部の中心都市で、この邊一帯の海岸には砂丘が發達し、東境に浦富の勝地がある。



第六章 四國地方

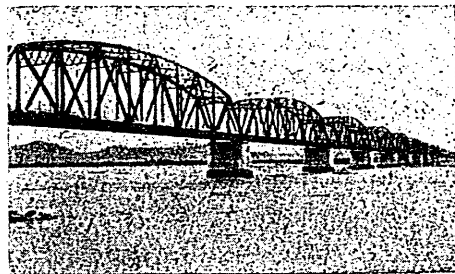
通説

面積 約八、八〇万平方
人口 約三七萬
(府縣名) (縣所在地) (管轄國名)
徳島縣 (徳島市) 阿波
香川縣 (高松市) 讃岐
愛媛縣 (松山市) 伊豫
高知縣 (高知市) 土佐

四國島と附近の島嶼とを含み行政上四縣に分ける。北四國は地理的狀態が山陽地方と類し、南四國は紀伊半島と似た點が多い。

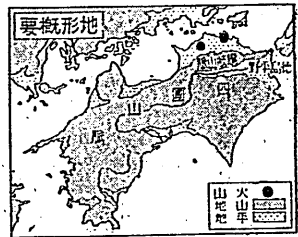
地勢 中部の山地と南北の兩斜面とに分れる。四國山脈

山脈火山帯	四國山脈	石鎚山脈	阿蘇山脈	飯野山脈
三三	三三	三三	三三	三三
河川	吉野川	仁淀川	四萬川	阿蘇川
三三	三三	三三	三三	三三



川野吉田 下流は廣く十五米餘の橋が架かる

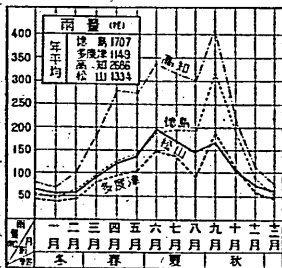
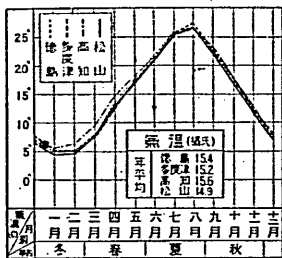
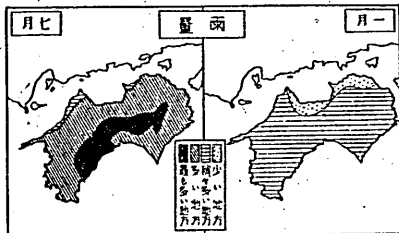
は紀伊山脈の續
きて、高峻な劍山
石鎚山等が聳え
てゐる。四國の長流吉野川が
この山地を横ぎり、大步危小
歩危等の峽谷をなし
て流れるが、下流は吉野川地溝帯を流
れて、徳島平野を開く。この平野は、四國
最大の低地であるが、礫層が多く、水田
は割合に少い。北部には低山性の讃岐山脈や、高縄山地があつ
て、讃岐平野の外には、廣い低地がない。内海の沿岸には、此處彼
處に古い火山岩の丘陵がある。讃岐富士と呼ばれる飯野山や、
熔岩臺地の屋島等はそれである。



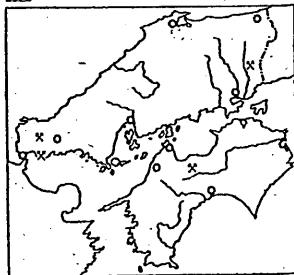
くひを目人爲つ時に中の野平がいなはく高 山野飯田

南四國は山勝ちで、仁淀川、四萬十川が流れ、低地の稍、廣いの

鳴門の潮流は一時
間二十秒に及ぶ



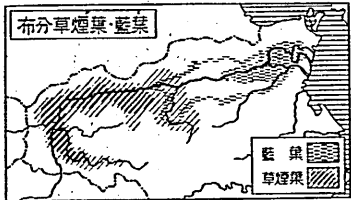
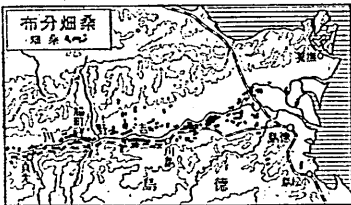
は高知平野のみである。
瀬戸内海には、讃岐・高縄の兩半島が出て、燧灘
を抱く外、大小の島が多く、太平洋岸には、陥没に
よつて出来た土佐灣があり、室戸崎と足摺岬
とが之を抱へてゐる。四國山脈の東西は、沈水し
てリヤス式の紀伊水道及び豊後水道となり、豊
後水道は出入が殊に著しく、佐田岬が長く突出して、豊後海峡を扼
してゐる。周囲の海峡中には、潮汐の干満に當り、激しい潮流を起す



都・川河たし示し寫を圖のこ
よせ入記を稱名の地産鎮・邑

處が多く、鳴門海峡、來島海峡
は、その著しい處である。
氣候 北四國は、山陽地方
と同じく、瀬戸内式氣候で、海
岸には鹽田が發達し、耕地は
水不足の爲、溜池が多い。南四

讃岐平野は雨の多いこと溜池の多いことは勿論その産物までも總ての人文状態が岡山平野とよく似てゐる



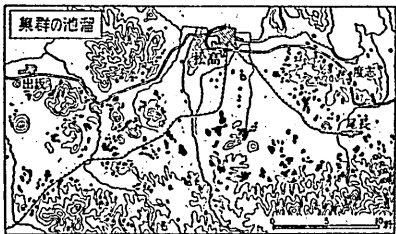
國は紀伊半島の南部に似て、高温多雨である。産業 耕地は廣くないが收穫率は割合に高く、沿海地方は魚鹽の利が多い。

農業牧畜 北四國の平野は、米麥等の産が多く、吉野川の流域は藍煙草等の特産を出したが、藍畑は多く桑園と變つた。愛媛縣では、檀を植ゑて木蠟を採り、又蜜柑の産が多く、高知愛媛の兩縣にかけては、三椶楮等を栽培して、和紙の原料とし、高知

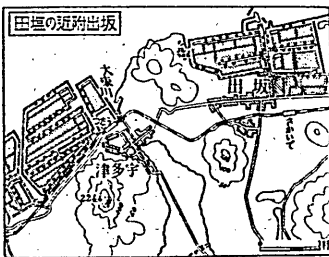
平野では、米の二毛作を行ふ處もあり、又野菜の促成栽培が盛である。養蠶も近年各地に盛となり、牧畜は牛を主とし、北四國には豚の頭數が稍多い。

林業 南四國は、高温多濕の爲に林地が廣く、木材薪炭等の産出が少くない。

水産業 沿岸は水産に恵まれ、且阪神の消費地にも



田鹽で總望一は域地る至に岸海らか町 田鹽の出坂



鑛業 鑛産は別子・愛媛の銅が最も高く、その鑛石は、新居濱から四坂島に送つて製鍊され、直島にも銅銀の製鍊所がある。

工業 未だ大工業地帯



景光るみてし理料を經てしと程工一第 造製の飾鯉

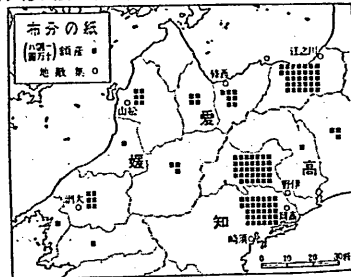


く行てい率が船汽を舟小だん積を石鑛 搬運の鑛銅

近いので、漁業は甚だ盛で、太平洋面の鰯、鰯と、内海の鯛、鰯とは、漁獲が殊に多く、高知縣は古來鰯節の産地として名高い。北四國では製鹽が廣く行はれ、撫養、島坂、出川、波止濱等はその中心地である。



和紙野伊の風景

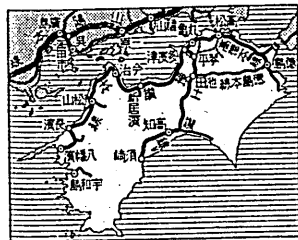


はないが、古來の綿織(徳島)の外、近年紡績(香川)・人絹(香川)等の新式工業が發達し、殊に今治(媛)を中心とする綿工業は、甚だ盛である。その他、高知・愛媛の和紙も昔から名高く、香川縣では、農家の副業として、製帽・眞田を出す。

商業 内國商業は大坂の商圈に屬してゐるが、高松・徳島等は、水運の便を利用して他地方との

取引も少くない。今治・高知は開港場であるが、神戸の背後地に屬し、貿易は振はない。

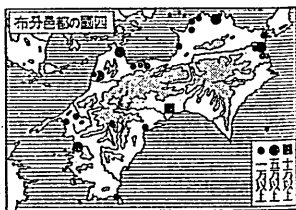
交通 鐵道は豫讃線、高德線が北海岸を走つて、徳島線と續き、南部へは土讃線を通じてゐるが、陸上の交通は尙不便なので、乗合自動車や沿岸航路が發達し、その缺點を補つてゐる。高松は交通の大關門で、中



- 1 高松・八幡濱間
- 2 高松・佐古間
- 3 徳島・池田間
- 4 多度津・須崎間

國と鐵道連絡船を通じ、徳島は大坂方面との航通が頻繁である。

人口と都邑 北四國は人口が稠密で香川縣の如きは、府縣中有數の密度を持つてゐる。南四國は人口が著しく疎である



が、山地が多いので、縣外移住や外國移民が少くない。都會は舊城下町と港町とが主である。

處誌

徳島縣 徳島平野の徳島市は、吉野川の三角洲に發達した舊城下町で、小松島を外港として、貨物の集



徳島市の内新町川並ぶ倉庫多き藍庫あ



高松港の右方商船の棧橋、左方連船の棧橋で水陸連絡の設備を整へてゐる

徳島縣
徳島市



園庭の式本日純たし備完の水泉や山築 園公林栗

散が多く、又綿織を出す。鳴門海峡に臨む撫養は、附近に鹽田が多く、又和布の名産を出す。脇町は藍作の中心地であつたが、近年桑園が増加して、繭の集散が行はれ、池田の附近は煙草を産する。西南部は山岳が重疊し、祖谷はその中に位し、別天地の趣がある。

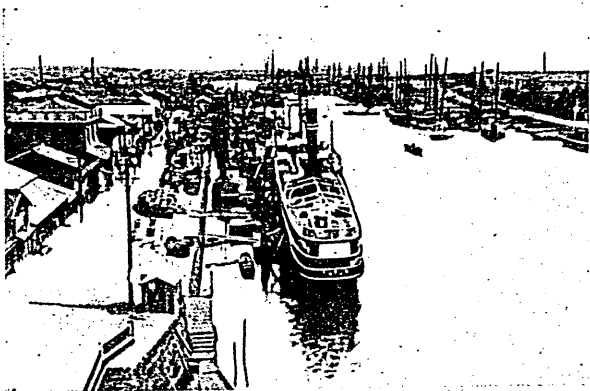
香川縣 讃岐平野の高松市は、中
國と連絡の要地に當る舊城下町で、
今は四國第一の商港である。紡績そ
他の工業が行はれ、又漆器の名産
を出す。市内に栗林公園、近傍に屋島、五劍山等
の勝地がある。坂出は製鹽の中心地で、製帽眞
田を産し、丸龜市は舊城下町で、團扇を出し、善
通寺は兵營町である。琴平は名高い金刀比羅
宮の門前町で、多度津はその參詣者の上陸地



景光たげ上見をと町前門と殿社らか街市 宮羅比刀金

香川縣
高松市
丸龜市
坂出町
善通寺に第十一師
團司令部がある

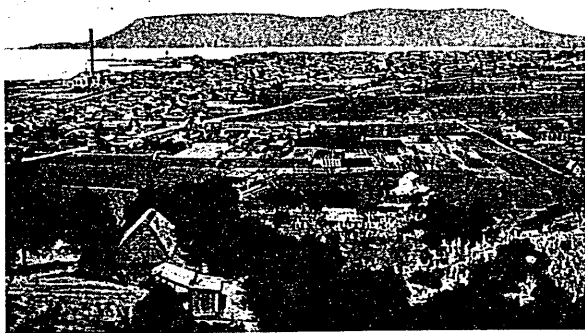
徳島港
林立する帆船は多く、發動機船で近來阪神
地方との往復が頻繁である



祖谷地方の吊橋
祖谷川には深い谷を横きつて圖の如き古
風な吊橋が設けられてゐる

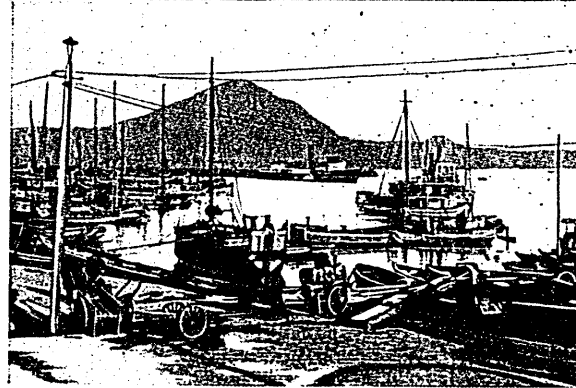


屋島の遠望
上部が平坦で一見屋根形をなす、塔岩基地
である。近景の市街は高松市

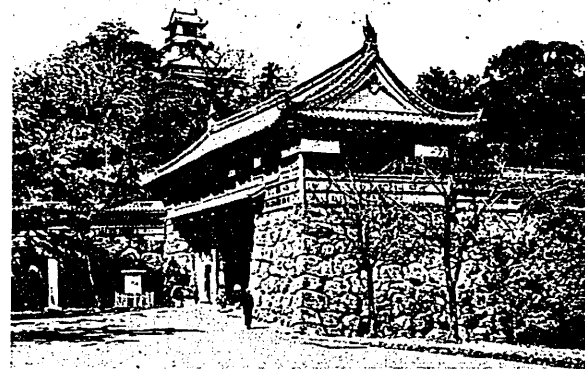




道後温泉
昔から知られた名湯であるが内湯はなく
図の如き三階建の共同浴館がある



三津濱
水産物の集散が多くその魚市は著名であ
る遙に時々は伊豫小富士の名ある興居島



高知城
山内氏の居城で天主閣・本丸・追手門等
が國寶として残り今は公園となつてゐる

愛媛縣
松山市
今治市
宇和島市
新居濱市
八幡濱市
三三三三三

四國地方

として榮えた港であるが、今も内海の一要津である。海上の小豆島は、醤油・素麺・石材等を出し、又寒霞溪の勝地がある。

愛媛縣 東部の川之江は、和紙の産が多く、新居濱市は別子銅山の鑛石積換港で、肥料・人絹等の工業が勃興し、西條にも人絹の工場がある。今治市は新進の工業地で、綿絲綿ネル・タオル等を産し、附近には鹽田が多い。松山平野の松山市は舊城下町で、綿絲綿織の工業が行はれ、附近に名高い道後温泉がある。この邊蜜柑の産が多い。三津濱は高濱と共に松山の外港で、水産物の集散が盛である。

大



の道鐵山鎮るす通らか濱居新① 市治今と山銅子別國圖
用送輸は塔鐵・山鎮が山の景遠・場鎮遠く多は物建で點終
るゐてれ現が分氣の市業工に突極ぶ並建② るあで道索

洲盆地は紙・木蠟の産が多く、大洲はその集散地である。海岸の八幡濱市は漁港で、又繭を集散し、宇和島市には製絲・綿織等の工業が行はれ、罐詰の製造も盛である。

高知縣
高知市 (千人)

高知縣 地勢や位置の關係で、人口が割合



物獲漁の量多たれさげ揚陸らか船漁 岸海の水清

に少い。高知平野の高知市は、名高い舊城下町で、景色のよい吸江灣に臨み、浦戸を外港として、盛に水産物を集散し、又セメント和紙等の工業が行はれる。仁淀川流域は楮・三極の畑が多く、水田と交錯して特殊の田園景を示し、その中心の伊野は古くから和紙の産に名高く、須崎は天然の良港を控へ、西南の清水と共に、鯉節製造の一中心である。東部の室戸岬・浦戸は共に漁港で、室戸崎は岩石美と海色美とで、その名を知られてゐる。



るあが観奇るふ用を帆傘に舟し適に漁遊船遊 灣江吸

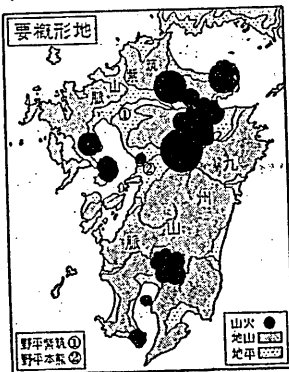
第七章 九州地方

通説

古の西海道の地で、その東南部は神代史に名高い地方であるが、その後永く文化に取残され之に反し、西北部は早く外國と交通が開け、その一部は鎖國時代に於ける、唯一の外國文化輸入の門戸となり、今は各種の産業が發達し、活況を呈してゐる。行政上八縣に分ける。

地勢 九州島は、地形上、北部中部南部に分れ、別に西南の海上に、一連の列島がある。

北部の筑紫山脈は、中國山脈の續きで、低く且數多の地塊に分れてゐる。遠賀川はこの地塊の間を北流し、西南部には九州第一の長流筑後川が流れて、下



野平筑後川

山火 筑山 尤串

筑後川の上流と大分川及び白川と大野川とを結ぶ谷は東西横断の要路である
佐世保湾・長崎湾・平戸島附近・豊岐・下関海峡等の附近對馬の大部及び大島の一部は要基地である

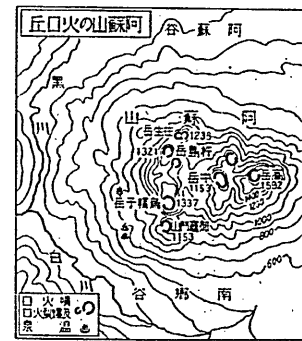
流に豊沃な筑紫平野がある。西部には多くの副半島を持つ肥前半島が出て、唐津・大村・有明等の海灣を圍み、海上に平戸・壹岐・對馬等の島嶼がある。中部は阿蘇火山帯の通ずる處で、阿蘇山を中心として、東には九重・由布・鶴見・兩子等の諸山が聳え、西は有明海を越えて、多良・雲仙等の諸山を起し、名高い温泉が多い。球磨川・白川は



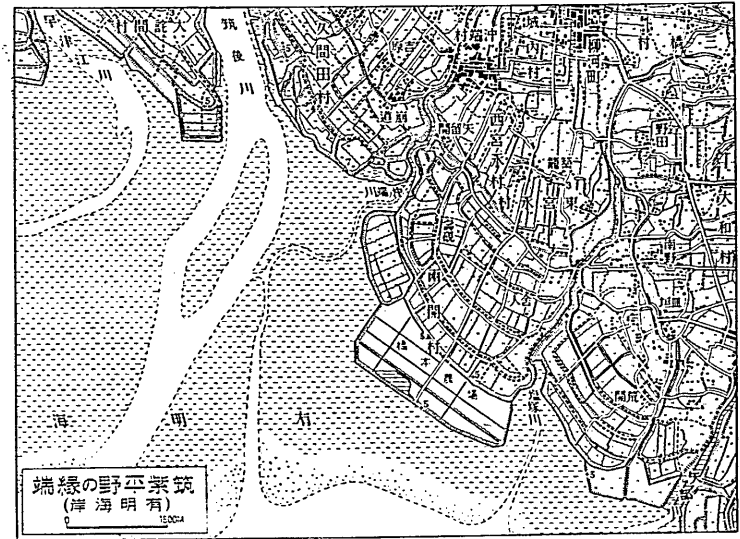
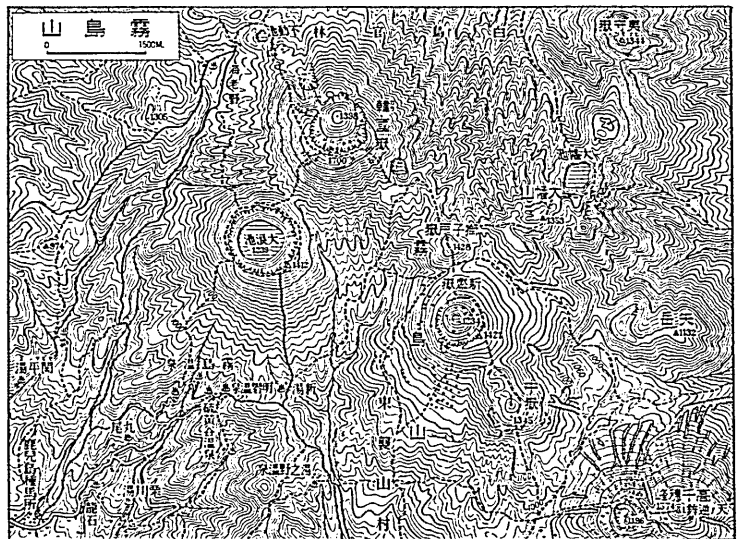
道鐵の式開昇る架に(線實佐)流下の川後筑 川後筑(四)るなと係軌てつ降に下が桁はに時る通を處此が車列で橋



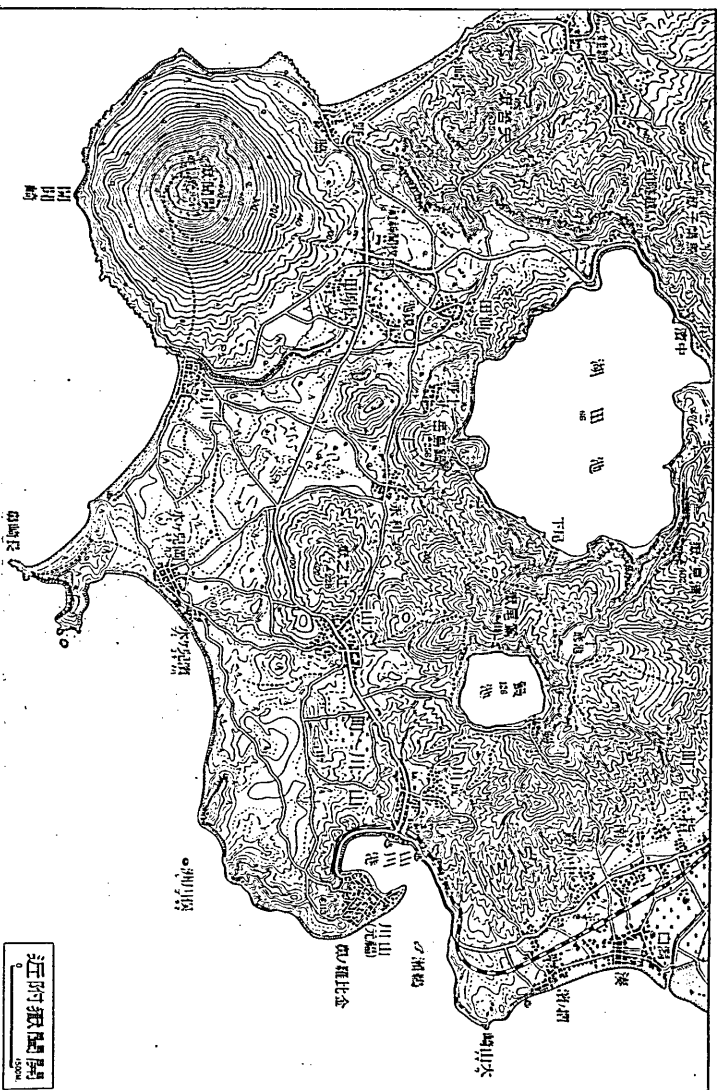
社神上山は殿社・岳中はるゐてし煙噴に盛 山蘇阿(四)



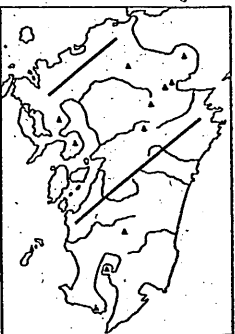
西流し、大野川は東流して、その河谷は重要な交通路である。海岸は西部に宇土半島が出て、有明海と八代海とを分け、海上に天草諸島があり、東部には國東半島と別府灣がある。南



あが防堤に爲く防を入侵の水海で淺遠は岸海の野平築[上]・山島霧と端縁の野平築山火島霧[下]。るせは思を形地のダンラオてつあがと村農と川小ず必はに側内の防堤。る火噴てし止休く全にうやの岳國韓のもるゐてし煙噴にうやの峰穂千高とる見を口火噴の群た々漫にうやの池浪大のもるゐてつもを水の少多にうやの炭燃新のもるゐてし出露を底口(る依に圖形地一分萬五測陸)。るす意注にのるあの等のもるゐてしなを水湖る



開闢途程 等山脈を見ただけで山脈の形を思はせる開闢途程が時々、池田湖、池田、池底及び山麓等の如き地形的特徴があり西部には南北に走る断層の一部分も見え、地底の多くことにも注意する。地名に於て「スミ」・「大川」・「ヤマ」・「開闢」・「水」・「カ」・「ミ」等の綴った呼方のあるのも地方色の一であらう。(開闢途程一地形図に依る)

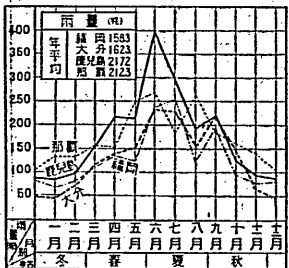
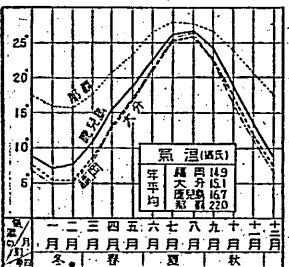
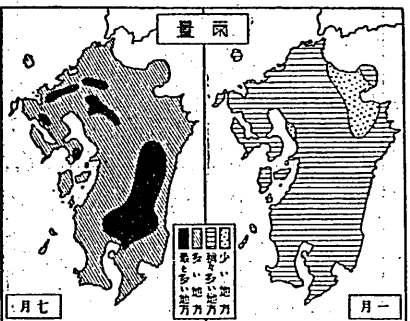


・岳山たし示し寫を圖のこ
よへ加を名に川河・山火

部の九州山脈は、一大連嶺をなして斜に本島を横ぎり、祖母山市房山等が聳えてある。川内川・大淀川・五箇瀬川等が、此處に發して東西に分流する。南部は鹿兒島灣の陥没により、薩摩大隅の二大半島をなす。霧島火山帯がこの陥没帯に沿つて、霧島山・櫻島・開闢岳等を噴起し、遠く西南

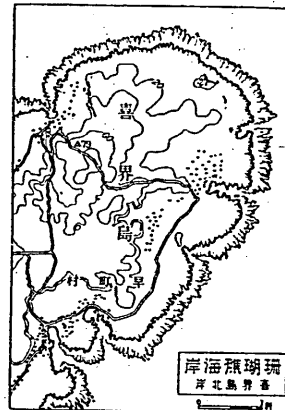
に延びて、薩南諸島の内側に、多くの火山島を作る。

氣候 北九州は山陰地方の西部に似てゐるが、雪は少く、

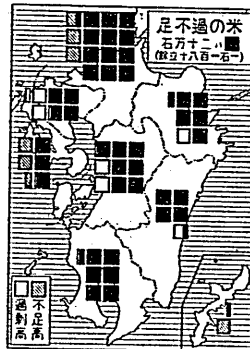
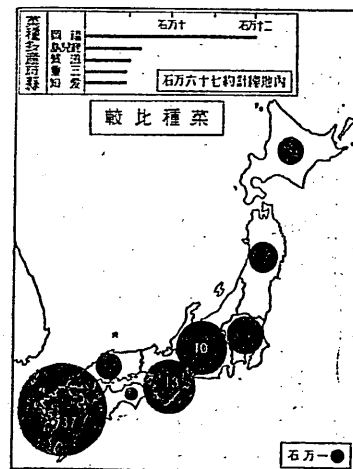


内海の沿岸は、瀬戸内式氣候である。九州山脈以南は、南四國に似て、気温は更に高く、一部には熱帶植物が茂つてゐる。薩南諸島や

琉球列島は亞熱帶性で、植物景觀が著しく異なり、沿岸に珊瑚礁の發育せる處もある。この方面は、初秋の頃、屢、大風に襲はれ、作物に害を受けることがある。

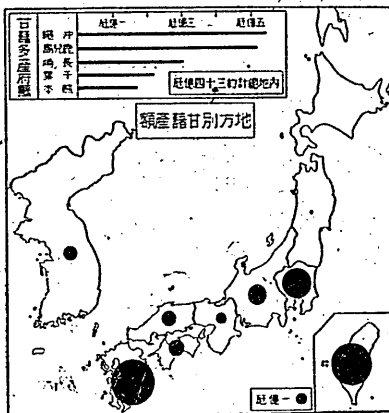
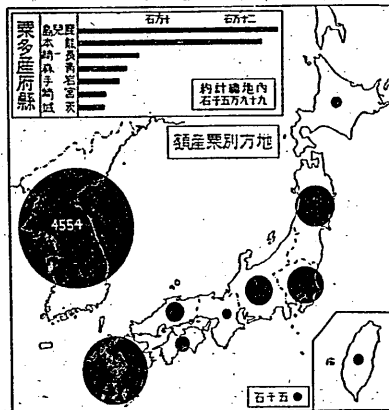


景物植る見に州九部南 林生野の鐵蘇



産業 農畜産も他の地方に譲らないが、石炭の産が殊に多く、大工業の發達する點に、この地方の著しい特色がある。

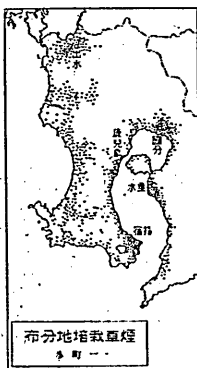
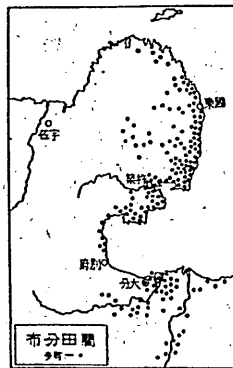
農業 筑紫熊本の兩平野は、米と麥菜種の二毛作が盛で、殊に福岡縣は、屈指の米産地である。甘藷は廣く一般に産するが、沖繩鹿兒島の二縣は殊に多く、砂糖(甘)もこの兩縣が、内地の大産地で、殊に沖繩縣の主産物である。その他、栗、蕎麥



く一般に産するが、沖繩鹿兒島の二縣は殊に多く、砂糖(甘)もこの兩縣が、内地の大産地で、殊に沖繩縣の主産物である。その他、栗、蕎麥

等の雜穀を各地から出す。

鹿兒島縣は有名な煙草の産地で、國東半島では、七島蘭を植ゑて盛に七島表を造る。その他柑橘類(分)枇杷(崎長)等の果實を産し、養蠶も年々に盛となり、熊本宮崎等の諸縣には、繭の産出が少くない。



沖繩縣は豚の頭数が内地第一である

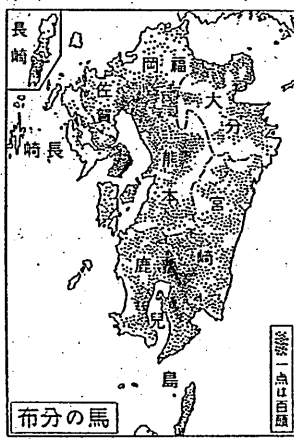
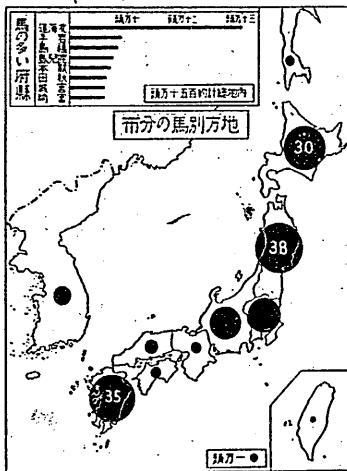


球磨川の筏流し 巧に筏を操り急流を下り行く光景

牧畜 阿蘇霧島雲仙等の火山裾野は、廣く牧場に利用されて、中國に續く牧牛地帯となり、馬の産も古くから名高く、鹿兒島熊本の二縣は、その主産地である。沖繩縣では、豚、山羊を多く飼つてゐる。

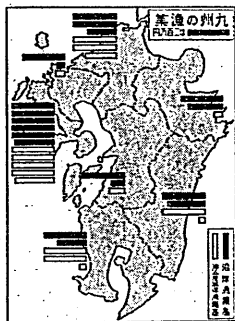
林業 暖流性の氣候に

恵まれ、九州山脈以南には、林地が廣く、木材薪炭等を産し、又椎茸(官分)樟腦(鹿兒島)等の副産物を出す。鹿兒島縣には巨竹を産して、竹細工の原料とし、福岡縣では、木蠟を採る爲に、榿樹を植ゑ、晩秋には、その紅葉が美觀を呈する。



水産業 水産は沿岸一帯に豊富である

が、長崎縣の柔魚、鯖、鯛、南部の鰹、鰯等は、漁獲が特に多く、鰯と鰹節



とは、屈指の産物である。又有明海には、貝類の養殖が行はれる。

鑛業 北部は

我が國最大の産炭地帯で、筑豊三池(福岡)、唐津、長崎等の炭田があり、此等の産炭量は、全國の約七割を占め、若松はその積出が極めて盛である。

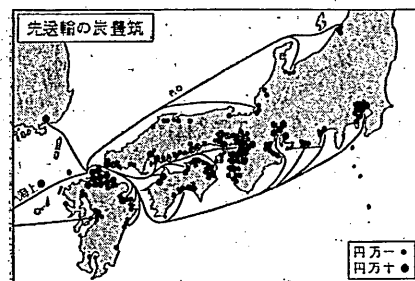
産炭地方には、鑛山町や石炭積出港が多く、且近



鹿兒島縣枕崎海岸を望む 鰹漁の光景



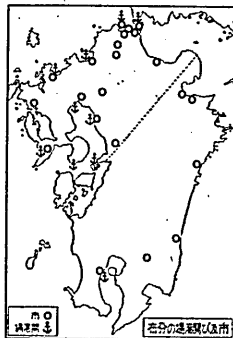
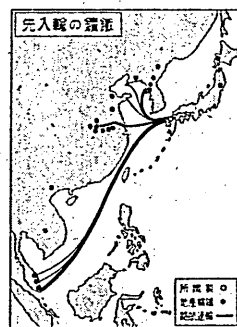
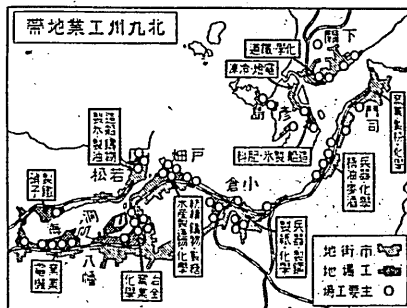
三池炭坑 古の萬田炭坑で千数百の尺の下地に無数の道が通ひ、坑内交通の電車を用ひるもあ



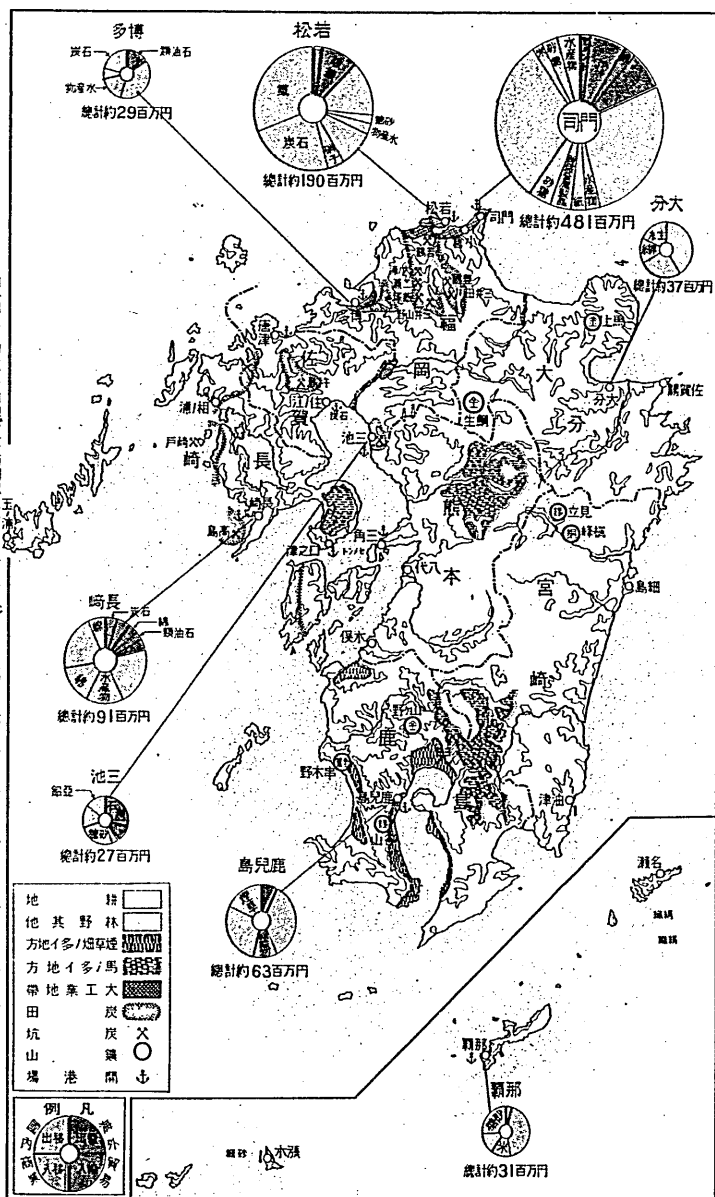
代式の大工業も發達して、十六市全島に二十二市・九開港場(全島に十開港場は、實に西北の三分の一區に集り其等は直接間接に石炭の影響を受けてゐる。

この他、串・木・野・山・野(見・上・鹿)・鯛・生・分・大等の金・嶺・峰・崎・宮の銅・見・立・崎・宮の錫等も名高く、佐賀・關には壯大な製鍊所があつて、金銀銅の製鍊が盛に行はれる。

工業 北九州は大炭田を控へて、石炭の供給が豊かな上に、交通運輸も便利なので、各種の工業が發達し、殊に門・司・から・小・倉・戸・畑・若・松・八・幡の諸市に互る地方には、製鐵を始め、精糖・セメン・卜・硝子・機械・製紙・製粉・紡績・醸造等の大工場が櫛比し、北九州工業地帯をなしてゐる。中でも八幡の製鐵所は、規模が極めて壯大で、その原料・鑛石は、朝鮮の外、遠く支那・マレー半島等からも輸入



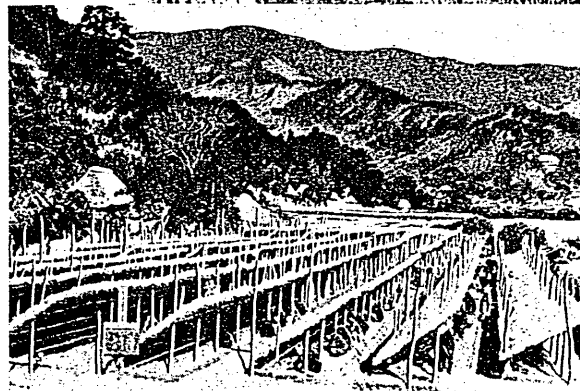
開び及市し寫を圖のこ
よせ入記を名に場港



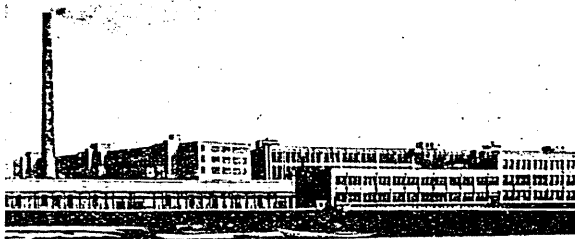
1 内外出入貨物の合計額が三千万円以上を越えるものを表した
2 貿易の輸出入が五千万円以上のものを表した(以下は輸出入の合計額を示した)



阿蘇の草千里
裾野の一部で一面に草の緑に彩られ牛馬の牧草を追ふ静かな情景に富む



國分の煙草畑
昔から品質の良好を以て名高い國分煙草の産地で専賣局の出張所がある



久留米の工業地方
新興の商工都市で在米の機織の外筑後川の沿岸地方には各種の大工場が並ぶ



多種は今がたつあで地帯。専は織多博 場工の織多博國
るみてつ行を産生量大で機織力に外の織手り造を物反の

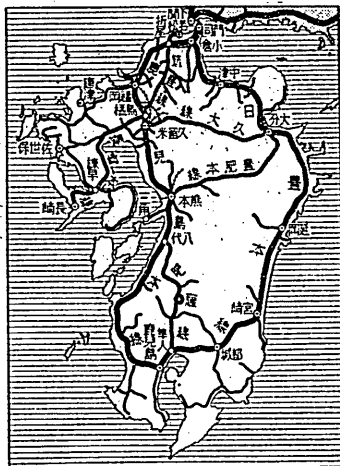
され。その他、長崎、佐世保等には、造船業が發達し、三池炭田を背景とせる大牟田及び電力の利用に便利な水俣、熊本、延岡、宮崎等には、化學工業が勃興した。

古くから名を知られた産物には、久留米緋博多織、大島紬、琉球上布等があり、近年久留米、福岡の諸市には、足袋、ゴム靴、タイヤ等の製造が盛になつた。陶器は有田焼の産額が殊に多く、薩摩焼も亦名高い。清酒の醸造も頗る盛で、良米を産する筑後川の下流地方は、その中心である。

商業 商業は大阪の商圈に屬するが、福岡は地方的商業の大中心で、熊本、鹿兒島等が之に次ぐ。外國貿易は支那南洋方面を主とし、門司、長崎はその二大門戸である。その他、若松

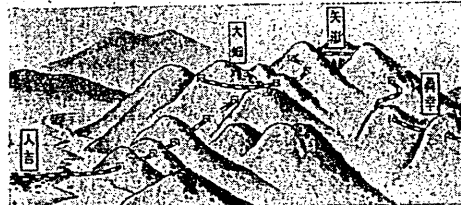


久留米の米留米袋会社 完全せ設るに大り産生量を



- 1 門司 鹿兒島間
- 2 小倉 鹿兒島間
- 3 若松 原田間
- 4 島崎 長崎間
- 5 八代 大分間
- 6 熊本 大分間
- 7 久留米 大分間

ループ線になつてゐる。豊肥線久大線は、横断線として重要な線路である。外國との交通は古くから開け博多平



大畑橋の線状環に近に驛(バコオ)畑大 線プールの岳矢國の線状環に近に驛(バコオ)畑大 線プールの岳矢國の線状環に近に驛(バコオ)畑大 線プールの岳矢國の線状環に近に驛(バコオ)畑大



景光るす絡連に道鐵が車貨たれき送航 送航の車貨

博多・三池(福岡)・唐津・住江(佐賀)・口津・磯原(長崎)・三角

(熊本)鹿兒島・那覇(沖縄)等の開港場がある。

交通 鐵道は割合に發達し、殊に西北部に密で

ある。鹿兒島線は日豊線と共に本島を一周して、筑

豊・長崎・肥薩等の諸線と連絡し、肥薩線の九州山脈

を横ぎる處は、

戸・長崎等がその門戸であつたが、今は門司を中心として、内外の諸港に通じ、長崎からは支那へ連絡線がある。航空路は大阪臺灣及び大陸へ通じ、又長崎縣から大連・上海及びウラヂポストックへ海底電線を通じ、無線電信局も處々にある。

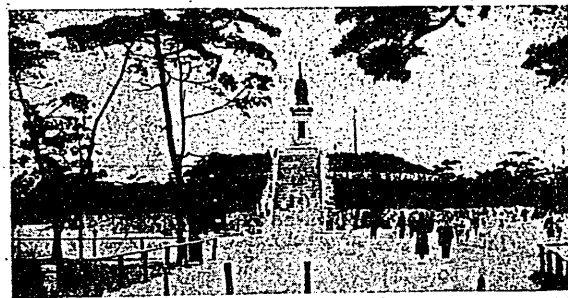
人口と都邑 人口は西北の三分の一區に密集し、その他は割合に疎である。各地に舊時の大城下町が散在することも一特色であり、又西北部に新興都市の極めて多いことは、京濱阪神等と共に、他に類の少いことである。



處誌

福岡縣 北部の洞海附近には、大工業が發展して、新興の市街が甚だ多い。門司市(製糖・製粉・セメント)はこの地方の門戸として、優秀の位置を占め、小倉市(製紙・製鋼)は舊城下町であるが各種の工業が發達し、近年壯大な造兵廠が設けられた。此等は八幡(製鐵・硝子・曹達)・戸畑(硝子・製糖・鉛)・若松(硝子)

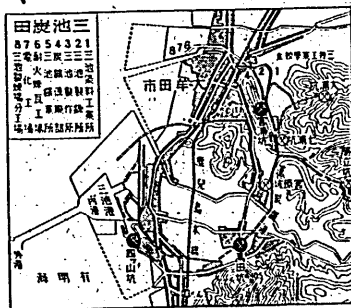
福岡縣	人口
福岡市	二五三、〇〇〇
小倉市	一三三、〇〇〇
門司市	一三三、〇〇〇
大牟田市	一三三、〇〇〇
久留米市	一三三、〇〇〇
若松市	一三三、〇〇〇
戸畑市	一三三、〇〇〇
直方市	一三三、〇〇〇
飯塚市	一三三、〇〇〇
宮田町	一三三、〇〇〇
後藤町	一三三、〇〇〇
中間町	一三三、〇〇〇
山田町	一三三、〇〇〇
瀬田町	一三三、〇〇〇



福岡市東岡の岡公園 元寇の役に関係する人々の像・像の山上山麓に給せらるるあが等記念記元及び像銅の人上連日・像尊の皇上山麓に給せらるる

福岡に九州帝國大學がある
久留米に第十二師團司令部 太刀洗に主要な飛行場がある

造豆船の諸市と共に、我が重工業の中心として發達が著しく、相連つて一大市街の壯觀を呈し、八幡の製鐵所を始め、各種の大工場が並んでゐる。筑豊炭田地方は、遠賀川を挟んで大小の炭坑が群集し、直方市、飯塚市、伊田、宮田、後藤寺等は、この地方の中心都市である。福岡市は名高い舊城下町で、海・中道に抱かれた博多灣に臨み、古く外寇の衝に當つた處であるが、今は九州文化の中心地で、各種の近代工業（紡織、靴）も榮え、又博多織の名産がある。附近に宮崎、宮香、椎宮、その他の史蹟が多く、稍離れて太宰府神社がある。久留米市は筑紫平野の要地にある舊城下町で、地下足袋、タイヤ、久留米絨等を産し、大川は清酒の産が多い。三池港は三池炭の積出地で、閘門式築港を施し、大牟田市は、



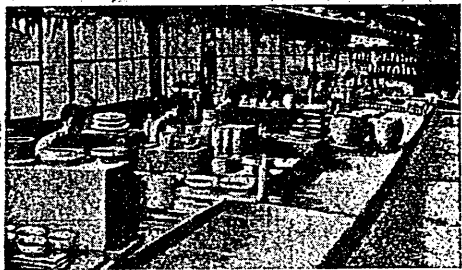
三池炭田の主要工場
三池炭田の主要工場
三池炭田の主要工場

その石炭の利用によつて、化學工業（工業製品）が著しく發達した。

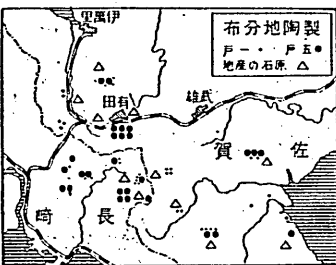
佐賀縣
佐賀市
唐津市



唐津の風景 正面は山の山脈・山脈は長江の原松



香蘭社に於ける原形製作工場の一



佐賀縣 筑紫平野の鳥栖は、交通の要地に位し、佐賀市は舊城下町で、米の集散が多く、又綿織物を出し、武雄は著名な温泉場である。唐津市は唐津炭田の門戸で、附近



大牟田の染料工場 多数の工場に殊に模範的なもの

に、虹松原の勝地や、史上に名高い名護屋がある。西境に近い有田は、古くから名高い製陶地で、伊萬里は漁港である。



宇佐神宮
丹朱の社殿を連ねた鎮西第一の大祠で和氣清磨の神社で有名である

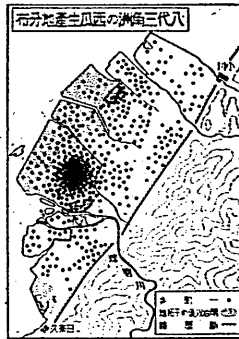


櫻島の大根
大きなのは周囲一米餘、重さ十五吨に餘るものがある



琉球の石垣塀
屋敷町では家の周囲に高い石垣を設けてゐたが大正に市街化した

熊本縣
熊本市
水俣町
荒尾町
熊本市第六師團司令部・醫科大學がある

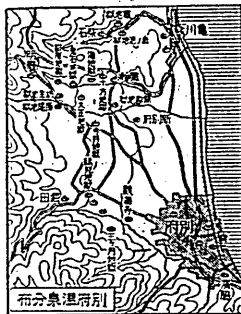


對馬は何れも山勝ちで、住民の多くは漁業を営み、福江・勝本・嚴原は、夫々その主邑である。熊本縣 熊本平野の熊本市は、雄藩の舊城下町で、米の集散が多く、水前寺の勝地がある。舊城は西南役に名高い處で、附近の植木・田原坂等は、當時の激戦地であつた。八代は球磨川流域を背後地として、木材の集散が多く、又セメント・製紙等の工場があり、附近から西瓜を出す。人吉盆地の人吉は、球磨川遊覽船の發着地で、近年温泉町としても知られ、この上流地方に五ヶ家・莊の別天地がある。水俣には化學工業の工場があり、對岸の天草諸島は、無煙炭・陶土等を出す。阿蘇山は、國立公園で、舊火口の廣いことは、世界第一



熊本市南に戦役に使はれたのはこの一部(宇土橋)が残る

大分縣
別府市
中津市
白杵町
津久見町



といはれる。多くの火口丘がその中に聳え、中岳は今も盛に噴煙し、温泉も處々にある。火口原内は、土地がよく開けて、農業牧畜に利用せられ、聚落も少くない。

大分縣 北部平野の**中津市**は紡績工業が行はれ、此處を流れる山國川は、熔岩臺地を侵蝕し、兩岸に奇峯が削立して、名高い「耶馬溪」の勝景を造つてゐる。宇佐には史上に名高い宇佐神宮がある。國東半島では七島表を産し、杵

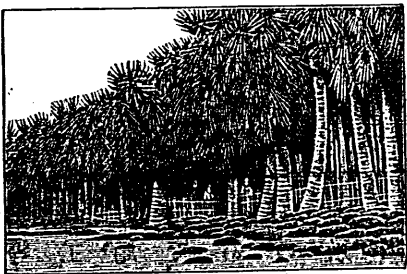


阿蘇の自遊自動車 車は美し野を横つぎ進む

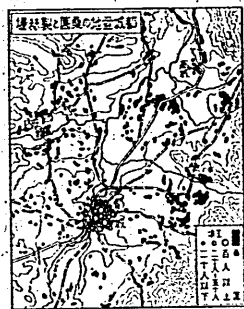
築はその集散地である。別府市は由布岳、鶴見岳を背景とし、風景のよい温泉都市で、海陸空の交通も便利な爲、四時浴客が多い。大分市は鐵道交通の要地で、紡績製絲等の工業も起り、近年著しく發展に向つてゐる。豊後水道はリヤス式海岸をなし、佐賀、關白杵、津久見、佐伯等の錨地がある。津久見

の附近は蜜柑の産が多く、佐賀、關には大製鍊所がある。

宮崎縣
延岡市
宮崎市
小都城町
林城町



西都原の古墳分布



宮崎縣 北部の延岡市は、近年人絹その他化學工業が勃興し、附近に富島(馬細)の舟泊地がある。宮崎市は宮崎神宮の所在地で、製絲工業が行はれる。この地方は、古く神代に開けた處で、高鍋に近い西都原には、無數の古墳がある。近海の青島は、蒲葵林が繁茂し、又岩盤の奇觀に名



西宮市と大淀川 赤江の橋下から流上を見光景

高く、南方の海岸には、岩窟内に鶴戸神宮があり、油津は舟泊の要地である。都城盆地の都城市は附近に桑園が多く、繭

二二二二三三四五五元元三

布分場工粉製

● 製粉工場分佈点

A detailed topographic map of Mount Maunakea, showing its complex terrain with numerous peaks, ridges, and valleys. The map is oriented with North at the top. Key features include:

- Peaks and Ridges:** Labeled peaks include Maunakea (山頂), Maunaloa (山腰), Maunawili (山麓), and several smaller peaks like Maunapali (山頂) and Maunawili (山頂).
- Valleys and Basins:** Large basins are visible, particularly around the central peak and towards the lower right.
- Legend:** Located at the bottom left, it defines symbols used on the map:
 - 泉 (Spring)
 - 口火噴 (Volcanic Crater)
 - 口火噴 (Active Volcano)
- Scale and Orientation:** A scale bar is present at the bottom right, indicating distances in kilometers (0, 1, 2 km). A compass rose is located at the bottom center.



るあが鉢逆天謂所に上頂のこで峯穂千高 山島霧解題



薩南諸島は、甘蔗を栽培して粗糖を産し、又近海に漁利が多い。種子島は鐵砲傳來の歴史で名高く、屋久島からは杉の良材を出す。大島

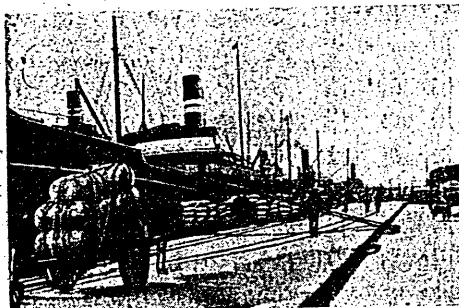


るれば呼と士富摩薩くし美が客山てつ峙に岸海 岳開開録圖

沖繩縣
那覇市
平良町
首里市
糸満市



沖繩市の市場 日用品類の給需は多し市場で行はる



那覇港 三十四噸級の五隻を繋ぎ留る

は奄美諸島の主島で、鯉節粗糖・大島紬等を出す。名瀬は全島の主邑である。

沖繩縣 沖繩宮古八重山の諸島から成り、沖繩島がその主島である。面積が狭く且山勝ちで、水田は少いが、甘蔗を植ゑて粗糖を造り、

甘藷を耕作して之を常食とする者



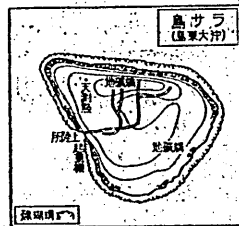
大島紬製の織機 多く時間を要し高価

も多い。又豚の飼養が盛で、殆ど戸毎に飼つてゐる。家は強風に備へる爲に塀を高くし、又墓を壯大にする風がある。那覇市は縣内の産物（琉球絨毯、泡盛酒）の集散地で、首里市はもと王城のあつた處である。八重山諸島は

良質の上布を産し、石垣島には測候所があつて、颱風觀測の最前點をなし、東方のラサ島は磷礦を出す。

第八章 北海道

通説



面積 約六〇〇万平方	支廳
人口 約三〇〇万	渡島 後志 石狩
	天鹽 北見 釧路
	日高 十勝 釧路
	根室 千島

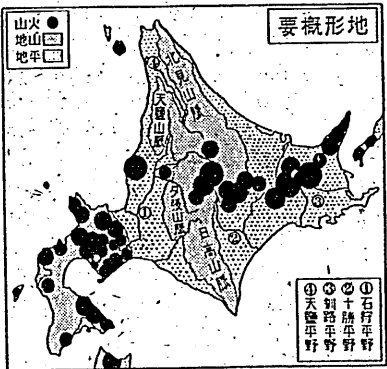
北海道は、本島と千島諸島とから成り、東北部はカムチャツカ半島（ソ）やアリウーシアン列島（米）に近く、軍事上交通上の要地である。北海道本島は、昔蝦夷と呼ばれた處で、幕末の頃、一部は松前氏の所領として開拓されたが、内部の開拓に着手したのは、明治の初年以後で、千島が日本の領土と決定したのは、更にその後のことである。従つて開發が新しく、新開地的景觀が豊である。政治の形式も他とは稍異なり、北海道廳の下に、七市十四支廳を置いて治めてゐるが、實際は他の府縣と殆ど變らない。

地勢 本島は略菱形の胴部と、魚尾狀の半島部から成り、その東北に、千島諸島が長く點在する。

胴部の主軸山脈は、蝦夷山系（北海道）と總稱される北見・高天・天鹽・夕

山脈・火山帯	山脈・火山帯
北見山脈	北見山脈
石狩山脈	石狩山脈
日高山脈	日高山脈
天鹽山脈	天鹽山脈
夕張山脈	夕張山脈
千島火山帯	千島火山帯
大雪山	大雪山
十勝岳	十勝岳
雌阿寒岳	雌阿寒岳
雄阿寒岳	雄阿寒岳
那須火山帯	那須火山帯
羊蹄山	羊蹄山
駒岳	駒岳
二〇四	二〇四
一八五	一八五
一七五	一七五
一七〇	一七〇
一六五	一六五
一六〇	一六〇
一五五	一五五
一五〇	一五〇
一四五	一四五
一四〇	一四〇
一三五	一三五
一三〇	一三〇
一二五	一二五
一二〇	一二〇
一一五	一一五
一一〇	一一〇
一〇五	一〇五
一〇〇	一〇〇
九五	九五
九〇	九〇
八五	八五
八〇	八〇
七五	七五
七〇	七〇
六五	六五
六〇	六〇
五五	五五
五〇	五〇
四五	四五
四〇	四〇
三五	三五
三〇	三〇
二五	二五
二〇	二〇
一五	一五
一〇	一〇
五	五
〇	〇

張の四山脈が、二列に並んで略南北に連り、名寄上川、富良野等の盆地を挟む。千島火山帯は、千島諸島を経て本島に入り、雄阿寒岳、雌阿寒岳等の火山を起す。この山中に摩周、屈斜路、阿寒等の火口湖を湛へてゐる。その蝦夷山系と會する處は、土地が最も高く、本島の最高峯大雪山(旭岳)を始め、十勝岳その他の高山が多い。



函館附近・福山附近は要寒地帯である



川は概中央の高地から發して、略四斜面に流れる。石狩川は本邦屈指の大河で、その上川盆地を出る處に、神居古潭の峽流を作り、下流は數多の半月湖を残して、石狩平野を曲流し、舟楫灌漑の便が多い。この他、天鹽川、十勝川、釧路川



山の麓羊蹄山 蝦夷土とも呼ばれる 近景は除蟲の畑

等も、本道の主要の大河で、此等の流域には、天鹽、十勝、釧路等の廣い平野を伴ひ、下流は何れも流勢が緩であるから、木材の流下を助けることが多い。



石狩川の流下 廣い静かな水面を流して行く木材の筏

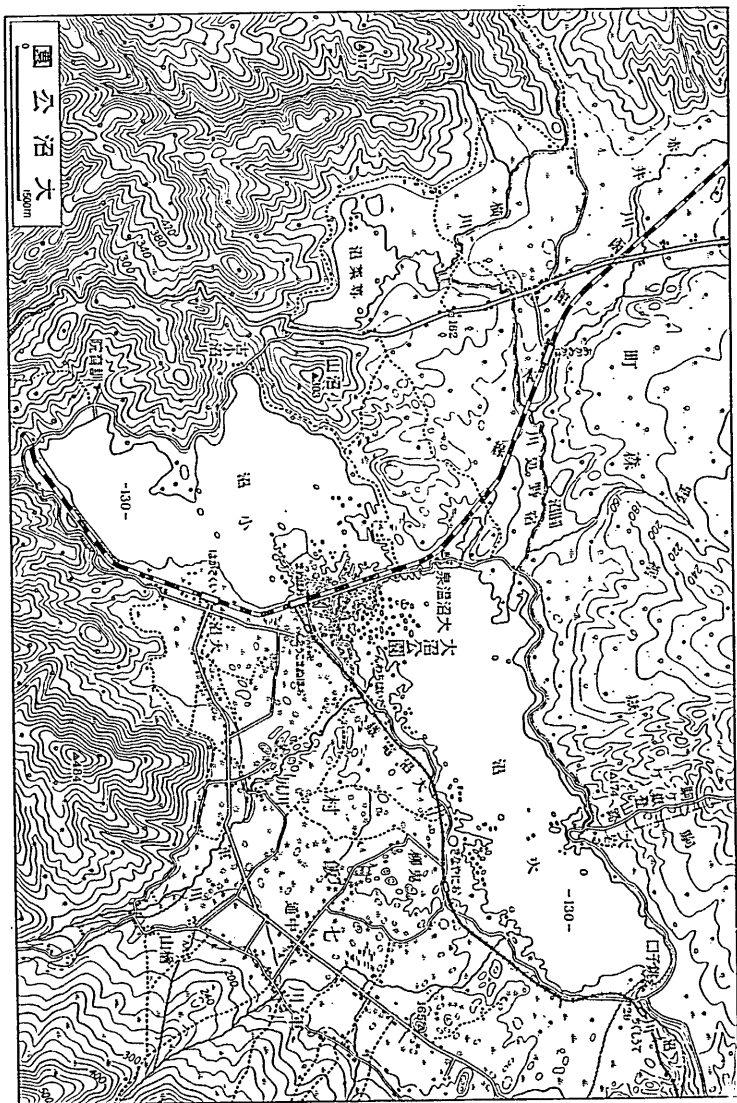
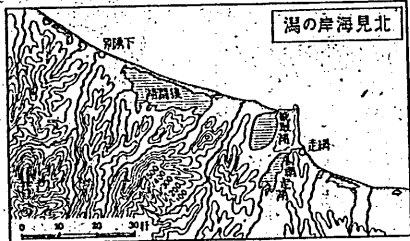
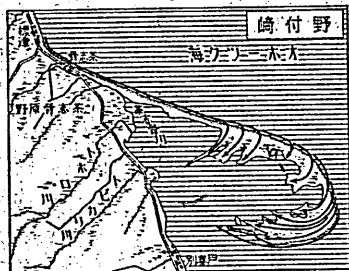
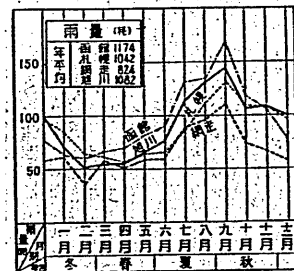
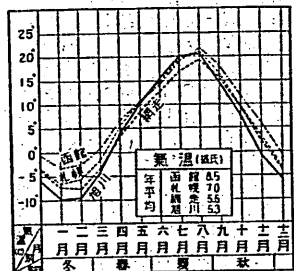
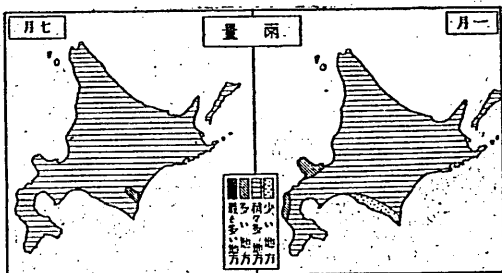


翠紅葉四季折々の風景は、北海道の美谷といはれる 翠紅葉四季折々の風景は、北海道の美谷といはれる

海岸は單調であるが、蝦夷山系の南北兩端は、突出して襟裳岬、宗谷岬となり、西部には、渡島半島が出て内浦灣を抱き、東部には、知床花咲の兩半島があつて、一部は根室灣をなしてゐる。半島部には、山地の海に迫る處も

少ないが、その他は段丘や砂濱の連る處が多く、オホーツク海岸は、砂嘴の發達が著しく、猿瀨網走等の灣を抱いてゐる。

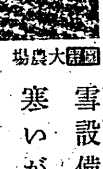
氣候 一般に寒冷で、雨量は少い。太平洋岸は寒流の影響で、日本海岸よりも



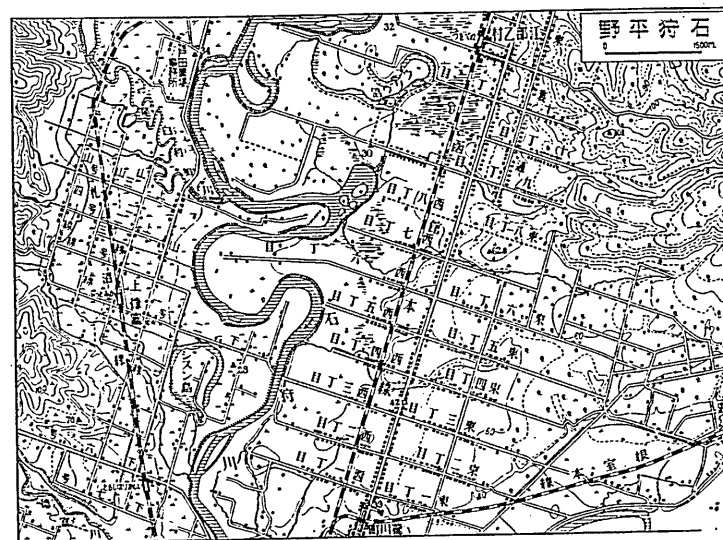
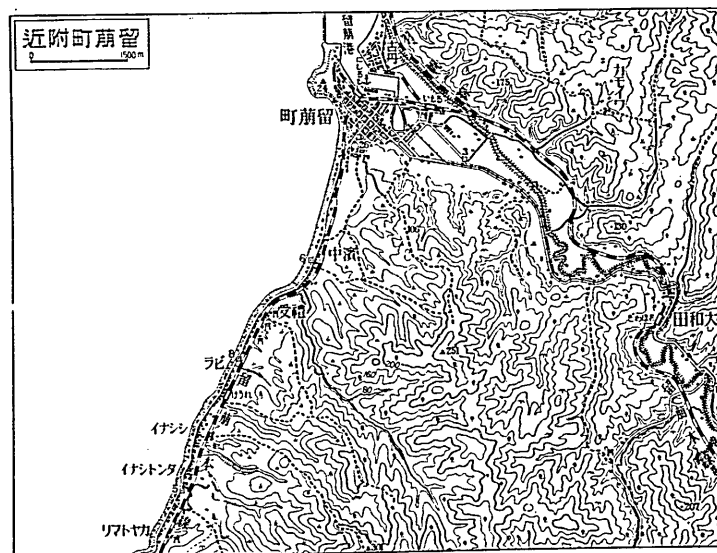
大沼公園 駒ヶ岳山の沼川が駒ヶ岳火山の噴出物によつて堰止められて生じたのが大沼。大沼電線の大沼公園を中心として北方の湖面に沿き、高低小島が多く散在し何れも若々しい樹木に被はれてゐる。ボートを漕いで湖廻りは頗る興がある。沼を隔てて北方に駒ヶ岳の噴煙が見られる。(随分五五分一地形圖に依る)



るれらめ埋が港で塊氷る來てせ寄打 湖室根の季冬



一層寒く、初夏の頃屢々猛烈な濃霧が起つて、海上の交通を妨げ、且農作物の發育を害する。オホーツク海岸は、冬季流水に鎖され、舟行の絶える處もある。日本海岸は、暖流と風向の關係で、冬の降雪が多く、鐵道の沿線には、各種の防雪設備が出来てゐる。内部の冬は最、寒い、夏は割合に高温で、植物がよく生育し、稲作には都合がよい。

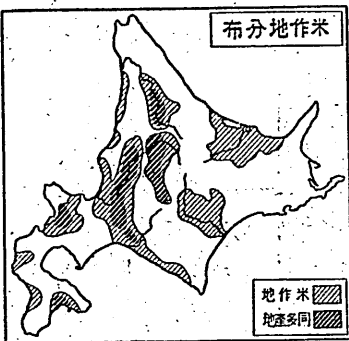


南の町崩留。るあで處な盛の漁鯨の一第道海北は近附町崩留[上] 野平狩石と近附町崩留
賑にうやの祭おは頃の漁鯨はと村漁と濱砂のこ。るあが村漁のく多に側内の濱砂は岸海方
あで色特の野平狩石はと景落聚るよにれそと路道な的交直と行蛇いし著の川狩石[下]。ふ
(る依に圖形地一分萬五測陸)。るす意注もにとこいなあてれざ拓開だまが畔河。る

の美果を出す。上川、盆地は水田がよく開け、本道に於ける米の主産地で、又馬鈴薯を多く出す。十勝平野は豆類の主産地であるが、近年甜菜の栽培が進み、製糖工場が設けられた。北見の平野は、薄荷を植ゑて薄荷腦を産し、半島部及び石狩方面には、除蟲菊の特産がある。



り採を維纖らか莖は麻亞① 畑の葱玉と燥乾の麻亞② 畑の葱玉たれらけ付植に面一く廣③ る採を油らか子種



た。北見の平野は、薄荷を植ゑて薄荷腦を産し、半島部及び石狩方面には、除蟲菊の特産がある。

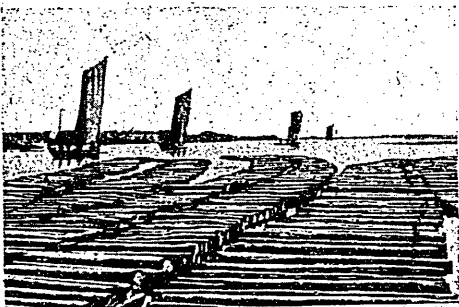
牧畜 原野が廣く、牧草が豊かなので、牧畜は盛に行はれ、殊に馬が多く、南斜面の原野はその主産地で、新冠、白糠等には、大規模の牧場がある。石狩平野では牛を多く飼つて、煉乳、

ター等の乳製品を出し、綿羊の飼育も試みられ、千島には近年養狐が行はれる。

林業 開拓の進むと共に、原生林は減少したが、尙蝦夷松、樺、松、落葉松、檜、白楊、樺等、の美林があつて、木材の産が頗る多い。伐材は多く冬季に行はれて、雪上を河岸に運び、融雪を待つて流下せしめるから、河岸河口には、その集散地、製材地等が多く、小樽、釧路は木材取引の二大中心である。



るあに處此が場畜種で地心中の興振産畜 場牧内駒眞④



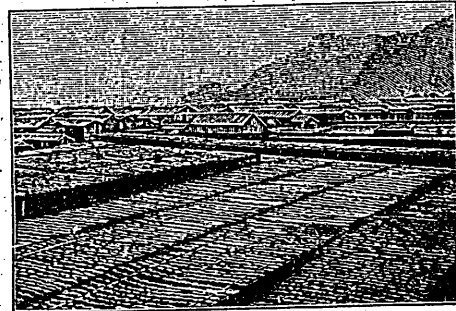
河が材木た來でん運⑤ 材運の上雪と材木の川路鋼⑥ 橋馬るす搬運を材木でし用利を雪積⑦ るあてめ埋を面

促進した主原因で、各種の魚、海産物に

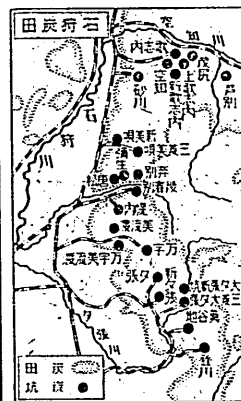
富み沿岸の到る處に
 漁港が多い殊に日本
 海方面の鯨、昆布、オホ
 ーソク海面の鰹、蟹、帆
 立貝、半島部の鰯、鰺、柔
 魚、太平洋方面の昆布
 等は最、名高く、又河川
 には、鮭、鱒等の漁利が
 多い。水産物は、その儘



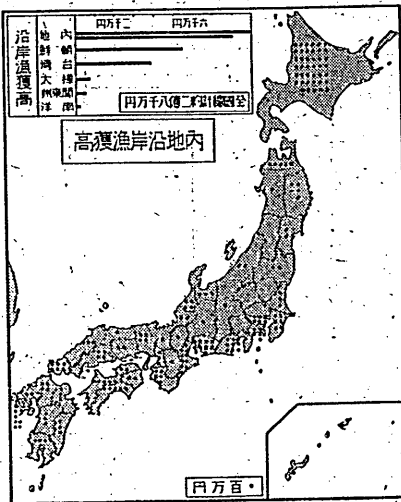
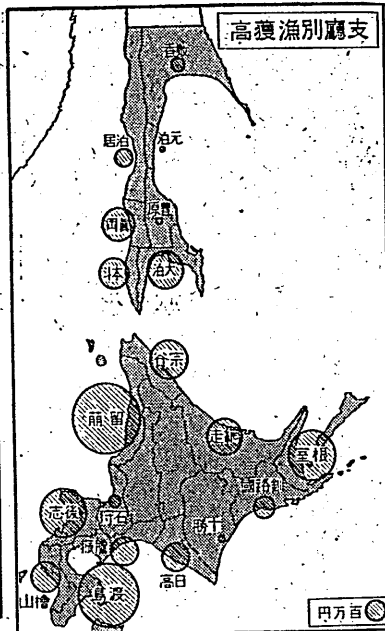
布昆たれらげ横に面一濱砂の岸海室根 燥乾の布昆昆



景光たれら並に面一棚が鯨缺身の量多 場干の鯨

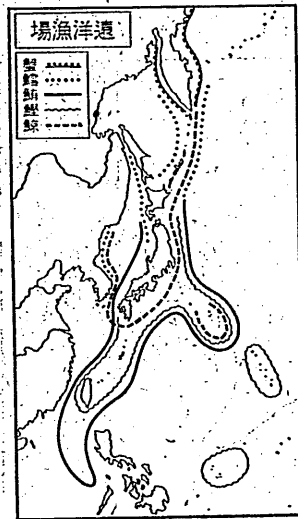


冷凍して移出する外、加工して鹽漬、罐詰、乾魚、燻製、肥料
 等となし、外國への輸出額も頗る多く、函館、小樽は水産物
 の三大集散地である。
 鑛業 本道の鑛産中、最重要なのは石炭で、石狩炭田
 を主産地とし、名高い炭坑（砂川、根室、知里等）が多く、小樽と室

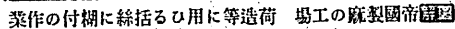


日本の水産業 四面環海の我が國は、氣候や海
 流等の關係で魚族に富み、且勇敢な國民性と相
 待つて、近海漁業は古くから盛であるが、北海
 道・樺太等の開拓も、その豊富な近海の漁業に先
 づ曙光を發し、近年遠洋漁業が發達して、北は
 カムチャカの沿岸から南は遠く南洋群島・澳洲・
 ニューギニア等の近海までも漁場を擴げ、
 最近南極地方の捕鯨にまで手を延ばし、世界總
 漁獲高の約四割は日本人の占める所で、水産業
 は群を抜いて第一位を占める。従つて水産物は
 我が重要輸出品の一である。

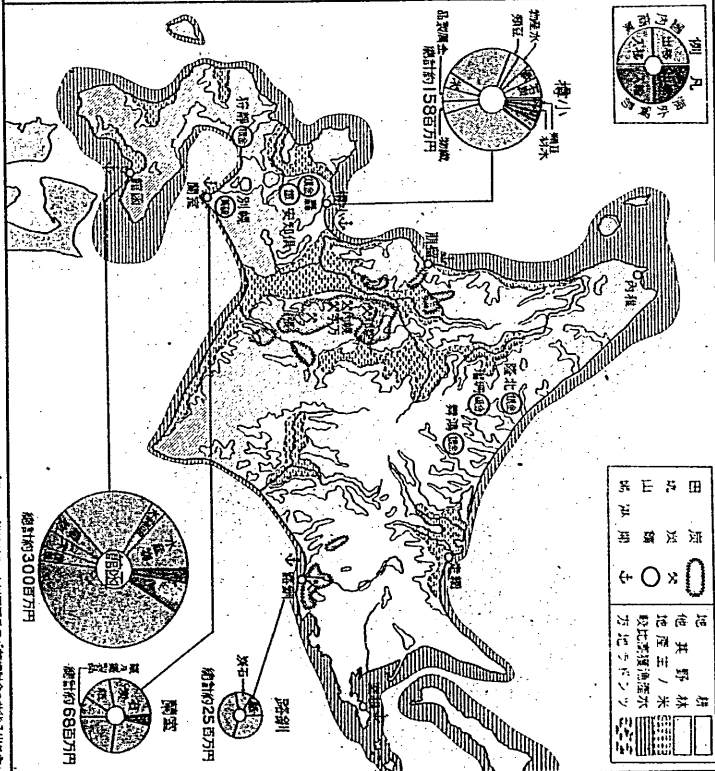
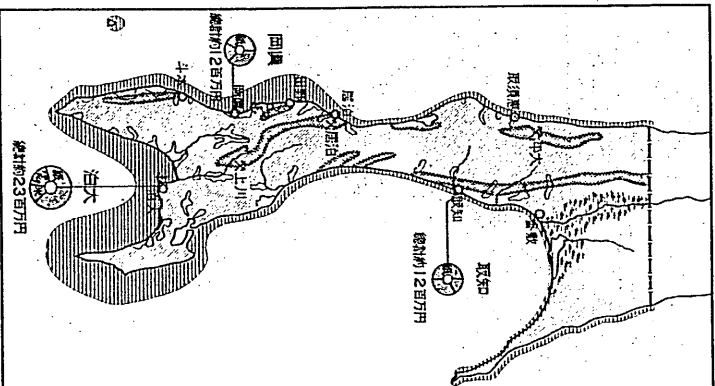
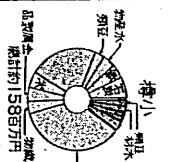
支別	漁獲高 (千石)
北海道	1,200
東北	800
関東	600
中部	500
近畿	400
四国	300
九州	200



蘭とは、その石炭の積出港である。東方の釧路方面からも石炭を出す。その他、火山地方(松倉親別)からは硫黄を出し、鴻舞・静狩等の金、倶知安の鐵等も亦名高い。



商業 産業の發達につれて、商業も次第に盛となり、豆類
木材・紙・炭・野菜（以上輸出）・石油・豆粕（以上輸入）等は取引の主なるもの



(ただし花は港の上以円万千一は本舞組) たし示を計總てへ加に入出移は下以し別圖に中教をみのものの上以円万百各に共入出船は易買ふ。 たげ學をみの花るぎ遠に上以円万千二が都府計船の共入出外内。



北海道の水田
正株植にした水田の中に農夫が除草器で
雑草を取去つてゐる



箱詰の輸送
各地へ輸送される箱詰の錠が余市の停車場に堆積されてゐる



苫小牧のバルブ工場
王子製紙會社の工場を南方の貯木場方面
から見た光景

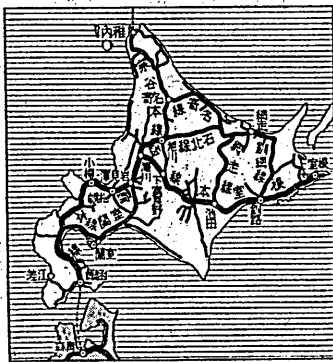
- 1 函館 旭川間
- 2 旭川 稚内間
- 3 稚内 根室間
- 4 根室 釧路・長萬部間
- 5 釧路 網走間
- 6 網走 旭川・野付牛間
- 7 旭川 野付牛間
- 8 名寄 遠軽間

のである。小樽・函館は、内外商業の二大中心で、この他、室蘭・釧路・根室・留萌等は、何れも開港場である。

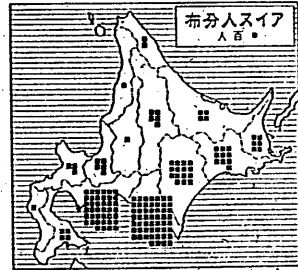
交通 開拓の初期には、道路の敷設に力を注いだので平野には廣闊な大道が通じてゐるが、今は鐵道が大いに發達し、函館・宗谷・根室・室蘭等の諸線は、略十字形に通じて縦横の幹線となり、釧路・網走・石北・名寄等の諸線が之を連ね、その他、拓殖を目的とする小鐵道も處々にある。

海岸の一部は、時季により流水や濃霧の爲に航行を妨げられることもあるが、沿岸航路は、函館・小樽・室蘭等を中心としてよく發達し、函館・青森間及び稚内・大泊間には、鐵道連絡船を通じ、滿洲國・支那とも連絡がある。無線電信局も、落石（受信根室）その他に設けられてゐる。

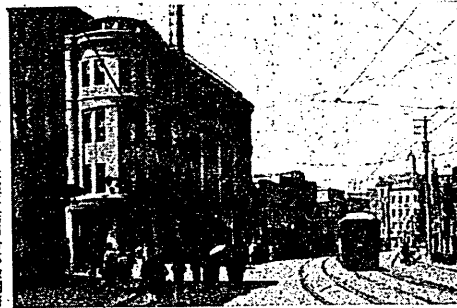
人口と都邑 住民の殆ど全部は、府縣から移住したもので、原住のアイヌ人は、僅に一



萬五六千に過ぎない。日高膽振の地方に多く住んで單純な農業や漁獵を営み、取にはその大部落がある。人口の密度は尙低く、最稠密な平野でも、稀疎な府縣に及ばない。都邑の多くは新しく勃興したもので、街區が直交式に井然としてゐるが、古い町には、不規則なものもあり、舊城下町としては、福山のみである。



し著も服衣も屋家年近 俗風のヌイア (よ見を装服の供子)た來てつ變に風地内く



景光の街店商るめ極を販般、最で内市 街市の館函

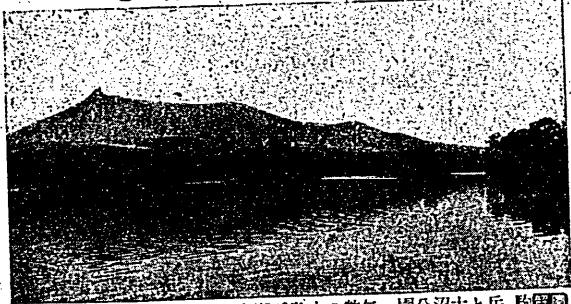
處誌

渡島半島の函館市は、本島の關門に當り、造船その他の工業が行はれ、又商業の要地である。市内の五稜郭は、維新の戦に名高く、對岸の上磯には、セメント工場がある。西南の福山は、舊名を松前と呼び、徳川時代に奉行を置いた處である。駒

主要都邑

函館市	小樽市	旭川市	室蘭市	帯広市	夕張市	美瑛市	網走市	野付市	砂川市	苫小牧市	江別市	根室市
二五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇

岳の麓にある大沼公園は、風景がよいので名高い。倶知安は農産物集散の中心で、余市の附近には、蘋果園が多い。小樽市・室蘭市は、共に半島部にあるが、前者は石狩平野の門戸として發達した港で、農産林産等の積出が多く、工業も行はれ、後者は石狩炭田を



るあで景絶の海北し在散に中湖が島小の數無 國公沼大と岳、駒

控へて開けた商工業市で、壯大な製鋼所がある。東北の登別は、本



るあで部首の港本で官手が遶るため込入の左く多が入出の船で門西の道本 港樽小

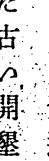
札幌に北海道帝國大學がある
旭川に第七師團司令部がある

島第一の温泉町である。

石狩平野の札幌市は豊平川に沿ひ、政治學藝の中心地で、市街が甚だ清麗である。ビール製粉製麻等の工場が多く、附近から苹果、櫻桃

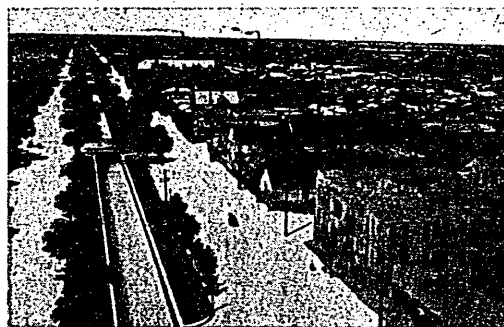
等の美果を出す。市の東南には、月寒の牧場、西南には定山溪の温泉がある。岩見澤は、石狩炭田を背

景として發達した古い開墾地で、交通の要地を占め、江別・苫小牧には、製紙の大工場がある。



る造を昇昇

上川盆地は、灌溉水路が發達して米の産が多く、旭川市は軍事交通の要地で、農産加工の工場がある。南方の富良



景光ため眺を方北らか通(割掘の中園)川成創 街市の幌札

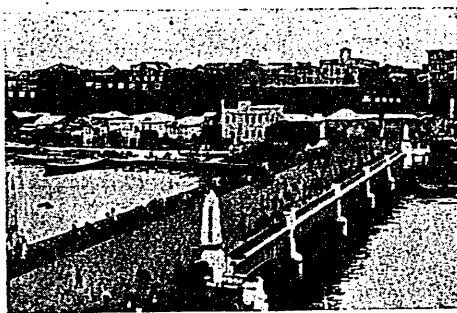


部一の地登川上

野、北方の名寄は、夫々盆地の中心地で、鐵道の要地を占める。狩勝峠は雄大な景觀に名高く、大雪山附近の地域は、國立公園である。

A black and white photograph showing a steep, grassy hillside. At the top of the hill, there is a small, light-colored building with a dark roof and a chimney. A person is standing on the hillside near the building. In the foreground, a utility pole stands on the left, and a person is visible at the bottom center of the frame. The image has a grainy, high-contrast quality.

甜菜根製糖工場へ搬送された光栄甜菜根の積み重ね



景光ため眺を方北西らか岸左の川路鋼 街市の路鋼解図

十勝平野の帯廣市池田は、共に農業の中心地として發展した處で、帶廣には製糖の工場があり、池田は鐵道の要地である。釧路市は林産、水産の市場で、パルプ工場があり、又馬市(大、毛、樂)に名高く、北方に阿寒國立公園がある。厚岸の灣内には、牡蠣や昆布の産が多く、根室は力ムチ、カ漁業の根據地で、罐詰の産が多い。



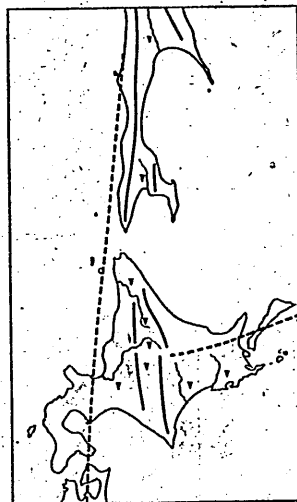


工場へ搬たれ光景

北見地方は近年開拓が次第に進んで、農業が著しく盛と

なり、薄荷の特産がある。網走・野付・牛・とは、この方面の要地で、鴻舞は屈指の金山である。日本海岸の稚内は、樺太と連絡する要地で、天鹽地方の留萌・増毛は、共に鯨の主要漁港である。

千島諸島 千島は大小二百餘の島々から成り、ソ聯邦・米國等の領土と近いので、軍事上にも交通上にも重視される。土地は農耕に適しないが、近海は水産に富み、又近年養狐が試みられてゐる。擇捉島の紗那は、列島の主邑で、占守島は本邦の最東端に當り、阿頼度島は最北端に當る。



・帯山・火・脈山て見を圖地し寫を圖のこ
せ記を名の地盆・野平たけ附を▼び及川

面積約六〇〇万
人口約三萬
支廳
釧路・大泊・元
泊・敷香・泊居
眞岡・本斗

第九章 樺太(南部)

附北樺太

通説

平取のアイヌ部落
文化が次第に入込んで和風の建築も處々に混じてゐる

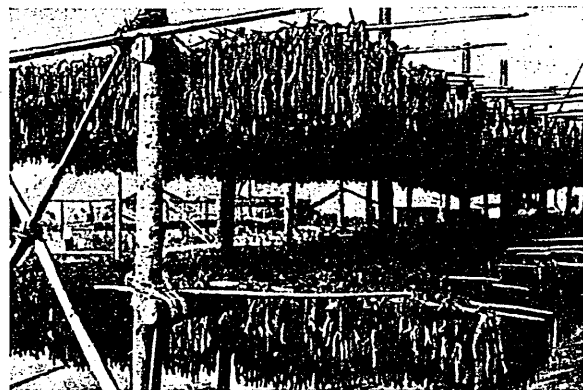


大榮毛の馬市
釧路地方は優良馬を多く産し大榮毛(釧路市の一部)の馬市は全国的に名高い



阿寒温泉
原始的な森林に囲まれた阿寒湖畔にあつて前には湖中の島々を望み静寂な温泉地





身缺鯨の懸棚
漁村の春の一盛観で濱邊の一帶は村から
村へこの懸棚が続く



木材の運搬
伐採した木材を馬に曳かせ運ぶ光景右方
に一二の植民長屋が見える（鶴城附近）



海釣島
周囲一軒餘の小島であるが胆脂獸の蕃殖
地で條約により濫獲を禁じてある

間宮海峡は凡そ百
年前間宮林蔵によ
つて探検された

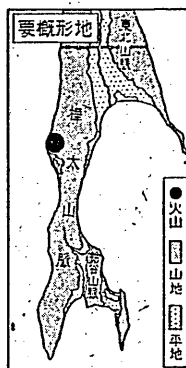
樺太は宗谷海峡を挟んで北海道と向ひ、間宮海峡を隔てて、
大陸と相對してゐる。明治八年得撫島以北の千島と交換し
てロシアの領土となつたが、日露戰役の結果、
北緯五十度以南の地を回復し、近年北部でも、
種々の利權を得た。行政は樺太廳を置き、その
下に一市七支廳がある。

樺太は宗谷海峡を挟んで北海道と向ひ、間宮海峡を隔てて、
大陸と相對してゐる。明治八年得撫島以北の千島と交換し
てロシアの領土となつたが、日露戰役の結果、
北緯五十度以南の地を回復し、近年北部でも、
種々の利權を得た。行政は樺太廳を置き、その
下に一市七支廳がある。



流下の川内幌内川

地勢 樺太山脈が南北に連つて、本島の
主軸をなし、那須火山帶がその西邊に並走
する。この山地の東方は、中央凹地帶を挟ん
で、東北鈴谷等の小山脈がある。中央凹地帶
は、南北の二部に分れ、北部は幌内川の流域
に屬し、廣い平野
であるが、大部は
ツンドラと呼ば
れる不毛の荒地



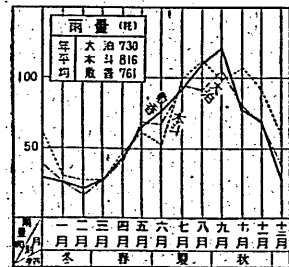
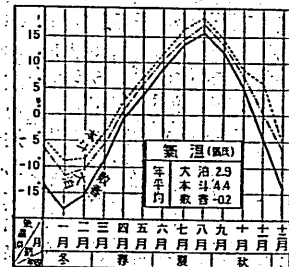
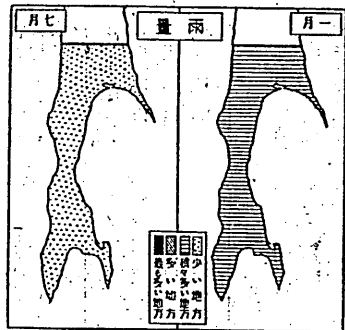
方地ラドンツ

で、馴鹿の放牧地たるに過ぎない。南部には内淵川、鈴谷川等が流れ、その流域は近年開拓の歩を進めてゐる。

海岸は極めて單調で、東北に北知床岬が出て、多來加灣を擁し、南には中知床、西能登呂の兩岬が相對して、亞庭灣を抱くに過ぎない。沿岸には砂嘴が發達し、多來加湖、富内湖等の大きな潟を作る。

氣候 緯度が高い上に、東西の兩岸に近く、寒流（樺太海流）が流れ、且大陸の影響を受けるので、氣温は北海道よりも更に低く、雨量も少く、

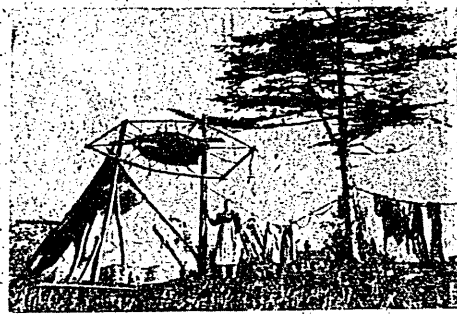
亞寒帶性の氣候である。冬は海岸の大部分が凍り、南部でも



碎氷船を必要とするが、西岸の南部は、暖流の影響により不凍港もある。

住民

樺太の原住民は、僅に二千人以上



ブクニと人コッロオ
家は人コッロオ
小い近に幕天ずら造を屋
牧の鹿馴く多でん住に屋
てしを活生遊漂み營を畜
天は人ンブクニ
家造木な雜粗るる造も幕
い多に合割が者む住に屋



で、アイヌが最も多く、主として南部に住み半漁半農の生活を営み、その他、少數のオロコ、ニクブン（イクリヤ）等が北部に住んでゐる。住民の大多數は、内地からの移住民で、その數

は年々増加し、朝鮮からの移住民も少くない。

産業 産物は北海道に似た點が多く、水産林産とその加工とが、本

島第一の産業で、農牧は未だ振はない。

農業 樺太には、短い夏と長い冬とあつて、中間期が少く、一年は暖候と寒候に分れる。暖候の晝間は長いが、濃霧が多くて農作を妨げ、

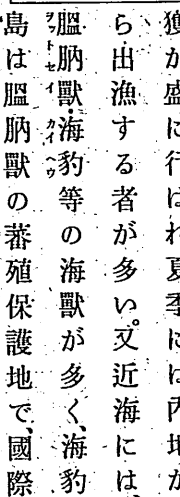
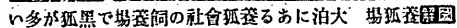


Map of Japan showing the distribution of volcanic ash (バルブ干堀の分布). The map includes the following locations and their corresponding ash volumes (m³):

- 保土志 (Hosotate) 5
- 香取 (Taketa) 3.8
- 高知 (Taketa) 10
- 中津 (Nakatsu) 35
- 阿蘇 (Asu) 25
- 金湯 (Kintou) 35
- 新井 (Shinai) 35
- 石入 (Ishii) 1

Source: 航空写真資料 (Aerial Photo Data)

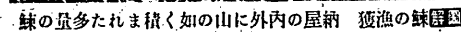
ためしせ進躍を發開の取知に爲の場工のこし位に岸左の川取知 場工ブルバの取知



獲が盛に行はれ、夏季には、内地から出漁する者が多い。又近海には、鯨、鰐、海豹等の海獣が多く、海豹島は鯨、鰐の蕃殖保護地で、國際條約により、その濫獲を禁じてゐる。

鑛業 石炭の埋藏は多いが、採掘を許されない處が廣く、大平川上等の炭田は、最も重要な産地である。

工業 工業はバルブ・製紙・製材・罐詰・製造等
 が最も主要なもので、新興の都市は概々其等の工場所在地である。
 商業 内地との取引が主で、大泊・真岡の二開港場を中心とし、冬季
 は本斗が繁昌する。



交通、道路は未だ整はず、鐵道の開通も一部に過ぎないから、冬は一般に橇を利用する。海運は北海道と鐵道連絡船を通ずる外、夏には

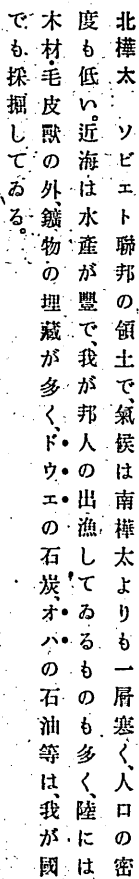
豐原市	大泊町	敷香町	惠須取町
(千人)	三	三	三



いし美が景港てし達發に段二のと上丘段と岸海は街市り連が丘段く近に岸海 港岡田

處誌

又パルプの工場がある。豊原市は政治の中心地で、附近は開拓が稍進んでゐる。落合にはパルプ製紙の工場があり、榮濱は漁業の一中心である。北方の知取には、パルプ製紙の大工場があり、麩香も人絹パルプの工業が行はれ、又毛皮を集散する。西岸の眞岡は、漁業の大中心で、蟹罐詰の産が多く、又パルプ工場がある。本斗は本島唯一の不凍港で、冬季に於ける重要な門戸である。北何れもパルプ製紙の爲に榮える新興



景光く行り走を上雪てせか曳を楫に犬の匹數 楫犬解題

第十章 臺灣

通説

日清戦争の後我が領土となつた處で、西は臺灣海峡を挟んで支那と對し、南はパシフィック海峽を隔てて、フィリピン群島に近く、我が國が南アジアに對する發展上、重要な根據地である。行政は總督府を置き、その下に五州三廳がある。

地勢 本島は中央山地と東西の兩斜面に分れる。

中央山地は臺灣山脈の連る處で、新高山、次高山等を始め、數多の高山が並び聳え、地勢が極めて險峻で、東西の交通は著しく困難である。その北端は、山地が



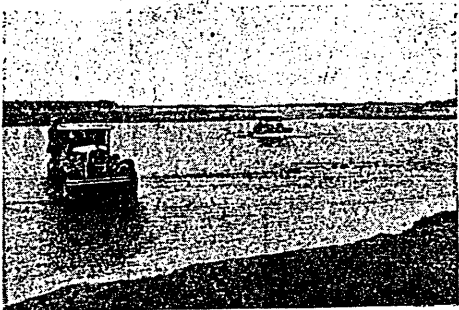
新高山 富士山と異なる大堆積物で成る

面積約三〇〇万平方 人口約三〇〇萬	（州縣名）	（府名）
臺北州	臺北	臺北
新竹州	新竹	新竹
臺中州	臺中	臺中
臺南州	臺南	臺南
高雄州	高雄	高雄
臺東廳	臺東	臺東
花蓮廳	花蓮	花蓮
澎湖廳	澎湖	澎湖

山脈火山帯	河
臺灣山脈	濁水溪
新高山	淡水溪
次高山	大甲溪
臺東山脈	大肚溪
大屯火山群	日月潭
大屯山	日月潭

二派に分れて、三角形の宜蘭平野を挟む。

西斜面は廣い臺灣平野であるが、砂礫の臺地が擴がり、處々に盆地を挟む。大屯火山群は北端に聳え、西南には澎湖諸島の熔岩臺地がある。この方面には、淡水河、大甲溪、大肚溪、濁水溪等の河流も少くないが、多くは山地から急に平地に移る爲に、屢、洪水を起し、且下流に廣い積を作つて數多に分流し、淡水河下淡水溪の外は、殆ど舟楫の便がなく、架橋も困難で、著しく交通を妨げる。山中にある日月潭は、風景がよいので名高く、近年此處に大發電所が出来た。海岸は單調な上に、極めて遠浅で、砂嘴や潟が發達し、良港灣に乏しい。

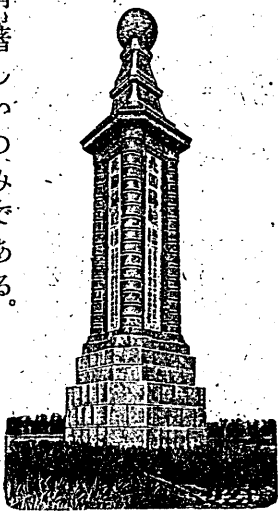


日月潭の川と川の日月潭 ① 自來水が飛をしば川に ② 橋のなを川の日月潭 ③ 橋のなを川の日月潭 ④ 橋のなを川の日月潭 ⑤ 橋のなを川の日月潭

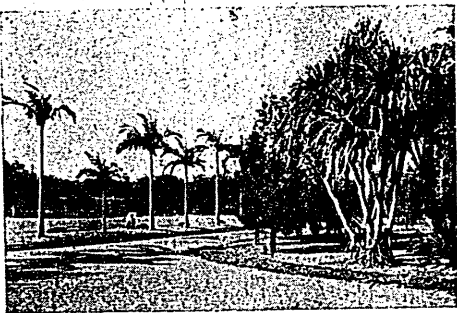
屬島は澎湖諸島の
外に琉球嶼・紅頭
嶼・火燒嶼等があ
る
基隆附近・高雄
附近及び澎湖諸島
は要塞地帯である

從來流行したマラ
リヤ・赤痢等の傳
染病は衛生施設の
進歩と共に著しく
減じ都會地では殆
ど根絶した

東斜面は傾斜が急で、臺東
山脈との間に、狭い臺東平野
を挟む外、山地が直に海に迫
つて、峻崖をなす處が多く、川
は卑南大溪・秀姑巒溪・花蓮溪
等が、稍著しいのみである。



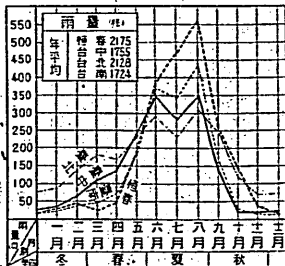
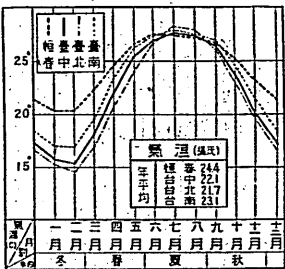
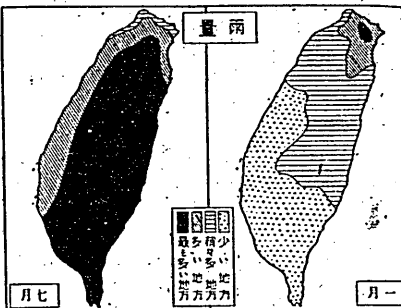
と驛上水と驛義嘉 標線歸回北註圖
るあに處の米百約らか路線で間中の



ふ遠が観景物植はと地内で部一の園公北臺 景物植註圖

氣候 北回歸線が略、中央を通じ、島の殆ど南
半は熱帯に屬してゐるから、一般に氣温が高
く、平地では霜雪を見ることがない。夏が長く
て冬が短く、四季の變化は殆どないから、植物は
年中發育して、低地には桫欏・藤・檳榔・樹榕・樹林
・投樹・椰子樹等の熱帶植物が茂り、植物景觀は
内地と著しく違つてゐる。

雨量は概して多く、基隆附近は、我が國最多



雨の地といはれる。颱風
や雷雨の爲に、雨は一般
に夏に多いが、季節風の
關係で、北部では冬が雨
季である。

住民 原住民はマレ

一族の高砂族であるが、支
那から移住した漢民族が全
土着し、今はその子孫（と呼ぶ）が全
住民の約九割を占め、主に西部の
平野に住んで、専ら農商を営み、經濟
上に勢力がある。高砂族には、本島
人の感化を受け、農耕を主とする
熱蕃と、山間にあつて、原始的生活



を落部圍集く多に谷溪の側西山高新 族ウオツ註圖
るあてつ持を刀や銃で所く行に獵狩は圖む住てしな



嘉南大圳給水路を結ぶ架け台に爲る格路す爲に文溪水橋



を営む生蕃とある。生蕃には、種の蕃風もあつたが、今は文化の惠澤を受けて、著しく移俗された。内地人の居住は約二十七八で、數に於いては多くないが、労働に従事する者は少く、所謂

指導階級に屬する。

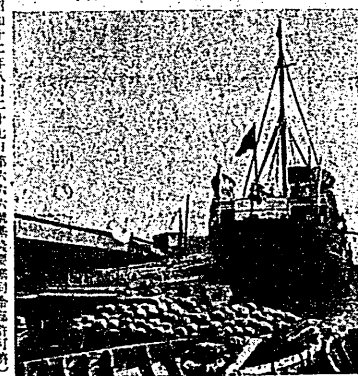
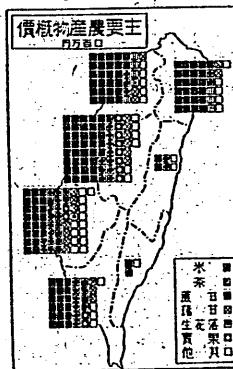
産業 農業及び農産物の加工が最も盛であるが、他の産業も著しい進歩を示し

て來た。

農業 臺灣

平野には、灌漑

水利に不便な



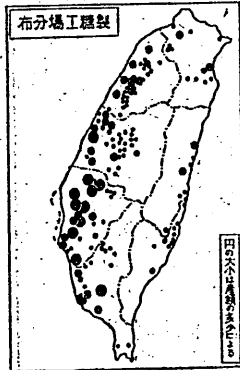
基隆港に集つた多量の出米 米の出積

臺灣米は品質がよく、なかつたが近年内地種を栽培して蓬萊米と呼び大いに聲價を博するやうになつた

荒地も多くあつたが、近年埤圳（灌漑水）工事により、美田良圃が開けて、大いに耕地の面積を増し、農法も次第に改善された。農産物は、米、茶、甘蔗、甘藷等を主とし、落花生、麻類、煙草等の産額も多い。米は全島に産するが、中部から最も多く、出し、品種も改良されて、内地への移出が少く

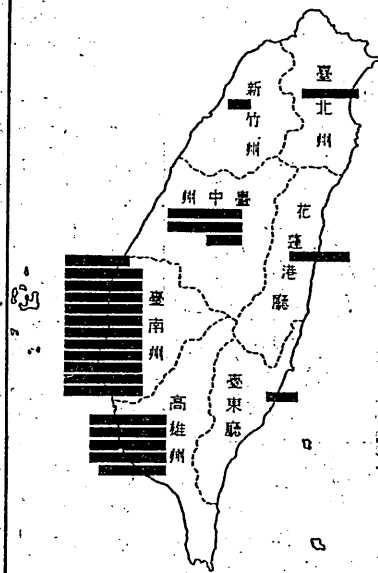


茶葉の摘み取り 茶摘の回数に一年一れまに候氣 茶園

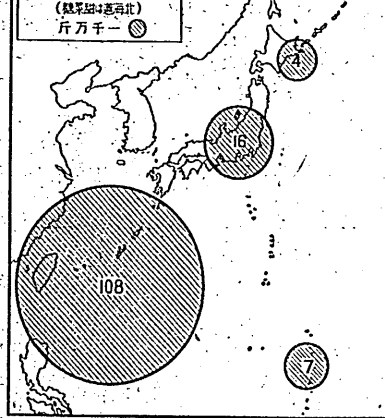


ない。茶は北部の丘陵を主産地とし、多く紅茶、烏龍茶、包種茶等に精製して輸出される。甘蔗は中部以南に多く耕作せられ、處々に製糖の大工場がある。もとは多く粗糖の儘で移出したが、今は糖業の發達により、精糖

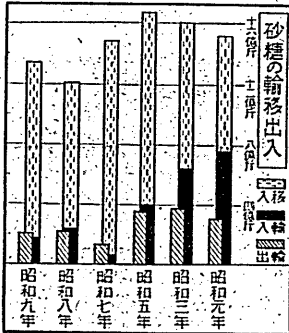
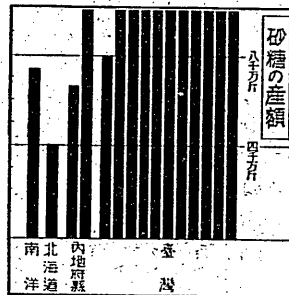
臺灣砂糖產額



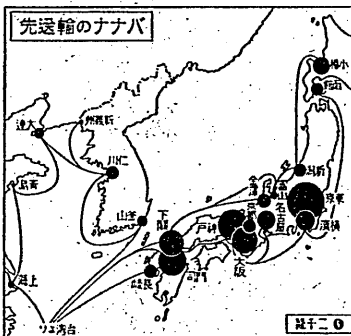
地方別砂糖產額 (糖年10-11)



日本の糖業、往時は砂糖といへば、大部が輸入品である如く考へられてゐたが、臺灣の製糖業が発達して、疾く自給の域に達した。その後粗糖を輸入して、之を精製輸出するやうになり、最近更に進んで、その原料も自給してゐる。砂糖の産地は、素より臺灣が第一で、全額の約八〇%を産するが、その他沖縄・大島等の薩南諸島から約一〇%を出し、北海道には甜菜糖の産出があつて産額は年々増加し、南洋群島も開拓の新しい割合には、砂糖の産額は増進してゐる。



瓜木に似た食生で實糖・糖蜜のすもる



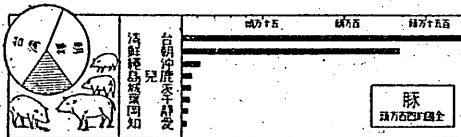
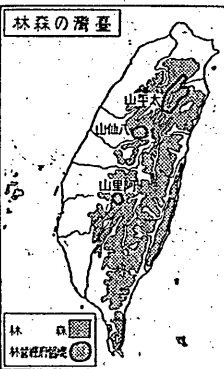
の輸出が盛になつた甘藷は殆ど到處に耕作されて、島民の食用となる。その他バナナ鳳梨龍眼木瓜柑橘類(ボンカンレモ等)等の果實に富み、殊にバナナと鳳梨罐詰とは内地への移出が盛である。

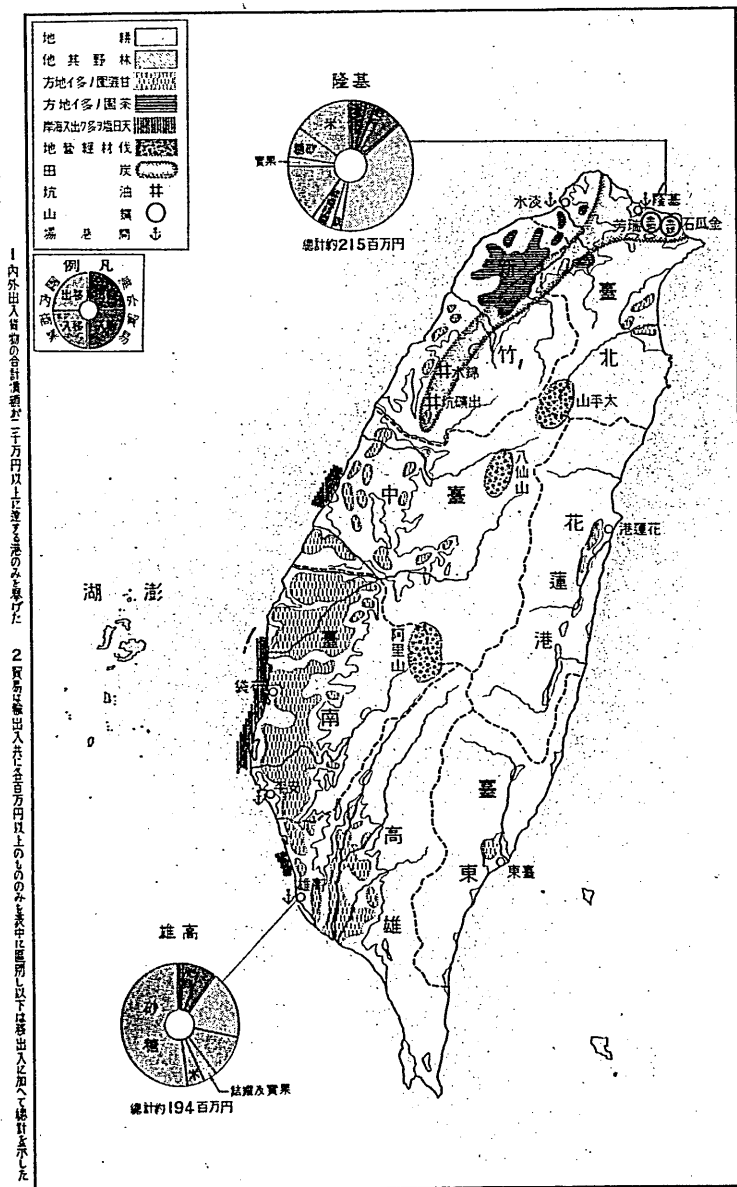
牧畜 牧畜は農家の副

業として、豚水牛黄牛及び鶏家鴨等の家禽を多く飼つてゐる。殊に豚は殆ど各戸に飼育されて食料と

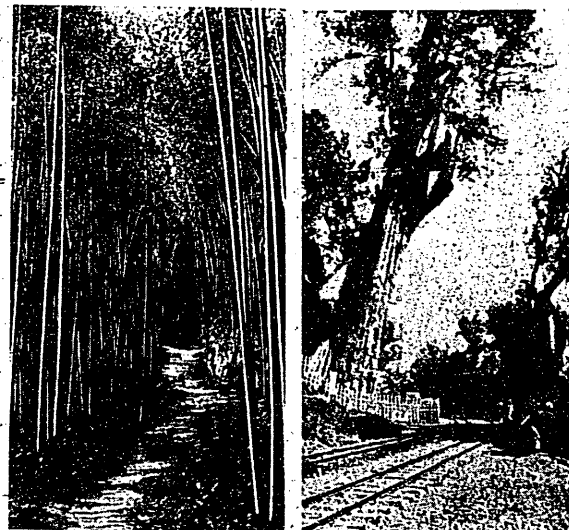
なり、水牛黄牛は、廣く農耕運搬に使役される。

林業 森林は濫伐の爲に、平地に近い處には少いが、山腹蕃地には尙原生の美林が残る、阿里山八

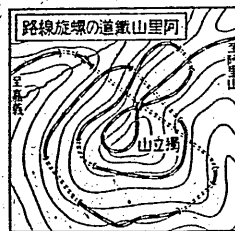




水産業　水産業は近年大いに發達し、内地からの出漁者も少くない。北部の近海は、鯉、鮭、



く多が木巨るえ超を年百數齡樹はに山里阿[㊦] 林竹と木神の山里阿[㊦]
林竹る茂に腹山[㊦] るれはいと年千三齡樹定推でのもの表代のそは木神



景光の寮。即屋小るす製を腦樟 造製の腦樟

ずる。又この邊には竹材の産も多い。樟樹か

二六六



甘蔗園
繁茂せる甘蔗畑の光景で鐵道は收穫した甘蔗を製糖工場に運搬する専用線である



バナナの市場
バナナは臺灣の代表的果實で内地その他への輸出が多い 圖は臺北のバナナ市場



水牛の群
温順で粗食に堪へ極めて水浴を好む性がある力が強く農耕・運搬に役使される

基隆の海上には紅珊瑚を産する處がある

樟腦・阿片・煙草・酒・鹽は總督府の專賣に屬してゐる

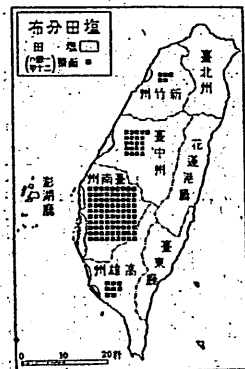


田國鹽田 處々此處に鹽た來出、如の山に積りてみる

鯛等の漁獲が多く、基隆沖はその中心地で、鰹節の產出が盛となつた。西海岸の潟は多く鹹水魚類(鰻等)の養殖に利用せられ、又廣い鹽田があつて、天日製鹽が盛に行はれる。

鑛業

鑛産の主なのは、基隆附近から産する石炭で、輸出も行はれる。その他、金・瓜石・瑞芳等は金銅を出し、大屯山は硫黄を産する。石油も多量といはれるが、現に採油されてゐるのは、出磺坑のみで、錦水にはガソリンの工場がある。



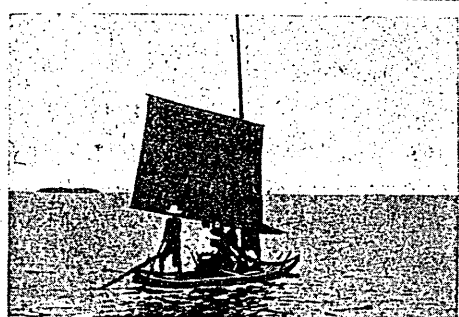
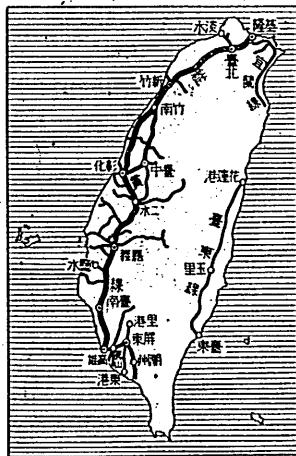
工業 工業は製糖製茶製腦等の農産林産の加工を主とし、近年製粉・セメント・罐詰等の工業も行はれる。その他は專賣局の事業として、酒・煙草等が製造される外、帽



橋線鐵路

- 1 基隆高雄間
- 2 臺北淡水間
- 3 嘉義潮州間
- 4 高雄潮州間
- 5 基隆蘇澳間
- 6 蘇澳花蓮港間

子席竹細工、籐細工等の如き、在來の手工品がある。商業 商業は内地との取引が最盛で、砂糖、米、果實等を移出して、織物、肥料等に移入し、對外貿易では茶、精糖、水産物、樟腦等を輸出して、肥料、大豆等を輸入する。基隆、高雄は、内外に對する二大商港で、外に淡水、安平の開港場があり、又支那形船に限り、取引を許される特別開港場が三ヶ所（後龍、鹿港、東港）ある。交通 道路は環狀線の開通を見たが、一般には尙不便な處が多い。西部平野は、鐵道網が割合に密で、南北に通ずる縦貫線があり、淡水、阿里山、潮州等の支線を始め、主として製糖會社の經營による多數の私設線が之と連絡し、東部には宜蘭線、臺東線が通じてゐる。又臺車と呼ぶ簡易軌道が處々にあつて、地方的交通を助ける。

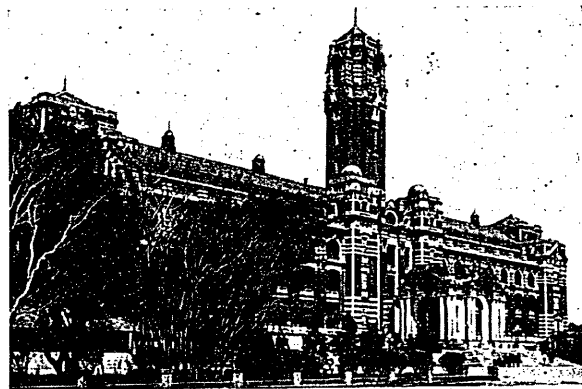


舟船の客旅を之でコ、ロットの内地は體大 筏竹と車臺 用ひで潮淺で船だん結で藤べ列を竹 使もに送輸

海運は基隆、高雄を中心として、内地及び支那との間に船舶の往來が繁く、近年南洋とも航路を通じ、沿岸には戎克竹筏等も用ひられる。近年内地と航空輸送も開け、通信機關は、臺北（受信）、板橋、淡水、その他に無線電信局が設けられ、内地と支那へは、海底電線も通ずる。

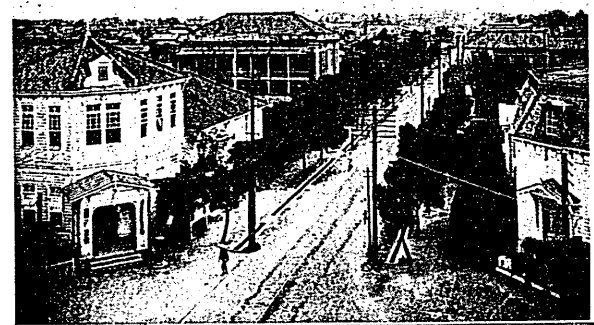


人口と都邑 人口は割合に稠密で、生産力の豊かな西部平野に集中し、都邑もこの方面に多い。領臺前からの都邑には、城壁を繞らしたのもあったが、今は多く撤廢され、新興の都邑と共に街區が著しく改築されて、内地の大都市に比し、遜色のないものもある。東部平野には農村的景觀を備へる聚落が多く、處々に内地風の村落を見る。



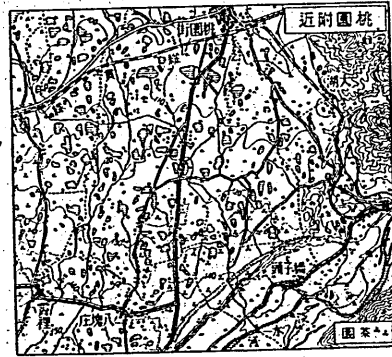
臺灣總督府廳舎
石と煉瓦とを混用した大建築で正面の高塔は高さ六十米に達する

臺中の街路
近代的城市計畫によつて建設された新市街で條理が整然としてゐる



臺南の市街
島内の古都で新開の街路の外は家屋その他に尙舊態が残つてゐる

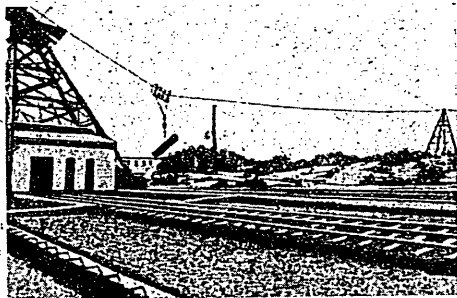
する要地を占め、附近に北・投・草・山等の温泉場がある。宜蘭平野は農村の狀態が内地に似てゐる。宜蘭は平野の物資を集散し、蘇澳はその門戸で、又漁業の中心である。縦貫線に沿ふ桃園は製茶の大中心で、附近は溜池と水田と茶畑とが群集し、特色ある景觀をなす。新竹市は樟腦柑橘類を集散し、苗栗は樟腦の集散地で、附近に油田がある。中部は米・バナナ・落花生等の農産が多い。豐原は米の集散地で、大甲は筵帽子等の特産を出す。臺中市・彰化市は共に農



河水淡は河で景光た見らか近附の北臺 群山火電大



手的業副の子女婦く多はみ編子帽 み編子帽
るれさ作製に盛も等表駄下や提手に外の子帽で工



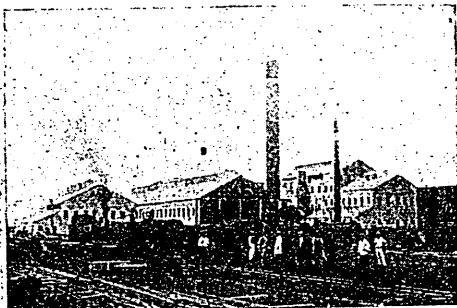
架は所材製義嘉① 園梨風の近附山鳳と所材製の義嘉園
有を置装るす搬運を材木に由自で機重起氣蒸と機上捲式空
るす出檢てしと詰羅く多は實果② 場工材製の大最洋東し

産物集散の中心地で、鹿港は支那風の残る町である。埔里は盆地の中心町で、製糖工場がある。

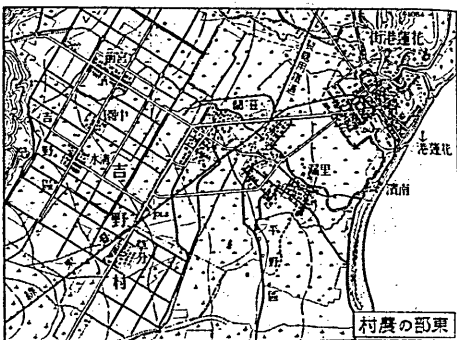
南部は甘蔗園の多いのを特色とし、極南地方は熱帶的景觀が著しい。

嘉義市は阿里山と森林鐵道を通じ、製材が盛

に行はれ、臺南市は早く開けた處で、永く本島の主邑であつたが、今も南臺灣の中心都會で、製糖業が盛である。安平は市の一部で、附近に養魚場や鹽田が多い。高雄市は新興の港市で、街衢がよく整ひ、砂糖米等を集散し、鳳山は鳳



場工の模規大し屬に社合糖製潤臺 場工糖製の東屏



村田豐の軒二十約道鐵らか港蓮花 村農の野平東臺

梨の罐詰を出し、屏東市には製糖の大工場がある。恒春は我が國最南の都邑である。

臺東平野 臺東平野は開拓の最新しい處で、熟蕃の農耕に従事するものが多く、内地人の農村も處々に開け、本島人は少い。花蓮港と臺東とは、この地方の門戸である。

澎湖諸島 低い熔岩臺地が、數多

澎湖諸島は風が強く水が少く植物の發育が十分でない。従つて島内には喬木がない。

の島に分れたもので、澎湖白沙漁翁の三大島が、相對して澎湖灣を抱いてゐる。灣内の馬公は、國防上の要地に位し、海軍要港となつてゐる。西南の花嶼は、我が版圖の西端に當る。



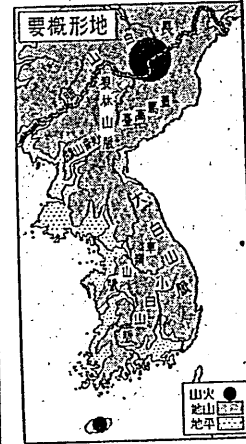
・山・脈山て見を圖地し寫を圖のこ
せ記を名の場港開び及島・川

第十一章 朝鮮

通説

面積	約三〇〇方浬
人口	約二五〇萬
道名	京畿道 忠清北道 忠清南道 全羅北道 全羅南道 慶尙北道 慶尙南道 釜山 大邱 光州 全州 大田 清州 京城
道名	江原道 咸鏡北道 咸鏡南道 平安北道 平安南道 新義州 羅興 春川 海州 西浦

朝鮮は日本海と黄海との間に突出する大半島で、北は滿洲國及びソベリヤと境を接し、國防上重要な處である。我が内地とは遠く神代の昔から往來があり、その後も關係は密であつたが、明治四十二年、終に我が國に併合するに至つた。行政は總督府の統轄に屬し、その下に十三道があり、各道に知事を置いて治めてゐる。

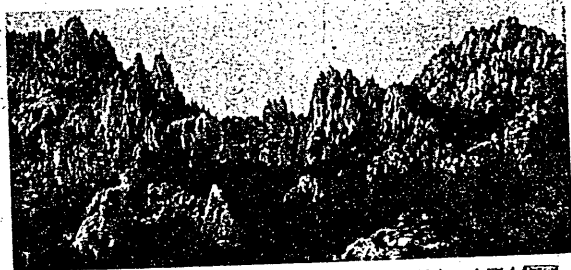


花松り餘に軒十回周れま園に壁口火の壁絶 湖口火の山頭白銀四 るみてし觀聖神てしと地臨降祖始は人鮮朝 する源發に處此は江

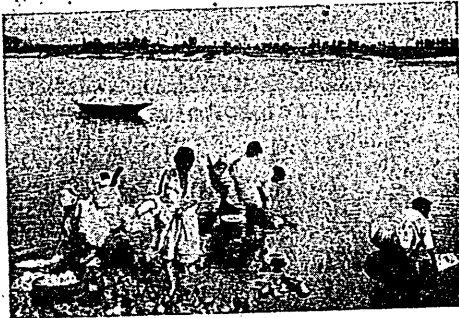
地勢 全體に山勝ちであるが、地形上、南北の二部に分れる。北朝鮮は概し

山脈	長白山脈 白頭山 三陟 狼林山脈 妙香山脈 大白山脈 金剛山 一、三、六 小白山脈 車嶺山脈
河川	鴨綠江 洛東江 豆満江 大同江 錦江 清川江 榮山江

て土地が高く、長白山脈が國境に連り、その脈中に噴出した白頭山は、半島第一の高山で、頂上に火口湖の天池(龍王)がある。その南には廣い蓋馬高臺や、妙香狼林等の山脈がある。



るあで望展の相物萬るれはいと壯雄。最が景風 景奇の山剛金四



人婦の數多るすを濯洗に畔河と流るた々洋 江同大器四

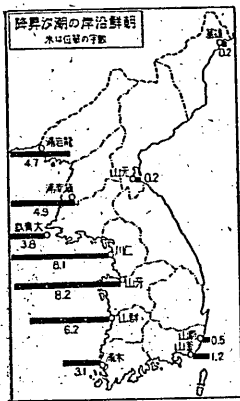
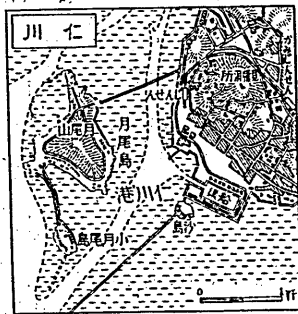
南朝鮮では、主分水嶺の長白山脈が、著しく東に偏して走り、小白車嶺等を始め、數多の小支脈が西南に走つて、到る處に低山性の起伏が多い。大白山脈の北部には、岩石の奇景で名高い金剛山があり、朝鮮第一の勝地といはれる。日本海斜面、即ち裏朝鮮には、豆満江の外に大



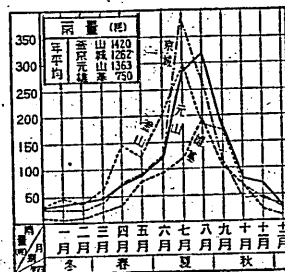
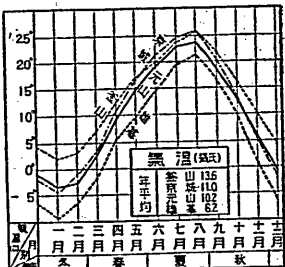
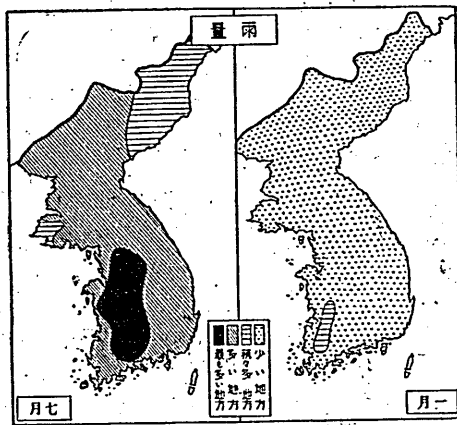
無数の島を散るせを眺めため光景 朝鮮多島海

河はなく、沿岸平野も少いが、之に反し、表朝鮮には、我が國最大の鴨綠江を始め、清川江、大同江、漢江、錦江、榮山江等の河川が多く、南斜面の洛東江と共に、その流域に平野を開き、舟楫灌漑の便が割合に多い。

東部の海岸は、一帯に單調で、永興灣、迎日灣の外、海上に鬱陵島を見るに過ぎないが、南岸から西岸にかけては、山脈の餘勢を受けて、濟州島、巨濟島を始め、數多の島嶼や海灣が錯雜し、その一部は朝鮮多島海と呼ばれる。東海岸では潮汐干満の差は少いが、西海岸は一帯にその差が著しく、中には十米に餘る處もあり、船舶の出入に不便な爲、仁川には閘門式船渠の設けがある。



部は朝鮮多島海と呼ばれる。東海岸では潮汐干満の差は少いが、西海岸は一帯にその差が著しく、中には十米に餘る處もあり、船舶の出入に不便な爲、仁川には閘門式船渠の設けがある。



氣候 南部の海岸地方は、中國九州等に似てゐる處もあるが、北上するにつれて満

元山の高極は三十九度六分で、宇和島に次ぎ中江鎮の低極は零下四十一度六分で、割合に大く

上を往來する。併し、三寒四溫と呼ぶ氣温の變化があり、寒溫が數日毎に交替するので、割合に凌ぎ易い。雨量は一般に少いが、夏秋の頃には、屢、豪雨があつて、時に洪水を起すことがある。

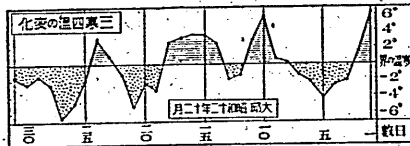
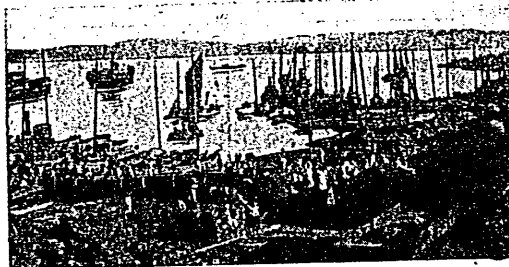


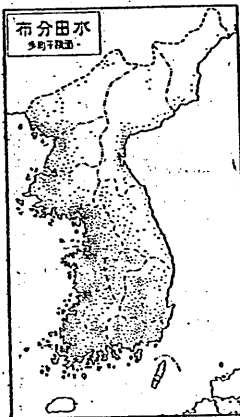
圖 上米釣魚 釣魚の穴に面河たつ穿をてて釣る

住民

殆ど全部が朝鮮民族で、内地人の移住は約六十萬に過ぎない。朝鮮民族の間には、もと階級制度があつて職業を世襲したが、今は殆ど改善せられ、文字も上流社會では漢文を用ひ、一般には我が國の假名に似た諺文を用ひてゐたが、近年大學を始め、各種の學校が設けられて、殆ど内地同様の教育が施されるやうになり、國語の普及が著しい。



米の収穫 山群の頭に多に架をてゐる 米の出積 山群の頭に多に架をてゐる



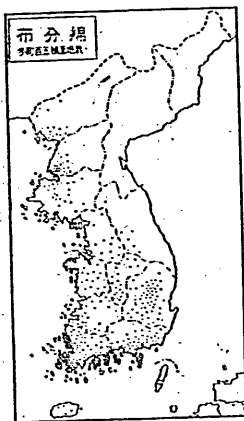
産業 我が國に併合以來、政府の保護獎勵によつて、各種の産業が著しく面目を改めたが、改善の餘地は尙多い。農業はこの地の主業で、



朝鮮人の俗風 庶民の屋敷が草花が多くて白をを 用ひる者が多い 洗濯の忙し い 圖は共に洗濯をを



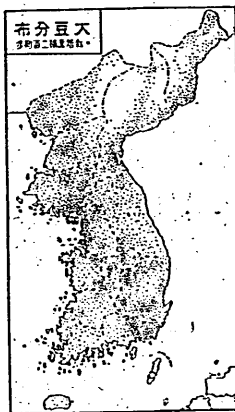
細綿 開裂した花を採りてゐる 全羅南道(道南羅全)



の地の特産である。養蠶も農家

ない。綿は年々改善されて、西南部はその耕作が殊に盛である。果樹の栽培も處々に行はれるが、洛東江流域の苹果は最も高く、又人蔘は、古來この地の特産である。養蠶も農家

米麥類粟大豆綿煙草等の産額が多い。米作は西部南部の平野に最盛で、内地へも多く移出せられ、近年淺海を干拓し、水田の増加を計つてゐる。麥大豆粟等は、各地から産して、大豆は内地への移送も少くない。綿は年々改善されて、西南部はその耕作が殊に盛である。果樹の栽培も處々に行はれるが、洛東江流域の苹果は最も高く、又人蔘は、古來この地の特産である。養蠶も農家

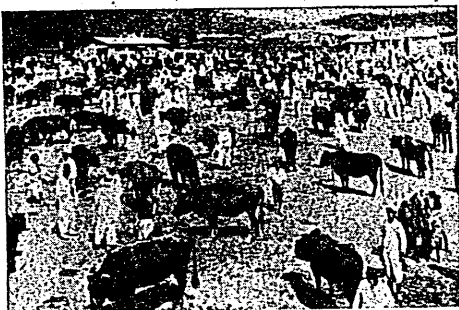


果物の箱詰で地方地大 輸送の果物 景光す出積を果物の箱詰で地方地大

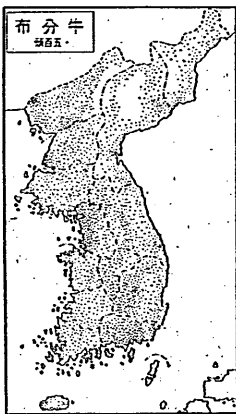
の副業として次第に盛となり、製絲の工場も出来たが、繭の内地移出が少くない。

牧畜 牛、豚、鶏等の飼養は頗る盛で、殊に牛は殆ど全道の農家に飼はれ、牛皮を産する外、駄用肉用として、内地へも移出される。

林業 林野は多年の濫伐によつて荒廢し、成林地は極めて少く、各地に赫山を見る有様であつたが、近年當局の保護奨励により、植林に心を



朝鮮牛の市場 質性は温順で農耕・搬運に適する



用ひ、漸く若々しい林相を見るに至つた。現在伐採の盛に行はれるのは、鴨綠江・豆満江の上流地方で、松・樅等の良材を多く産し、沿岸に製材所や製紙工場が



内地へ運送する牛を車で運んでみる 繭の搬運

發達し、新義州はその大中心である。

水産業 沿岸は到る處に魚族が豊富で、東岸の明太魚・鯨と、西岸の石首魚とは殊に名高く、南岸には鯛・鱈・鯖等が多い。釜山・蔚山・濟州島等は、漁業の重要な根據地で、中國九州方面

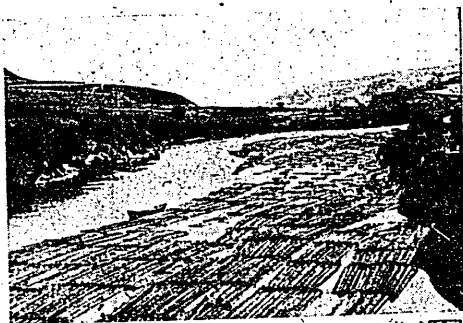
から出漁する者も頗る多い。西海岸では、廣梁・灣・朱・安等を中心として、天日製鹽が盛であり、南部では海苔の養殖が行はれる。



西海南岸の淺瀬を利用した養殖場 西海南岸の養殖場



鑛業 鑛物の埋藏は頗る豊富で、雲山・大楡洞・金堤等の金・利原・下聖・載寧等の鐵・平壤附近の石炭は殊に名高く、その他、處々から黒鉛を産する。鐵鑛は多く、八



鴨綠江の繁榮所 上流支流等から果てた後群

幡や兼二浦の製鐵所に送られ、平壤の無煙炭は、徳山にある海軍燃料廠の原料となる。

工業 工業も漸くその緒を開くに至つた。半島人の事業としては古くから産した織物、陶器、紙等の手工品を見るに過ぎないが、近年内地人經營の新式工場が處々に勃興し、紡績、製鐵、製紙、製材、製粉、化學工業等には、大規模のものがある。

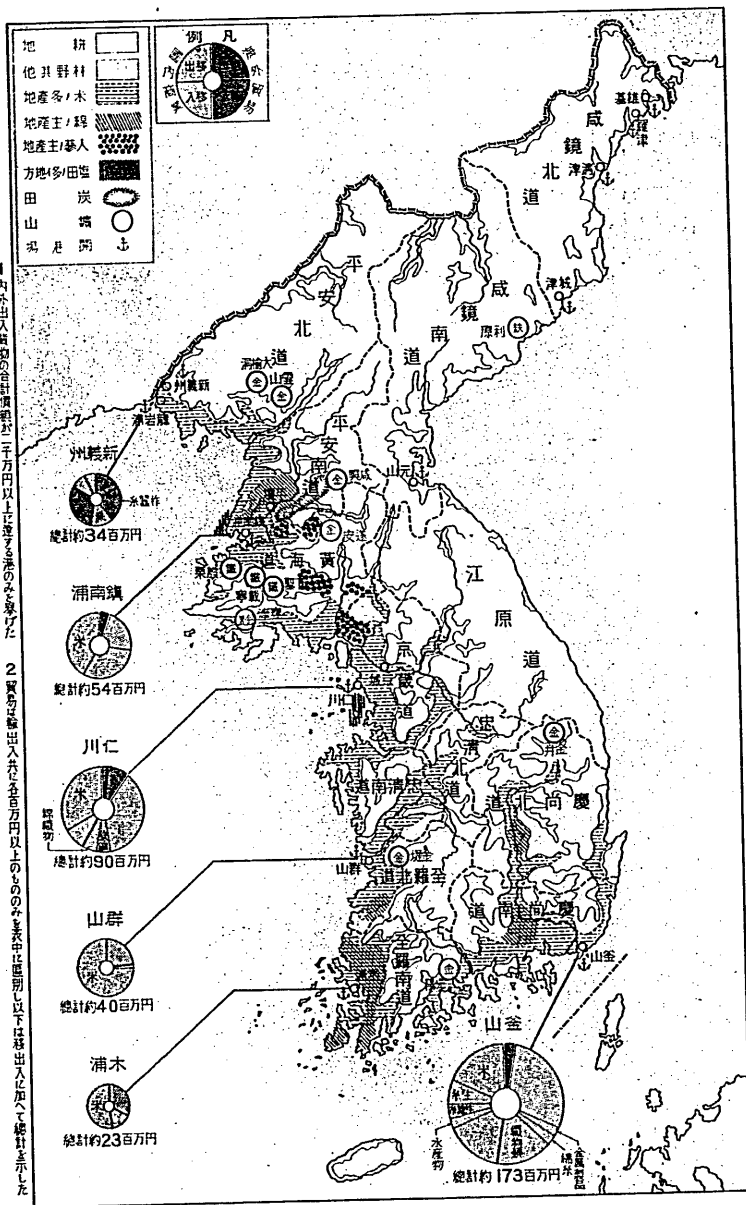


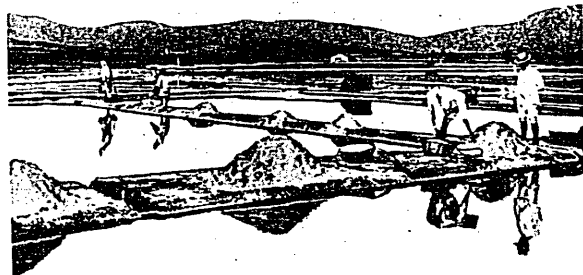
るあが場工棉繰の十數小大はに浦木 場工棉繰



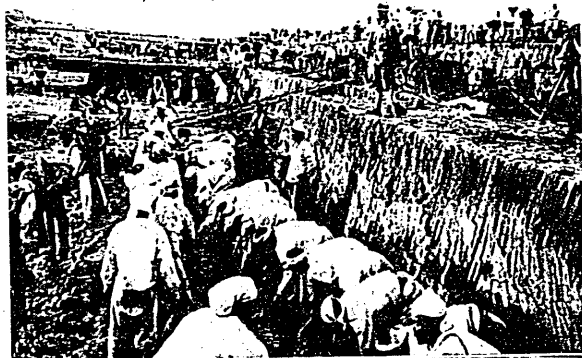
るあがめ埋に人島半の衣白は路道 市大の邸大

商業 國內商業の特色は、處々に定期市の開かれることで、大邸のそれは、最著名なものであつたが、近年常設の店舗取引が次第に増加して來た。貿易は内地から多くの加工品を移入して、米、大豆、綿、金鐵等を移出する外、滿洲國支那等との取引が頗る多い。釜山と仁川とはその二大門戸で、その他、雄基、羅津、清津、城津、元山、木浦、群山、鎮南浦、新義州、龍巖浦等の開

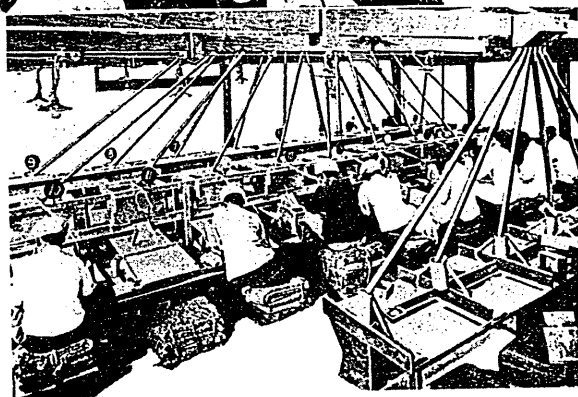




廣梁湖の鹽田
朝鮮第一の官營天日鹽田で年々の製造高は一億萬斤に上るといはれる



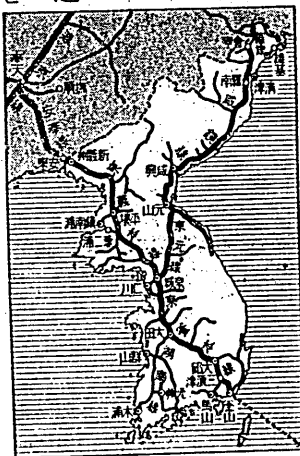
砂金採集
砂金の採集は舊來の採掘人夫による外近年「レジャー」と呼ぶ機械採集が行はれる



精米所
米の群山といはれる位で米は餘移出の大部分を占め従つて市内に精米工場が多い

港場がある。

交通 昔は道路が荒廢し、交通は頗る不便であつたから、馬や轎を用ひてゐたが、近年自動車の利用が盛となると共に、その修築が著しく進んだ。鐵道は、京釜、京義の二線が、相連つて半島を縦貫し、東北部の幹線をなす。京元、咸鏡、北鮮(滿鐵)の諸線と共に、滿洲國の鐵道と連絡する。その他、馬山、湖南、京仁、平南等の諸線がある。



- 1 京城 釜山間
- 2 京城 安東間
- 3 京城 元山間
- 4 元山 清津間
- 5 清津 南陽 雄基間
- 6 三浪津 馬山間
- 7 大田 大浦間
- 8 京城 仁川間
- 9 平壤 鎭南浦間



朝鮮

海運は鐵道連絡船の外、内地及び隣接諸國との間に往復が繁く、殊に西部南部は良港に富み、水陸共に交通が便利である。無線電信局は、京城、釜山、その他に設けられ、内地大連及び滿洲國との間には、航空輸送も行はれる。

人口と郡邑 人口密度は内地よりも低いが、生活の安易を求め内地、滿洲國等に出稼する者が少くない。人口分布は著しく



海金剛
海金剛の優といはれる立石浦で海には岩を點じ岩には松を彩つてゐる



平壤の市街
アカシヤの街路樹が整然と並ぶ大和町通で内地人の店舗が多い



新義州
國境の町のその尖端に當る地點で一帯水の彼方は滿洲國である



慶州國寺の塔像等に佛敎美術の代表が甚だ多い

又重要な漁港を兼ね、米、水産物等の集散が盛に行はれ、東北に東萊、溫泉がある。馬山府は風景のよい健康地として名高い處で、水産物を集散し、鎮海は巨濟島を控へて海峡の要地を占め、海軍要港となつてゐる。大邱府は生絲、苹果その他の農産物集散の要地である。慶州は新羅の舊都で、史蹟が多く、蔚山は内地と航空連絡の要地で、又漁業の根據地である。湖南平野は米綿等の農産に富み、大田府は交通の要地に發達した新興の市街で、商工業が盛に行はれ、扶餘は百濟の舊都である。全州府、光州府及び公州は共に農産物の集散が行はれ、海岸の群山府、米木浦府、綿等は、

蔚山灣は捕鯨船の根據地である

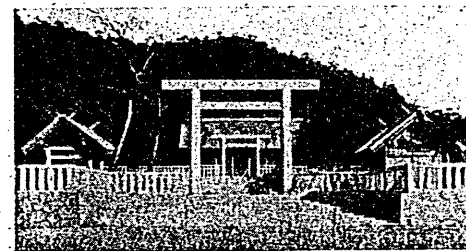
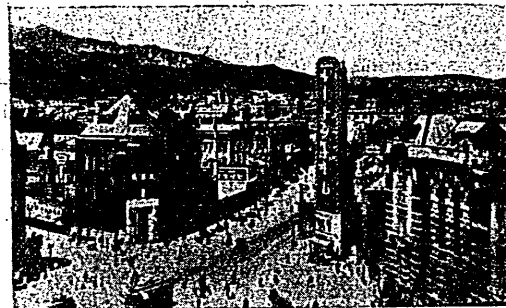


蔚山の大觀、江錦に臨み水陸交通の利便で物貨の集散が多、又漁業の一根據地である

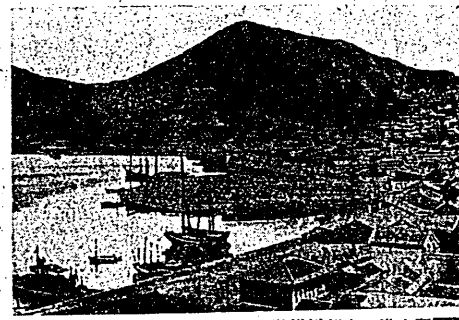
その積出が盛である麗水は下關と連絡の航路があつて内地との捷路に當り、濟州島は漁業の中心である。

中朝鮮 中部の三道(海江原黃)を含む地域で、

主として漢江の流域に



會行銀で景光の通門大南宮神鮮朝と街市の城京韓圖
社で心中の敬崇るけに島半多い多が等店商大び及社
い廣だ甚が望眺りあに處たつ登を段石の餘十八百三は殿



市港な要重上通交り當に端一の道鐵鮮朝南 港水麗圖

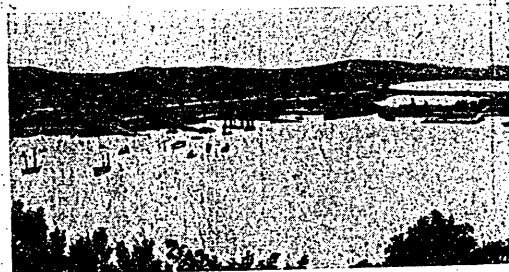
京城は東京から約二晝夜で達し又京城から新義州へは約十二時間釜山へは約十時間を要する京城に京城帝國大學がある

龍山に第二十師團司令部がある



るえ見が樓碧浮に腹丘くよが望眺でん臨に江同大 臺丹社の城平圖

るもとは四周に城壁を繞らしてゐたが、近年市區を改修して、全く舊觀を一變した。南部の龍山は、軍事交通の要地である。仁川府は京城の外港で、港灣の施設もよく整ひ、半島第二の商港で、米・大豆・牛皮・人蔘等の積出が多く、米・安は、天日製鹽の中心である。水原は農事試験場の所在地で、春川は農産物の集散が行はれる。開城府は高麗の舊都で、附近は古くから人蔘の産地として名高い。海州府の北方には、大小の鐵産地が多く、兼二浦には製鐵所がある。



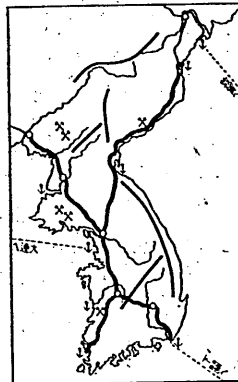
るえ見が渠船式門閣に方右で景光ため眺らか上海 港川に



ら石炭を産し、商工業が盛である。
鎮・南・浦・府はその門戸で、製鐵精米
等の工場があり、江口の廣・梁・灣に
は、鹽田が多い。新・義・州・府は鴨綠江
を隔てて、滿洲國の安・東と相對し、

羅南に第十九師團司令部がある

木材の大集散地で、製材・パルプ等の工場がある。東部の元・山・府は、裏朝鮮第一の商港で、又漁港を兼ね、咸・興・府は沃野の中心に位し、農産物の集散が盛に行はれる。興・南は背後に大規模の發電所を控へ、之を利用した化學工業の大工場がある。清・津・府は會・寧を経て、滿洲國の間・島・地方へ通ずる門戸に當り、羅・南は軍事上の要地である。羅・津・府は新興の都市で、雄・基と共に滿洲國に對する主要の門戸に當り、我が國との連絡上、重要な位置を占める。



太・川河たし示し寫を圖のこ
山鎮・場港開・邑都・道鐵の線
よせ入記を數理の路航と名の

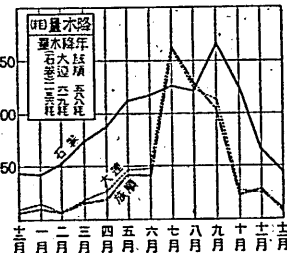
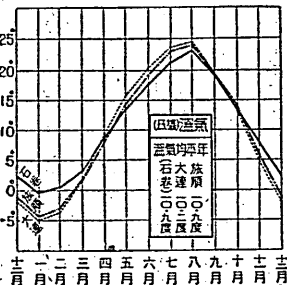
第十二章 關 東 州

通 說

我が國は日清戰役の結果遼東半島を領有したが、三國(露・獨)の干渉により、之を清國に還附することになった。關東州はその一部で、後にロシヤが此處を租借し、軍事上の根據地としたが、日露戰役の結果、我が國はその租借權の外、種々の利權を得て産業の振興に力を盡し、滿洲開發の根據地となつた處である。今は駐滿全權大使の下に、關東州廳を大連に置き、その長官が施政を掌つてゐる。

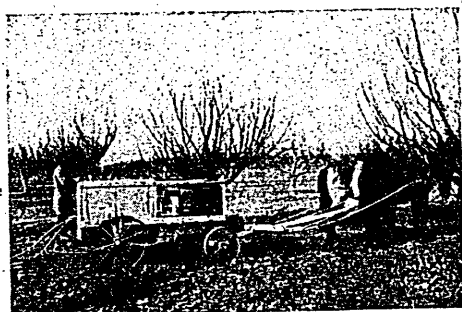
地勢 遼東半島の南部を占め、鳥取縣の面積と略、等しい小半島で、長白山脈の餘勢を受け、到る處に丘陵が起伏してゐる。海岸は出入が多く、大連・金州の兩灣は、深く彎入して、金州地峽を作り、東方の海上には、長山列島がある。

氣候産物 大陸の影響を受け



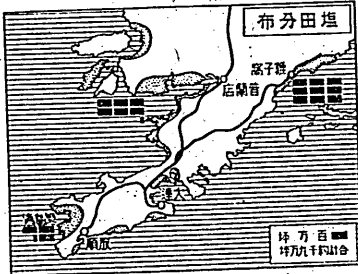
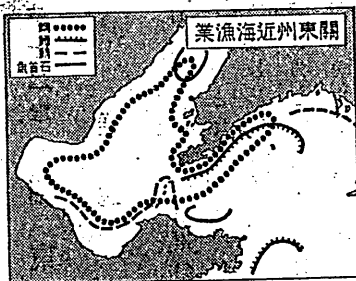
面積 約三、四〇〇方軒
人口 約二、三〇〇萬
内地人約五萬

關東局は在滿洲國帝國大使館内にあ



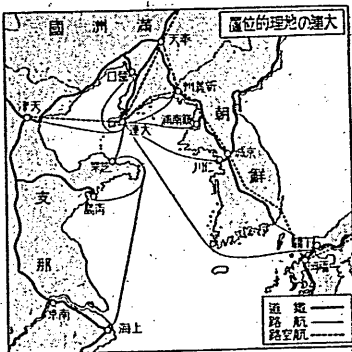
關東州果園の風景 關東州果園に樹果を撒く人

して、搾油
紡績・セメ
ント硝子
等の新式
工業も盛



關東州高子附近の鹽田 出た來を鹽た高を積る

る爲に、同緯度の奥羽地方よりも、寒暑共に厳しい。降雨は雨季(七月)の外には極めて少く、平素は川が殆ど涸れてゐる。平地が少く、地味も瘠せてゐるが、土地はよく耕されて、玉蜀黍・高粱綿等を産し、又苹果梨その他の果實を出す。沿海地方では、天日製鹽が盛に行はれ、貔子窩・普蘭店・雙島・灣等には鹽田が多く開け、近海には鯛・鱈・石首魚等の漁利も頗る多い。近年大連を中心と

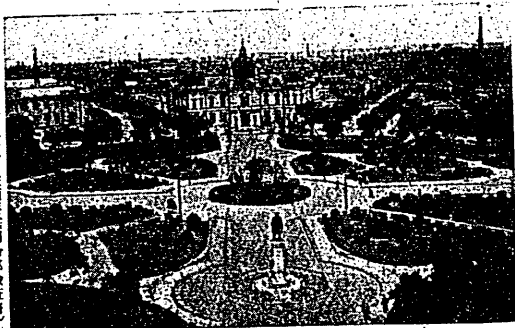


大連・門司間の航
通は約二晝夜を要
する。

主要都市人口
大連市 二八〇
旅順市 三六

處誌

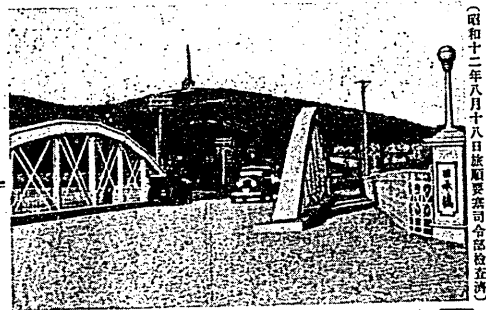
大連市は壯大な近代都市で、大廣場を中心として、數多の街路が射出し、港灣の施設も完備して、東洋屈指の大商港である。



大連市の主要街路に於ける主要廣場

交通 大連新京を結ぶ連京線は、滿洲國に通じて、交通の幹線となり、航空路は朝鮮内地滿洲國及び支那と連絡し、航路は大連を中心として、内外の諸港に通じ、無線電信海底電線等も備つてゐる。

人口と都市 人口の密度は割合に高く、その大部分は漢族で、概し農業を營んでゐるが、内地人は多く市街地に住み主として商工業又は官公務に従事してゐる。従つて家屋や市街の状態は、内地の都會と殆ど變りがなく、壯大な美都もある。



旅順橋 日本橋から白玉山の表忠塔を望む光景

滿洲國に對する門戸で、對滿貿易の過半は此處を經由し、關東州廳、南滿洲鐵道會社の外、數多の工場がある。郊外の星浦、老虎灘は、共に市民の遊樂地で、對岸の甘井子には、石炭積出の大埠頭があり、附近は新工業地區である。旅順市は丘陵に圍まれた天然の良灣に臨み、一部は海軍要港となつてゐる。市に工科大学がある。この地は、日清日露の激戰地で、爾靈山、東鵝冠山等の名高い戰蹟が多く、白玉山頂の表忠塔は、當時の壯烈を偲ばしめる。金州は金福鐵道の分れる處で、附近の南山は、日露の戰蹟地である。

第十三章 南洋群島

通説

大洋洲の區域に屬し、もとドイツの領土であつたが、世界大戰の後、我が國の委任統治地となつた處で、南洋廳の下に六支廳を設け、その文化開發を計つてゐる。

面積約二萬六千方
人口約二萬千(内
邦人約五千人)

南洋廳支廳

サイパン パラオ

ヤップ トラツグ

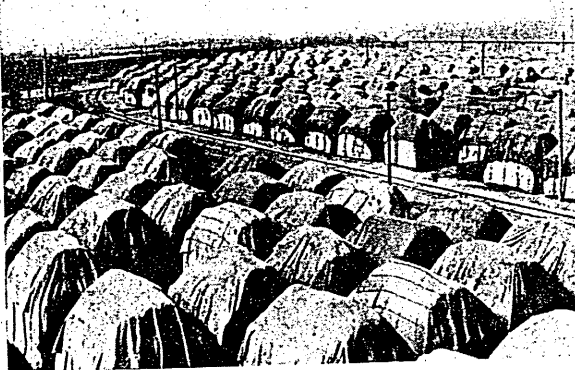
ポナペ ヤルット

旅順の工科大学

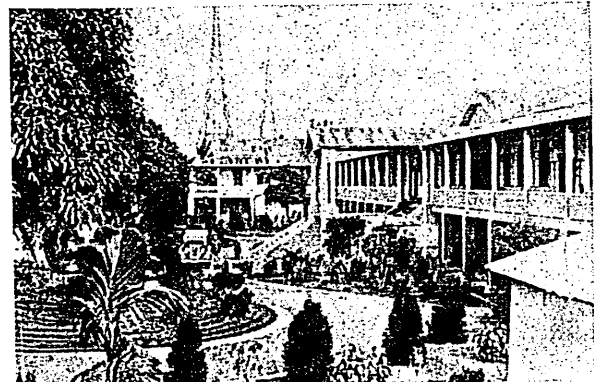
大學令による單科大學で奉天の醫科大學と共に滿洲に於ける最高の學府である
(昭和十二年八月十八日旅順要務司令部檢査済)



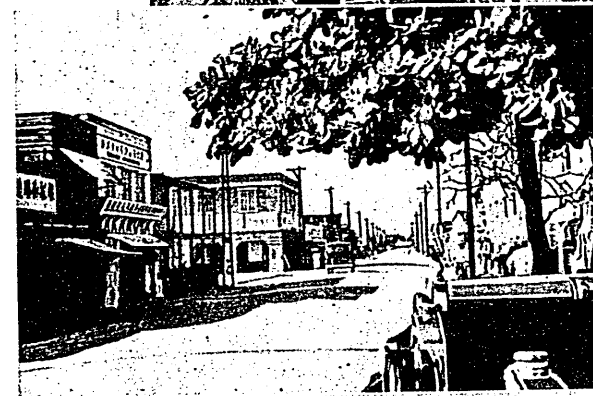
大連の當盤通
主要な商業街の一で道の兩側には街路樹が青々と茂つてゐる
(昭和十二年八月十八日旅順要務司令部檢査済)



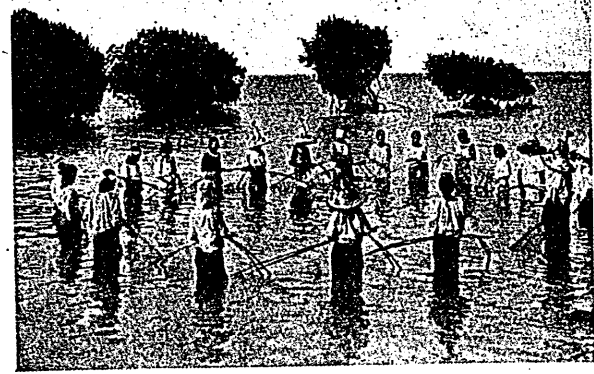
大連埠頭の大豆
積出される大豆袋や豆粕が埠頭一面に堆積されてゐる
(昭和十二年八月十八日旅順要務司令部檢査済)



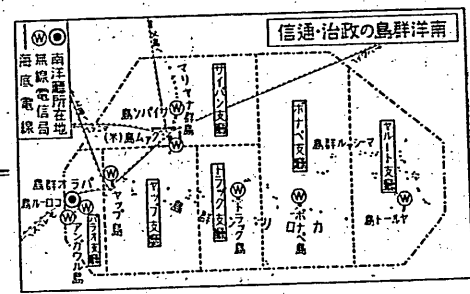
南洋廳
大正十一年純然たる行政府となつた廳舎は床が高く中二階式の平家建である



サイパン島のガラパン町
製糖業の發達と共に島勢が著しく進展し市街も南洋とは思はれぬ構造である



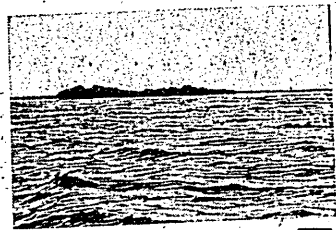
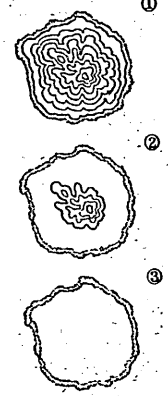
漁業
海深で造つた網を持つて圓陣を造り漸次その圓形を狭めて魚を拘ひ捕る



地勢 小笠原諸島の南方から赤道に達する海上に散在せる七百有餘の島嶼で、マリヤナ、パラオ、カロリン、マーシャルの四群島に分れる。概小さい火山島や珊瑚島のみで、最大のボナペ島も、我が淡路島よりも小さく、陸地の總面積が僅に東京府と等しい位であるが、南北二千數百軒、東西四千數百軒の廣い海上に擴がるので、交通上軍事上に極めて大切な處である。

氣候產物 全部が熱帶にあつて、氣溫の變化が少く、常夏の地であるが、海洋の調和を受け、且時々スコールと呼ぶ驟雨がある。

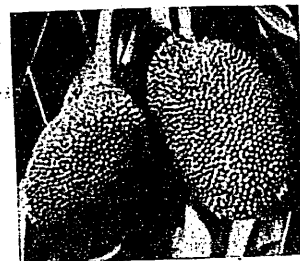
芋類等がよく生育し、別に特殊の風土病もない。



①は珊瑚の地陸にうやるれら見もで等島諸球琉
②は珊瑚の地陸にうやるれら見もで等島諸球琉
③は珊瑚の地陸にうやるれら見もで等島諸球琉



く發達して、砂糖燐^{リン}礦^{クラウ}・コブラ等は貝類^{貝螺}である。

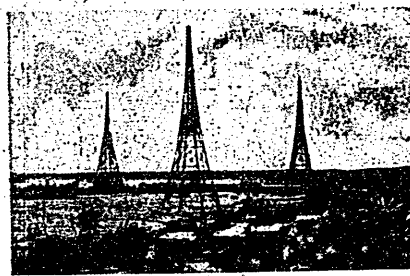


樹子椰^①、芋^②、果^③、樹子椰^④、
實のそし茂繁に處る到の島群洋南は
なもと用食の土人又し製にラプコは
の色緑なき大で木桶は樹果^⑤、
つ焙通普るなと食常の土人^⑥が結を實^⑦、
るめて似くよと落^⑧は味し食て
るめて似に芋頭^⑨、八の地内は芋^⑩、
あのもるの條に米^⑪、く大は菜^⑫が
るあも糧食に要重の土人は莖塊のそ

ので、生活には適してゐる。殊に我が施政以來、産業が著し

交通 航路は主要の島嶼を連ねる外内地と定期航路を通じ、無線電信局も處々に設けられ海底電線も備つてゐる。

住民と都邑　土人はミクロネシヤ族に屬するチャモロ人カナカ人等で、前者の文化程度は後者よりも遙に高いが、その數は少い。何れも性質が溫良で、單純な生活を營み衣



のもるゐてれらけ設に島オラバ 局信電線無解図



椰で體裸に共女男 人土カナカの島ンパイサ詳説
るゐてしを飾頸たつ造で等殻貝ひ櫛を椰の葉の子

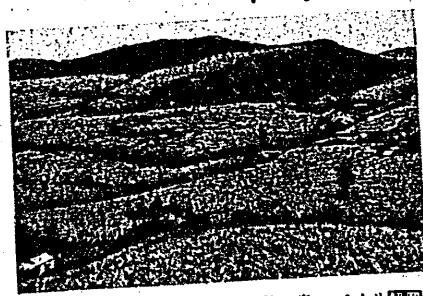
服も洋服の如き簡單服を用ふる者もあり、半裸體の者もあつて、風習は處により著しく違つてゐる。人口密度の低いことは樺太に次ぎ都邑といふ程のものもないが、産物に富む地方には舟泊地が開けて住民が此處に集り、尙處々々、の礁湖内には碇泊地として利用し得る處が頗多い。

處
誌



男共女に裸體や椰
つたり師をてる

マリヤナ群島は富士火山帶に屬し、多くは珊瑚礁に圍まれた火山島で、中には噴煙してゐるものもある。群島の主島はサイパン島は附近のチニヤン島と共に甘蔗の栽培が行はれ、製糖業が發達して、内地人が多く住んでゐる。

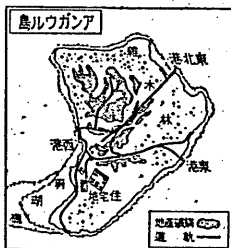


る造で島のこ、概は糖砂 畑蔗甘の島ンパイサ

列島中のグアム島は、アメリカ合衆國に屬し、太平洋横斷海底電線の中繼所で、又同國海軍の重要な根據地となつてゐる。



景光む込積へ船を曠燐たれさ掘探 島ルウガンア



パラオ群島は概々火山島で、東側に深い海溝がある。コロール島は我が南洋廳の所在地で、マ・ラカルの錨地があり、アンガウル島は、燐礦を多く産するので名高い。

カロリン群島は、長く東西に散在する珊

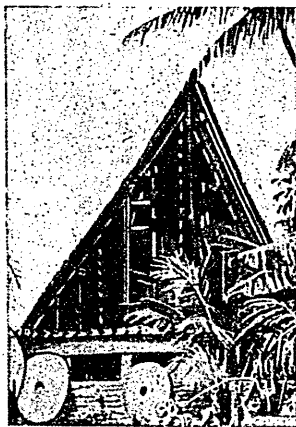
瑚島又は火山島である。西部のヤップ島は、海底電線の要地である。この地の土人は、石貨・貝貨を用ひる風習が残つてゐる。トラップ島は、廣い礁湖内に火山群島を包み、良港を作つてゐる。ポナペ島は東部の主島である。



圖に各前
 島に並に

澱粉(オタカビ)の製造が行はれる。

マーシャル群島は、二列の珊瑚礁群から成る。主島のヤルト島は椰子樹が繁茂してコブラの産が多く、ジャボールの舟泊地がある。



島プッヤ 貨石と所會集の人士解圖
き非で葉の子椰は根屋でのもるあに
の物建 るあてれさ施も刻彫の種各
るあ々種小大は形で貨石はぶ列に前

トラク島に嘗て
我が防備隊が置か
れたが今は南洋群
島を南洋海軍區と
し横須賀鎮守府に
屬してゐる

後篇
總說

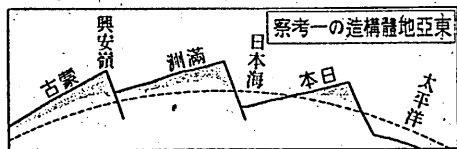
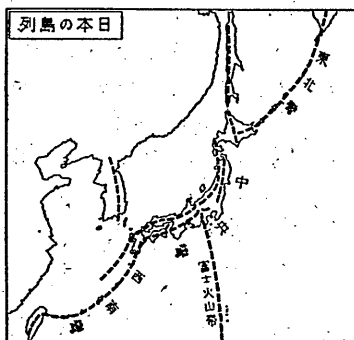
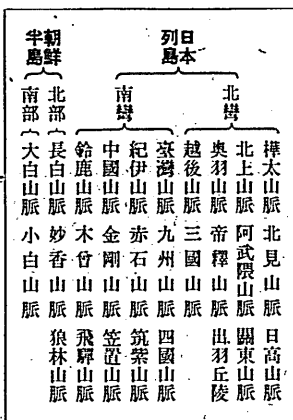
第一章 地勢

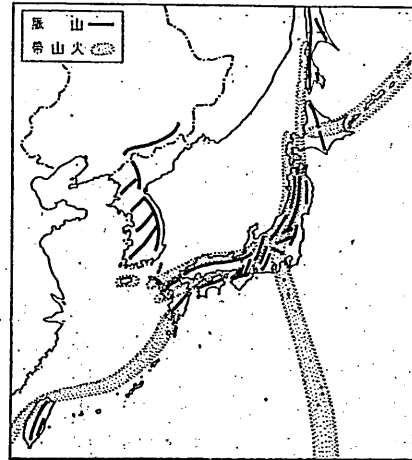
山系火山帶

日本列島は、アジア大陸東邊の山脈が、地殻變動の爲に分れたものと考へられ、東北彎(千島)中央彎(樺太、北海道、本州、四國、九州)西南彎(琉球)の三弓狀か

ら成る。中央彎は
最、主要な部分で
地勢上更に南彎
と北彎とに分れ

る。南鬱山系は、中央線によつて内外の二帯に分れ、内帯は地構が錯雜し、大小の斷層が縦横して、地壘





よせ入記を稱名に脈山てし照參を圖附し寫を圖のこ

起して、遙に南洋の島々に連る。この他、北日本には那須、鳥海、千島等の火山帯があり、南日本には乗鞍、白山、阿蘇、霧島等の火山帯があつて、世界の火山國に數へられ、地震も屢起る。火山地方には温泉が處々に湧き、その多くは保養地として利用される。

朝鮮半島の山地は、列島とは全く系統を異にし、多くは高原狀の地塊で、火山は少く、活火山はないが、温泉は處々にある。

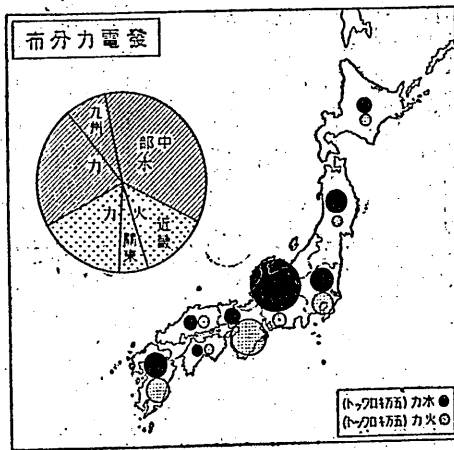
太平洋斜面	北山川	阿武隈川	利根川
オホーツク海斜面	天龍川	木曾川	熊野川
日本海斜面	石狩川	最上川	信濃川
朝鮮海峡斜面	江川	豆満江	
黄海海峡斜面	洛東江		
東支那海斜面	鴨綠江	大同江	漢江
臺灣海峡斜面	筑後川	球磨川	川内川
瀬戸内海斜面	淡水河	濁水溪	下淡水溪
	淀川	旭川	大田川

海上と連絡の便利な地方には、大都會が多い。

河湖 我が國は、地勢の關係上、平野を流れる二三の川を除けば、概し流路が短く且急で、舟運の便に乏しいが、米作國として、川の灌漑から受ける恩恵は極めて大きく、且水力の利用も盛で、世界有數の電力國に數へられ、その豊富

平野

中央彎の斜面には、我が國最大の關東平野を始め、濃尾、越後、筑紫、石狩等の諸平野があり、山脈の間には、狹長な平野及び盆地地帯がある。臺灣及び朝鮮の平野は、山地の西側に偏つてゐる。平野は概し水運が便利な上に、交通路も開け易いから、人口が密集して、産業が盛となり、殊に

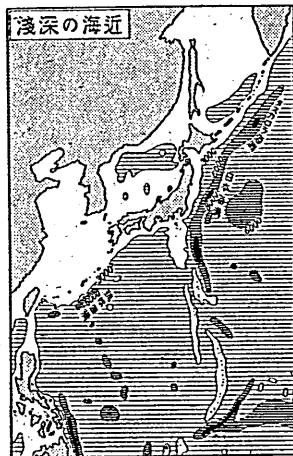


な電力は、我が工業の将来に好望を捧げてゐる。
湖水の大きなものは少いが、多く天然の貯水池となつて、灌漑養魚發電等に利用され、稍、廣いものは交通を助け、或は風景の爲に、遊覽地として名高いものもある。

海岸 島國である上に、處々に陥没が行はれて、海岸の屈曲が著しく、海岸線の發達は世界無比といはれ、之が爲に、文化の進歩を助けたことは著しい。日本海岸は、割合に單調で砂濱が多く、三陸海岸志摩半島の如き、リヤス式の處には漁港が多く、東京灣伊勢海及び瀬戸内海の沿岸は、背後地の産業發達と相俟つて、主要の商港が多く集つてゐる。

第二章 海洋

近海 列島の内側は、海が一般に浅いが、外側は急に深くなり、日本海溝・琉球海溝等と呼ばれる世



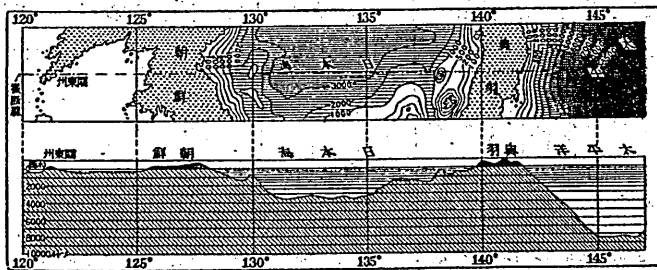
海面は三哩以内をその國の領海とするのが原則である

日本海溝の最深部は伊豆諸島の東方にあつて九千四百三十五米に達し又東北の一部にはタスカローラ海淵と呼ばれる八千五百四十米の深所がある

朝鮮の仁川では干満差は一〇米に及ぶが佐渡では〇・三米に過ぎない

界屈指の深海がある。經濟上に大切なのは、深海よりも寧ろ浅海で、漁場の多くは、二百米以内の浅海、所謂陸棚にある。我が近海に於ける陸棚は甚だ廣く、我が國を世界の大水産國たらしめた一因をなしてゐる。

潮汐 海面には、一日に二回づつ潮汐が起る。その干満の差は、地勢海底等の状態によつて大いに違ひ、朝鮮の西岸、九州の有明海等は極めて著しく、日本海の沿岸は一般に少い。潮汐の干満が適度にあることは、貝類海苔等の養殖に利し、港灣の浚渫作用ともなるが、過大の時は船舶の出入碇泊を妨げる。又狭い海峡では、潮汐の干満につれて、潮流を起すことがある。瀬戸内海の入口は、その現象が著しい。



日本近海とその断面 日本がアジア大陸の一部をなすこととこの断面の想像され



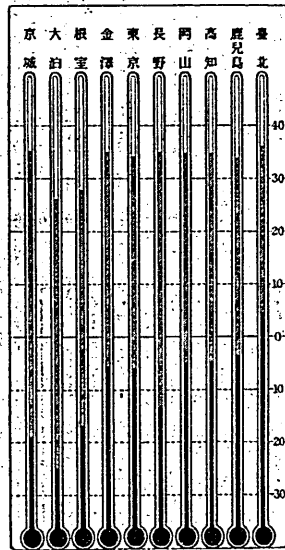
よせ入記を稱名に流海し寫を圖のこ

海流 我が近海には、寒暖二種の海流がある。日本海流・対馬海流は暖流で、千島海流・マシ海流・樺太海流等は寒流である。海流は氣候に影響を及ぼし、又水産と密接な関係がある。暖流には鯉・鮭等の如き魚族が集り、寒流には鯨・鰹等の魚族及び海獣が好んで棲息する。寒暖兩流の合する地方は、屢濃霧を起して航

海を妨げ、又農作物の生育を害する。

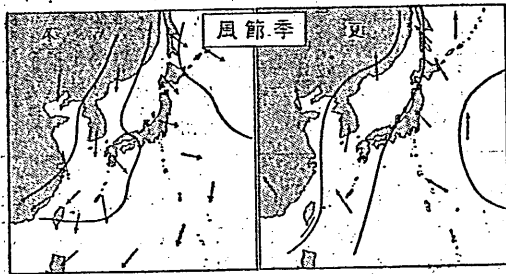
第三章 氣候

氣溫 我が國土の大部は溫帶に位し、概々溫和であるが、土地が南北に長く、且地勢海流及び季節風等の影響を受けるので、氣溫は處により著



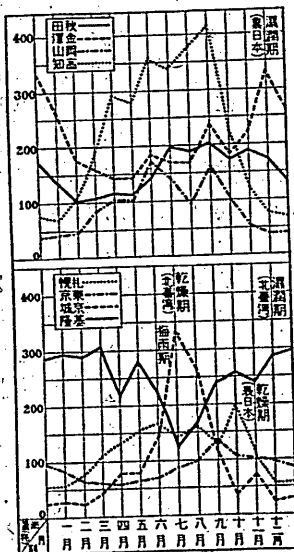
溫氣低最均平・高最均平の地各諸國

しく違つてゐる。臺灣・小笠原諸島等は、年平均氣溫が二十度以上に達し、殆ど常夏の地であるが、北海道樺太では、年平均氣溫が九度以下で、中には零度以下に降る處もあり、長い冬と短い夏との二季に分れて、氣溫の差が烈しい。朝鮮は大陸の影響を受けることが著しく、南部を除けば、氣溫の差が極めて大である。



氣候

風雨 我が國の夏は、東南風が多く、冬は西北風が多い。夏に吹く東南季節風の影響は割合に著しく、冬は西北季節風が卓越して、日本海上の濕氣を吹寄せるから、日本海に面する地方には雨雪が多く、太平洋方面は一般に乾燥する。樺太は全體に雨量が少く、朝鮮も南部の外は、概して寡雨であるが、臺灣は

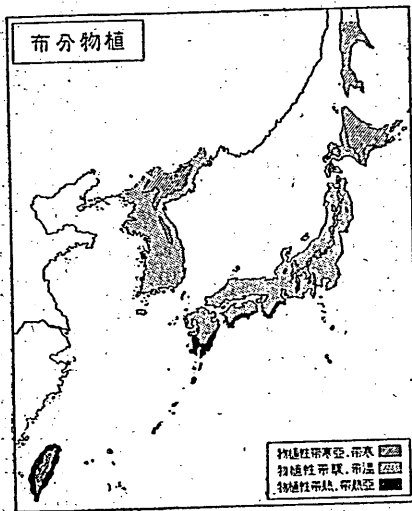


化變的節季の量雨るけに地各諸國

夏秋の交我が國に
襲來する颱風は多
くマリヤナ群島附
近から來る低氣壓
で始め西北の方向
に進み臺灣の東に
至つて漸く東北に
方向を變じて進行
し來るもので所謂
二百十日の頃は荒
れ時として一般の
警戒する所である

降雨が多く、殊に北部は本邦最多雨の地である。風向の變る夏秋の交には、南洋に起つた颱風が襲來し、暴雨を伴つて屢大被害を與へ、又初夏の頃には、全國の大部に互り、梅雨と呼ぶ雨期があつて、陰鬱な天氣の續くのが例である。

生物 氣候の關係は、植物の分布にも差異を來たし、九州の南部から臺灣にかけては、種々の熱帶性植物が茂り、北海道樺太では、寒帶性の針葉樹が密生してゐるが、常緑闊葉樹は見られない。動物も臺灣では水牛が廣く農耕に使役せられ、北海道には鹿、樺太には馴鹿等の如き特殊なものが残り、朝鮮には稀に虎の如き猛獸も見られる。海棲動物も、南部の暖海には海龜、珊瑚等が生育し、北部の寒潮には



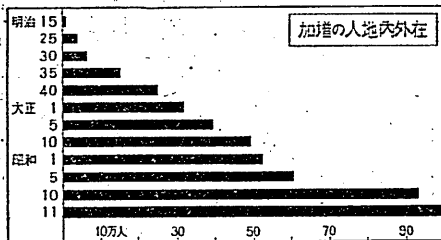
獵虎、臘肭獸等が棲み、又海流その他の關係で、魚族も處によつて異なり、その種類が極めて多い。

第四章 住民

民族人口 我が國の住民は一億に近い。その大多數を占めるのは



農民移本日るけに洲滿國



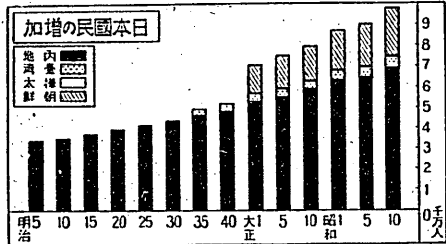
大和民族で、皇室を宗家と仰ぎ奉り、建國以來この地に定住したものである。別に朝鮮には朝鮮族、臺灣には漢族が多く、何れも大和民族と同化して、一致團結した日本國民をなしてゐる。その他、臺灣には高砂族、北海道にはアイヌ族が僅に残り、樺太にはアイヌの外、オロコ、ニク、ブン等の土人もゐるが、それ等の数は極めて少い。大和民族は廣く海外に移住して各地に發展し、最近の在外

住民は百萬に近い。中でも滿洲國への移住は、近年著しい激増をなし、ハワイ・ブラジル・アメリカ合衆國・支那等にも頗る多い。

人口の増加が著しく、明治五年頃に比べると、内地人の數は約二倍に増加した。従つて密度も高く、全領土に於ける一方籽に對する割合は、一四五人であるが、内地のみでは一八一人に達し、食糧問題及び移民計畫等の必要が起る。

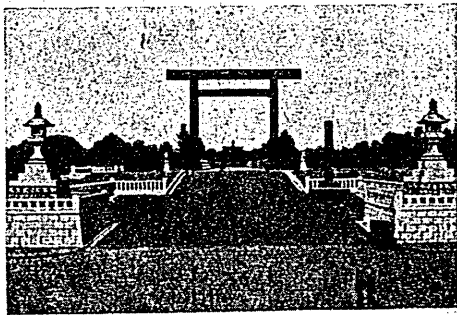
文化教育 大和民族は、神代からの固有文化に、或は儒教を容れ、或は佛教を同化し、或は西洋文明を融合し、以て今日の新日本文化を創定したものである。

現在初等教育の普及は歐米に遜色なく、學齡兒童の就學率は世界の最高位を占め、その他中等・高等専門等に進む教育の脈絡もよく整つてゐる。外地の教育は、土地の事情により特殊の制度もあるが、年毎



に内地の教育に接近してゐる。

神社宗教 大和民族は光輝ある三千年の歴史と、その間に涵養せられた日本魂を具へ、皇室を崇め、祖先を尊び、又功臣偉人の靈を神として祀る美風があるから、神社の數は甚だ多い。即ち敬神の念に厚く、皇室を中心とする團結心が固く、報國盡忠を以て、最大最高の信念とせることは、我が國民特有の美點で、我等が絶大の誇とする處である。



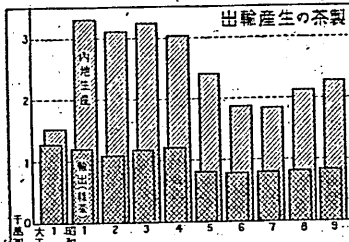
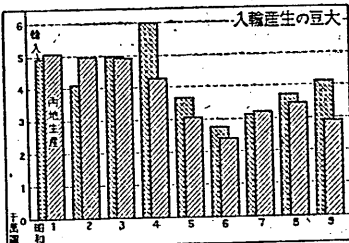
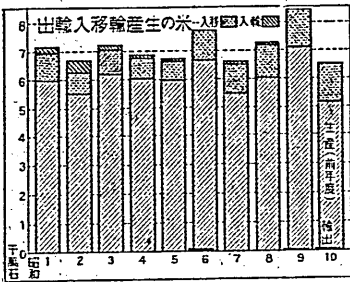
神社國靖國神社

宗教は信仰の自由を許され、神道・佛教・キリスト教等が行はれてゐるが、宗教として最も信徒の多いのは佛教で、數多の宗派があり、キリスト教は主に都會住民の一部に行はれる。又海外に於ける國民の移住地には、神社を建て、精神的結合の表徴とし、之と共に佛教の寺院も見られる。

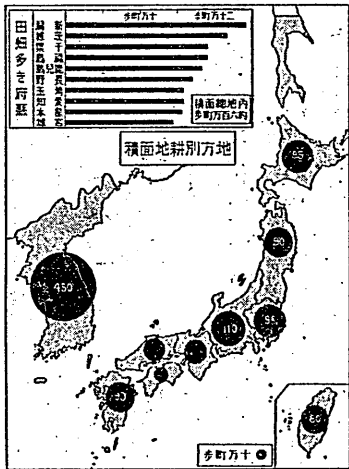
第五章 産業

農業 我が國民は、古來農を主業とし、内地人口の約五割五分は之に従事してゐるが、地勢の關係上、耕地が割合に狭く、且人口が稠密であるから、北海道樺太等の外は、農法が一般に集約的である。

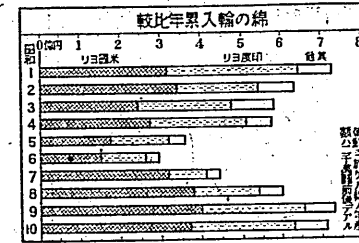
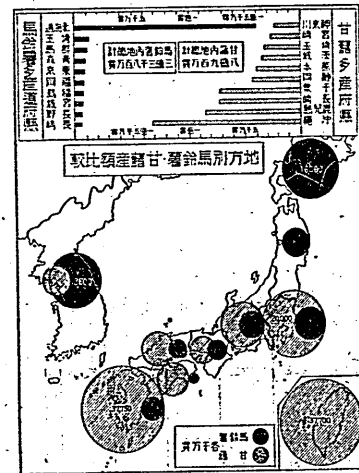
農産中の最も重要なのは米で、世界屈指の米産國であるが、消費が多いので、朝鮮臺灣等から移入によつて、殆ど需給の平衡を保つてゐる。麥（關參照）は米に次ぐ主要な食糧であり、且近年製粉業の發達と共にその原料として小麥の輸入は頗る多い。大豆も廣く産するが、醸造その他の原料として、輸入額は尙少くない。茶は世界屈指の産地で、



主要輸出品の一であるが、近年他國の産茶に壓されてゐる。甘蔗（參照別）の栽培は大いに發達し、殊に臺灣に於ける製糖業の進歩と共に、砂糖は年々輸入を減じて輸出を増し、寒地に於ける甜菜栽培も近年頗る有望である。その他、甘蔗、馬鈴薯、煙草等の産出も少くない。朝鮮の綿作は、近年著しく發達したが、内地に於ける綿工業の原料は、



大部分を輸入に仰いでゐる。養蠶は農家の副業として古くから行はれ、今は世界第一の養蠶國であるが、近年人絹の壓迫



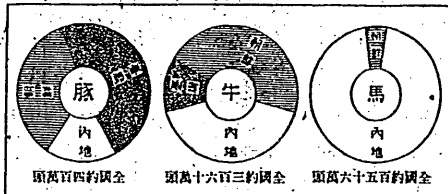
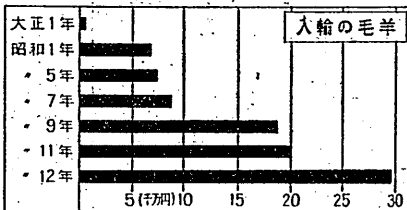
我が國は濕氣が多く面積が狭く且大草原が少いから牧畜に好適といへぬ

により、稍、不利の地位にある。

牧畜 牧畜は生活状態の變遷、軍馬改良の必要等から、公私の牧場が處々に興つて、牛・馬・豚等の飼養が行はれ、方法も著しく改善されたが、規模は尙小さい。殊に羊は、試育の状態で、原料羊毛の輸入が多く、之が對策は、滿蒙の牧羊獎勵である。養鶏は概、農家の副業であるが、近年は頗る大規模に行はれるやうになつた。

林業 内地にも處々に美林があり、朝鮮、臺灣、樺太等には廣い天然林もあつて、建築用材・製紙原料・薪炭用等の伐材は盛に行はれてゐるが、地形が險峻で、運材に不便な爲、木材（參照別）の輸入は尙少くない。臺灣の樟腦は、世界需要の大半を供給し、重要な産物である。

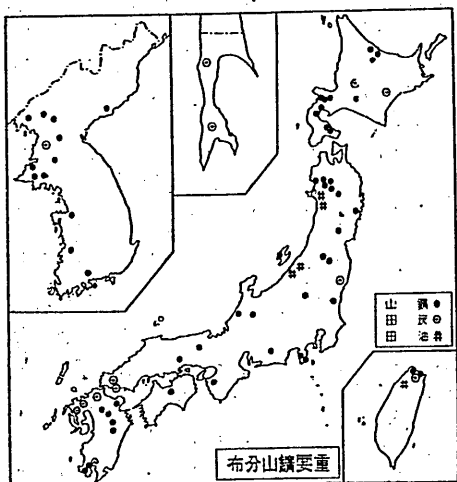
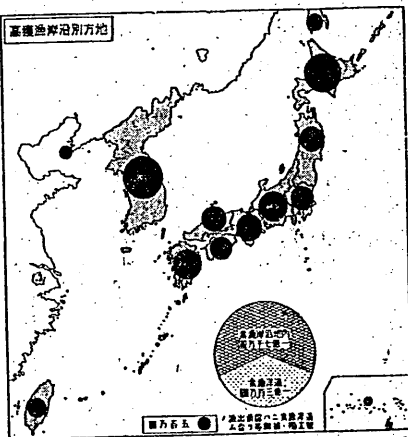
水産業 我が國は地勢、海洋國民性等、總てが水産業發達の條件を



近時滿洲・シベリヤ等の沿岸へも漁區を擴め、遙に赤道を越えて南洋に漁する者もある

北海地方の海岸は世界三大漁場の一に數へられる

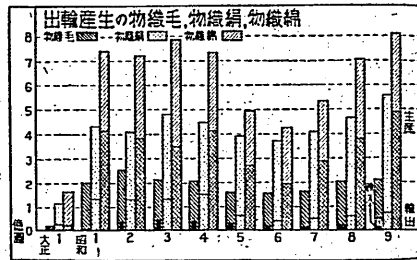
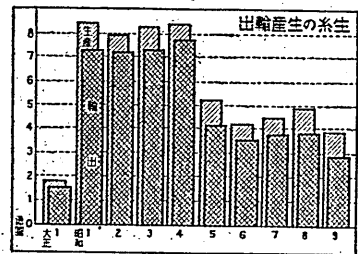
具へ、殊に近年遠洋漁業も盛となつて、漁獲額は世界第一位を占める。漁獲物（北海道別）は魚類を第一とし、貝類、海獣、海藻等があり、それ等の加工品中には輸出されるものも少くない。特殊の産物として、志摩半島の眞珠、臺灣の珊瑚等が、國際的に名を馳せてゐる。製鹽（中國別）は瀬戸内海地方を主産地とし、臺灣や朝鮮には天日製鹽が行はれるが、我が國全體としては、需要に不足である。



鑛業 我が鑛産の種類は少くないが、産額は概して多くない。その中、最重要なのは石炭（九州別）で、全鑛産價額の七割餘を占め、輸出も相當にあつた

が、近年は輸入の方が多くなつた。銅は世界屈指の産地であるが、工業發達の爲に、近年輸入の必要を見るに至つた。鐵は製鐵業の發達により、鋼鐵は殆ど自給し得るに至つたが、原料鐵鑛は、大部分を移輸入に仰がねばならぬ。石油は個人の生活上にも、國策上にも重要であるが、我が國は需要の大部を輸入する状態であるから、石炭の液化、乾溜又は石油代用品を以て、之を補つてゐるが、尙僅に需要の一割を自給するに過ぎない。その他、金、銀、亞鉛、硫、黄、燐、礬等の産出もある。

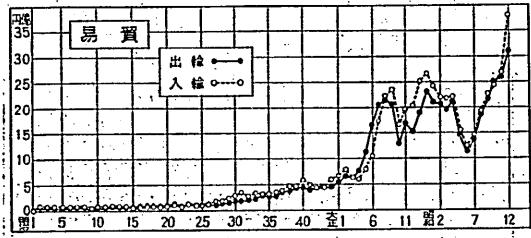
工業 我が國民は、古來手工に長じてゐたが、近年大工業の發達と共に、在來の工業にも動力を利用し、益、産額の増加を見るに至つた。生・絲（中參照）は内地の、外、朝鮮にも産して、その産額は世界



第一に位し、人・造・絹・絲も、近年急激に發達して、産額は世界第二位を占め、生・絲・國たる我が國は、同時に又人・絹・國となり、此等を原料とする絹・織・物・人・絹・織・物と共に、その輸出は甚だ多い。綿・絲・の・紡・績と綿・織・物とは、我が工業界の巨星で、綿製品（中參照）は我が輸出品の大宗である。その他、各種の機械、工業、化學、工業等も著しく發展し、工業國としての我が國は、その地位が年々高まつてゐる。

商業 國內商業の大中心は東京と大阪とで、東京は政治上の中心として、經濟金融機關の整備に於いて優り、大阪は商業地としての古い歴史と、盛大な生産とに強味を有する。近年名古屋も兩市の間、に立つて、一大商工業地となり、その他、各地に地方的の小中心は甚だ多い。

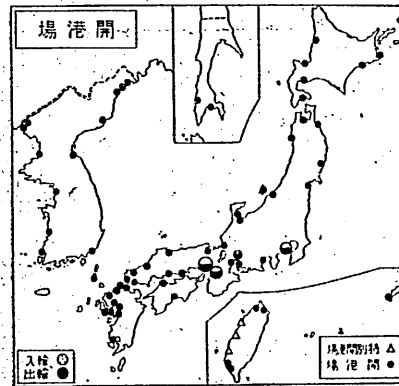
外國貿易は年々著しい發達を續け、殊に近年工業



の發展、製品の良質・安價等により、我が商品の世界的進出は、國際間の驚異となり、列強間では關稅を高めたり、バーター主義（賣るだけのものを）を採つたりして、我が進展を抑壓しようとしてゐる。我が國には五十に餘る開港場がある。その中横濱

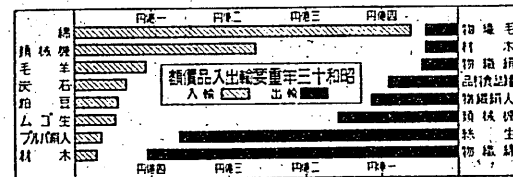
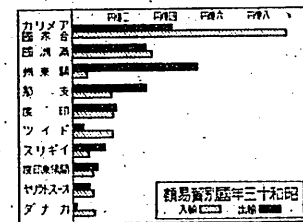
貿易港

横濱	大坂	下關	神戶	清野	武豊	名古屋	四日市
大阪	神戸	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪



この圖に寫し開港場の名を記入せよ

と神戸と
は、東西の
二大商港
である。横
濱は製絲機
業地を背
後地とする
輸出が多
く、神戸は
阪神工業地
を控へて、
原料の輸入

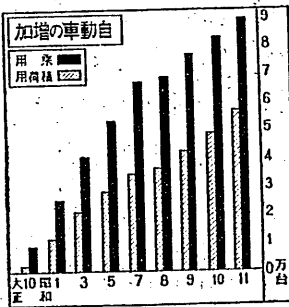


を主とし、大阪は之に對して製品の輸出を掌り、この三港の貿易額は、内地貿易總額の八割餘を占める。

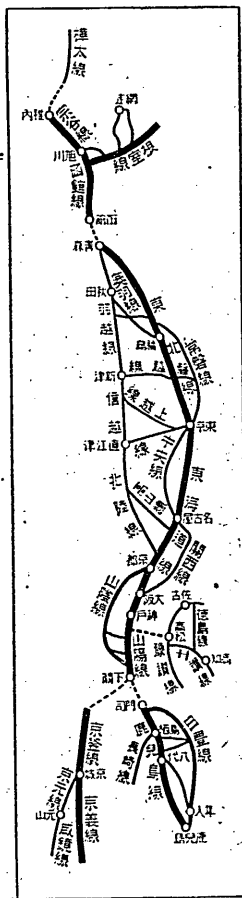
第六章 交通

道路 古は道路が不完全な上に、天然の難所や、人爲の關所等があつて、交通は不便を極めたが、近年自動車の普及と共に、道路の新設改修が著しく進み、十九萬臺に餘る自動車在此處を馳驅して、短距離の交通・輸送に當つてゐる。

鐵道 鐵道は異常な發達を示し、今は延長二萬八千料（植民地）を超える。その幹線は樺太北海道から九州の南部に達し、その間の宗谷、津輕、下關の三海峡及び四國へは、鐵道連絡船を通じてゐる。別に關釜連絡船があつて、朝鮮の鐵道と連り、臺灣にも南北の縦貫線がある。我が國は、地形



東京の日本橋は國
道に於ける全國距
離の起點である



その他の關係から、列強と比べると鐵道網が疎な上に、大部分は狹軌制であるから、速度及び輸

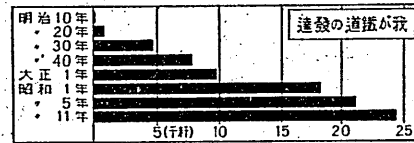
送力に遺憾の點はあるが、制度の整備建設の技術に至つては、決して他國に譲らない。

鐵道網は、東京・大阪を中心とする二地方に最、密で、この附近には、電車軌道も多く發達してゐる。鐵道の幹線が遠距離に便を與へると共に、各地にその支線及び地方鐵道軌道等が設けられて、地方的交通に任じてゐる。

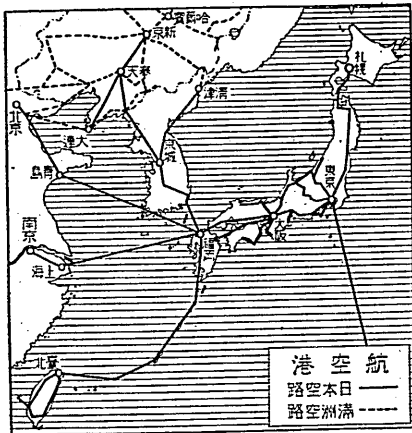
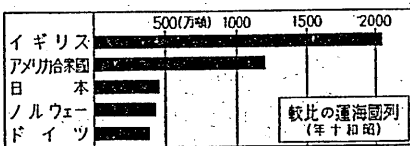
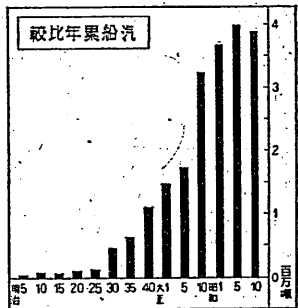
海運 我が國が世界の海運界に参加したのは、比較的近年であるが、現在の商船數は世界の第三位を占め、外國貨物輸送の運賃は、貿易の入超を償ふ最大の財源となつてゐる。

電車網の發達は京阪地方が第一である。

我が國の商船は老朽船の多いのが缺點であつたが近年優秀の新船が増加した。



日本郵船大阪商船の二社は、共に世界有數の大會社で、國際的に勢力を有してゐる。この他、近海郵船朝鮮郵船日清汽船南洋海運等の諸會社があつて、各地に定期航路を開き、又貨物船のみを有する會社も多い。

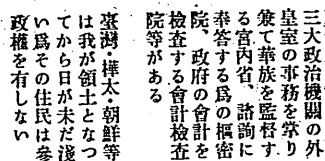


空運 定期航空路は東京・大阪・福岡を三大中心として、西は臺灣・朝鮮・關東州支那等へ通じて、滿洲國の空路とも連絡し、東北は奥羽を経て北海道に達し、最近南洋空路の計畫もある。その他、地方的の空路は處々に通じ、航空港航空燈臺等の施設も、次第に備はるに至つた。

通信 古は専ら飛脚によつて、通信を行つたが、今は郵便及び電信の制度が殆ど完備の域に進んでゐる。國

際通信は、海底電線が支那・シベリヤ等に通じ、又小笠原諸島からは、遠くアメリカ合衆國の電線と連接するものがある。無線電信は、東京・大阪の兩中央電信局が、歐米と直接通信を交換する外、多數の海岸局・船舶局が設けられ、電話も著しく發達して、殆ど全國に架設せられ、遠く歐米との國際通話も開かれ、ラヂオの放送は、全國の津々浦々にまで普及し、歐米諸國の放送までも、坐ながらにして聽かれるやうになつた。

國體政體　我が國は、萬世一系の皇室を戴き、國體の尊嚴なことは



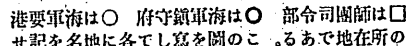
世界に冠絶してゐる。統治機關は、立法・行政・司法の三部から成る。立法機關は帝國議會で、貴族院と衆議院とに分れる。行政機關は、中央と地方とに分れ、中央政府は、内閣及び十二省から成り、地方政治は、府縣に知事を置き、北海道樺太に長官を置き、朝鮮臺灣に總督を置き、委任統治地の南洋群島には長官が駐在し、租借地の關東州は、滿洲國駐劄の大使が治めてゐる。司法機關は裁判所で、大審院(二)控訴院(七)地方裁判所(五十)區裁判所(二百餘)等の階級がある。又朝鮮、臺灣、南洋群島、關東州等には、特別の裁判所が設けられてゐる。

○部令司國師は□
るあで地在所の
海はこ

部令司國師は□
るあで地在所の
海はこ

国防 國際平和は、人類の

理想であるが、他國の侮を受けない爲にも、國內の秩序を保つ爲にも、兵備の必要があ



る。我が陸軍は内地に十四箇師團があり、別に東京に近衛師團がある。朝鮮には二箇師團、臺灣及び滿洲國には守備隊を置く。外滿洲國、支那等には派遣軍が駐在してゐる。又國防上の要地には要塞を設け、參謀本部が國防用兵のことを司つてゐる。

海軍は全國の海岸海面を三海軍區に分け、その各區に軍港を定め、鎮守府を置き、又要害の地には要港を設けて防禦に備へ、軍令部が國防用兵を司る。

空軍は陸海軍に分屬し、近年その發達が著しい。

外交 我が國は世界の主要國と條約を結び、大使或は公使を交換して、外交上のこととを掌らせ、通商上の要地には領事(總領事)が駐劄して、通商及び居留民保護の任に當つてゐる。又滿洲國とは防守同盟を結び、ドイツ、イタリア、滿洲國、ハンガリー等とは、防共協定を結んでゐる。

結論

我等は日本地理の大要を學んだ。日本は實に山水秀麗の勝地、氣候溫和の樂土で、無上の生活地帯である。斯る環境は國民の情操を養ひ、又發展を促して、産業を隆昌ならしめ、國運を發展せしめた。今之を要約すると、

- 一 國土は緯度上の好位置を占め、殆ど全部(臺灣を除く)が溫帶にある。
- 二 永く島國であつたから、他國の侵略を受けたことがない。
- 三 アジヤ大陸の東邊に長く列り、大陸進出に都合がよい上に、更に太平洋に面してゐるから、海上發展に都合がよい。
- 四 土地が細長い上に山地が多く、長大な河や、廣い平野に乏しい。
- 五 本土は歐洲の諸國(を除外)よりも廣いが、植民地は極めて狭い。
- 六 氣候が溫和な上に、適度の變化があつて、民心の發奮を促す。
- 七 人口密度が甚だ高い。従つて移民の計畫は必然の要求である。
- 八 人情が淳美で、皇室を中心とする團結心が強く、滅私奉公の情に燃え、敬神崇祖の念に篤い。

我が條約國は四十に餘り、その中イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ソビエト聯邦・ポーランド・トルコ・アメリカ合衆國・ブラジル・滿洲國等とは大使を交換してゐる。

九 初等教育は勿論高等教育の普及發達は、世界の高位にある。

一〇 固有の古代文化を基として、新日本文化を創造し、世界の平和と福祉とに貢獻しつつある。

二 産物の種類が多く、經濟的發展が著しい。

一 農業は概して集約的であるが、産物は概自給自足であり、殊に食糧の自給は、絶大の強味であるが最大工業の原料たる綿は、大部分を輸入に仰いでゐる。

二 世界第一の養蠶國で、生絲は重要な輸出品である。

三 牧畜は小規模で、工業原料たる羊毛は、大部を輸入に仰ぐ。

四 林地は廣いが製紙用、人絹用のパルプは不足し、木材の輸入も相當に多い。

五 世界第一の水産國である。

六 鑛産の種類は多いが、石油の産に乏しい遺憾がある。

七 工業は一般に驚異的發展をなし、綿製品、人絹製品等は世界の一二を争つてゐる。

八 貿易の發展は世界の市場を驚かし、列強はその防壁に努めてゐる。

三 鐵道は地勢の關係もあり、密度に於いて尙劣るが、施設經營技術等は頗る進んで、世界の模範といはれる。

三 商船噸數は世界の第三位を占め、近年優秀船が増加した。

四 兵備は陸海空共に充實し、我が國を磐石の安きに置いてゐる。

五 日本との輿論動向は世界に波及し、國際的地位は頗る高くなつた。

我が國は建國以來三千年、世界無比の尊き歴史に輝くと共に、地理上に有する天恵も斯の如く大である。今や國運は隆々として、世界の大強國に數へられてゐるが、滿洲國の獨立以來、國際關係は一層複雑となり、加ふるに支那の國民政府は、歐米に依存して抗日に狂奔し、終に支那事變を起すに至つた。皇旗の向ふ處、敵軍を風靡せしめたといへ、占領地の治安と建設には、尙長期を要するは當然であり、列強中には、抗日支那を援けて、我が勢力の伸長を阻止せんと策動するものも少くない。

一、イギリスは支那に於ける傳統的な政治上經濟上の勢力を維持せんとし、フランスを誘つて蔣政權を援助し、大厦の傾倒を支へんと狂奔してゐる。

二、ソビエト聯邦は支那の抗日政策を操つて之を共產化し、自己の利を捉へんとし

てゐる。日滿兩國は防共協定を結んでその侵入を防ぎ、東洋平和の爲に力を注いでゐる。
三、アメリカ合衆國は太平洋の彼方にあつて虎視眈々、極東への進出を覗ひ、毫も油斷を許さなく。

我等は斯る四圍の狀勢と、我が國の地位とを洞察し、この盛時に會して、この國土に生れたる幸福を思ふと共に、又この難局を自覺し、堅忍不撓以て國策の遂行に力を致さねばならぬ。

等中 最近日本地理 改訂版終

日本帝國在外公館一覽表

ア				ジ			
滿洲國		支那		香港		佛領印度支那	
○新		○北		○香		○サハ	
○東京		○京		○港		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	
○新		○北		○香		○イノ	

[illegible]

改訂編目地

印發刷行
修正三版發行
修正三版發行
修正三版發行
修正三版發行
修正三版發行
修正三版發行

定價金一圓四十錢	等最近日本地理 改訂版
----------	----------------

編纂者 三省堂編輯所

東京市神田區神保町一丁目一番地
株式會社 三省堂
發行者

東京市蒲田區仲六郷一丁目五番地
株式會社 三省堂 蒲田工場
代表者 喜多見 昇
印刷者

發行所
（振替東京三一五五番）
（大阪市西區阿波座下通二六番）
（振替大阪八一三〇番）
株式會社 三省堂大阪支店

395
178

SSD

